

ルモノアルニ至リタルハ喜ブベキコトナリ、只鉛芯ノ硬度ニ於テ、其ノ各階級ヲ任意ニ又確實ニ製作シ得ルノ域ニ達セザルハ當業者今後ノ奮勵ヲ望マザルヲ得ザルナリ。只市川商店ガ、各階級ノ硬度ヲ網羅セル一範例ヲ出品セルハ、斯業ノ前途ニ對シテ意ヲ強フスルニ足ルモノアリト云フベシ

萬年筆ハ時代ノ寵兒、從テ其製産額ノ増加製造技術ノ進歩頗ル見ルベキモノアリト雖モ之ヲ歐米ノ製品ニ比較スレバ其ノ生命トモ云フベキ先端、イリヂウムノ融着及ビ研磨ノ状態ニ於テ特ニ著シキ遜色アルヲ見ルハ遺憾トスルトコロナリ

左掲ノ寫眞ハ多數ノ出品中ヨリ、サンブルトシテ盲目的ニ採取セルモノニ就テ其金ペンノ先端ヲ擴大撮影セル數例ニシテ又以テ當業者及ビ使用者ノ參考トスルニ足ルベシ

鐵ペンハヨク實用ニ適スルノ域ニ達シタリト雖モ製産費ノ關係上未ダ全ク輸入ヲ防止スルニ至ラザルハ概スベキナリ。製品ノ成績ニ就テ言ヘバ鍍金法ト燒キ入レ法トニ於テ尙ホ研究ノ餘地多キヲ覺ユルナリ。

其他一々記述スルノ邊アラザルヲ以テ之ヲ概言センニ、産額ノ増加品質ノ改良販路ノ擴張等ニ於テ進歩ノ跡歴然タルモノアリト雖モ之ヲ歐米ノ製品ト比較スレバ體裁外見ニ於テハ比肩スルニ足ルモ實用上ノ見地ヨリ最モ注意ヲ拂ハザルベカラザル主要點ニ關シテハ或ハ等閑ニ附シ去リテ顧ミザルモノアリ或ハ十分ノ注意ヲ拂フモ尙ホ未ダ遠ク及バザルヲ自認セザルヲ得ザルモノアリ、當業者ノ一段ノ研究努力ヲ望マザルヲ得ザルナリ

其二 繪畫用具

主任 審査官 岡田三郎助
報告員 同 結城林 藏

本類ノ出品ハ近時圖畫教育ノ振興ト共ニ繪畫用具ノ種類並ニ産額ヲ増加シ且品質ノ改良ニ努力ノ跡ヲ微知スベシ特ニ水彩畫用練繪具色鉛筆及クレオンハ其進歩著シク營ニ内需ヲ滿タスノミナラズ海外ノ販路益益擴大ナラントス斯業ノ進運囑目スベキモノアリ然レドモ之ヲ國際市場ニ於テ歐洲製品ト相爭ハントセバ原料ノ選擇及配合ハ勿論包装容器等ニ至ルマデ更ニ微細ナル研鑽ヲ要ス

第百六十六類 事務用具

其一 タイプライター類
其二 自動販賣器等

主任 審査官 三輪 震一
報告員 同 三俣 秀實

本類其ノ(一)ナル種別ニ屬スル事務用具ノ品種ハ算盤、謄寫器、タイプライター、計算尺、現金記錄器、現金轉送器、書類整理箱等ニシテ其ノ出品人員四十七名、出品點數百七十一ヲ算スレドモ其ノ(二)ナル種別ニ屬スベキ自動販賣器、商品陳列用具等ハ其ノ出品一モナシ之ヲ現今事務處理法ニ關シ能率増進ノ問題類ニ唱道セラルル社會現下ノ状態ニ徴スレバ寧ロ其ノ出品數少キヲ憾トスベク殊ニ自動販賣器及ビ商品陳列用具等ノ出品皆無ナルガ如キニ至リテハ時代ノ進運ニ伴ハザルモノト云フベク今後當業者ノ奮勵ヲ切望スベキコトナリ出品中

ノ數最モ多キ算盤ハ、島根、東京、大阪ノ二府一縣ノ出品ニシテ此ノ本邦古來ヨリノ事務用具ハ近來其ノ材料ノ選擇、梓組、玉及眞竹ノ工作ニ於テ改良進步ノ點アルヲ認ムレドモ其ノ材料並ニ技巧ノ優秀ヲ誇ラントシテ其ノ結果却テ實用品トシテハ誠ニ高價ニ過グルガ如キ出品物ヲ見ルアルヲ遺憾トス將來ニ於テハ寧ろ黃楊玉等ノ如キ實用向品ヲ其ノ製作ニ當リ一層機械力ノ應用ニヨリテ正確堅牢而モ廉價ニ多量製産シ得ベク研究セララル要アラシ

次ニ出品數多キ謄寫機及ビ其ノ附屬品ハ總テ東京府ノ出品ニシテ近年大ニ發達シ特ニ輪轉謄寫機ニ於テ堀井謄寫機ノ如キ構造製作及作用ノ優良ナルモノアリ其ノ進步ノ跡顯著ナルヲ認ム
タイプライターハ其ノ出品點數僅ニ三ナレドモ中ニ日本タイプライター株式會社ノ邦文タイプライターアリ從來最モ困難トセラレタル邦字ノ機械的印書ヲ殆ド完全ニ遂行シ得ベク本邦事務用具ノ進步發達ニ一新生面ヲ劃シタルモノト云フベシ之ニ反シ歐文タイプライターハ本邦製品トシテ更ニ見ルベキモノナキヲ遺憾トス又計算尺ニハ竹材材料トスル逸見計算尺ノ出品アリ其ノ製作及作用優良ニシテ歐米諸國ニ輸出ヲナシツツアルハ喜ブベシ然レドモ此種用具ノ發達ハ日尙淺キヲ以テ其ノ改良ト普及トハ實ニ刻下緊要ノコトニシテ之レ斯業者ニ一層ノ努力ヲ希望スル所以ナリ

其他現金記錄器、計算器、小切手印字器、現金轉送器、書類整理箱、書見臺等ハ各々其ノ出品少數ニシテ而カモ優秀ナリト見ルベキモノナク只外國製品ニ倣ヒ稍良好ナルモノ又ハ新工夫ヲ凝セルモノ僅カニ二アルヲ見ルニ過ギズ、然レドモ此レ等ノ用具ハ我方國事務處理法ノ改善ニ隨ヒ將來必ズ發達ヲ見ルベキモノナラン

員出品ノ黃ボール製折函ニシテインキ、メリヤス、麴那、菓子、ハンカチーフ、化粧品、帛紗、風呂敷、反物、帽子、シャツ、手袋等ノ包装用ニ供セララルモノ大部分ヲ占メ、多クハ白艶紙ヲ張りタル程度ノ普通品ニシテ製作上ニモ意匠上ニモ特ニ注目スベキ佳點ヲ認メザリキ獨リ東京紙器株式會社ノ出品ハ前記組合員出品ノ如キ手工品ト異リ機械力ノ應用ニ成リタルモノニシテ製品ノ種類多岐多様ナル上ニ製作善ク統一シ且ツ内容商品ノ種類ニ應ジテ其ノ形狀意匠等ニ工夫ヲ凝シタル等推賞ニ値スベシ、其他東京出品中ニ巻取紙レース巻取段ボール等アリ其ノ技術未ダ外國品ニ及バズト雖ドモ之レガ代用品トシテハ十分ニシテ將來機械ノ利用完キヲ得バ輸入防遏ノ效ヲ奏スルニ至ラン、東京府以外ノ出品ニ至リテハ多クハ關貯藏袋、生絲通袋、茶袋、片栗粉袋、砂糖袋、煎子袋等在來普通ノ製品ノミニシテ其特徴トシテ掲ゲベキ事項ナキヲ憾ム

絨上ノ如ク本項ニ屬スル出品ハ頗ル貧弱ナルガ之レヲ以テ斯業ノ全般ヲ代表スルモノニ非ラザルコトハ本會各館ニ陳列セラレタル香水、石鹼、白粉等ノ化粧品、菓子、玩具、手巾、頭髮用品、細貨類等ノ包装ニ使用セラレタル紙函、萬年筆、體溫計等ノ包装ニ使用セラレタル紙製サツク等ガ其ノ製造ノ技術及意匠等ニ於テ歐米製品ニ比シテ敢テ遜色ナキ程度ニ進歩シツツアルニ見テモ明ナリ、但シ之等ノ包装品ト雖ドモ一般ノ傾向ハ徒ラニ外國風ノ模倣ニ走り我邦特殊ノ趣致ヲ應用シタルモノ尠ナキヲ遺憾トス、思フニ包装ト内容品トノ關係ハ最モ密接且重要ニシテ包装ノ巧拙ハ延ヒテ内容品ノ賣行ニ影響スル所甚大ナリ、我邦各地ニ於ケル所謂地方名産品ガ樽、桶、曲物、籠、壺等地方の趣味津々タル包装容器ノ使用ニ依リテ旅客ノ購買心ヲ唆リツツアル實情

今本類ノ出品數及ビ受賞數ヲ府縣別ニ記セバ左ノ如シ

府縣名	出品數	人員數	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計	出品人員 ニ對スル 百分比
東京府	二〇	一三七	二	一	二	五	一〇	五〇・〇
大阪府	二	七	一	一	一	二	一〇	〇〇・〇
神奈川縣	一	三	一	一	一	一	一	〇〇・〇
長野縣	一	一	一	一	一	一	一	〇〇・〇
島根縣	二	二	一	一	一	一	一	二五・〇
北海道廳	一	一	一	一	一	一	一	一
計	四七	一七一	二	二	四	一〇	一八	三八・三

其二 折函、商品包装用品等

主任 審査官 河津 七郎
報告員 同 青木利三郎

凡ソ包装ニハ外部包装ト内部包装トノ二種アリ、前者ハ専ラ貨物運搬ニ必要ナル包装ヲ謂ヒ、後者ハ内容商品ノ保護並ニ裝飾ヲ主タル目的トナス所ノ包装ヲ謂フ、本項ノ折函、商品包装用品等トアルハ即チ後者ノ内部包装用品ヲ例示シタルモノト解スベク、從テ本項ニ屬スベキ物品ノ種類ハ函、梓箱、樽、桶又ハ曲物、罐、籠、壺、袋、糞、包、束、梓箱、卷心、間紙、紙牌、帶紙、填充材料等頗ル廣汎ニ互ルベキ管ナリ、然ルニ今回出品ノ實際ヲ見ルニ當然本項ニ屬スベキモノト認メララルモノモ其ノ材料製法等ノ關係ニ依リ他部若クハ他類ニ於テ審査ヲ受ケタルモノ鮮ナカラザリシト見ヘ本項ニ出品セラレタルモノハ僅ニ紙製品ノ一部ニ止リ出品人員ノ如キ東京府外一府八縣ニ互リテ三十人、其ノ點數ノ如キモ亦百二十七點ヲ算スルニ過ギザリキ
今回ノ出品ヲ通觀スルニ其ノ多數ヲ占メタルハ東京紙函製造同業組合

ニ願ヒテ輸出向商品ノ包装モ亦可成我邦獨特ノ趣向ヲ凝シタル函、樽、桶、曲物、籠、罐、壺、德利等ヲ使用スル事ハ海外顧客ノ包装ニ對スル好奇の需要ヨリ延ヒテ内容品ノ嗜好ニ販路ノ擴張ニ效果アラシムル一方法ナリト信ズ、故ニ當業者ハ内容品ノ腐敗、毀損等ヲ防止スベキ適當ナル包装ニ就テ尙一層ノ科學的研究ヲ進ムルコトハ勿論ナルモ同時ニ裝飾意匠ニ就テモ亦深甚ノ注意ヲ拂ハレンコトヲ望ム

第百六十六類其三 出品並授賞總計

府縣名	出品數	人員數	大賞牌	名譽牌	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計
東京府	一六	九六	一	一	一	一	一	一	七
大阪府	一	一	一	一	一	一	一	一	一
新潟縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一
愛知縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一
山梨縣	三	一〇	一	一	一	一	一	一	二
宮城縣	一	三	一	一	一	一	一	一	一
山形縣	二	四	一	一	一	一	一	一	一
富山縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一
德島縣	二	四	一	一	一	一	一	一	一
愛媛縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一
高知縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	三〇	一二七	一	一	一	一	一	一	一三

第百六十七類 裝身具、携帶品等

其一 裝身具、懷中時計

主任 審査官 安田 祿造
報告員 同 山本正三郎

裝身具ハ貴金屬製品中ノ主要ナルモノニシテ之レガ發達ノ如何ハ文化

ノ程度ト國民ノ富力ヲ計ル適當ナル試驗器タリト云フベシ然シテ其流
行ノ發源地ニシテ且之ニ伴フ製作上ノ發達狀態ノ如何ニ關シテハ東京
ヲ第一トシ今回ノ出品點數ニ於テ將タ實ニ於テモ他府縣ト同日ノ比ニ
非ラザルハ勿論ナリ

近時世界東西ノ文物ハ益々相接近シ急激ナル風潮變遷ト共ニ工藝界ノ
大勢ニ於テモ日一日ト歐米風ハ濃厚トナリ特ニ歐洲大戰爭ノ影響ハ我
邦民一般嗜好ノ變化ヲ惹起シ從テ漸次之レガ發達ヲ促進セルハ云フマ
デモナク大正博覽會ニ比セバ今回ノ出品物ガ其製作上ニ於テ技巧ノ進
展ヲ示シ殊ニ仕上法ニ於テ或ハ寶石嵌人法ニ於テ外國品ニ劣ラザルモ
ノヲ出スニ至レルハ喜ブベキ事ト云フベシ只出品中一部ノモノハ意匠
圖按ニ於テ或ハ地方ノ嗜好ニ投ゼンガ爲メニ止テ得ザル點ナキ能ハズ
ト雖ドモ他ノ發展進步ニ比較シテ稍遜色ノ感ナキ能ハズト謂フベキ
カ

從來ノ我邦裝身具ノ一部ハ贅澤品視セララルノ傾アリシガ歐洲戰爭ノ
影響ハ國民一般ノ富力ト生活程度ノ向上ニ從テ漸次必要品トナリ一時
ニ其需要數ノ激増シタリシガ爲メ從來手工製作ニ重キヲ置キタリシモ
ノモ漸次多數製作ノ必要ヲ來シ自然機械應用製作ノ便ヲ採ルニ至レル
ハ誠ニ喜ブベキ事ニシテ益々進ミテ外國ノ斯界ニ於テハ狀態ニ迄發展
セラレンコトヲ望ム之レト同時ニ裝身具ノ發達ト伴ヒ鋼型製作ノ發達
ノ如何ハ大ナル關係ヲ有スルコトハ勿論ニシテ斯界ノ發展進步ハ一日
モ忽ニスルヲ許サザル譯ナルニ今回出品ノ出品極メテ少キハ遺憾ナリ
ト云フベシ

貝釦各種製品ニ於テハ大阪出品ノ中村儀助ハ英、米國ヲ主トシテ海外
輸出スル事年額壹千萬圓ニシテ斯界輸出者中第一位タリ大西卯三郎、

ケル測定ハ連續シテ之ヲ行ヘリ

盤面ヲ水平ニ上又下向キトシ、又盤面ヲ鉛直ニシ龍頭ノ位置ヲ換フ
ル事

三、都合五ツノ位置

時計ハ毎日九時ニ於テ指示時刻ヲ二分ノ一秒迄讀ミ取り、同時ニ
之ヲ捲キ、又一日中ノ溫度ノ變化ハしつゝ最高最低寒暖計及ビ自
記寒暖計ニテ十分ノ一度迄讀ミ取レリ

氷室及ビ熱室試驗、激衝試驗ハ之ヲ行フヲ得ザリキ。尙適當ナル恒
溫室ノ設備無ク、剩ヘ試驗期間ノ五月ニ互リシヲ以テ、終始ニ於ケ
ル溫度ノ差七度ニ互リタレドモ、尙各位置ニ於テ溫度ノ差二度ヲ
超ユルモノ殆ンド無カリキ

上記ノ測定試驗ヨリ、各時計各位置ニ於ケル平均日差、平均日差ト
各日差トノ差ヲ算出セリ

ホ、試驗結果ヲ綜合スルニ、服部時計店出品中 Excellent, Empire 良好
ナレド、Laurel ハ成績面白カラズ、又服部時計店及ビ山崎龜吉出品
ノ何レモ遠ニ前記外國製ノモノニ及バズシテ、時ニ日差三分ニ互レ
ルモノアリキ。更ニ同種類ノモノト雖モ製品ニ依リテ誤差ノ甚ダシ
ク隔タルモノアリ

今測定結果ノ中ヨリ一例ヲ取ランニ、盤面ヲ鉛直ニシ、且ツ龍頭ヲ
上ニシタル場合ニ、平均溫度十八度半、最高最低溫度ノ差一度半ニ
於テ、次ノ如シ

時	計	平均日差	平均日差ト各日 差トノ最大差
服部時計店出品中ノ或モノ	六二秒遅ル	一六秒	一六秒
六二秒遅ル	六秒遅ル	六秒	六秒

橋本國良ノ二人ハ模造眞珠ノ製造法ヲ發明シ苦心經營ノ結果立派ナル
今日ノ製品ヲ見ルニ至レルハ喜數事ナリ長崎縣出品藤井義一郎製造ノ
貝釦各種及神奈川縣出品金子助次ノ貝彫刻品各種ハ其製品ノ優秀ナル
モノタルコトヲ認ム

一、懷中時計進度ノ誤差測定試驗

イ、試驗ノ爲ニ提供セシメタル時計ノ名稱、箇數及ビ製造所地名左
如シ

時計名	箇數
Excellent	一
Empire	三
Right	一
Zelkosta	一
Great Empire	一
Laurel (女持小形)	二
右製造地 服部時計店工場東京本所區柳島精工會社	三
Citizen	三
右製造地 山崎龜吉工場東京本所區富士前町四四番地尙工會 社、比較試驗ノ爲ニ用ヒタル懷中時計ハ、Martin 及ビ Waltham 會社 製ノモノ各々一箇トス	

ハ、試驗ノ際ニ標準トシテ用ヒタルモノハ、Martin 會社製クろのめ
とるニシテ、其ノ誤差ヲ精測シタル檢定ノ表ニ依リ、東京淺草區藏前
片町東京高等工業學校物理學教室ニ於テ審査官竹内時男此ガ試驗ニ
當レリ。測定ニハ "Eye and Ear Method" ヲ用ヒタリ

ニ、試驗ハ次ニ示ス各位置ニ於テ各々三日ニ互リ、且ツ全位置ニ於

山崎龜吉出品中ノ或モノ

四八秒進ム

一四秒

外國製ノ或モノ

四秒遅ル

六秒

二、懷中時計製造景況ノ考察

イ、服部時計店

同店ノ工場尙工舎ニアリテハ明治二十九年ヨリ懷中時計製造ニ着手
シ、大正十年ニハ箇數三二一七六二、價格參五參九參八貳圓ヲ全部
自己工場ニテ製造シ、内地ニ販賣スルト共ニ海外ニモ輸出シ、製造
景況ニ於テ世界的ト稱スルヲ得可シ、然レドモ技術ノ上ニ於テ
ハ外國ニ數等劣ルモノアルノミナラズ研究ノ態度ノ殆ンド認メ得難
キハ最モ遺憾トスル處ナリ。斯カル大工場ニ於テ一人ノ理學的素養
アルモノ無キハ怪シムニ堪ヘタリ、更ニ職工使用ノ狀況モ最近ノ組
織ヨリ遠ザカレルヲ見ルニ及ンデ、其ノ猛省ヲ促サザルヲ得ズ

ロ、山崎龜吉

同人ノ工場尙工舎ニアリテハ、一箇年ノ製造額三二〇〇〇箇、四〇
〇〇〇圓ニシテ、勿論精工舎ノ其ニ匹敵ス可クモアラズ、然モ創
業大正七年三月ニシテ日尙淺キニ關セズ、ヨク時勢ヲ洞察シ、技術
上研究ニ努メツツアル邦家ノ爲感謝セザルヲ得ザルナリ、材料品質
ニ就テ一言センニ、此ハ凡ベテ最モ精選シタル特殊金屬ヲ用ヒ、
就中平衡輪ハ「特殊ニツケル鋼」ヲ用ヒ、溫度變化ニ依ル誤差ヲ防ギ
タル事ナリ、製造方法ハ凡ベテ交替的方式 (Interchangeable System)
ニシテ、百分ノ一耗ヲ規格ノ單位トシタルガ故ニ、機械ノ精密ニシ
テ交替ノ自由ナル事ハ、需給者共ニ多大ノ便益ヲ得可シ。將來ノ飛
躍期シテ待つ可キナリ

三、製造業者ニ望ム

兩製造所共ニ追度試験ニ於テ缺如セルモノアリ。所謂許容日差ト實測日差トノ間ニ隔絶セルモノアリ。恆温装置並ビニ寒熱試験装置ヲ有シ居ラズ。抑モ時計ハ基本量ノ一タル時間ヲ測ルモノナルガ故ニ、尺度、衡、寒暖計等ノ如ク、精密ナラン事ヲ欲シテ止マザルナリ

其二 櫛類

主任 審査官 島田佳矣
報告員 同 片岡長信

本項ノ種類ハ主トシテ婦人用品ニシテ櫛、簪、根掛、巻止、鬘形、鬘、元結等ナリ其ノ出品區域ハ臺灣總督府、青島民政署外二府十五縣ニ涉リ出品人員二百五人出品點數一千七百四十點トス之レガ審査ノ結果金牌四銀牌九銅牌二四套狀四合計八十二箇擬賞セリ而シテ櫛簪等ニハ龍甲、爪角、介石、金屬、セルロイド、木竹製等種々雜様ニシテ一々詳評ヲ下スコト能ハズト雖概シテ一様ニ技巧ノ進歩意匠ノ見ルベキモノ若クハ原料應用ノ當ヲ得タルモノアリ大正博ニ比スレバ優良ナルノ觀アリ然レドモ其多數品ハ本甲製象嵌又ハ蒔繪ヲ施シタル櫛簪ビシ及貴金屬製寶石入等ノ簪翡翠珊瑚等ノ根掛ニシテ而カモ此出品ハ東京ヲ主トシ需用先キハ貴顯紳商ノ令夫人令嬢連ノ多キ都會ヲ相手ニスルガ故ニ自ラ貴重ナル材料ヲ惜氣モナク之ヲ使用シ價モ亦安價ノモノハ賣行カズトノ見地ヨリ特ニ高直ナル價格附セシガ如キ觀アルハ蓋戰時中ノ夢尙未醒メザルニヨルカ今一步經濟的觀念ヲ製作ノ上ニ拂ヒ價格ヲ緊張シ漠然ト贅澤品ナルガ故ニ價貴シトカ又ハ貴クセネバ賣レヌトカ云フ觀念ハ疾ク腦裏ヨリ去ルコトヲ希望ス

阪ヲ主トス而シテ東京ノ出品ハ生地ノ選擇稍々當ヲ得タルモノナキニ非ザレドモ其加飾ガ甚ダ濃厚ニ過ギ俗臭紛々タリ而カモ意匠拙劣價額不廉ナルモノアリ將來意匠ノ應用擬寶石類ノ嵌入ノ程度等ヲ研究シ能ク工業的ニ製出センコトヲ望ム大阪ノ出品ハ輸出トシテ最佳良ナリ擬甲製品ニハ精巧見ルベキモノアレドモ若シ之レガ製造工程ニ一段ノ工夫研究ヲナシ相當ノ廉價ニ多量ノ製造ヲナシ以テ本甲ノ代用ニ供スルコトヲ得バ一段ノ裨益アルベシ

木櫛類ハ東京製品ハ優良ニシテ隱然江戸氣分ノ漂フハ喜ブベシ、其他長野縣出品モ少ナカラザルモ多ク地方的販賣ニ限ラレシ以上改良ノ餘地ナキガ如シト雖尙地方婦女ハ木櫛ノ粗野ニ甘ンズルモノトセバ製產地タルモノノ機械等ノ應用ヲ企テ製産ノ能率ヲ向上シ産額ヲ増進シテ從來以上ノ販路ヲ擴張スルコト亦必要ナラン尤モ如斯ハ製産者ノ勇氣ニ俟ツコト當然ナリ

玉石製ノ櫛ハ時代ニ適應スルモノナルヤ聊疑問ナリ根掛巻止鬘形類ハ廣島千葉最多ク東京ニ少量ヲ認メタリ整毛ハ稍佳良ナルモノアリト雖ヨリ以上改良ノ餘地ナク結髮ノ變化ニ伴ヒ多少ノ變遷ハ免カレザルベシ

元結ハ長野、愛媛、兩縣最多ク東京府之ニ亞グ前者ノ如キハ本品ノ特產地ナルガ如シ若斯種ノ物品ガ頭髮ニノミ使用セラルルモノトセバ或ハ結髮ノ變遷ニヨリ其需要ハ自ラ制限セラルルニ至ランカ大體現狀維持ヲ以テ得策トセン

要スルニ本項出品ノ大部分ヲ占メタルモノハ櫛簪等類ニシテ貴金屬寶石類ヲ應用シ精巧緻密ノ技術ヲ施シ嬌奢ヲ誇レルモノハ東京ノ出品ニシテ粗野質朴ナルハ地方ノ出品ナリ嬌奢必シモ惡シキニアラズ粗野モ

亦愛スベキナリ然レドモ今回ノ出品中ニハ經濟的觀念ヲ没却シテ徒ラニ高貴ヲ誇ラントスルガ如キ或ハ婦女女子ノ弱點ニ附入ラントスルガ如キ氣分ノ仄見ユルモノアルハ慨嘆ニ堪ヘザル處ニテ殊ニ一個ノ簪類ガ千金以上トハ寶石入ニテ價値アルモノトスルモ之レガ現代婦女女子界ノ頭飾品トシテ要求スル適當ナル價値ナリヤ否ヤ若高貴ヲ誇リ或ハ博覽會專門ノ意ニ於テ出品セラレタルモノトセバ開ハ大ナル誤ナラン平和克復後ハ一般經濟界ニ變動ヲ來シ國民平和ノ安定ヲ得ントシテ節約ニ物價引下ゲニ暴利取締ニ或ハ何或ハ何ト種々警告ノ聲ヲ聞ク蓋平和博覽會ノ根本主旨モ亦此ニ在リシカ

元來此種工業的精神ヲ有セザル製品ヲ製作工業ノ部ニ入ルルハ抑モ誤リニテ斯カル贅澤品及手工的工藝品ノ如キハ別ニ部ヲ設クルニ於テハ出品者モ亦便宜ナリトス將來出品部類ヲ定ムル際其ノ邊十分ノ考慮ヲ盡サレシコトヲ當局ニ切望ス左ニ授賞表ヲ掲ゲテ參考ニ供セン

第六十七類 (其二) 出品及授賞表

府縣名	出品名	名譽大賞	名譽金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計	出品人員
		數	數	數	數	數	對スル百分比	
東京府	金	一	三	六	二	九	三	四・五九
京都府	銀	一	一	一	一	一	二	五・〇〇
大阪府	銅	一	一	一	一	一	八	四・七〇
神奈川縣	一	一	一	一	一	一	一	一
長崎縣	一	一	一	一	一	一	一	一
埼玉縣	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇・〇
千葉縣	一	一	一	一	一	一	一	一
愛知縣	一	一	一	一	一	一	一	七・五〇
山梨縣	一	一	一	一	一	一	一	一
長野縣	一	一	一	一	一	一	一	一
山形縣	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇・〇

其二 煙草入、煙管、信玄袋等

主任 審査官 長谷川 綱之允
報告員 同 青木利三郎

府縣名	出品名	名譽大賞	名譽金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計	出品人員
		數	數	數	數	數	對スル百分比	
秋田縣	一	一	一	一	一	一	一	一
島根縣	一	一	一	一	一	一	一	一
廣島縣	一	一	一	一	一	一	一	一
山口縣	一	一	一	一	一	一	一	一
愛媛縣	一	一	一	一	一	一	一	一
高知縣	一	一	一	一	一	一	一	一
大分縣	一	一	一	一	一	一	一	一
臺灣總督府	一	一	一	一	一	一	一	一
青島民政署	一	一	一	一	一	一	一	一
計		一	一	一	一	一	一	一

本項ニ屬スル出品ハ東京外二府十一縣ト銀鮮臺灣樺太等ノ新領土ヲ併セテ人員九十三、點數九百四十一ナリ

出品ノ叢物ニハ我邦在來ノ樣式ニ依リタルモノト西洋ノ樣式ニ依リタルモノトノ二種アリ、前者ハ概ネ舊套ヲ追フテ新味ノ掬スベキモノ少ナク殊ニ出品中多數ヲ占メタル和服持煙草入ノ中ニハ名工ノ手ニ成ル附屬金具若クハ稀有ノ材料ヲ集メテ單ニ之レヲ組立テタリトイフニ止マリ此間何等意匠ノ統一ナク而カモ價千金ヲ呼ブモノアリ、是等ハ畢竟董品ト選ム所ナシ、思フニ煙草入トシテ上乘ナルモノハ布帛若クハ皮革、筒、根付、緒締、前金具等各異リタル素質ト特長トヲ有スル材料ヲ取集メ之レヲ渾然融シテ特殊ノ綜合美ヲ形成スルニアリ、今尙好事者ニ保存サルル江戸時代ノ名品ト稱スルモノヲ見ルニ「恰好」「手

「ざはり」取り合はせ」等言フベカラザル妙趣ヲ備ヘ所謂綜合的工藝ノ要諦ヲ發揮シテ嘆賞ヲ禁ズル能ハザルモノアリ、然ルニ今回ノ出品中ニハ前述ノ如ク是等ノ條件ト用意トヲ無視シタルガ如キモノ鮮ナカラザルヲ見受ケタルガ、風俗ノ變遷、好尚ノ推移等諸般ノ事情ニ鑑ミレバ既ニ發達ノ頂點ヲ越ヘ頽勢ニ傾キツツアル本品ニ對シ諸種ノ希望ヲ強ユルハ無用ノ業ナルベシ、但シ以上ハ簡差、合下ケ中ノ贅澤品ニ屬スル部類ニ對スル批評ニシテ右二種類ノ中ニテモ實用向ノモノ及懷中持ト稱スルモノニハ配合、仕立方等無難ノモノモ鮮ナカラザリシハ勿論ナリ、其他紙入、信玄袋等ノ出品モ多數ニ上リタルガ特ニ著シク目新ラシキモノヲ見ザリキ、後者ノ洋風襪物ハ巻煙草入、名刺入、紙幣入、裏口等ノ各種類ニ互リ形狀、仕立方等頗ル進歩シ當ニ舶來品ニ遜ラザルノミナラズ在來ノ純洋式ノ模造ヨリ蠲脫シテ其ノ意匠ニ日本風ヲ加味シタル等却リテ彼レニ優レルモノアリ、就中オベラバツク其他ノ提袋等ニハ形狀及意匠ニ於テ新規ノ考案ヲ凝シタルモノ少ナカラザリシハ喜ブベシ

外國製襪物ノ輸入ハ從來屢々試ミラレタル所ナルモ、何時モ成功ヲ見ズシテ終レリ、是レ蓋シ我邦ニ於ケル技術ノ進歩ガ外國ニ比シ遜色ナキヲ立證スルモノナリ、我製品ノ輸出ハ明治二十七八年戰役後ノコトニシテ最近ニ於テハ支那、南洋、印度方面ニ對シ貨幣入ノ輸出盛シナリ、是等ハ價格ノ低廉ナル粗製品ニシテ我邦ノ進歩シタル斯業ヲ代表シタルモノニ非ザルハ勿論、却リテ我製品ノ聲價ヲ失墜セシムル因トナルベキ場合モナキニ非ズ、將來ハ優良品ノ輸出ニ對シテ全力ヲ注ガレンコトヲ此際特ニ當業者ニ希望シテ已マザル所ナリ。最近三箇年ニ於ケル貨幣入ノ輸出ハ左ノ如シ

山梨縣	九	四一	一	一	一	三
福島縣	四	四八	一	一	一	二
巖手縣	一	一一	一	一	一	二
秋田縣	一九	八四	一	一	一	四
富山縣	三	五	一	一	一	一
山口縣	一	一	一	一	一	一
德島縣	一	一	一	一	一	一
高知縣	二	五	一	一	一	一
佐賀縣	二	一〇	一	一	一	一
計	九三	九四一	六	三一	三七	一

其四 手鏡、石鹼入等

主任 近藤榮助
報告員 長谷川銚之允

手鏡ハ其出品區域東京及大阪ニ限ラレ輸出向ノモノ多シ其鏡面ハ非難スベキ點ナシト雖硝子板ハ概ネ舶來品ヲ使用セリ其枠ハ金屬製及セルロイド製ノ二種アリ金屬製ハ形態單調ニシテ加工及鍍金仕上十分ナラズセルロイド製ハ近來ノ發達ニシテ懷中用ノ如キハ其形狀及模様ニ於テ變化ト趣味ニ富ミ中ニハ我邦ノ特技タル蒔繪ノ應用ヲ試ムル等大ニ圖案上ニ於ケル努力ヲ認ムベシ

我邦鏡ノ輸出狀勢ハ左ノ如クニシテ手鏡類其多キヲ占メ輸出品中重要ノ地位ニアラテ以テ須ラク海外ノ需要ニ對スル調査ヲ怠ルコトナク其嗜好ニ適應シテ益々其發展ヲ期スベキナリ

大正五年 九六三、二二三^四
大正六年 一、六三五、一四五
大正七年 一、三三三、四三九

大正八年 五三二、一三五^四
同 九年 四五四、五八七
同 十年 一六三、七一九

煙草ノ出品ハ東京製品ノ他ニ優リテ巧妙ナルハ言フ俟タザレドモ新潟、秋田、福島等ノ諸縣ヨリ出品セラレタルモノニモ佳良ノモノ少ナカラズ、元來煙管ノ地金ハ眞鍮ニ限ラレタルモノナルガ明治維新後時勢ノ變遷ニ連レ貴金屬物ヲ使用スルコト盛ントナリ、其ノ圖樣モ往時ノ如ク鞆形、龜甲、花菱等ノ刻模様ヲ施スガ如キ簡單ナルモノハ廢シ、各種ノ彫刻ヲ施シタルモノ喜バルルニ至レリ、今回出品中ニモ名家ノ彫刻ニ成ルモノハ其價數百圓ニ上ルモノアリキ、舊時刀劍小道具ニ豪奢ヲ競ヒタル遺習ヲ今煙管其他ノ携帶品ニ於テ復興シタルガ如キ觀ナキニアラズ、煙管ノ製作上技工ヲ要スルハ火皿、首ノ附根、吸口ノ三點ナルガ、殊ニ火皿ト胴ノ長トヲ定ムルコトハ最モ技術ヲ要スル點ナリト謂フ、出品中ニハ全體ノ形ニ重キヲ置キタル結果、此ノ要點ヲ閉却シタルモノ一三三ヲ見受ケタリ、今後尙一層ノ研究ヲ望マザルヲ得ズ

第六十七類 (其三) 出品並授賞總計

地名	出品人員	出品數	金	銀	銅	牌	褒狀	計
朝鮮總督府	二	一〇	一	一	一	一	一	一
臺灣總督府	一	一	一	一	一	一	一	一
樺太廳	一	三	一	一	一	一	一	一
東京府	二七	五六六	一	一	一	一	一	一
京都府	八	五三	一	一	一	一	一	一
大阪府	四	五八	一	一	一	一	一	一
神奈川縣	一	五	一	一	一	一	一	一
新潟縣	八	三九	一	一	一	一	一	一

大正八年 二、一四八、四六六
大正九年 一、一三一、九〇四
大正十年 一、四一〇、八四九

石鹼入類ニ於テハ金屬製ノモノ最多ク就中東京市井上小四郎ノ出品ハ支那、印度、南洋方面ニ輸出スルコト夥カラズ其創業ハ明治二十年ニシテ當時ハ我ニ輸入ヲ仰ギシモノ今ヤ却テ之ヲ輸出スルノ盛況ニアリ出品物ハ其種類及形態共ニ頗ル變化ニ富ミ其工作概ネ佳良ナリ唯其鍍金ニ於テ不純分ノ混入セル傾アリ使用後水分ヲ十分拭去スルニアラザレバ往々鹽基性酸化物ヲ形成スル虞アリ尙一層ノ改善ヲ望ム

第六十七類ノ四 出品並授賞總計

府縣	出品人員	出品數	大賞牌	名譽	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計
東京府	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大阪府	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	一六	二二九	一	一	一	一	一	一	一

其五 帽子類

主任 審查官 米田英夫
報告員 野口寅之助

本類ノ出品ハ東京府、大阪府、神奈川縣、埼玉縣、靜岡縣、沖繩縣、及臺灣總督府等ヨリノ出品ニシテ人員六十九名點數四百三點ナリトス本類ノ出品ヲ批評セントセバ次ノ三種ニ分類スルヲ便ナリトス、即チ「フェルト」帽子、編組帽子及ビ縫工帽子之ナリ

一、「フェルト」帽子 此ノ種ニ屬スルモノハ「ウール」及ビ「ファー」又ハ其ノ混合原料ヲ使用シ「フェルト」化シテ製帽シタルモノニシ

テ中山帽子及ビ中折帽子等ナリトス、此等ノ出品ヲ通覽スルニ近時其ノ製作技術ニ於テ進歩ノ蹟顯著ナルハ喜ブベキコトナリトス、此ノ種ニ屬スルモノ中「フアー」製ノ中山帽子及中折帽子ノ少數ノ外國製品ノ輸入ヲ見ルノミニシテ「ウール」製帽子ノ輸入ハ全ク防過セラレタルガ如シ、然レドモ「フェルト」製ノ多クノモノハナホ其ノ加工方法ニ宜シキヲ得ザルカ其ノ形狀崩壊スルモノ尠ナカラズシテ耐久性ニ乏シキモノアルヲ遺憾トス

又中山帽子ハ其ノ形狀、彈性度、仕上方法其ノ他ニ缺クル所少ナカラザルガ如シ當業者一層ノ研鑽ヲ要スル所ナカルベカラズ又一般ニ淡色染帽子ハ褪色スルモノアルヲ見ルハ遺憾トス宜シク其ノ使用染料ノ選擇ニツキ一考ヲ煩ハサザルベカラズ、尙小供帽子ニ於テ黒點ヲ殘存スルモノヲ見ルハ其ノ炭化工程施行ニ於テ注意ノ不十分ヨリシテ現ハルベキモノニシテ一層ノ努力ヲ要スベキモノトス

二、編組帽子 此ノ種ニ屬スルモノハ麥稈帽子、林投帽子、「タスカン」帽子、「バルム」帽子「バナマ」帽子、摺紙帽子、大甲（葦草）帽子、經木、帽子及ビ毛絨兒童帽子等ナリ、此等ノ出品ヲ通覽スルニ其ノ製作技術ノ進境ヲ示スモノ多ク其ノ形狀ノ變化、編方組方縫法及仕上方法等ニ於テ見ルベキモノ少ナカラザルハ嬉ブベシ而シテ摺紙製「バナマ」帽子ノ如キハ其ノ進歩著シク其ノ外觀美ニシテ且低廉ナルヲ以テ其ノ普及ヲ擴大シタル結果其ノ反動トシテ却テ不潔白ノ大甲帽子ノ流行ヲ見ルニ至レリ是レ流行心理ノ機微ノ致ス所ニシテ蓋シ一奇現象タルヲ免レズ、此ノ種ニ屬スルモノノ中本「バナマ」帽子ノ極少數ノ輸入アルノミニシテ海外ニ輸出セラルルモノ多數ナルハ意ヲ強フスルニ足ルモノアリ然レドモ麥稈眞田ノ漂白ハ英國及

沿革ハ本邦ニ於テ優良ナルモノノ製産無キハ遺憾トスル所ナリ帽子裏素地モ内地製品ニテ間ニ合フモ品質佳良ナラザルヲ以テ一般ニ使用セザルガ如シ當業者ノ一考ヲ煩ハサザルベカラズ

其六 下駄 靴類

主任 審査官 河津 七郎
報告員 同 津田 信良
同 宇野 三郎

本類ニ屬スル下駄ハ男女ノ別ナク又土地ノ差別ナク本邦人が用ユルモノナル處ヨリ其出品頗ル多數ヲ極ム即チ人員ニ於テ八百五十七人點數ニ於テ一千九百六十四點ノ多キニ達シタルハ當然ノ事ナリト雖ドモ亦盛ナリト云フベシ中ニモ東京府ノ四百四十六名一千〇五十六點山形縣ノ五十九名一百二十七點三重縣ノ五十一名五十二點等ハ其ノ主ナルモノナリトス只大阪府四名三十九點ノ少數ニ止リタルハ物足ラヌ感ヲ抱カシメタリ又本類ノ性質上其ノ規模ノ特別ニ大ナルモノナク其製作ノ特別ニ新ラシキ工夫アルモノナキモ一般ヨリ見レバ材料ノ選擇仕上ゲ技術等愈々精巧ヲ極メ又地方製品ノ著シク進歩シ來リタルコトハ喜バシキコトナリ特ニ極端ニ細カリシ鼻緒ノ近來稍々太クナリシコト鼻表製品ノ一段ノ進歩ヲ來シタルコト空氣草履ニ代リテフエルト裏草履ノ流行シ來リタルコト塗下駄ノ發達セルコト等ハ大ニ注目ニ値スル事柄ナリトス

一時ノ流行トシテ鼻緒ヲ細クシ臺ヲ低クシ所謂意氣ガラントスル風極端ニ達セシガタメ一度踏返ヘセバ其緒ハ忽チ切斷シ其臺ハ二ツトナル等ノコトアリ又常ニ足袋ヲ傷メル等實際ノ必要ヲ無視シタルノ觀アリシガ近時此風ヲヤメ臺モ相當ノ厚サノモノヲ用ヒ又鼻緒モ稍々太キ方

ビ伊太利等ニ於テ施行セラルルモノニ比較スル時ハ頗ル遜色多ク彼等ニ一籌ヲ輸スハ遺憾トスル所ナリ而シテ麥稈眞田トシテ本邦ヨリ英國ニ送ラレ茲ニ於テ漂白セラレ南米地方其他ニ廻送消費セラルル外本邦ニ逆輸入セラレ製帽用ニ供セラルルガ如キハ本邦工業ノ見地ヨリシテ悔辱セラレタルモノニシテ頗ル愚劣ノ行爲タルヲ失ハズ當業者宜シク其ノ漂白工程ニ就キ更ニ一層ノ努力ヲ盡サザルベカラズナホ仕上材料ノ選擇ヲ慎重ニ仕上工程ニ留意スルニ於テハ理想的境域ニ到達スルハ遠キ將來ニアラザルベシ

三、縫工帽子 此ノ種ニ屬スルモノハ「シルクハット」「シール」製防寒帽子、烏打帽子、船員及學生帽子「ヘルメット」帽子、刺子、中折帽子、薄絨刺中折帽子、羅紗地中折帽子、麻地又ハ絹天製「メリケン」帽子、羽二重又ハ「レース」製兒供帽子、婦人帽子、革製帽子、飛行帽子及褻皮帽子等ナリトス

就中婦人帽子ハ其ノ製作技術長足ノ進歩ヲナシタルハ賞讃ニ値スベシ然レドモ其ノ構造圖案及其ノ材料選擇方法ニ就キテハ之レヲ外國製品ニ比較スルトキハ遜色ナキ能ハズ此等ノ技術ハ比較的最近ノ發達ニカカルモノナレバ隱忍自重其ノ成功ヲ他日ニ期スベシ又學生帽子ハ現今ニ於テ其ノ輸入ヲ全ク防過シ佳良ナルモノヲ製作スルニ至レルハ稱贊スベキコトナリトス其他特ニ稱揚スベキモノ尠キハ遺憾トス
以上三種ニ屬スルモノ以外ニ「セルロイド」製ノ帽子東京府ヨリノ出品三點アリタルモ未成品ト稱スベキモノニシテ一般ノ希望ヲ充タスニハ更ニ一層ノ工夫ヲ要スベキモノトス
ナホ一般製帽材料ニ於テ「リボン」ハ内地製品優良ナルモノ少ナカラズシテ外國品ノ輸入ヲ防過スルニ至レルハ嬉ブベキコトトス然レドモ

ニ向ヒ來リタルコトハ我意ヲ得タルモノナリトス然ルニ此處ニ注意スベキハ桐ノ男子用駒下駄ニ於テアママリニ幅廣キモノアリ歩行上甚ダ面白カラザルモノトス之レ當ニ材料ヲ徒費ニシ價ヲ高クスルノミ即一足百金ヲ價スルガ如シ宜シク實用ト背馳セザルヲ以テ度トスベシ藤表製作ニ於テハ其漂白其施工其仕上共ニ殆ンド申分ナキマデニ發達セリ殊ニ從來藤ヲ裂クニ手工ニヨリシモノヲ近來機械力ニヨルコトヲ始メシハ能力増進上最モ宜シキコトナリトス是迄其縁ノ卷キ方ノ如キ工作ノ拙劣ナル處ヨリ往々藤ノ表皮ヲ傷メタルモノアリシガ今同ノ出品中ニハ此ノ如キモノ一品モナシ又南部表ノ代用品トシテハ棕櫚表、支那竹表皮等、精巧ナル製品多シ棕櫚表ハ價低キモ耐力弱シ然ルニ支那竹皮表ニ至リテハ其體裁ヨリ云フモ一見内地産ノモノトニ匹敵スル程ノモノニシテ其耐力モ亦相當ノモノナリ大ニ實用スベキモノナリト信ズ

鼻緒ノ材料ハ男子用トシテハ皮革ニ及ブモノナク女子用トシテハ各種絹織物アリ「コールテン」本天、絹天等其地質ニ於テモ亦染色術ニ於テモ進歩ヲ認ム中ニモ友禪模様ナド精巧ナルモノアリ又裁縫ニ總テミシナテ使用スルニ至リタルコトハ喜バシキ事柄ナリ
爪掛ハ其材料皮革及ビ切地共ニ發達シ大ニ見ルベキモノアリ只中ニ裁縫ノ拙劣ナルモノアリ注意ヲ要ス男子用女子用共ニ切地ニゴム其ノ他ノ耐水塗料ヲ塗リタルモノヲ表面ニ使用シ下面鼻皮ニハ丈夫ナル皮ヲ用キタルモノヲ最モ實用的ト認ム

從來下駄ハ其ノ技術ノ精巧原料ノ優良ナルコト意匠ノ上品ナル點ニ於テ東京品ニ匹敵スルモノナシ殊ニ女子用塗下駄ノ如キ東京品ヲ以テ獨特ノモノトス然ルニ漸次地方品モ東京品ニ接近シ來リタルハ喜バシキコトナリ只注意スベキハ桐材料ノ缺乏ヲ來シツツアル今日學生用又ハ

家庭用トシテ松、山桐等ノ雜木ヲ利用スルコトノ工夫ヲモ意ルベカラズ此點ニツキテハ却テ地方ノ製品ニ之ヲ見受タルモノナリ德島縣、廣島縣ノ雜木製品靜岡縣ノ電氣燒下駄、千葉縣ノ山桐等其ノ主ナルモノトス其ノ他地方製品トシテ三重縣、山梨縣ノ麻裏草履愛知縣ノ絹天鼻緒富山縣ノ簾表、及ビ靜岡縣、福岡縣ノ塗下駄等ハ大ニ見ルベキモノナリ此外山口縣ヨリノ出品中ニ新案ノモノアリ表材ニ切地其ノ他ノモノヲ用ヒ之ヲベニヤ薄板ニ張り特殊ノ織物ヲ以テ臺ニ取付クルモノニシテ表取替ヘ自在且ツ釘ヲ用ヒズ至極便利ナルモノノ如シ蓋シ實用品トシテ適當ナルヤ否ヤハ尙研究ノ餘地ヲ存スルモノナリ此ノ外朝鮮ノ「スリッパ」臺灣ノ簾表等ハ廉價ニシテ實用的ノモノナリトス

製靴ハ出品ハ出品者五十二名點數三百六十七ノ多キヲ算スト雖主催地ノ關係上東京市ニ於ケル主要ナル製造業者ノ出品其ノ大部ヲ占メ人員ニ於テ二十六點數ニ於テ二百九十九ニ達シ地方同業者ノ出品點數僅小ナリシハ甚ダ遺憾トスル所ナリ而シテ其ノ種類ニ至リテハ、キツト、ロータス、ボックス製編上又ハ短靴ヲ主トシ護謨底及護謨製靴、野球並各種ノ運動用靴乘馬用長靴白羽二重製婦人靴、白帆布護謨靴スリッパ、防水用靴及底金等ヲ含メリ

元來靴ハ着裝品中甚ダ重要ナルモノノ一ニ屬スルモ我國ニアリテハ之ガ發達ノ歴史未ダ新ラシク今日猶全國民ノ日常必需品タルノ域ニ達セザル狀態ニアルヲ以テ本邦ノ製靴術及製靴工業ヲ歐美諸先進國ノ夫ニ比スレバ工業經營ノ組織狀態及技術並ニ一般國民ノ靴ニ對スル知識慾ニ於テ甚シキ相違アルハ已ムテ得ザルコトナリ然ルニ今回ノ出品全體ヲ通觀セバ普通常用ノ編上及短靴ハ勿論婦人用及運動用靴等確ニ顯著

一、木型及底附製ノ如キハ各専門的ニ之ヲ分業トナシ其ノ適否ノ研究及流行型等ノ製造ヲナシ廣ク當業者間ニ安價ニ且迅速ニ供給スルノ道ヲ講ズルモ時代ノ要求ナルベシ

二、本邦ニ於テハ從來手工製靴法ヲ以テ特長トシタルモ時代ノ趨勢ト科學ノ要求トハ決シテ長ク此ノ方式ヲ許サザルニ至ルベクサレバ一般ニ之ヲ機械製靴法ニ移シ其ノ作業能率ノ増進ヲ圖ルト共ニ完全ナル製作ヲ行ヒ廣ク且廉價ニ之ヲ供給シ延イテハ主要機械ヲシテ陸海軍其ノ他諸官衙トモ共通シ國家有事ノ場合ニ相呼應スルヤウ努ムルコト肝要ナリトス

三、近來著シク發展セル護謨靴ノ如キハ水濕ヲ防止スルニ可ナリト雖衛生上ノ要求ヨリセバ最モ不可ナリトス然ルニ其ノ意味ヲ解セズ需用ノ著シク擴大シツツアルハ注意スベキコトトス猶護謨製品ニツキテハ形狀縫方及保護上ニ關シ大ニ考究スベキ點多キモノト認メタリ

四、製革ト製靴術トハ相離ルベカラザル關係ヲ有スルハ明ラカナリ然ルニ出品中往々外國製皮革ヲ使用シテ品位及價格ヲ高メントスル傾向アルガ如キハ斯道獎勵上亦國家經濟上決シテ賞スベキモノニアラズ此等ハ相互ノ關係連絡ヲ圖リ共同ノ研鑽ヲ積ミ成ルベク國産品使

用ノ途ニ出ヅルヤウ心懸クベキコト最モ肝要ナリトス
六、製靴ノ根本タルベキ木型ニ就テノ研究未ダ十分ナラズ特ニ今回ノ出品ノ影ヲ見ザリシハ製靴術獎勵上最モ遺憾トスル所ナリ將來當業者間ニアリテモ骨格生理學上ノ知識ト共ニ木型ニ就キテハ専門的ニ研究ノ歩ヲ進メラルコト必要ナルベシ
尙出品ノ全般ヲ通ジテ吾人ノ切望セントスル事項ハ甲部ト底部トガ其ノ形狀ニ於テ甚シク鈎合ヲ異ニシタルモノアルガ如キ一例ヲ示セバ高

ナル進步發達ノ跡ヲ認メタリ今茲ニ概括的批判ヲナサンカ

第一、本邦人ノ長所トスル手工ノ妙技ヲシテ遺憾ナク發揮セシメタルコト就中其ノ形狀構造ガ從來ニ比シ著シク改善セラレタルコト

第二、小供靴ノ如キハ特ニ實用ト生理上トノ要求ニ基キ其ノ職能ヲ徹底セシムルノ機運ニ向ヒタルコト

第三、本邦手縫製靴法ト其ノ製式トヲ同一順序ニ行フ外縫式(Walk Sewing)ノ堅實ナル機械製靴ノ發達ヲ來サントスルコト即チ東京櫻組及日本製靴ノ二大株式會社ヨリノ機械製出品ガ著シク優秀ニシテ且同會社ノ營業狀態益々發展ノ域ニ進ミツツアルコト

第四、水濕防止ノ用途ヲ主トスル護謨靴ガ其ノ用途ノ如何ニ拘ラズ尙ホ山間僻地ニ至ルマデ靴宣傳ノ先驅トシテ需要ノ途ヲ擴張シツツアルコト

其他登山用運動用靴等ノ實用的研究ニ向ツテ漸次歩ヲ進メツツアルハ新業ノ前途ニ對シ實ニ賀スベキ好現象ナリト謂フベシ

然ルニ現在科學ノ要求ニ對シテハ今尙ホ一層ノ努力奮勵ヲ要スベキモノアリトス即チ之ヲ研究ノ方面ヨリ見ルトキハ靴ノ根本ハ足ノ保護ニアリ外觀ノ美及其ノ保存ノ方法ヲモ併セ講ズルコト亦必要ノ條件タルベキモ天賦ノ歩行能率ヲ發揮セシメ更ニ足ノ形狀構造ニ依リテ活動力ヲ増進セシメ或ハ全身ノ姿勢ヲ矯正シ得ル等ノ效ナクンバ其ノ目的ヲ達シタリト謂フベカラズ尙ホ之ヲ需用方面ヨリ觀察スルトキハ

一、靴ノ號文數制度ヲ徹底の定メテ陸海軍諸官衙及民間等其孰レヲ問ハズ崎形足ナラザル限リハ別ニ寸度ノ測定ヲ行ハズシテ自由ニ便利ニ各地各店ニ於テ何時ニテモ需要供給ヲナシ得ルマデニ至ラザレバ未ダ眞ニ其目的ヲ達シタリト謂フベカラズ

キ踵ニ對シテ割リ出シタル製甲ヲ以テ低キ踵ノ靴ニ張り込ミ甚多ク斜ノ度合ヲ失シタル如キモノアリ元來甲部ノ形態ハ踵ノ高サニ應ジテ其ノ度合ヲ有スベキモノナルニ斯ノ如キハ畢竟製靴術ノ根本義ヲ解セザル缺點ナルベシ其ノ他鉤絡ノ靴ニシテ通孔ヨリ約二倍大ノ鉤ヲ裝着シテ全ク意義ヲ没却シタルモノ或ハ不踏部底幅ガ踵座ヨリ過大ナルモノアリ又強テ好奇心ニ訴ヘントスルガ如キ形態ノモノ或ハ材料ノ配合適當ナラザルモノ等アリ却テ靴ノ眞價ヲ損ジタルガ如キハ將來大ニ留意スベキコトトス

要スルニ本邦ニ於ケル製靴工業ノ前途ハ猶益々多端ニシテ近時需要數著シク増加シ廣ク海外ニ輸出スベキ機運ニ向ヒツツアルヲ以テ製革工業ト相俟ツテ營業組織及技工ノ改良工夫並ニ其ノ價格等ニ對シ今一段ノ努力ヲ要セザルベカラズト思惟ス猶今回ノ出品ヲ審査スルニ當リテハ大要次ノ標準項目ニ據リ評定シタリ

第一、形狀及構造上ノ適否
第二、製作技術上ノ巧拙
第三、發展ノ見込ミ(事業經營上ノ組織及其抱負並販路ノ狀況等)
第四、用途ニ對スル適否
第五、價格ノ適否

其七 洋傘、杖、傘骨、柄等

主任 審査官 青木利三郎
報告員 同 葦原秀國

洋傘、杖、傘骨、柄等ノ出品ハ東京府第一トシ京都大阪ノ二府神奈川、愛知、靜岡、山梨、滋賀、宮城、秋田、福井、富山、島根、和歌山ノ十一縣外

臺灣青島樺太等ニ互リテ出品人員八十三、其點數三百四十二ニ及ベリ
 我邦ニ於ケル洋傘及附屬品ノ製造ハ東京及大阪ノ二府ヲ主トス、名
 古屋、横濱、神戸等ニ於ケル生産ハ多クハ其部分品ヲ前記ニ市ヨリ移入
 シ單ニ組立ヲ爲スニ過ギス農商務省ノ調査ニ依リ東京大阪二府ニ於ケ
 ル斯業ノ狀況ヲ見ルニ二府ヲ通ジテ二百四十九ノ製造戸數ヲ有シ之レ
 ニ使備サル職工數男女合セテ千六百四十二人ニ及ビ大正三年以降ノ
 生産額ハ次ノ如シ

大正三年	五、三七九、〇五九	四、二二六、一〇五
同四年	五、四七六、三六〇	四、六八九、二五七
同五年	五、四七六、三六〇	四、六八九、二五七
同六年	五、四七六、三六〇	四、六八九、二五七
同七年	五、四七六、三六〇	四、六八九、二五七
同八年	五、四七六、三六〇	四、六八九、二五七
同九年	五、四七六、三六〇	四、六八九、二五七
同十年	五、四七六、三六〇	四、六八九、二五七

輸出向ハ重ニ綿布張ニシテ絹布張ハ其三割餘ニ過ギザルコト前表ノ
 如シ前者ハ支那方面ヲ一大顧客トシ印度地方之レニ次ギ、亞弗利加、
 濠洲、南米方面等亦看過ス可カラザル市場ナリ、後者ハ印度地方、南
 洋、南米、亞弗利加等へ仕向ラルルモノ過半ニ達シ、近時白無地絹綃
 張ノモノ米國へ輸出セララルルニ至レリ、然レドモ本品ノ輸出ハ前表ノ
 如ク大正八年ヲ最頂點トシテ漸減ノ步調ニ轉ジタルガ是ハ戰後歐洲品

大正二年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八
同三年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八
同四年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八
同五年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八
同六年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八
同七年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八
同八年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八
同九年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八
同十年	三、九七、八八八	一、七六、四三〇	五、七四、三一八

大正五年 七、六四八、三六〇
 同六年 六、七〇一、三七八
 同七年 七、一七六、〇〇〇
 同八年 七、四五六、九〇四
 大正九年以後ノ生産額ハ詳カナラザルモ世界大戰後ノ影響ヲ受ケ他ノ
 産業ト同ジク大正八年ヲ最盛期トシテ漸減ノ傾向ヲ迎リツツアルハ之
 レヲ想像スルニ難カラズト雖ドモ兎ニ角斯業ハ歐洲大戰以後一躍シテ
 我邦工業中重要ノ地位ヲ占ムルニ至リタルヲ思フベシ、同時ニ海外輸
 出品トシテモ亦重位ヲ占ムルコト左表ノ如シ

大正五年	七、六四八、三六〇	七、七一七、六三七
同六年	六、七〇一、三七八	九、〇五四、七八八
同七年	七、一七六、〇〇〇	一一、〇三九、四四七
同八年	七、四五六、九〇四	一九、〇四〇、一三〇

立テタルモノ中ニハ尙外國産品ヲ使用シタルモノアリ、外國産品ノ
 使用必ズシモ不可ナラズ殊ニ發達ノ過渡期ニアル綿傘地及傘骨ニ於テ
 スノコトアルハ已ムヲ得ザルコトナルモ、國産愛用ノ點ヨリ言ヘバ既
 ノ内地ニ生産アル以上製造家モ需要者モ可成内國産品ヲ使用シテ斯業
 ノ發達ヲ助長スルノ覺悟アルヲ要スルヤ言フ俟タズ、杖、柄等ノ出品
 ニ至リテハ何レモ普通品ニシテ特記スベキ事項ナシ
 本會ノ出品ヲ離レテ本邦製洋傘ト外國製品トヲ比較スルニ本邦製ハ
 價格低廉ナルモ概シテ品質粗惡ニシテ絲付ケ切り易ク又軸付破損シ易
 キ等ノ非難少カラズ、殊ニ輸出中ニハ再生傘ト稱シ、古傘骨ニ生地ノ
 ミ新規ニ張り換ヘタルモノ少カラズト云フ、傘骨ハ外國品ニ匹敵スル
 優良品ノ產出ヲ見ルニ至リタル事ハ前述ノ如クナルガ尙未ダ彈力ニ
 乏シク曲リ易キ缺點アリテ、獨逸、瑞典産品ニ及バザルモノアリ、又
 綿傘地ハ光澤惡シク且組織粗ニシテ、地質薄弱ナレバ到底英國品ニ及
 バズトノ非難アリ、傘骨ト生地トノ改良ハ我洋傘製造界ニ於ケル最モ
 重要ナル研究事業ナルガ是等ノ改良ハ獨リ洋傘當業者ノミニ期待ス可
 カラズ、即チ傘骨ニ關シテハ製鐵業者、綿繻子ニ關シテハ機業家ノ研
 究ニ俟ツベキモノ頗ル多シ

傘柄及傘手輸出額

大正八年	六、一〇一、三三二	六、八六六、四二七
同九年	一、〇三〇、五六三	一、五九四、五〇九
同十年	三、五〇、九六二	五、〇一、四三八

我邦ニ於ケル洋傘及其ノ附屬品ノ生産及貿易ニ關スル大勢ハ絛上ノ如
 シ、轉ジテ本會ノ出品ヲ見ルニ其大部分ハ華美艶麗ヲ極メタル内地向
 婦人洋傘ニシテ輸出向品ノ如キハ僅カニ二三ヲ數フルニ過ギズ、是レ
 蓋シ出品者苦心ノ存ズル所ニシテ色彩ノ美ヲ以テ觀衆ノ注目ヲ集中セ
 シメントシタル一手段ニ外ナラザルコトハ之レヲ推察スルニ難カラズ
 ト雖ドモ本會ノ如キ幾分國際的ノ性質ヲ帶ビタル博覽會ノ出品トシテ
 ハ斯業ノ我邦ニ於ケル工業及貿易上ニ於ケル地位ヲ紹介シ尙ホ進んで
 將來ニ其ノ販路ヲ求ムル用意ニ於テ外國貿易ニ交渉アル製品ノ出陳ヲ
 主トスベカリシニ、之レヲ閑却シタルノ觀アルハ遺憾トスル所ナリ、出
 品ノ大部分ヲ占ムル婦人用傘ハ、近年甚ダシク非實用的トナリ、其ノ最
 モ普通ナルモノ又ハ心アル人ガ實用ヲ重ンジ使用スルモノヲ除キテハ
 琥珀張ノ如キスラ「レース」若クハ「リボン」ヲ以テ裝飾シ或ハ刺繻ヲ
 施ス等徒ラニ無用ノ加工ヲナスノ弊アルハ吾人ノ探ラザル所ナリ、裝
 飾ヲナスヲ否ムニアラズ、莊重ナル單純美ヲ發揮スル工夫ニ於テ大イ
 ニ缺クル所アルヲ難ズルナリ、傘地ハ婦人用ニアリテハジヨセツト、
 絛パレス、金紗等ノ縮繻地ヲ一重若クハ二重張トナシタルモノ、其他
 羽二重、琥珀等アリテ男子用ノ絹張ト共ニ全部内地産ヲ用ヒタルハ喜
 プベシ唯繻子張ノ内ニハ二三外國品ヲ使用シタルモノヲ見タリ傘骨ハ
 歐洲戰爭勃發後獨逸品及瑞典品ノ輸入困難トナリタル結果、當業者ノ
 苦心研究ニ依リ略瑞典品ニ匹敵スルニ足ルモノヲ製造スルニ至レリ、
 出品ノ傘骨ハ該種ノ内地品大部分ヲ占メタルコト勿論ナルモ、傘ニ仕

第百六十七類其三 出品並授賞總計

府縣名	出品人員	出品點數	名譽賞牌	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計
臺灣總督府	一	三	一	一	一	一	一	〇
青島民政署	一	八	一	一	一	一	一	〇
樺太廳	一	四	一	一	一	一	一	〇
東京府	五	一四	一	一	一	一	一	〇
京都府	一	二	一	一	一	一	一	〇
大阪府	四	三	一	一	一	一	一	〇
神奈川縣	二	三	一	一	一	一	一	〇

上ノ特色ヲ十分ニ發揮セルハ喜ブベキ現象ト云フベク就中東京藤原
製品ハ材料ヲ精選シ新規ナル意匠ヲ加ヘ製作ニ意ヲ凝シ技工ノ妙味
ヲ罩メタル精巧品ヲ出陳セルガ如キハ特ニ注目ヲ要スル所ナリトス
此種ノ製作ハ獨リ東京ニ於テ之ヲ見ルベク内外人ノ賞讃ヲ博スル素
ヨリ故ナキニ非ズ、京都製品ハ材料及手工ニ重キヲ置キ古風ノ壯重
ナル特色ヲ有スルモ美術的ニ流レテ實用ニ遠カルノ嫌アリ、名古屋
製品ニ至リテハ一意實用ヲ主眼トシ廉價製品ヲ供給スルヲ目的トス
ルガ故ニ壯麗ヲ缺キ動モスレバ粗製ニ流ルルノ缺點アルモ日常ノ使
用品トシテ一般向タルヲ疑ハズ此特色ハ各地生産ノ根據ヲ成スモ
ノニシテ之ガ維持ニ盡力セラルルコトヲ切望スルモ時勢ノ推移ハ時
時其商況ニ動搖ヲ與フベク殊ニ美術的製品ノミニ依リ繁盛ヲ期セン
トスルハ寧ろ難事ナリトスベク將來、上流實用向輸出品製作ニ意ヲ
用フルノ要アルヲ見ル、大阪サイト紙ノ扇子ニ於ケル應用ハ特ニ推
奨ノ價値ヲ認ムルコト能ハズ利用方面ニ研究ヲ重ネタキモノナリ
岐阜團扇ハ内地ノ名産品ナルニモ拘ラズ僅ニ一人ノ出品ニ止リタル
ハ誠ニ遺憾トスル所ナルモ製作益々良好ナリ
三重ノ茄子團扇ニ絹張ヲ應用セルハ一意匠ナルモ美術的ニ奔ルハ警
ムベキモノトス
香川縣丸龜團扇ハ用骨ノ製作見事ニシテ有名ナル骨ノ産地タルニ取
デズト云フベシ、近來繪模様ニ改良ヲ加ヘ一段ノ進歩ヲ示セルハ喜
ブベシ
其他和歌山縣ノ蘆柄團扇ニ銀泥ヲ應用セルガ如キ何レモ多少ノ進歩
ヲ認メザルヲ得ズ
朝鮮製品ニ在リテハ其製作上ノ技術ニ模倣ヲ許サザル所アルハ明ナ

ルモ形狀構造等ニ至リテハ内地ニ於ケル技工ニ則リ多少ノ改善ヲ
施スノ有利ナルニ若カズト思惟ス例ヘバ形ノ崩レテ改ムルコト骨ノ
用方ニ意ヲ用ユルコト、堅木ヲ綴ニ利用スルハ却テ品位ヲ低下シ携
帶ニ不便ヲ感ゼシムルヲ以テ之ガ利用法ヲ改ムルコト等ノ如キハ現
實ニ改良ヲ講ズベキ點ナリトス

二、提灯

輸出向提灯ハ一般商況ノ不振ニ對シシタル影響ヲ蒙ルコトナク且
電燈裝飾用笠ホヤノ如キ最近需要激増セルニモ拘ラズ今回ノ出品極
メテ少ナク僅ニ硝子房及餅珊瑚付提灯ノ出陳ヲ見タルモ特ニ推奨ス
ベキ價値ニ乏シク一般ニ著シキ進歩ヲ認ムルコト能ハザルヲ遺憾ト
ス内地向提灯ニアリテ近來裝飾品トシテ需要頓ニ増加シ價格ノ高値
ヲ論ゼズ繪模様、外觀ニ重キヲ置クノ風アリ從ツテ裝飾用提灯ノ意
匠、製作、繪模様ノ改善及形體ノ調和、整齊ニ就テハ確ニ一段ノ進歩
ヲ示セリ一面時勢ノ變化ハ下級社會ニ於ケル益提灯ノ需要増加ヲ來
シ五六十錢内外ノ普通品賣行旺盛トナリ此方面ノ製作亦見ルベキモ
ノアルヲ認ム、然レドモ尙繪模様ニ不適當ノモノアリ又ハ粗末ナル
蒔繪ヲ施シ若シクバ金梨地ヲ濫用シテ調和ヲ破レルモノアリ用紙不
良ニシテ使用ニ堪ヘズト認メラルルモノアリ繼骨ノ製作拙ニシテ品
位ヲ損フモノアリ當業者ハ宜シク此ノ需要増加ノ好期ニ際シ(一)意
匠、(二)配色、(三)製作ニ細心ノ注意ヲ拂ヒテ需要者ノ希望ニ適合
スベキ樣努ムル所ナルベカラズ
惟フニ内外ニ於ケル提灯ノ需要ハ將來裝飾用トシテ尙一段ノ繁盛ヲ
來スベキ望アルヲ以テ關係者ハ須ラク銳意其缺點ヲ改良スルト共ニ
新販路ノ擴張ニ力ヲ致スベキナリ

三、傘

傘出品ハ東京、京都、大阪、新潟、埼玉、群馬、千葉、三重、愛知
静岡、岐阜、長野、宮城、福島、福井、石川、富山、鳥取、岡山、
廣島、和歌山、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、大分、熊本ノ三府
二十五縣ニ互リ其出品種類ハ蛇ノ目、番傘、日和傘等ニシテ出品人
員五百九十四名出品點數一千七十五點ニ達シ一瞥ヨク本邦傘業界ヲ
達觀シ得ベシト雖モ府縣ニ依リ出品事情ヲ異ニシ或ハ面積ニ制限セ
ラレ又ハ數量ヲ限ラレ、當業者ノ希望ヲ満足セシメザリシ觀ナキ能
ハズ、從ツテ業界ノ真相ヲ十分ニ發露スル能ハザルベシト雖モ今回
ノ出品ヲ概觀スルニ大體ニ於テ製作技術材料ノ撰擇共ニ良好ニシテ
需要地ノ趣向ニ相當留意シ意匠工夫等ニ於テモ研鑽ノ跡ヲ見ルベシ
從來和傘ノ産地トシテ一般ニ認メラレザリシ府縣ニ於テモ當局ノ奨
勵施設ト當業者ノ努力ニ依リテ著シク進歩シ俄ニ甲乙ノ等差ヲ附
シ難ク全國的ニ商品統一ノ狀態ニ近ヅキツツアルノ狀勢ハ斯業ノ爲
メ喜ブベキ現象ナリト認ム精細ナル批判ハ之ヲ府縣別ノ部ニ譲リ其
概評ヲ述ベシ
今回ノ出品ニ於テハ斬新ナル意匠、工夫ヲ凝ラシタルモノ少ク防染
法ニ依リテ模様ヲ施セルガ如キハ出來榮稍々可ナリト雖モ單位模様
ノ構成面白カラズ配列亦調和ヲ失シタルモノアリ、内側部ニ金線ヲ
描ケルガ如キ傘柄ヲ惣藤卷トセルモノ、又段巻柄トセシガ如キハ何
レモ實用體裁共ニ不良ニシテ徒ラニ手数を要シ材料ヲ濫費セルモノ
ト言フ可シ皮付親骨ノ如キハ重量ヲ増シテ實用上面白カラザル結果
ヲ見ルノミニテ珍奇ヲ求メタルニ過ギズ、軒ニ小穴ヲ設ケズ卷絲ニ
テ接着セシメタルハ骨ノ堅牢度ヲ増ス新工夫ナリト言フベシ親骨松

業ハ一見佳ナルガ如シト雖モ手數掛リ紙ノ裁斷屑ヲ生ジテ原料不經
濟ノ缺點アリ

傘ハ構造意匠、形狀等ニ考案工夫ノ餘地尠キガ如シト雖モ之ヲ専門
的ニ見ル時ハ幾多研究スベキ點ヲ發見スベシ殊ニ意匠ノ研究ハ前途
頗ル瞭遠ナリト言フベク變化無限ナル模様ノ構成ニ一般ノ研究ヲ重
ネ巧ニ美ノ原則ニ一致スル配列ヲナシ、配色ノ調和ニ留意シテ優美
高尚ナル外觀ヲ呈スル事ニ努力スベキナリ
材料ノ使用法ニ當テ得ザルモノ少シト雖モ根輪金具ニ銀ヲ用ヒタル
ガ如キハ堅牢ノ點ヨリ見ルモ體裁ノ點ヨリ見ルモ無意味ナルガ如シ
日光乾燥取扱中ニ附着セル煤煙ノ斑點ノ如キハ不注意ト云フベシ、
カバリ糸ノ止方、軒付技術ノ不良ナルガ如キ、紙張り緊張シテ開ケル
場合、親骨ノ振レテ來スガ如キ轆轤ニ塗漆ヲ施サザルガ如キ、梨子
地ノ技術劣レルガ如キハ現今ノ製造業者トシテ許スベカラザル所ナ
リ宜シク製造工程ノ各部ニ付キ圓熟ノ技ヲ習得スルト同時ニ科學的
研究ニ留意シテ内面的研究ニ一段ノ努力ヲ要スベシ本品ハ需要ノ大
部分本邦人ニ限ラレ僅少ノ輸出品モ概ネ在外邦人ノ使用ニ供セラレ
外人ニ渡ルモノノ多クハ實用的ヨリ寧ろ好奇的ニ取扱ハレツツアル
ノ狀態ニアルヲ以テ製造上ニ泰西ノ刺戟ヲ受ケル事少ナク從ツテ輸
入工業品等ノ如ク絶ヘズ外國ノ刺戟ニ依リテ著シク進歩發展セルモ
ノニ比シテ遜色アルヲ免レズ斯業者ハ宜シク他ノ世界ノ工業ト同様
ノ進歩發展ヲ期シ努力スル所ナル可カラズ
特ニ注意スベキハ出品中同一工場内ニ於ケル同一製品ヲ父子或ハ主
從ノ異名ノモトニ別々ニ出品セルモノアリ徒ラニ出品人數ヲ増スノ
ミニシテ之ガ爲メ審査上煩雜ヲ來ス憂アリ將來戒ムベキ事トス

今之ヲ各府縣ニ就キ精査スレバ和歌山縣百十六人百四十四點ヲ最多トシ福岡縣三重縣岐阜縣靜岡縣東京府之ニ亞グ最近三箇年ノ傘製產額及ビ出品ノ數量ヲ對比シテ其業況ノ大勢ヲ示サバ次ノ如シ

府縣名	大正六年	大正七年	大正八年	出品人員	出品點數
東京府	—	—	—	—	—
京都府	—	—	—	—	—
大阪府	—	—	—	—	—
兵庫縣	—	—	—	—	—
新潟縣	—	—	—	—	—
埼玉縣	—	—	—	—	—
群馬縣	—	—	—	—	—
千葉縣	—	—	—	—	—
奈良縣	—	—	—	—	—
三重縣	—	—	—	—	—
愛知縣	—	—	—	—	—
靜岡縣	—	—	—	—	—
山梨縣	—	—	—	—	—
滋賀縣	—	—	—	—	—
岐阜縣	—	—	—	—	—
長野縣	—	—	—	—	—
宮城縣	—	—	—	—	—
福島縣	—	—	—	—	—
山形縣	—	—	—	—	—
福井縣	—	—	—	—	—
石川縣	—	—	—	—	—
富山縣	—	—	—	—	—
鳥取縣	—	—	—	—	—
島根縣	—	—	—	—	—

毫モ高價金屬ヲ使用スルノ要ヲ認メズ寧ロ其勞費ヲ移シテ以テ實用的製品ノ製出ニ努ムルヲ可トス番傘ニ至リテハ平凡ニシテ之ヲ評スル所ナシ

千葉縣 出品人員十七名點數三十五點ニシテ蛇ノ目傘多ク松葉骨ノ出品最多シ本縣ハ集散地タル東京市ニ隣接セル關係上製品モ稍々東京製品ト相似タル點アリ相當ノ出品ヲ見タリト雖モ之ヲ巨細ニ觀察スレバ其ノ技工ニ於テ過ギタルモノ又ハ意匠ノ珍奇ニ傾キタルモノアリ即チ親骨松葉ノ如キハ徒ラニ手數ヲ要シ多數製產ノ困難ナル不利アリ又使用紙原料ノ不經濟ヲ生ズルノ缺點ヲ有ス、又張紙ニ山形模様ノ色變リヲ使用シタルハ珍奇ニ過グルモノト謂フベシ親骨松葉ヨリ寧ロ之ヲ押上松葉トナサバ却ツテ面白味アルベシ當業者ハ宜シク此點ニ留意シ生産努力ノ節約ヲ計リ以テ實用的製品ノ多產ニ努メ廉價ニシテ堅牢ナル商品ノ製出ヲ本義トセザル可カラズ本縣ハ前陳ノ如ク商品ノ集散地タル東京ヲ控ヘ販賣上至便ノ地位ニアルヲ以テ意匠ノ改良製品及價格ニ對シテ統一ヲ企ツルアラバ販路ヲ擴張スル點ニ於テ大ニ利ストコロアラシ

三重縣 本縣傘ノ生産ハ阿山郡地方最多ク宇治山田市之ニ亞グ何レモ同業組合ヲ組織シ檢査ヲ勵行シ製品ノ改善ニ努メツツアルヲ以テ近來長足ノ進歩發達ヲ來シタリ出品中阿山郡地方ノ伊賀傘ハ分業的生産組織ノ下ニ品質ノ改善ヲ謀リ骨組、糸通等細部ノ技工ニ注意シ荏油ヲ二度引トナシタルモノニシテ施工極メテ丁寧從ツテ製品堅牢ニシテ實用ニ適ス、山田傘モ製作技工伊賀ニ伯仲シ出品概シテ良好ナリ、販路モ漸次擴張セラレ前者ハ京阪ニ後者ハ東海道以北ニ移出セラレ各々其好評ヲ得ツツアリ

岡山縣	—	—	—	—	—
廣島縣	—	—	—	—	—
山口縣	—	—	—	—	—
和歌山縣	—	—	—	—	—
德島縣	—	—	—	—	—
香川縣	—	—	—	—	—
愛媛縣	—	—	—	—	—
高知縣	—	—	—	—	—
福岡縣	—	—	—	—	—
大分縣	—	—	—	—	—
佐賀縣	—	—	—	—	—
熊本縣	—	—	—	—	—
宮崎縣	—	—	—	—	—

靜岡縣 靜岡市ノ出品最多ク濱松、沼津ノ少數アルノミ出品人員三十六名點數百二其多クハ番傘ニシテ蛇ノ目傘僅少ナリ、孰レモ技工形狀、優良ニシテ舉ゲテ批難スベキ點ナシ、唯惜ムベキハ紙原料ノ縣内ヨリ產出スルノ利便ヲ有スルニ拘ハラズ、紙質ニ比較的粗惡ナルモノヲ使用セルヲ遺憾トス傘ノ生命ハ張紙ノ強靱ナルト否トニ因ル事多クレバ原紙ノ選擇ニ一層ノ注意ヲ要ス

岐阜縣 本縣ハ出品人員四十八點數八十點ニシテ内地向製品トシテノ出品ハ多種多様ニシテ殆ンド和傘ノ各種類ヲ網羅シ而モ同業組合全員各々別種ノ技術ヲ競ヒ相異リタル作品ヲ出陳シテ同縣生産傘ノ全種類ヲ廣ク需要者ニ知ラシメントノ意圖ニ出デタルハ本會ノ目的ニ適應シタル策ト云ハザル可カラズ、出品ハ一般ニ製作技術佳良ニシテ模様色合等ノ撰定宜シキヲ得社會ノ嗜好ニ適合セルモノト認ム、元來岐阜傘ハ夙ニ其名聲ヲ世ニ博シタルニモ係ラズ往々ニシテ製品脆弱ナルノ譏リヲ免レザリシモ近時其製產方法ニ改善ヲ加ヘ製造工程ノ各部ハ凡テ專業副業共ニ之ヲ分業トシテ各部分的ニ技術ノ研磨ニ努メシメ同業組合之ガ統一ヲ計リツツアルヲ以テ品質優良ナル製品ノ製出ヲナスニ至レリ、而シテ其ノ製品ハ全國各地ニ需要セララルノミナラズ、遠ク滿鮮、支那、南洋、米國方面ニ輸出セラレ實ニ一箇年ノ製產額五百貳拾餘萬圓ニ達シ全國中第一位ヲ占ムルハ本縣ノ誇トスルニ足ルベシ

宮城縣 本縣ノ出品ハ點數三十五、人員十七人ニシテ蛇ノ目傘及番傘塗奴等ナリシモ意匠、技術、共ニ比較的拙劣ニシテ取ツテ以テ評スルニ足ラズ、然レドモ本縣ハ縣市、補助ノ下ニ同業組合ノ事業トシテ仙臺市ニ徒弟養成所ヲ設置シ職工ノ養成ニ努メ或ハ又講習會、品

評會、競技會等ヲ開催シテ製品ノ改善ニ努メツツアルヲ以テ漸次優良品ノ製出ヲ見ルニ至ルベシ、當業者目前ノ小利ニ走ラズ當局獎勵ノ趣旨ニ從ヒ益々奮勵研鑽アラシム事ヲ望ム

石川縣 本縣出品ハ十三人二十一點其ノ多クハ蛇ノ目ニシテ、番傘ノ出品僅少ナリ、製品ハ堅牢ヲ主トセルモノノ如ク最近骨削リ機械ヲ据付クル等製骨ノ統一ト製品ノ安價ヲ期シツツアルハ實用品生産組織トシテ喜ブベキ現象ナリト雖モ意匠體裁極メテ幼稚ニシテ舊套ヲ脱セズ其地ノ需要ヲ充タスニ過ギザルモノノ如ク毫モ進歩ノ跡ヲ認ムル能ハザルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、元來本縣ハ漆器工業盛シナル土地ナレバ業者ハ宜シク其ノ連絡ヲ得テ髹漆、意匠ノ改善ニ力ヲ致シ以テ都市一般ノ需要ニ適合スベク製品ノ製産ヲ企ツルアラバ縣外移出敢テ難事ニ非ラザルベシ

富山縣 出品人員六點數八多クハ蛇ノ目傘ニシテ其ノ製作技術、要部ノ取付ケ良好ナルモ上張、技工、甚ダ拙劣ナルモノアリ、一層技術ノ向上ヲ要ス、而シテ外部ノ意匠濃厚ナルモノノ楛梗形ノ染分ケヲナシタルモノ及ビ外部ニ梨子地ヲ施シタルモノ等何レモ野吳ヲ脱セザルノ感アリ、本縣ハ番傘ノ主産地ニシテ其ノ製品堅牢實用ニ適シ相當産額アルニモ係ラズ、今回出品少數ナリシヲ遺憾トス

廣島縣 本縣出品ノ多クハ蛇ノ目ニシテ其特産トスル番傘ノ出品ナキヲ遺憾トス、製品ハ一般ニ材料擇擇、要部ノ取付ケ技工極メテ親切ニシテ地方製品ノ特徴トモ云フベキ堅牢ノ點ニ於テ其ノ名聲ニ恥ヂザルモノト云フベク、又外觀ノ體裁先進地製品ニ比シテ毫モ遜色ナキモノト認ム、廣島傘ハ往時堅牢ニシテ價廉ナル點ニ於テ近縣ニ其名聲ヲ揚ゲタリ、生産額モ年次増加ノ傾向ヲ示シ最近ノ調査ニ依レ

德島縣 本縣ハ一般ニ製作技術佳良ニシテ堅牢ナル製品ト云フベク其ノ製品ノ多クハ阪神地方ニ移出セラレ相當其聲價ヲ認メラレツツアリト雖モ今回ノ出品ハ概シテ形態稍太キニ過ギ携帶品トシテ不便宜不體裁ノ嫌ナキ能ハズ、製作上規骨ノ削リ方ヲ改善シ外觀ノ體裁ヲ良好ナラシム可ク努メナバ一層其販路ノ擴張ニ利スル處アラシ

高知縣 出品中優品無キニ非ラザレドモ概シテ製作技術幼稚ニシテ特記スベキモノ少シ、末廣秀松出品ノ蛇ノ目傘ハ模様ニ防染ヲ施シ面白味アル新規ノ考案ト云フベキモ未ダ改良ノ餘地少シトセズ、本縣ハ本邦第一ノ和紙主産地ニシテ而モ傘紙ノ紙質強靱雨傘ニ好適ナルハ天恵ノ大資源ト謂フベク斯業將來ノ發展ハ係リテ當業者ノ努力如何ニアリ宜シク意匠技術ノ改善ヲ圖リ製品需要地ノ嗜好ニ研究ヲ重ネ販路ノ擴張ニ努力セザル可カラズ

福岡縣 本縣傘ハ久留米ノ蛇ノ目水田ノ番傘ヲ以テ特産トシ其産額モ年次増加ヲ來シ統計ノ示ストコロニ依レバ縣下ヲ通ジテ百九拾參萬餘圓ニ昇レリ、久留米傘ハ概シテ技工良好價格低廉ナルヲ以テ一般ノ嗜好ニ適スルモノト雖モ稍々脆弱ナルノ嫌アルヲ惜ムカガリ糸ノ止メ方ニ頓着セザルモノ、色漆ノ使用不完全ナルモノ軒張ニ手抜キアル爲メ剥離スルモノニシテ斯ノ如キ缺點ハ製品検査ヲ嚴ニシテ之ヲ除去セザル可カラズ

熊本縣 本縣ノ傘工業ハ近時長足ノ進歩ヲ來シ大ニ見ルベキモノアリ之レ全ク當局ノ指導獎勵、業者ノ奮勵努力ニ依ルモノト云フヲ得ベシ、今回ノ出品ハ二十八人五十八點ニシテ細骨物最も多ク實用向製品ノ僅少ナリシヲ遺憾トス、而シテ出品中缺點トスル所ハ平張技工拙劣、外部ノ配色ノ不調和、製品ノ同一種類ニアリテ著シク品質ノ

バ一箇年百八拾餘萬圓ニ達シ製造戸數全縣ニ亙リ四百餘戸ニ及ベルヲ見ル而シテ近時其販路モ漸次擴張セラレ滿鮮、北清地方ニ輸出セラルルニ至リタルハ本縣斯業ノ爲メ喜ブベキ現象ナリトス、然レドモ其生産額タルヤ岐阜縣ノソレニ比シ未ダ遠ク及バザルモノアリ、又最近堅牢ノ名ノ下ニ支那傘ニ依リテ其ノ販路ヲ侵略セラレントシツツアリ、滿、鮮、北清方面ニ販路ヲ有スル本縣トシテ決シテ等閑視スベカラザル事ニシテ當業者ノ樂觀ヲ許サザル所トス宜シク販路ノ開拓ニ勉ムルト同時ニ機械力ヲ應用多産ノ工夫ナカル可カラズ

和歌山縣 本縣ノ出品點數ハ百四十四人員百十六ノ多キニ達シ本類中首位ヲ占ム由來本縣ハ大黒傘ノ生産地トシテ夙ニ世ニ知らレタレドモ今回ノ出品ハ蛇ノ目傘頗ル多ク其製作技術著シク進歩シ殊ニ青色蛇ノ目ニ於テ出色アリ然レドモ髹漆ノ技並ニ意匠ニ至リテハ尙先進地ニ及バザルノ感ナキ能ハズ、番傘ハ實用向トシテ用途ヲ考慮シ近來太サヲ加減シ需用先ノ嗜好ニ迎合シ且價格ノ低廉ナル他ニ其比類ナキニ依リ其販路ハ内地ハ勿論滿鮮地方ニ擴張シツツアルノ趨勢ヲ示セルハ大ニ稱揚スベシトス此際當業者ハ販路ノ開拓ニ努ムルト共ニ製品ノ品位ニモ留意ヲ促スノ要アリトス

香川縣 本縣ノ日傘ハ紙價工賃等低廉ナリシヲ以テ比較的安價ニ製出セラレ意匠又雅致ニ富メルモノトシテ一時海外輸出盛シニ行ハレ産額多大ナリシガ近時海外需要衰へ同業者モ稍々萎靡ノ姿ニアルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ、然レドモ本邦日傘ハ南洋米國方面ニ輸出セラレ其他裝飾玩具トシテ外人ニ愛玩セララルルモノナレバ需要國民ノ趣味嗜好ノ研究ヲ重ネ其ノ要求ニ適應スベク意匠ノ改善製品ノ改良ヲ計リナバ今一層海外販路ノ開拓難事ニアラザル可シ

上下アリシ事等ニシテ改良ヲ要スベキモノトス、本縣製品ハ堅牢ナルヲ以テ賞揚セラレタルモノナレバ當業者相協力シテ製品ノ統一ヲ圖リ其ノ聲價ニ背カザル様製作ニ注意スルヲ要ス

尙他ノ諸縣ニアリテハ一般ニ舊套ヲ墨守シ執レモ其地ノ需要ヲ充タスニ過ギザルモノノ如ク今回ノ出品モ亦僅少ニシテ意匠體裁、製作技術共ニ擧ゲテ評スベキ點ナキニ非ラザレドモ前記既述シタルモノト大同小異ナルヲ以テ茲ニ贅セズ

第六十九類 武具及武裝用具

其一 及 釵 等

其二 甲 冑 等

主任 審査官 植村 東彦
報告員 同 宮武義次郎

本類出品區域ハ三府六縣出品人員二十六名出品點數百四十三點ヲ算シ之レヲ大正博覽會ニ比スルトキハ本會ニ於テハ武藝ノ道具ガ本類ヨリ分離セラレタルニ拘ハラズ出品人員及出品點數ヲ増加シタルモ其七割強ハ弓箭及之レニ屬スルモノニシテ刀劍之二次ダ蓋本類ニ屬スルモノハ一般ノ需用狭小ニシテ多數ヲ要スルモノハ多ク官營ニヨリテ製作セラレ民間事業トシテ進歩發達ノ餘地少ク唯武藝ガ體育方向ニ利用セララルモノノ内弓箭ノミガ本類ニ屬スルヲ以テ出品物ノ多クガ弓箭ニ傾キタルハ當然ノ勢ト云フベシ然レドモ弓箭及刀劍ノ如キモ製作方法多クハ舊套ヲ脱スル能ハズ家内の工業ノ域ニアルハ需用ノ關係上已ムヲ得ズト雖モ製品及生産組織ヲ改善スルニ於テハ需用ヲ喚起スルコト

望ナシト云フベカラズ殊ニ日本刀ノ如キ本邦特技モ現状ヲ以テシテハ
 途ニ衰減ニ歸スルヲ保セズ特ニ當業者ノ猛省ヲ煩ハス所以ニシテ左ニ
 主ナル出品ニ就キ概評ヲ試ムベシ

刀劍 ノ出品ハ東京大阪京都兵庫岐阜ノ三府二縣ニシテ東京小松崎茂
 助氏ノ出品ニカカル太刀及洋劍ハ其外裝ノ製作ト意匠ニ於テ又刀身ノ
 鍛鍊彫研ニ於テ本類出品中ノ冠タルモノナリ兵庫縣增子猪子助氏ノ出
 品ノ日本刀モ亦努力ノ認ムベキモノアリ岐阜縣ノ短刀ハ價額ノ廉ナル
 關係上良品ヲ見ズト雖モ往時關ノ流レヲ浸ミ産額亦比較的の多ク寧ろ鞘
 刀物トシテ相當聲價ヲ有スレドモ刀劍トシテモ將來研究ノ餘地アルベ
 シ要スルニ刀劍ハ其技術ニ於テ東京ヲ首位トシ生産能力ニ於テハ岐阜
 縣ヲ推サザルベカラズ然レドモ製鋼ノ進歩ト機械作業ノ發達ニ伴ヒ往
 時ノ鍛鍊法ヲ墨守スルニ於テハ數ノ上ヨリ又價額ノ上ヨリ到底發展ヲ
 望ミ得ベカラズト雖モ在來ノ新古刀ヲ軍刀トシテ用フルモノ多ク而モ
 在來ノ日本刀中ニ多數ヲ占ムル備前物相州物ハ反リニ於テ關物ハ肉付
 ノ多キ點ニ於テ何レモ軍刀ニ適セザルヲ以テ是等ノ點ニ相當ノ改良ト
 時代ニ應ズル意匠ヲ用ヒ需用ヲ喚起スルニ於テハ動モスレバ衰減ニ歸
 サントスル固有ノ特技ヲ振起セシムルコト望ミナシト云フベカラズサ
 レバ出品中少數ナガラモ新進優秀ノ技能ヲ有スル作者アルハ喜ブベシ
 弓 ノ出品ハ京都大阪宮崎鹿兒島ノ二府二縣ニシテ鹿兒島縣山下新五
 郎氏ノ出品ハ製作正確ニシテ方式ニ叶ヒ宮崎縣補見藏吉氏京都府羽津
 半兵衛氏大阪府福山其右衛門氏ノ出品之レニ次ギ其製作ニ於テ進歩ヲ
 認ムベク鹿兒島縣服部喜壽大弓合資會社ハ製作規模稍大ナルモ製作品
 猶幼稚ナルヲ免カレズ一層努力スルノ要アルベシ他ハ特筆スベキモノ

第一百七十類 玩具及遊戲具

其一人形

主任 報告員 松田 鹿三
 審査官

其二 幻燈

主任 審査官 近藤 耕藏

其四 雜及雜道具等

主任 審査官 鹿島 英二
 報告員 同 前川 佐一

出品狀況及授賞者府縣別

玩具ノ出品ハ第一項第二項及第四項共殆ンド其區別ヲ分類スル能ハザ
 ルモノアルヲ以テ本類ヲ一括シテ報告スルコトトセリ出品ノ重ナルハ
 「セルロイド」製玩具、金屬製玩具、木製玩具、ゴム製、紙製、布製及
 人形等ニシテ總テ出品人員二百六十一名點數一千七百七十八點此ノ府縣
 別數ハ三府十九縣ナリ今其各府縣出品狀況及玩具授賞者種類別表ヲ舉
 グレバ次ノ如シ

各府縣出品狀況及受賞者數

玩具授賞者種類府縣別

等級別	府縣別	金賞	銀賞	銅賞	褒狀
東京府	東京府	1	1	1	1
京都府	京都府	1	1	1	1
大阪府	大阪府	1	1	1	1
兵庫縣	兵庫縣	1	1	1	1
岐阜縣	岐阜縣	1	1	1	1
愛知縣	愛知縣	1	1	1	1
三重縣	三重縣	1	1	1	1
奈良縣	奈良縣	1	1	1	1
和歌山縣	和歌山縣	1	1	1	1
鳥取縣	鳥取縣	1	1	1	1
島根縣	島根縣	1	1	1	1
岡山縣	岡山縣	1	1	1	1
広島縣	広島縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1
高松縣	高松縣	1	1	1	1
愛媛縣	愛媛縣	1	1	1	1
伊予縣	伊予縣	1	1	1	1
高知縣	高知縣	1	1	1	1
福岡縣	福岡縣	1	1	1	1
佐賀縣	佐賀縣	1	1	1	1
長門縣	長門縣	1	1	1	1
山口縣	山口縣	1	1	1	1
徳島縣	徳島縣	1	1	1	1
香川縣	香川縣	1	1	1	1

スルモノアリ狂ひ人形トハ種々狂ヒ遊ビテ居ル園ヨリ附ケタル名稱ナルベシ御所人形又ハ御部屋人形トモ稱セリ又「きめこみ」トハ京都ノ加茂神社祭典ノ別雷神ノ人形ヲ彩色スル替リニ錦織其他錦襦切レヲ以テ包ミ製ノ谷へ極メ込ミタルモノヲ案出シテヨリ始マリシモノト稱セリ木彫ノ木地へ衣裳ノ密着セシモノ古來ヨリ傳ハリシモノ近年智識階級ノ玩具トシテ珍重セラレ

博多人形ハ遠ク慶長年間ヨリ傳ヘラレ福岡ニ於ケル特殊ノ物産トシテ多額ノ産額アリ近年作品ノ上ニ非常ナル進歩發展ヲナシ美術工藝品トシテ認メラルモノアリト雖モ子供ノ玩具トシテ土産脆弱ニシテ彩色法ノ如キ剥落シ易キヲ以テ製法ニ於テ今一段ノ工夫考案ヲ要スベキモノトス

木製玩具ハ東京、神奈川、富山、青森、山形、埼玉、愛知等アルモ其出品甚ダ僅少ナリ輸出玩具トシテ木製玩具ハ戰時中相當販路ヲ開拓シ各府縣共斯業ニ關シ指導獎勵ノ道ヲ講ゼシ向キモアリシヤニ聞ク然ルニ出品ニ就テ親シク觀察スルトキハ輸出品トシテ適當ト認ムベキモノ極メテ少ナキハ甚ダ遺憾トスル所ナリ

元來木製品ハ玩具トシテ最モ適當ナル材料ニシテ意匠及加工方法ヲ研究シ堅牢優美ナル玩具ヲ產出スレバ内外需要ノ擴大ナル想像ニ餘リアリ加之本邦人ノ手工業トシテ挽物細工、糸鋸細工等ハ將來發展スベキ運命ニアリ

要スルニ木製玩具ハ海外貿易品トシテ最近著シク發達セシモノニシテ歐洲戰亂以前ニハ僅カニ輸出額拾萬圓内外ニシテ就中箱根細工ヲ主ナル生産地トセシモ大戰ニ於ケル獨逸國ノ玩具ノ生産破滅シテヨリ本邦木製玩具ハ急速ノ發展ヲナシ大正八年ニハ木製玩具ノ輸出額五拾貳

專ラ獨逸ヨリ輸入シ其額約壹千參百萬圓餘ナリシモ大正九年ニハ米國玩具全生産額約一億六千萬圓ニ達セリト云フ其發展實ニ驚クベキナリ

要スルニ我玩具ノ如キモ目下輸出杜絶ノ狀態ニアルモ戰時中ニ在リテハ從來手工業ニシテ小規模ナルモノハ大工場ニ合同セラレ專門ノ特種機械並ニ設備等ニヨリテ其生産方法ノ面目ヲ改ムルニ至レリト雖モ玩具ノ種類タルヤ極メテ複雑ニシテ其加工ニ於テハ必ズシモ工場組織ニ依リ機械的經營方法ノミ萬能ヲ期スベキニアラズ特ニ手工ニ依ラザレバ其妙ヲ發揮スル能ハザルモノ等アリテ獨逸玩具工業ノ如ク手工ヲ全然排スベカラザルモノアルハ勿論兩者相接近シ協力ヲ要スル所アルヲ認メザルベカラズ然ルニ戰時中玩具輸出ノ好況ニ乘ジ玩具工場ノ續出トナリ多數製造業者ノ生産過剩ヲ來タシタル結果自然價格モ最高當時ノ約半額ニ下落シ爲メニ獨リ製造業者ノミナラズ蓄積多數ノ仕入商店ニ何レモ沈痛ナル悲歎ト甚大ナル恐怖トヲ抱カシムルニ至リ其結果ハ投資スル者或ハ轉業スル者或ハ廢業スル者破産スル者等多ク敗慘者ヲ出スニ至レリ斯ノ如ク一時洋々タル海外ノ販路モ忽チニシテ皆無ノ現象ヲ誘致シタル原因ハ素ヨリ戰爭中極端ニ膨脹シタル内外ノ需用ガ戰後速ニ收縮シ一般の購買力ノ減退ヨリ世界的貿易不振ノ時期到來セシニ因ルトハ云ヘ現今市場ニ散在スル本邦製品ヲ彼ノ歐米品ト比較セバ何人ト雖モ直チニ粗製濫造ノ弊ナリトノ結論ヲ見出スニ躊躇セザルナリ、實ニ疎惡ナルコト如何ニ玩具トハ云ヒナガラ思ヒ半バニ過グルモノアラン畢竟スルニ玩具業者ハ時勢ヲ推移ヲ觀察シ國家ノ大局ニ立脚シ貿易上進シテ各國各地ノ賣行狀態ヲ研究シ又先方ノ好ミニ適應スル物資ヲ捕ヘ又其ノ得タル販路ニ對シテハ一層ノ信用ヲ博セント

萬五千五百餘圓然ルニ大正九年ニハ一躍シテ貳百四拾萬壹千四百八拾六圓ト云フ好況ヲ呈シタリ然ルニ俄然戰爭ノ終熄ト共ニ財界ノ變動ニ因リ木製玩具モ亦一般ト共ニ非常ナル減少ヲ來シ折角發展ノ域ニ進ミツツアル木製玩具界モ爲メニ忍ビ難キ苦痛トナリシモ此ノ狀態ハ蓋シ永續スベキモノニアラザルベキヲ以テ必ズヤ將來再ビ好況ノ展開ヲ見ルベク此種ノ製品ニ期待スルトコロ多大ナルベキニ各府縣共比較的優良品ノ陳列ヲ見ル能ハザリシハ甚ダ遺憾トスルトコロナリ

此ノ外ゴム製、紙製、棉製、絹織毛織物製等各種ノ材料ニ依ル玩具アレドモ何レモ出品少數ニシテ特ニ記スベキモノナシ

然ルニ今同ノ出品ハ全國各地ニ涉リテ各其特色ヲ發揮シ研究ノ結果ニ成レル陳列品少カラズト雖モ輸出玩具ノ本場トモ稱スベキ大阪府ノ出品殆んど無ク僅カニ浪花「セルロイド」工業株式會社一點ノ出品アルノミ爲メニ此方面ノ玩具ノ特色ヲ窺フヲ得ザリシガ如キ又陶磁製、紙製竹製等ノ玩具ノ頗ル少カリシガ如キ或ハ兒童教養上最モ必要トスル所ノ組立玩具、繪草紙類及兒童ノ自カラ操縱シ得ルガ如キ性質ノ玩具ノ乏シカリシ等ハ甚ダ遺憾トスル所ニシテ偶々兒童用活動寫眞機及電氣發動機等ノ玩具アリシモ出品僅少ニシテ且ツ價格高價ニ過ギ兒童用トシテ今少シク低廉ヲ要スルナリ

將來ノ發達、我國ニ於ケル玩具工業ハ戰時非常ナル發達ヲナシタルモ戰爭終熄ト共ニ獨逸工業ノ恢復未ダ覺束ナキニモ不拘獨逸玩具ノ如キハ既ニ海外發展ヲ見ルニ至レリ憶フニ歐米各國ハ大戰以來互ニ工業獨立策ヲ建テ自給自足ニ努メ英米ノ如キハ獨逸玩具輸入杜絶ノ爲メ自國內ニ於テ斯業ノ發展ヲ見ルニ至レリ即チ政府ノ補助ニ依リテ獨逸玩具ノ輸入防遏ニ努メシガ如ク又米國ハ戰前玩具ノ生産極メテ僅少ニシテ

スル誠意ヲ以テ品質精巧ニシテ且ツ耐久力ニ富ミ又考案ノ新規ナルモノヲ選ビ教育的價值アルモノヲ造リ若々改善ノ歩ヲ進メザル可カラズ

輸出玩具ノ狀況

本類出品中東京ハ專ラ輸出玩具ニシテ「セルロイド」製金屬製及木製等逐年増加シ其輸出額ガ順調ニ發展シツツアルハ洵ニ喜ブベキ現象ナリトス殊ニ歐洲戰爭ニ於テハ世界ノ玩具王タル獨逸生産不可能ノ爲メ我玩具業ハ此ノ好氣運ニ乘ジ益々發展ノ域ニ達シ大正九年ニ於ケル玩具ノ輸出額ハ實ニ貳千萬圓以上ニ達セリ今參考資料トシテ戰前戰後ニ於ケル我玩具ノ輸出額累年表ヲ示セバ次ノ如シ

戰前戰後ニ於ケル本邦玩具ノ輸出額累年統計表

大正三年	二、五九一、七一五
同 四年	四、五三三、四八六
同 五年	七、六四〇、〇二〇
同 六年	八、四〇九、五一八
同 七年	一〇、一九〇、〇〇〇
同 八年	一三、〇〇一、〇〇〇
同 九年	二一、一八九、〇〇〇
同 十年	七、〇〇三、八三八

然ルニ戰後ノ大正十年ニ於ケル輸出額ハ俄ニ減退シ輸出先キノ最モ多數ヲ示ス米國ニ於テハ最近大規模ノ玩具工場各所ニ起リ而カモ精巧ノ品ヲ廉價ニ供給スルニ至レリ故ニ向後米國ニ向ツテハ戰爭中ノ如ク多量ノ輸出ヲ見ル能ハザルノミナラズ獨逸ノ恢復ト共ニ彼地へ出週ル玩具漸次増加スベキニ依リ本邦ヨリノ輸出ハ「セルロイド」製、紙製、

陶磁製、木製品等ノ如キ本邦獨特ノ製品ヲ除キテハ大ナル見込ミナカ
ルベシ而シテ大正九年玩具輸出ノ最モ盛大ナリシ場合及大正十年減
ノ場合ニ於ケル輸出額輸出地ヲ舉グレバ次ノ如シ

輸出先	大正九年	大正十年
支那	三八六、六八五	四一、七四四
香港	一一五、七〇六	一七二、四一一
英領印度	一、四八三、五〇〇	四四二、五五一
英領國	二、三八九、六二二	七一二、九五〇
海峽殖民地	一三一、五九三	一三五、八五七
蘭領印度	二三八、三八七	四一四、〇二二
米國	一〇、八一三、一三八	三、〇六三、九四八
加奈陀	一、〇九一、九七五	三七〇、一七〇
漆太刺利	一、二四二、五八九	三五〇、四六八
南亞米利加	一、三三四、七九八	一七三、四二四
亞弗利加	四四一、八九七	五五、〇〇一
新西蘭	二四七、六九九	二七、四六五
其他	一二七、四九一	六七三、八二七

以上ニ示ス如ク本邦玩具ノ海外需要ノ趨勢ヲ見ルニ戰前大正三年ニ於
ケル玩具輸出總額貳百五拾九萬餘圓ニ過ギザリシモ大正九年ニハ貳千
百拾八萬餘圓ヲ示スニ至レリ而シテ其輸出額中其主位ヲ占ムルモノハ
「セルロイド」製玩具ニシテ其全額ノ約二割四分ヲ占メ其他陶磁製玩具
約一割五分「ゴム」製及木製品各約一割餘ヲ占ムルニ至レリ而シテ其
製品ノ重ナル産地ハ東京及大阪ノ「セルロイド」製品京都及愛知等ノ
陶磁製品神奈川、大阪、東京、愛知、富山等ノ木製品東京、静岡等ノ
「ハトモニカ」東京大阪等ノ「ゴム」製品京都大阪愛知東京等ノ紙製品
大阪京都東京愛知等ノ綿製品東京大阪ノ「プリキ」製品等トス今其主ナ
ル品種ニ就キ玩具類各種ノ輸出額ヲ示セバ次ノ如シ

玩具類品種別輸出額表

玩具品種別	大正八年	大正九年
セルロイド製	三、三六三、七七二	五、二二六、三三九
ハトモニカ	七六七、七九六	四六七、八六九
陶磁粘土製	一、四八八、五九五	三、一三六、九五九
ゴム製	一、三四三、七六〇	二、五七四、六六五
紙製	一、〇九二、六八〇	一、七四四、三〇七
綿製	八六二、〇一一	一、七一四、三五二
鉄力製	六七六、二二八	一、四〇〇、七四〇
木製	五二〇、五五三	二、四〇一、四八六
組製	一五四、七九二	

然ルニ本邦輸出玩具ハ現今殆ンド休止ノ状態ニ陥リ其生産能力著シク
減退シタリト雖モ本類出品ニ於ケルガ如ク各當業者ノ協力一致ハ漸次
品種ノ改善トナリ各自ノ努力奮勵ハ必ズヤ採長補短ノ實ヲ擧グ斯業ノ
發展ヲ企圖シ幾多ノ障礙ニ打テ勝チ益々業務ヲ開拓シ以テ將來ノ活躍
ヲ期セザル可カラズ業界不振ノ秋ニ際シ切ニ其奮奮ヲ希望シテ止マザ
ルナリ

其二 碁將棋類

主任 審査官 河津七郎
報告員 同 津田信良

本類ニ於テハ碁石、碁盤、碁筒ノ東京府碁石ノ宮崎縣將棋ノ東京府及
山形縣ヨリノ出品ヲ見タルノミニシテ其ノ點數モ至テ少數ナリ蓋シ何
レモ代表的出品ト見テ可ナリ殊ニ東京ヨリノ出品ハ其材料工作共ニ優
秀ノモノナリ只碁筒ノ容量小ナルモノアリ注意ヲ要ス又携帶用碁盤ノ
出來至極良好ナルモ其價高キニ過ク宮崎縣出品ノ碁石ハ流石ニ本場ダ
ノ發達改善ニ伴ヒ一層經濟ト利便トニ適合スル此種物品ノ出現ヲ見ル

テアリテ其材質仕上リ共ニ東京以上ニシテ値モ安シ山形縣出品ノ將棋
駒ハ玩具トシテ最モ佳良價格モ極メテ安シ其ノ他小笠原島ノ碁筒ハ只
珍奇ナルノミ技工未ダ幼稚ナリ研究ヲ要ス

第一百七十一類 雜工作品

其一 金屬品

主任 審査官 岡部忠敏
報告員 同 三俣秀實

本類雜工作品中ノ金屬品ニ屬スル出品ハ、鍋、釜、竈、厨爐、銅壺、
飯蒸器、及冷蔵函等ニシテ其ノ出品人員百八其ノ點數五百八十九ノ多
キヲ算シ其ノ中多數ヲ占ムルハ東京、埼玉、栃木及愛知ノ一府三縣ノ
出品ヲ主トスル鑄造物ニシテ東京府及埼玉縣ハ竈ニ於テ愛知縣及栃
木縣ハ釜ニ於テ優秀ナルヲ認ム、就中特ニ東京府出品ノ竈中ニ其ノ鑄
造工作優レ愛知縣出品中ノ釜中ニ其ノ仕上ゲ良キモノアルヲ見タリ
風呂釜ハ特ニ優秀ト認ムベキ出品少ナク或ハ其ノ傳熱面ヲ廣クシ或ハ
其ノ煙道ヲ迂曲延長シ或ハ特種燃料ヲ用ヒ得ル様等種々考案ヲ廻ラシ
タルモノアリト雖モ尙或ハ風通適當ナラザルコト或ハ燃焼完全ナラザ
ルコト或ハ掃除其ノ他取扱不便ナルコト等其ノ構造製作ニ於テ改良ヲ
要スル點多カルベキヲ見タリ

一般ニ此ノ種鑄造品及風呂釜ノ出品ニハ各々或ル工夫ヲ凝ラセル特許
品或ハ實用新案ナルモノ多クレドモ其ノ實用上ノ効果利便ニ於テハ
未ダ充分卓越セリト認ムベキモノ少ナク此ノ點ニ就テハ社會生活文化

ベク切ニ斯業者ノ努力ヲ望ム所ナリ
アルミニウム製品ハ近年急速ノ進歩ヲナシ之ヲ東京大阪兩府ノ出品
ニツキテ見ルニ其ノ品質ト産額ニ於テ斯業發展ノ現況驚クベキモノア
ルヲ知ル就中大阪ハアルミニウム鑄造品ニ於テ東京ハアルミニウム
鑄造品ニ於テ見ルベキモノ多シ元來此ノ種製品ハ重量輕ク導熱好ク
加之鑄造生セズ外觀亦美麗ナルヲ以テ從來ノ鐵鋼等ノ庖厨用品ニ代リ
テ需用益々多カルベキモノナレバ斯クノ如クアルミニウム工業ガ國
ノ東西ニ於テ長足ノ發展ヲナシツツアルコトハ誠ニ喜ブベキコトナリ
然レドモアルミニウムハ其ノ材料高價ナル爲メ此レ等出品物ニ就
キテ見ルニ其ノ製品一般ニ薄弱ナルヲ免カレズ從テ使用中易ク變形破
損ヲ來ス如キ缺點無キ能ハザルモノナリ之レ當業者ノ尙一考ヲ要スベ
キ點ナラン

銅、眞鍮等ノ薄板製品ニツキテハ展展、打拔、成形等製作上ノ技工近
年大ニ進歩ノ跡アルヲ見ルハ喜ブベシ
冷蔵函ハ近時其ノ需要増加ノ趨勢ニ伴ヒ其ノ製品ノ質及ビ數ニ於テ益
々發達シツツアルヲ見ル然レドモ此ノ種製品ハ使用木材ノ乾燥、熱ノ
絶緣、器内空氣ノ循環、器内ノ乾燥及價格ノ低下等ニツキ將來尙一層
ノ研究ヲ要スベキ點多クアルベキヲ認ム

本類ノ出品數及ビ受賞數ヲ府縣別ニ記セバ左ノ如シ

府縣名	出品人員數	出品數	名譽金牌	銀牌	銅牌	總數	出品人員百分比
東京府	四〇	二四二	一	五	二一〇	一七	四二・五
大阪府	九	一六八	一	一	二二	七	七七・八
神奈川縣	一	三	一	一	一	一	一

更ニ出品ノ主ナルモノニ就キ聊カ講評ヲ試ミントス

○盆類 出品人員二十九、出品點數四十三ニ達シ出品中最多數ヲ示シ其ノ内廣島及長野兩縣ノ出品大部ヲ占ム、廣島縣ノ出品ニ係ルモノハ所謂宮島細工ノ外ニ出デザルモノニシテ概テ價格低廉ナルモ工作粗略ナル嫌アリ、次ニ長野縣ノ出品ハ主ニ枋材ヨリ製シタル盆ニシテ飽削其ノ他工作ニ粗野ナル所アルモ美麗ナル空目ヲ利用シ中ニハ大ニ愛スベキ良品アリ之ガ製作ハ頗ル簡單ナルヲ以テ農家ノ副業トシテ好適ナリ將來益々發達センコトヲ希望ス

○漆器及漆刷毛 漆器ノ出品人員ハ二十五、出品點數ハ三十三ニシテ前者ニ次ギ多數ナリ全部枋木縣ノ出品ニ係ルモノニシテ中ニハ價格比較的低廉品質優良ナルモノアリ、然レドモ其製作法ニ於テ機械ノ應用尙ホ不完全ナルヲ以テ之ヲ改良シ價格ヲ低下セシムルコトニ一層ノ努力ヲ望ム、次ニ漆刷毛ハ出品人員僅ニ五、出品點數七箇ニ過ギズト雖技工巧ニシテ品質及體裁良ク價格比較的低廉ナルヲ以テ輸出品トシテ有望ナルモノナリ將來之ガ製作ノ大ニ發展センコトヲ切望ス

○農民美術研究所出品 該研究所ハ長野縣小縣郡神川村ニ於テ個人ニヨリ創設セラレタルモノニシテ創立日尙ホ淺キニ係ラズ其ノ成績ニ見ルベキモノアルハ大ニ賞スベキコトナリトス、本出品ハ烟草入箱、揚枝入箱、椅子ニシテ其ノ點數僅ニ六點ナリト雖何レモ意匠斬新ニシテ甚雅致ニ富ミ加モ製作簡易ニシテ價格低廉ナリ從來其粗野ナリシ農家ノ工藝品ヲシテ美術的及經濟的ニ向上セシメ正ニ其ノ面目ヲ一新セシモノト謂フベシ、本事業ハ我邦ニ於テ方今最重要ナル農家副業ノ進歩改良ヲ目的トスルモノナルヲ以テ益々發展シ所期ノ結果ヲ收メントトテ切ニ希望ス、今左ニ該研究所事業ノ解説ヲ抄録シ參考ニ供セントス

テ比較審査ヲ遂ケタルニ左ノ如キ結果ヲ觀タリ

第十四部第七十一意(其四)出品及授賞表

Table with 10 columns: 府縣名, 出品人員, 出品點數, 金牌, 銀牌, 銅牌, 褒狀, 計, 人員ニ對スル歩合. Rows list various prefectures like 東京府, 京都府, 大阪府, etc.

其二 造花押繪類

九四二

主任 審査官 野口寅之助 報告員 同 鹿島英二

造花押繪其ノ他細工物中造花及摺細工ハ其ノ製作技工益精緻ニ赴ケルハ喜ブベキモ裝身具用其ノ他應用方面及其ノ構想上ニ關シ圖案化若クハ理想化スルコトニ就テ新傾向トシテ視ルベキモノ歟キハ遺憾トス 出品人員及授賞數左ノ如シ

Table with 10 columns: 府縣名, 出品人員, 出品點數, 大賞, 名譽賞, 金牌, 銀牌, 銅牌, 褒狀, 計. Rows list 東京府, 京都府, 石川縣, etc.

其四 竹細工、蔓細工類

主任 審査官 秋保安治 報告員 同 津田信良

本類ニ屬スルモノハ竹細工、蔓細工、杞柳製品、籐細工及麥稈經木等ノ製品ニシテ其内家具ニ屬スルモノハ第十五部ニ於テ行李カバン類ハ本部第一六七類ニ於テ審査ヲ遂ケタルヲ以テ本類ニ於テ審査シタル品種ハ花籠、衣裳籠、バスケット類、菓子器、茶器、花瓶等ヲ以テ其主ナルモノトス、而シテ其出品ノ總數八百四十一點、其出品人員三百二十一人ナリ、此等品種ノ全體ヲ通ジ、加工技術ノ優秀、材料適用ノ良否、商品トシテノ實用的價值、機械力利用ノ程度事業ノ規模等ニ關シ

今此結果ニ就テ講評ヲ試ミントス、竹製品ニ於テハ京都府、靜岡縣、鹿兒島縣、大分縣等ニ於テ特色アリ 籐製品ハ依然トシテ東京、大阪ノ如キ地方ニ限定セラレテ發展ノ跡ヲ觀ルベク、蔓細工ハ青森縣今尙詳ナ拔キ、長野縣之レニ次ギ、杞柳製品ハ兵庫縣ノ出品技術ノ優秀ヲ示シ長野縣、岐阜縣之レニ次グ、特ニ臺灣總督府ニ於ケル竹、籐等ノ製品ハ今回ノ出品ニ於テ近代ノ進歩ノ極メテ長足ナルヲ示スモノアルハ喜ブベキコトナリトス

次ギニ之ヲ府縣別ニ於テ其主ナルモノニ就キ細評スベシ 東京府 ノ出品ニハ大體ニ於テ二大特色ヲ示スモノアリ其一ハ殆んど藝術的作品トモ稱スベキ技術ノ精ヲ誇ラントスル種類ニシテ竹製品ニ之レヲ認ムルヲ得ベク他ノ一ハ全然實用的商品ノ改良ニ腐心スル種類ニシテ籐製品之レヲ代表スルガ如シ、東京府ノ竹製品ニモ實用的ニ發展シツアルモノナキニアラズト雖モ茲ニ出品ニ觀ルガ如キ特色ハ他ノ匹儔ナキ種類ニシテ之レヲ代表スルモノハ飯塚鳳齋、川崎節庵、小菅公長齋等ノ出品者トス、此等ノ出品ハ裝飾品トシテノ竹工トシテハ實ニ技術ノ精ヲ盡シタルモノニシテ其出品者平素ノ努力ハ頗ル嘉賞スベシ、然レドモ竹製品ノ需要方面ヨリ考フレバ此等ノ優秀ナル技術ヲ以テ現ニ他府縣ニ於テ製出シツアルガ如キ實用的商品ノ上一一般ノ

工夫ヲ施スコトニ向ツテモ亦研究ノ歩ヲ進メラレンコトヲ望マザルヲ得ズ、而シテ他ノ一方ノ特色タル籐製品ニ到リテハ全然實用的商品ノ改良ニ腐心シ今ハ其製品ノ範圍ニ於テ著シク其擴大ヲ觀、將來益々發展シテ竹製品及蔓細工ヲ驅逐セントスルノ概アルハ喜ブベク而シテ之レヲ代表スルト認ムベキモノハ小菅恭太郎ノ出品トス、由來籐製品加工上ノ缺陷ハ全然手工ニ委シ更ニ機械力應用等ノ工夫ナカリシ事ニ存シタリシヲ小菅氏ハ最近精良ナル機械ヲ設備シ籐ノ加工原料ノ製出ニ於テ新機軸ヲ現ハシ、輸出上ニ尠カラザル利便ヲ得タルノ外製品ノ種類ニ於テモ幾多新シキ實用品ノ製出ニ努メタルガ如キハ斯界ノ爲メニ慶賀スベキコトナリ、希クハ將來海外輸出ノ上ニ全成品ノ多數ニ現ハルルコトニ向ツテ一層ノ努力ヲ研究ト加ヘラレンコトヲ

大阪府 モ亦東京ト共ニ斯種製造業ノ盛ナル所ナルニ拘ラズ今同ハ僅カニ一人ノ出品ヲ觀タルニ過ギズ、從テ批評ニ價スル材料ナキヲ遺憾トス

京都府 ハ竹製品ニ於テ實用的商品ノ製作ニ長ズルノ地ナリ、而シテ今回ノ出品ハ能ク其特色ヲ現ハセリ就中森田新太郎出品ノ洋燈笠ノ如キハ同氏多年ノ研鑽其效ヲ奏シ今回ノ出品ニ視ルニ意匠配色形狀等外國人ノ嗜好ニ適スルモノ多ク、輸出向製品ニ於テ斯業ニ冠タルモノアルハ慶スベキナリ、近時竹製品ノ輸出ハ他ノ商品ニ比シテ増加著シカラズ此際當業者ノ奮勵ヲ望ムヤ切ナリ

兵庫縣 ノ杞柳製品ハ從來其材料ノ選擇及加工ノ技術ニ於テ本邦ニ冠タルモノニシテ而モ輸出向バスケツト類ニ於テ特色ヲ觀ルモノナリシガ、今回ノ出品ハ唯一人ノ商品ニシテ之レニヨリテ全般ヲ評スルヲ得ズ、而モ其出品ノミヨリ觀レバ前回ノ大正博覽會ノ出品ニ比シテ優レ

ル點ヲ發見セズ、當業者ノ奮勵ヲ望マザルヲ得ズ

新潟縣 ハ近時著シク竹製品ノ擡頭シ來リシ地方ニシテ今回ノ出品其種類モ多ク其技工モ進ミ、内地向製品ノ方面ニ於テハ將サニ京阪等ニ次グノ良品ヲ出シタルハ當業者ノ努力モ賞スルニ足ルモ、縣當局指導其宜シキヲ得タルコトモ主要原因ニシテ大ニ他ノ範トスルニ足ルヲ認ム

奈良縣 ノ出品ハ主トシテ籐及茶筌ノ二種ニシテ茶筌ハ同地ノ特産トモ稱スベキモノナレドモ時勢ハ漸次需要ノ減退ヲ觀ツツアリ續亦同様ノ品種ニ屬スルヲ以テ三重縣、靜岡縣等ニ學ビテ將來發展ノ餘地アル商品ニ向ツテ斯技術ヲ應用スルニ努ムベキナリ

三重縣 ノ出品中森田庄藏ノ竹製洋食器ハ最モ人意ヲ強フスルモノニシテ本邦ノ竹製品ノ多クハ技工ヲ主トスル籐類ニ集中シ未ダ何人ニモ製出容易ニシテ而モ海外輸出ニ適スルモノヲ觀ルコト少ナキ間ニ於テ獨リ斯出品ノミハ技術モ仕上モ可良ニシテ而モ最モ多量製産ニ適シ從來他府縣ニ製出セラルルモノニ比シテ確カニ一頭地ヲ拔クモノナリ、

希クハ其品種ノ範圍ヲ擴大スルコトニ將來研鑽ヲ積マレンコトヲ靜岡縣 ノ出品ハ輸出向、内地向兩方面ニ涉リテ多數ヲ觀ルモ其技工モ品種モ特ニ新シキモノヲ觀出サザルハ聊カ遺憾ナリ、靜岡縣ハ竹製品ニ於テハ沿革モ長ク技工モ長ジ材料亦豊富ナルヲ以テ此際一段ノ奮發ヲ望ムルコト切ナリ

滋賀縣 ノ水口細工モ亦近年進歩ノ遅々タルヲ認ムルハ遺憾ナリ今回ノ出品ヲ前回ノ大正博覽會ノ出品ニ比スルニ特ニ品種ノ改良工夫又ハ技工ノ進歩ヲ認ムベキモノナキハ當業者ノ研究不充分ナルガ爲メニアラザルカ

岐阜縣 ハ杞柳製品ニ於テ秀テタルノ地タリシモ今回ノ出品ハ其數少ナクシテ其特色ヲ窺ヒ最近ノ進歩ヲ察スルヲ得ザリシハ遺憾ナリ

長野縣 ハ竹細工、蔓細工、杞柳等ノ總テニ於テ相當ノ産額ヲ有スルノ地ナルモ今回ノ出品ハ技工ノ點ニ於テモ品種ニ於テモ新生面ヲ窺フヲ得ザルハ遺憾ナリ、相當ノ歴史ヲ有スル同縣ノ當業者タルモノ一層奮勵以テ新シキ考案ニ力ヲ致スベキナリ、但シ同縣出品中小林熊治ノ製品ノミハ其品種ノ選擇ニ於テモ材料ノ適用ニ於テモ全然他ノ出品ト趣ヲ異ニシ實用的ニシテ而モ意匠體裁上品ナルノ點出色ノモノト稱スルヲ得ベシ、希クハ此着想ニヨリテ將來努力已マズンバ需要ノ擴大ヲ致スヲ得ベキカ

青森縣 ノ蔓細工ハ流石ニ主産地タルヲ以テ其製品依然トシテ群ヲ抜キ其材料ノ選擇モ漂泊ノ結果ヨリ觀ルモ加工ノ技術モ實ニ優秀ナルモノ多ク就中弘盛株式會社製品ノ技工トハ木橋文之助ノ品種ノ考案及變色ヲ防グ塗料ノ研究等賞讃ニ値スルモノ多シ唯遺憾ナルハ近時籐製品ノ發達ハ實用的ニ斯種製品ヲ厭進シ來ルモノアリ、此點ニ一段ノ考慮ヲ加ヘ、蔓製品ノ特色ヲ保存シツツ之レニ對抗シ得ベキ技術上ノ考案ヲ必要トスベシ

徳島縣 ハ主トシテ實用一編ノ筵類ノ出品ニシテ烏籠及花生等ノ出品アルモ寧ろ筵類ニ於テ技術ノ精巧賞スベキモノ多シ、各地ニ需要廣キ商品ナレバ將來加工上ノ方法ノ上ニ研究ヲ積ミ以テ生産費低減ノ競争ニ勝利ヲ占ムルニ努ムベキナリ

愛媛縣 ハ花籠ノ製作ト砥部焼竹卷トヲ特色トシ花籠ハ内地向トシテハ形態及着色仕上等ニ遺憾アルモ輸出向ノ商品トシテハ大體ニ於テ優良ナルヲ喜ブ、竹卷ハ技工極メテ進ミ他ニ擬似ヲ許サズモノアリ、將

來ニ於テモ各種燒物ノ上ニ此技ヲ施スコトニ一層ノ努力ヲ爲サバ更ニ産額ヲ増加スルヲ得ベシ

大分縣 ハ近時竹製品ノ産額ニ於テ益大ヲ加ヘツツアルノ地方ニシテ而モ材料ノ生育極メテ良好ナルノ天恵ヲ有スルヲ以テ將來アルノ點ニ於テハ他ヲ凌駕スルモノナリ、唯今回ノ出品ニ觀ルニ於テハ技工未ダ拙劣ニシテ形態モ亦他ニ勝ルモノナク此儘ニ推シ行カバ新潟縣ノ如キ新進ノ地方ニ一籌ヲ輸スルナキニアラズ當業者ノ奮勵ヲ望ム

鹿兒島縣 ノ竹製品ハ大材ヲ出ス地方ノ特色トシテ專ラ竹器ノ出品多キモ技術未ダ甚ダ幼稚ニシテ一般商品トシテハ遙カニ前途アルヲ感ズ特ニ竹盆ニ徒ラニ拙劣ナル蒔繪ヲ施シタルガ如キハ却テ製品ヲ粗惡ナラシメタルノ憾ナキニアラズ、全體ニ於テ器用ナル作品ヲ出スニ研鑽ヲ積ムベキナリ

臺灣總督府 ノ出品ノ一回毎ニ進歩ノ結果ヲ示シツツアリ、誠ニ慶賀スベキナリ、特ニ籐製品ノ如キ近時益々實用的ニ傾キ形態亦佳良ニ赴キツツアルハ當局獎勵ノ宜シキニモ依ルコトナランモ當業者ノ奮發ニ對シテモ讚辭ヲ惜ム能ハズ、原料等ノ關係ヨリ觀ルモ將來益其品種ノ研究ニ力ヲ致スベキナリ

以上ノ外各府縣ニ涉リテ多少ノ出品ナキニアラザルモ別ニ特色ヲ發揮スルモノナク且ツ進歩モ遅々タルヲ以テ特ニ評スベキナシ

之レヲ要スルニ竹製品ト籐製品ト蔓製品及杞柳製品トノ間ニハ夫々特色ヲ有スルト同時ニ又一面殆ンド同一ノ用途ニ向フ物多キヲ以テ夫々當業者ニ於テ常ニ其材料ノ特色ヲ遺憾ナク發揮スルコトニ努メ其缺點ヲ補足スル爲メニハ此等材料ノ總テヲ副嚮シ配合シ補フニ木材金屬材トノ使用ニ工夫ヲ致シ以テ夫々品種ノ擴大ト生産費ノ節約ニ力ヲ用フ

ベキナリ、此點ニ於テ今回ノ出品中觀ルベキモノナキニアラザルコト
前述ノ如シト雖ドモ全般ヲ通ジテハ未ダ遺憾ノ點尠カラザルヲ認ム、
當業者ノ奮勵ヲ望ムヤ切ナリ

合計 八三九二二四 五〇〇

工匠用工具類

主任 審査官 三 俣 秀 實
報告員 同 三 輪 震 一

本類ニ屬スル出品ハ點數三十九、出品人數八人ニ過ギザレド其ノ種類
ハ甚ダ多種多様ニシテ「ダイヤモンド、ツール」二十八點、靴工用器
具一組ヲ其ノ主ナルモノトシ刻印、水平器、鋸類(煉瓦鋸、左官鋸、
燒鋸)及「スクリユイ、ジャツク」ヲ含メリ

「ダイヤモンド、ツール」ノ製造ハ寧ロ新ラシキ工業ニシテ之レガ製造
ヲナスモノ極メテ少ナク本國ノ出品ハ日本ダイヤモンド工業株式會社
ノモノノミナリ該出品ハ比較的良好ニシテ使用ノ目的ニ對シテハ充分
ナリト雖外國製品ニ比シテハ未ダ遜色アルヲ免レズ將來尙一層ノ研究
ヲ望ム又靴工用器具ハ一組五十箇ヨリ成リ製品稍佳良ニシテ仕上燒入
共ニ實用ニ適ス可シト考ヘラル

其他ノ出品ニハ特ニ優秀ナリト見ルベキモノ無ク中ニハ燒入ノ良好ナ
ラザルモノアリ又ハ螺絲部ノ甚ダ不完全ナルモノアリテ製作上ノ研究
不充分ナルモノ尠ナカラザルヲ遺憾トス

今本類ノ出品數及ビ受賞數ヲ府縣別ニ記セバ次ノ如シ

府 縣 名	出品數	人員數	銅 牌 褒 狀 計	出品人員ニ對 スル百分比
東 京 府	七	三八	二	四
山 形 縣	一	一	一	五七、一

第十五部 建築

平和記念東京博覽會 第拾五部 審查報告

第一 概説

第十五部ハ建築及其構造裝飾家具等各般ノモノヲ包容シ之ヲ建築館内ニ陳列シ及屋外ニ建造セリ世上或ハ建築館内ニ於ケル出品ノミヲ見之ヲ製作工業等ト混同シ建築館ノ名稱ニ對シ疑義ヲ抱ケルモノアリ然レドモ大正博覽會ノ當時機運既ニ熟シ建築ハ一ノ部門トシテ獨立シタリ本博覽會ニ於テハ特ニ之ガ爲ニ一館ヲ設ケタルノ差異アルノミ部門ノ分類ノ如キハ略大正博覽會ノ時ト異ルナシ蓋建築ノ裝飾家具材料等ハ一面ニ於テハ製作工業化學工業染織工業或ハ林業鑛業ノ如キ方面ヨリ之ヲ見ルヲ得ベシト雖其終局ノ目的ハ之ヲ使用スルニアリ故ニ使用上ヨリ之ヲ見テ其適否ヲ鑒スルハ嚴重ノ事ナリトス之レ此等ノモノガ建築館内ニ包容セラレ建築的眼孔ヲ以テ審査セラレル所以ニシテ實ニ博覽會出品分類審査ノ上ニ於テ一段ノ進歩ナルコトハ既ニ大正博覽會ノ審査報告ニ述シタル所ナリトス

建築ノ問題ハ其範圍頗廣汎ニシテ既ニ其出品分類中ニ示セル如ク之ヲ大ニシテハ都市ノ計畫ニ關スル集合建築物ヲ設計ヨリ公私各種ノ建築物及其細部家具裝飾ニ及ビ人民生活ノ要素タル衣食ト併セ稱セラル而シテ其改良進歩ニ關シテハ衣服飲食ノ如ク簡單ナルモノニ非ズ衣服飲食ハ之ヲ改良スルニ經費ト努力ヲ要スルコト少ク之ヲ試ミテ不可ナレバ則之ヲ改ムルコト容易ニシテ實ニ一舉手一投足ノ勞ノミ建築ノ問題ハ然カク簡單ナルモノニ非ズ風土氣候人情風俗等各般ノ問題ニ關聯シ而シテ其改良發達ハ實ニ人生ノ幸福ニ大關係ヲ有ス之ヲ我博覽會ノ

審査部長 塚本 靖

出品ニ徴スルニ其館外出品物タル中流住宅現物中ノ多數ノ如キハ全ク此主意ニ基キ且衛生的經濟的ニ經營セラレタルモノニシテ大體ニ於テ時代ノ要求ニ適應セル出品ナルヲ認ム

本部中第七十三類ノ第一公共建築物第二劇場等第三工場第四商店及第七十四類ノ田園都市都市計畫ニ關スル集合建築物ノ設計圖面模型第七十七類裝飾ニ關スル設計圖面模型ニ關シテハ何等ノ出品ヲ見ズ此等ノモノハ最重要ナルモノナルノミナラズ其考案ハ觀覽者一般ガ最興味ヲ以テ迎フル性質ノモノナルニモ係ラズ斯ノ如ク何等其出品ナキハ實ニ遺憾ナリト云フベシ。

本邦ノ風土氣候ハ之ヲ歐米諸國ニ比シ寒温ノ差甚シク風量雨量強大ニシテ地震モ亦頻繁ナリ故ニ其建築ハ之ヲ他ノ諸國ニ比シテ特殊ノ考慮ヲ要スベキ點多シ加フルニ古來可燃材料タル木材ヲ以テ建築ノ主要材料ト爲セシニ依リ火災ノ厄ニ對シテモ亦甚大ノ注意ヲ拂ハザルベカラズ然ルニ本部ニ於テハ此等耐風耐火耐震等ニ關スル特殊ノ考案ハ殆んど之ヲ缺キ唯僅ニすちゝる、あつし、石綿すれゝと、鐵網こんくりゝと、こんくりゝと、ぶろつく抗火石防火戸防火煙突消火器防水劑防腐劑等ノ少數出品ヲ見タルノミ建築家及當業者ノ銳意努力此種ノ考案及製作ニ勉メラレンコトヲ翹望ス

室内裝飾ノ出品ニハ觀ルベキモノナク其材料中合板人造石等ニ於テ僅ニ進歩ノ狀ヲ認メ得ルノミ裝飾用タイル及木象嵌ハ世間ノ需要ニ伴ヒ漸次發達シタルヲ見ル然レドモ其圖案及配色ニ就テハ猶一層ノ改良ヲ

試ムベキナリ

家具類ハ其意匠及技工共ニ進歩セリト雖猶世ノ進運ニ伴隨セザル憾ナキ能ハズ敷物類中ニハ數種ノりのりのむアリ其製作日猶淺シト雖品質外觀共ニ觀ルベク向後ノ發達期スベキモノアリ由多加織野草筵絹敷物綴通類亦相當進歩ノ跡アルヲ見ル

建築衛生設備及器具中ニハ暖房器具ノ出品最多ク其他ニ下水器具浴場設備ニ關スルモノアリ暖房器具ノ製作ハ近來大ニ發達シテ能ク輸入ヲ防遏シタリト雖其形狀意匠ハ單ニ外國品ヲ模シタルニ過ギズシテ我國現時ノ生活狀態ニ鑒ミ其用途ヲ洞察シテ之ニ適應シタル新規ノ考案製作ヲ見ザルハ遺憾ナリ便所浴室ノ設備ニ就テハ好個ノ考案出品ナシ此等ノモノノ需要ハ頗廣クシテ其改良ハ直ニ人類ノ幸福ニ大關係ヲ有スルモノナレバ當業者ハ須ラク奮勵之ガ改良ニ盡スベキナリ

第二 審査職員

本部出品ノ審査ハ專任ノ審査官十一名之ヲ分擔シ審査囑託六名及審査補助四名ヲ以テ之ヲ補翼セシメ又他部審査官十二名同囑託二名同補助一名ヲ參加セシメタリ其人左ノ如シ

- 審査部長 正四位勳三等工學博士 塚本 靖
- 審査官 佐野 利器
- 同 大熊 喜邦
- 同 土屋 純一
- 同 蜂谷 徳三郎
- 同 前田 松韻
- 同 北浦 重之

審査官

- 同 本野 精吾
- 同 内田 祥三
- 同 神木 健介
- 同 田中 正義
- 同 内藤 多伸
- 同 伊東 忠太
- 同(第二部ヨリ兼勤) 大澤 三之助
- 同(同) 武田 五一
- 同(同) 島田 佳矣
- 同(同) 佐藤 功一
- 同(同) 岡田 信一郎
- 同(第十四部ヨリ兼勤) 津田 信良
- 同(第十三部ヨリ兼勤) 鹿島 英二
- 同(同) 齋藤 俊吉
- 同(第十四部ヨリ兼勤) 安田 祿造
- 同(同) 伊藤 宜良
- 同(第十二部ヨリ兼勤) 山村 銳吉
- 同(同) 飯田 徳三郎
- 同(同) 早川 龍介
- 同(同) 西川 重吉
- 同(同) 山口 孝太郎
- 同(同) 安田 松慶
- 同(同) 樋口 彦右衛門
- 同(第六部ヨリ兼勤) 塚本 準藏

審査囑託(同)

審査補助

- 熊田 重雄
- 谷口 忠
- 源川 正盛
- 水谷 武彦
- 森田 洪
- 伊藤 慶二

同(第十四部ヨリ兼勤)

第三 出品及授賞

本邦出品ハ第七十三類乃至第八十八類ノ十六類ヨリ成立スト雖第七十四類ト第七十七類トハ全ク其出品ヲ缺ケリ而シテ其陳列ニハ建築館内全部及其附近ヲ以テ之ニ當テタリ然レドモ第七十三類及第七百八十七類ノ出品中主要ナルモノハ其性質上之ヲ染織館及製作工業館背後ノ地域等ニ建設設置セラレタリ

出品ノ總點數ハ其數三千五百五十五點ニシテ之ガ出品人員ハ實ニ千三百四十八人ナリトス而シテ慎重審査ノ結果賞ヲ授セシモノ名譽大賞牌一、名譽賞牌六、金牌四十二、銀牌五十八、銅牌百九、褒狀二百九十五、合計五百一十一ナリ猶本擬賞品ニ對シ指導ノ功績顯著ナル者ニ協賛名譽大賞牌一ヲ授シタリ其各類別及廳府縣別擬賞歩合左表ノ如シ

類別	出品名譽大賞牌	出品名譽金牌	出品名譽銀牌	出品名譽銅牌	出品名譽褒狀	出品人員ニ對スル百分比
一五	一	一	一	一	一	一五
一六	一	一	一	一	一	一六
一七	一	一	一	一	一	一七
一八	一	一	一	一	一	一八
一九	一	一	一	一	一	一九
二〇	一	一	一	一	一	二〇
二一	一	一	一	一	一	二一
二二	一	一	一	一	一	二二
二三	一	一	一	一	一	二三
二四	一	一	一	一	一	二四
二五	一	一	一	一	一	二五
二六	一	一	一	一	一	二六
二七	一	一	一	一	一	二七

第十五部府縣別出品及授賞表

府縣	出品名譽大賞牌	出品名譽金牌	出品名譽銀牌	出品名譽銅牌	出品名譽褒狀	出品人員ニ對スル百分比
府縣	一	一	一	一	一	一
東京府	一	一	一	一	一	一
京都府	一	一	一	一	一	一
大阪府	一	一	一	一	一	一
神奈川縣	一	一	一	一	一	一
兵庫縣	一	一	一	一	一	一
新潟縣	一	一	一	一	一	一
埼玉縣	一	一	一	一	一	一
茨城縣	一	一	一	一	一	一
三重縣	一	一	一	一	一	一
愛知縣	一	一	一	一	一	一
靜岡縣	一	一	一	一	一	一
滋賀縣	一	一	一	一	一	一
岐阜縣	一	一	一	一	一	一
長野縣	一	一	一	一	一	一
宮城縣	一	一	一	一	一	一
福島縣	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一

示セリ是レ稍會心ノ事ナリト雖新工夫或ハ新材料ノ多カラザリシハ斯業ニ從事スル者ノ大ニ考慮スベキ所ナリトス
今其出品物中比較的優秀ナルモノヲ暗記スレバ左ノ如シ
一、便利瓦類

本品ハ其製造會社ニヨリテ多少ノ差異アルモ大體ニ於テ「フエルト」ニ「ビテユイメン」類ヲ加ヘテ製シタル屋根葺材料ナリ耐水、耐酸のニシテ其質柔軟ニ其ノ量輕少ナレバ輕便屋根葺材料トシテ適ス
穴原商會ハ此種「ルーフィング」ノ製造最モ古ク其販路モ廣シ、成績モ亦見ルベキモノアリ賞銀牌ニ價スルモノト認ム、而シテ日本建築紙工株式會社製品、日ノ出便利瓦、日本建材社製品アサヒ便利瓦之ニ相亞イデ賞ニ値スルモノナリ

一、セメント製品類 本類ニハセメント石綿板ト人造石トアリ
セメント石綿板、本品ハ「セメント」ト石綿トヲ主要材料トセル屋根葺材料ニシテ耐水、耐火、耐酸のニ其重量輕少ナリ龜裂ヲ見ルコト少ナク施工簡易ニシテ價低廉ナル點ニ特徵アリ「淺野スレート」ハ此種材料中生産能率最モ高ク品質良好ニシテ一般ニ普及セリ、金牌ニ價スルモノト認ム、而シテ「穴原スレート」之ニ亞グ
雨量ニ富ミ地震火災亦少ナカラザル本邦ニ於テ以上特殊屋根葺材料ノ製造ハ最必要ナリ、當業者タルモノ益々奮勵シテ材質ノ精選ト價格ノ低廉ヲ期スベキナリ

人造石 本品ハセメントニ石粉ヲ混ジ石灰、硅藻土ノ如キモノヲ以テ練固メタルモノナリ、砂崎庄次郎ハ古クヨリ之ガ製作ニ從事シ其成績良好ナリ賞銅牌ニ價ス、益々品質ノ精良ヲ望ム
一、スチールサツシユ及金物類

「スチールサツシユ」ガ近代建築ニ必需品タルハ言ヲ俟タズ、而シテ東京建鐵株式會社ハ之レガ製造ニ從事シ漸次發達シテ今ヤ生産額甚大ナルニ至リ成績亦外國品ヲ凌グモノアリ、近年著シク進步ノ跡ヲ見ル、名譽賞牌ニ値スル所以ナリ

穴原カドガネ 本品ハ金屬板ヲ折曲ゲテ製作セルモノニシテ建築物各所出隅ノ保護材料トシテ效アリ

完全戸車レール 本品ハ其ノ取付ノ際釘頭ヲ上部ニ表サズ車ノ滑走ヲ輕快ナラシメタル點從來ノ戸車レールニ優ル

一、マグネシヤ加工品類 本類中ニ

マグネシヤセメントニ纖維質ヲ加ヘ煉固メテ製シタル床張材料アリ南滿鐵業株式會社出品「リグノイド」東洋練革床工業株式會社出品、マグネシヤ加工練革床等はナリ、其施工簡易ナルト價ノ低廉ナルタメ近時漸ク需要ヲ見ル、但時トシテ其表面ニ龜裂ヲ見ルコトアリ猶改良ノ餘地ヲ存スルモノトイフベシ

一、石材類

機械加工石材 本品ハ日本工業株式會社ノ出品ニシテ石材加工ニ機械力ヲ應用シ從來ノ手工法ニ比シテ著シク能率ヲ高メタルモノナリ賞金牌ニ値スルモノト認ム、益之レガ進步竝ニ普及ヲ期待ス

スレート 出品多數ナリ就中山下慶助ノ出品最モ品質佳良販路廣シ賞ニ價スルモノト認ム

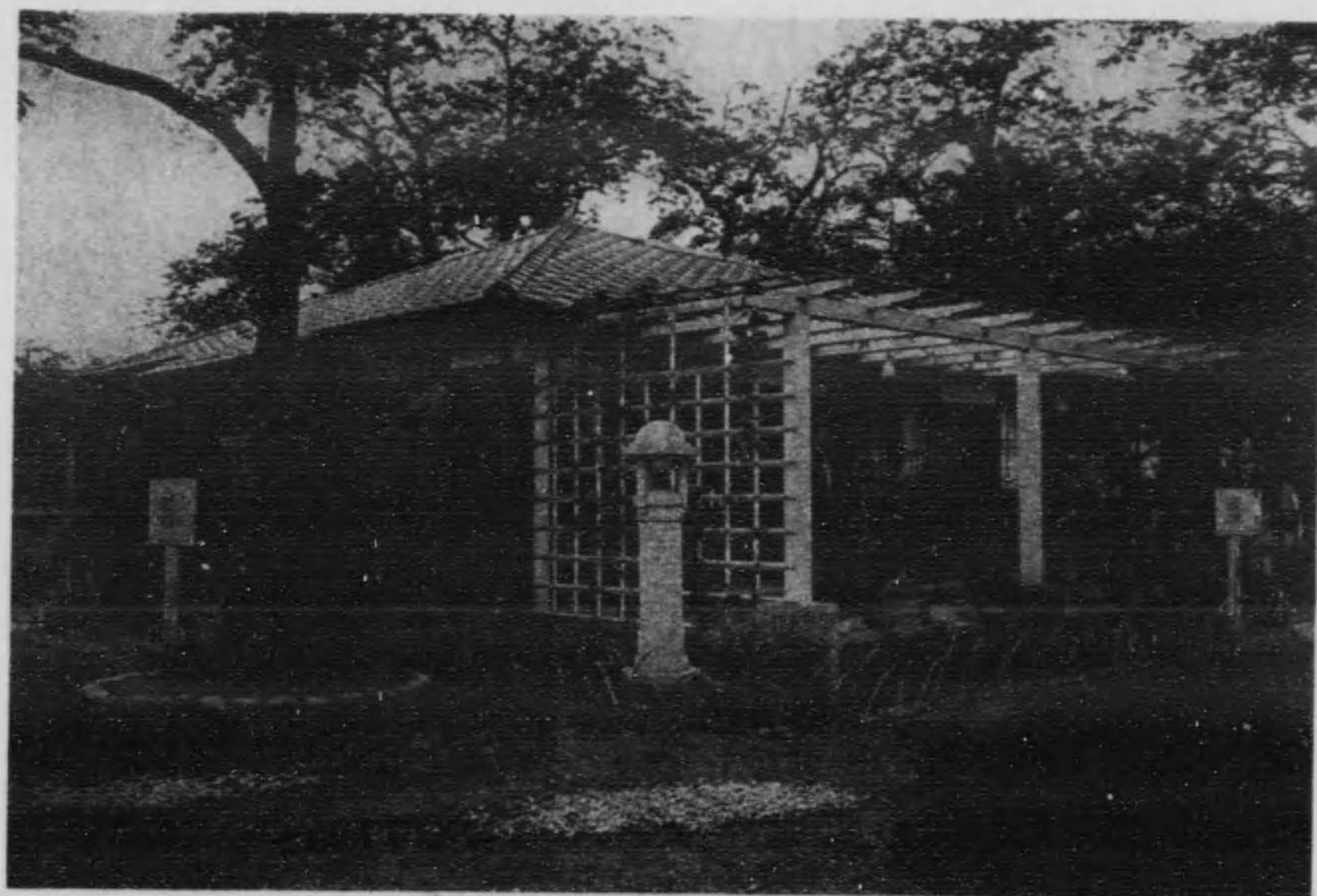
本類出品ハ之ヲ地方別トナセバ東京、埼玉、宮城、山口及滿洲ニシテ其出品者ハ二十九名出品數ハ百十二點ナリ而シテ其府縣別授賞等級ハ左ノ如シ



生々園宏達彌出品住宅



あめかり屋出品住宅



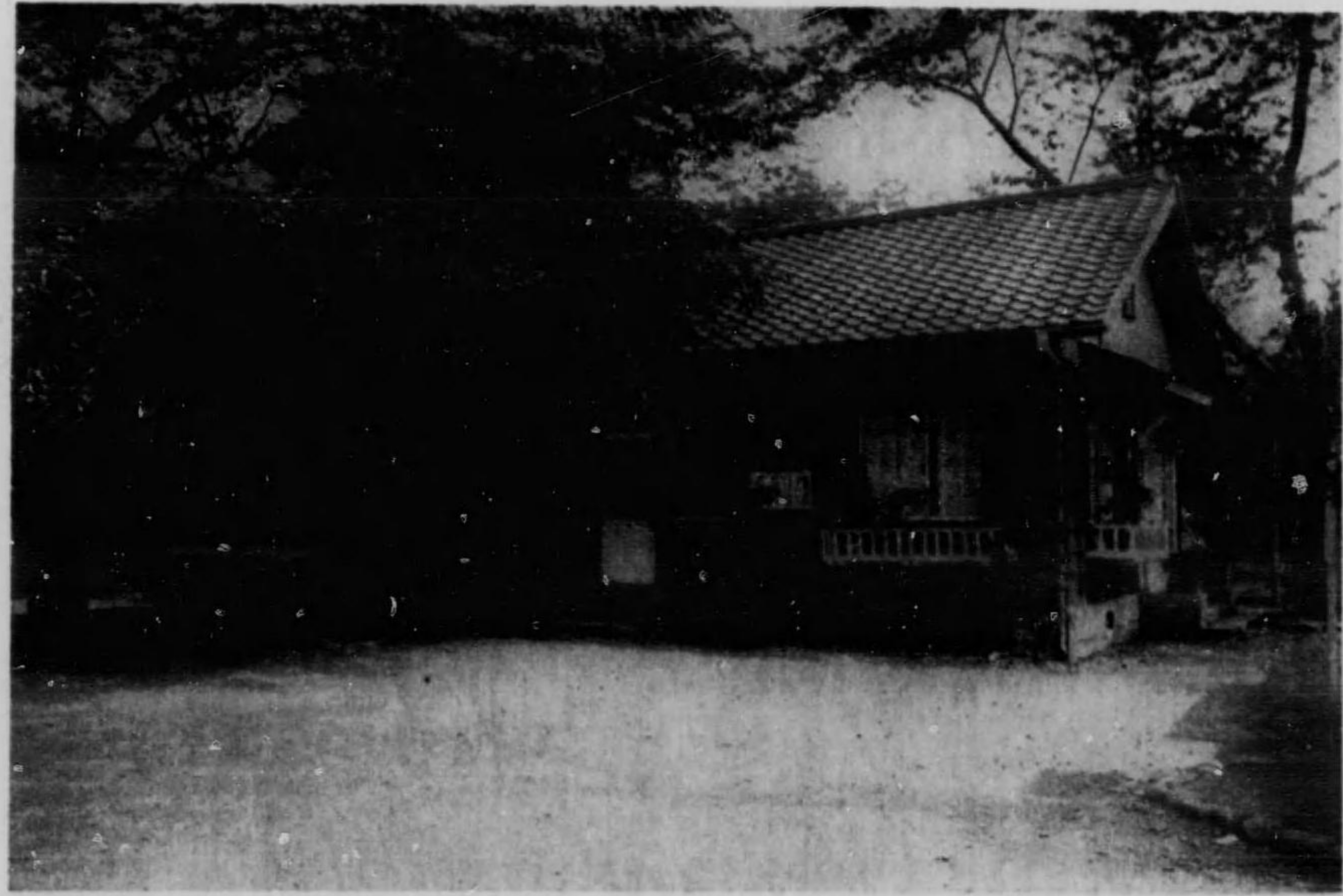
樋口五郎出品住宅



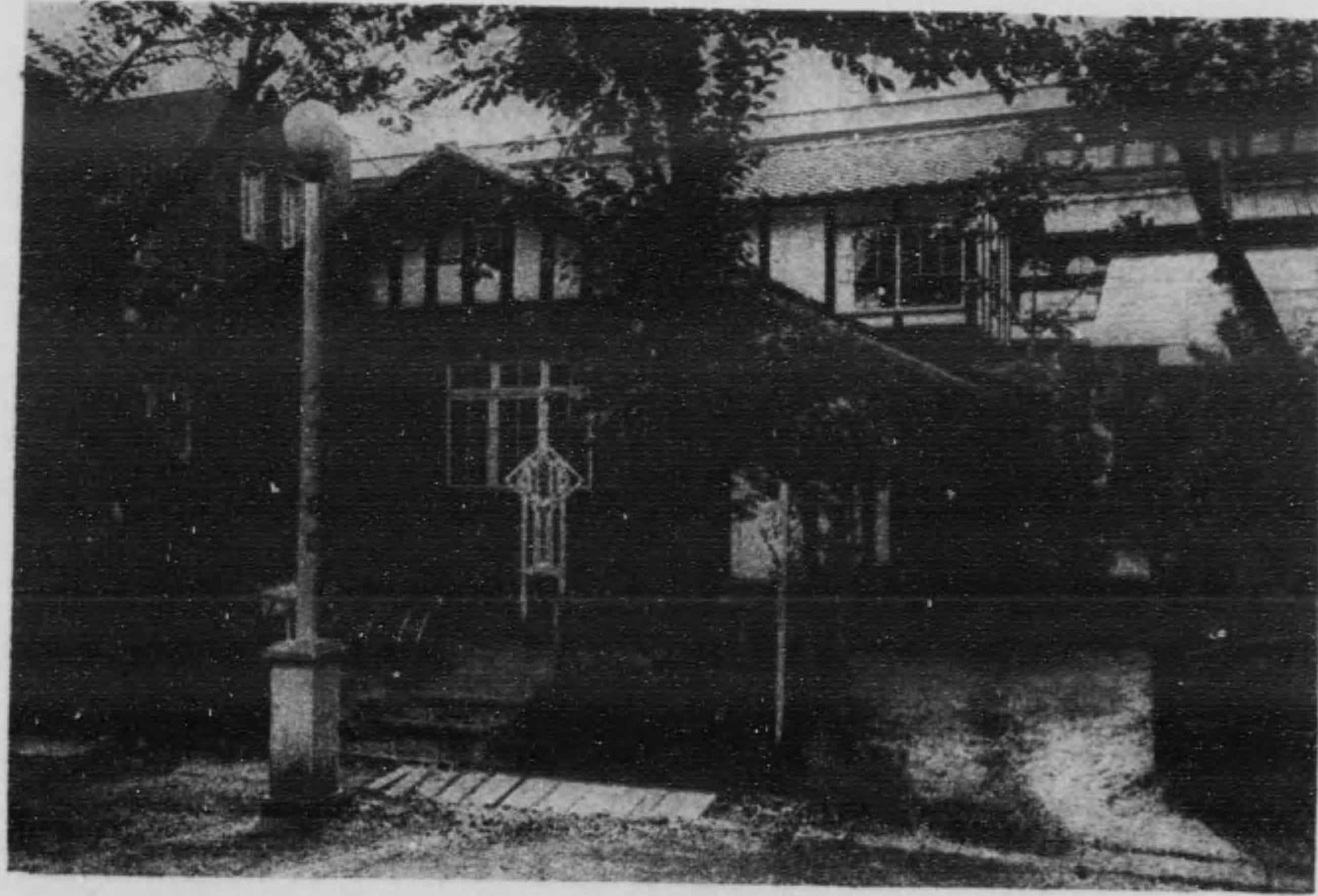
合資會社高組出品住宅



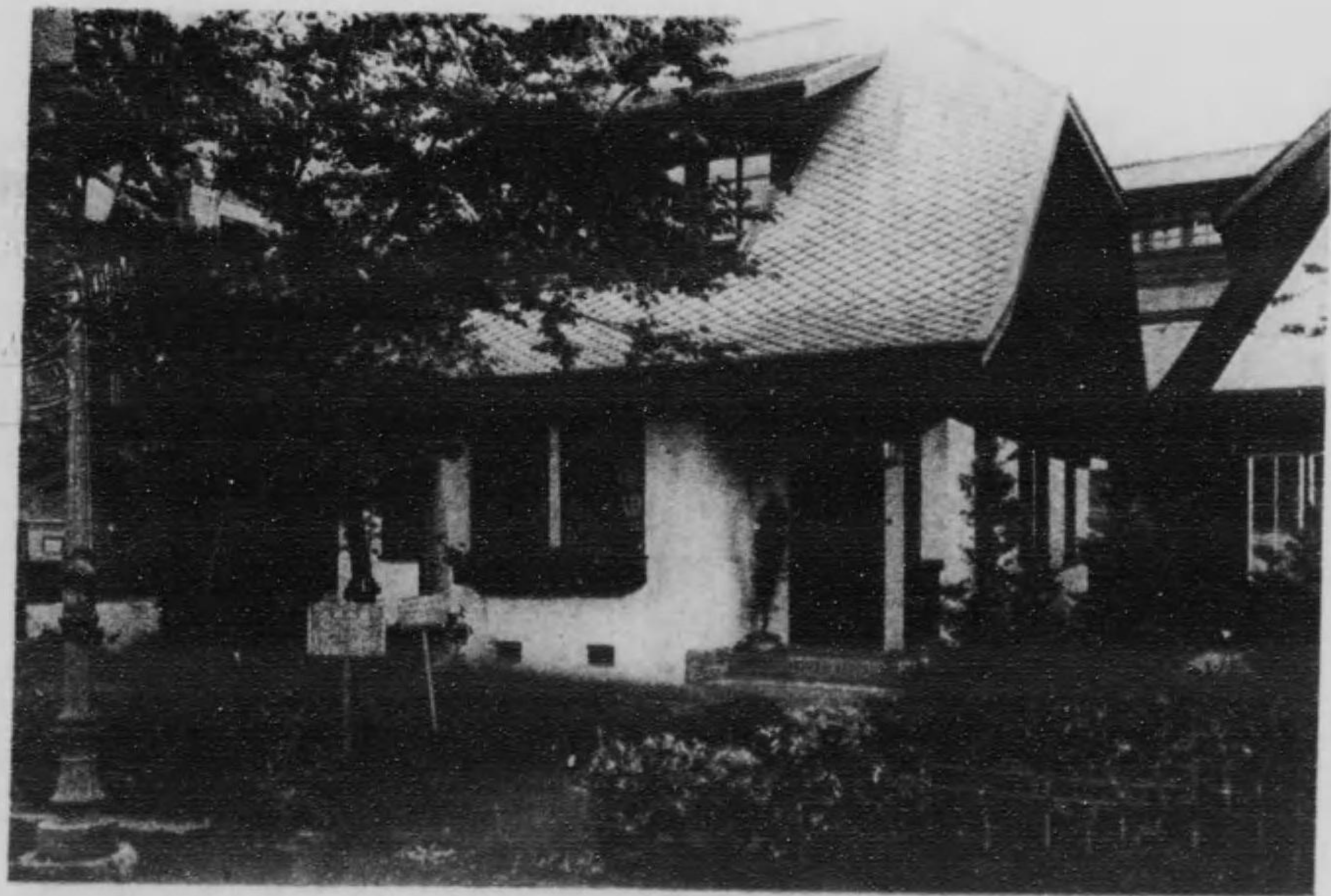
小澤慎太郎出品住宅



生活改善同盟會出品住宅

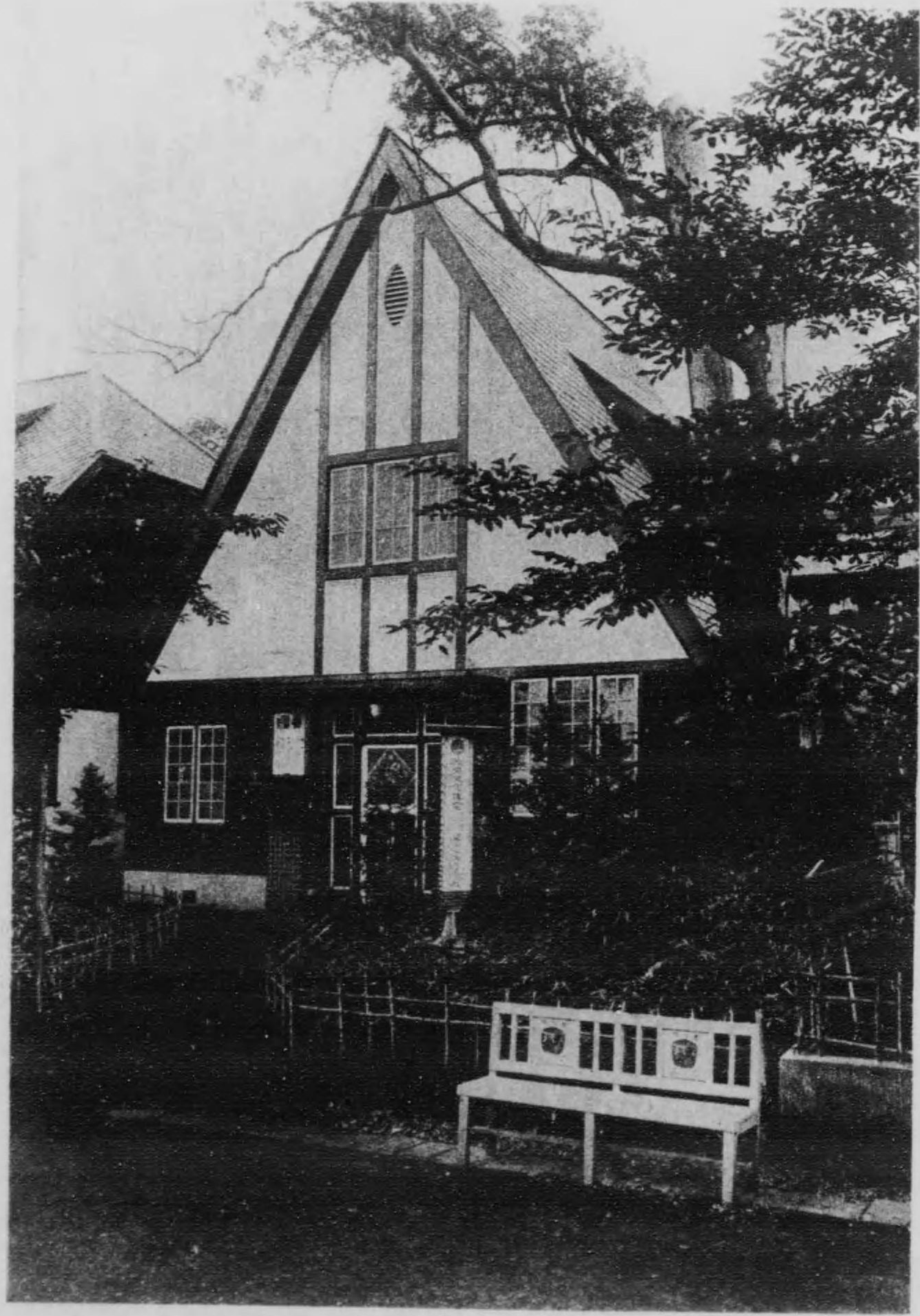


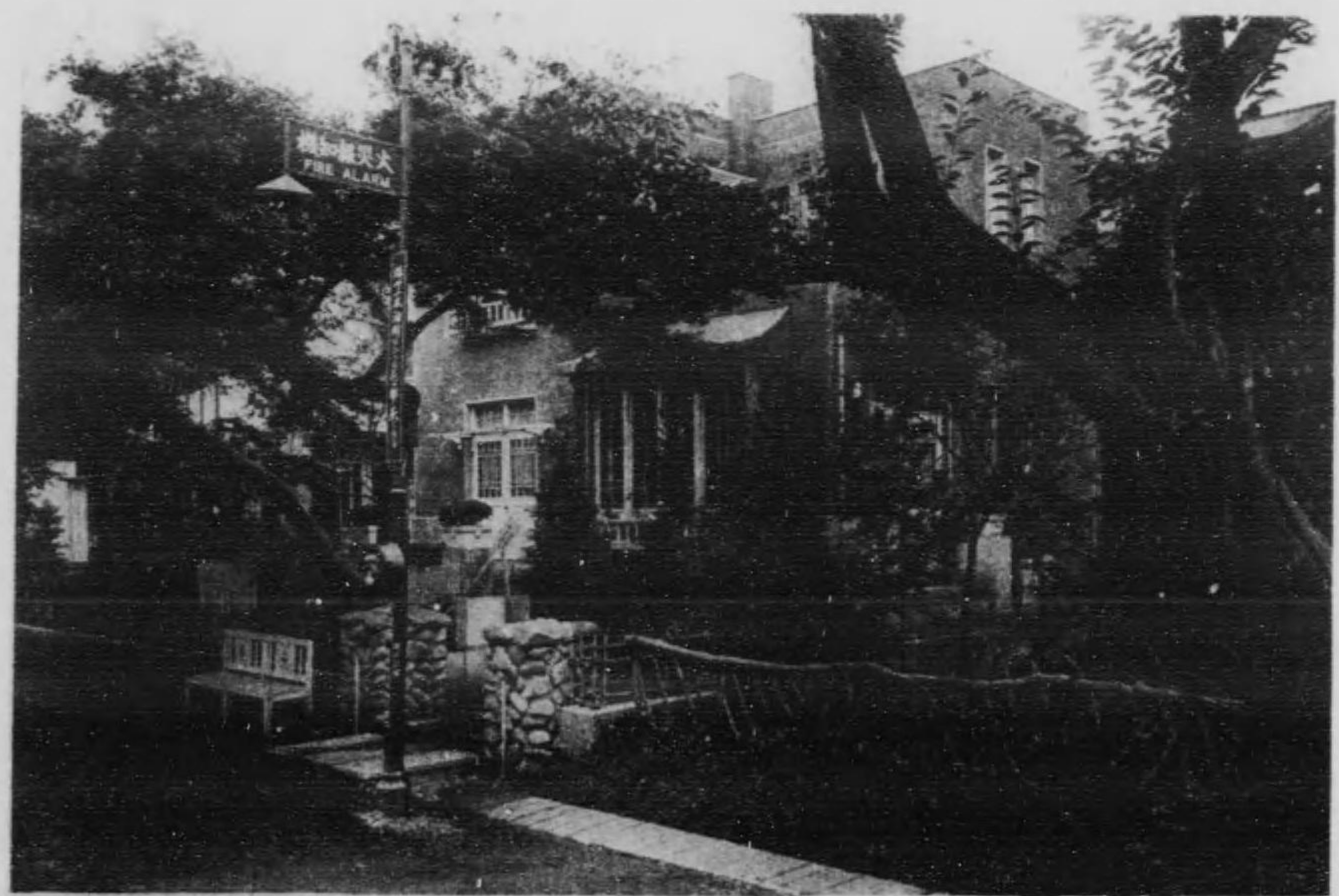
宅住品出藏京永吉



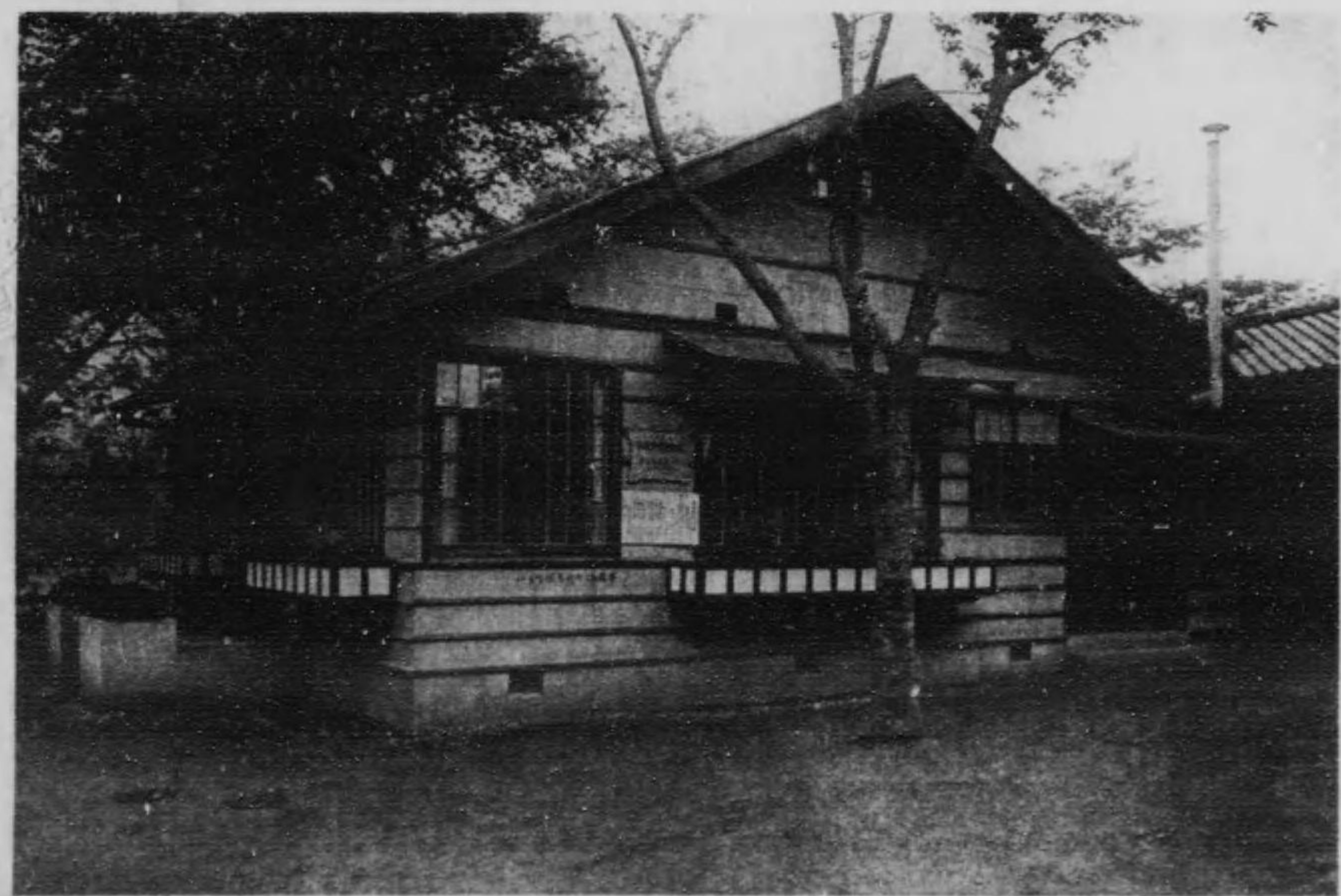
宅住品出吉藤田島

建榮菜株會社出品住宅





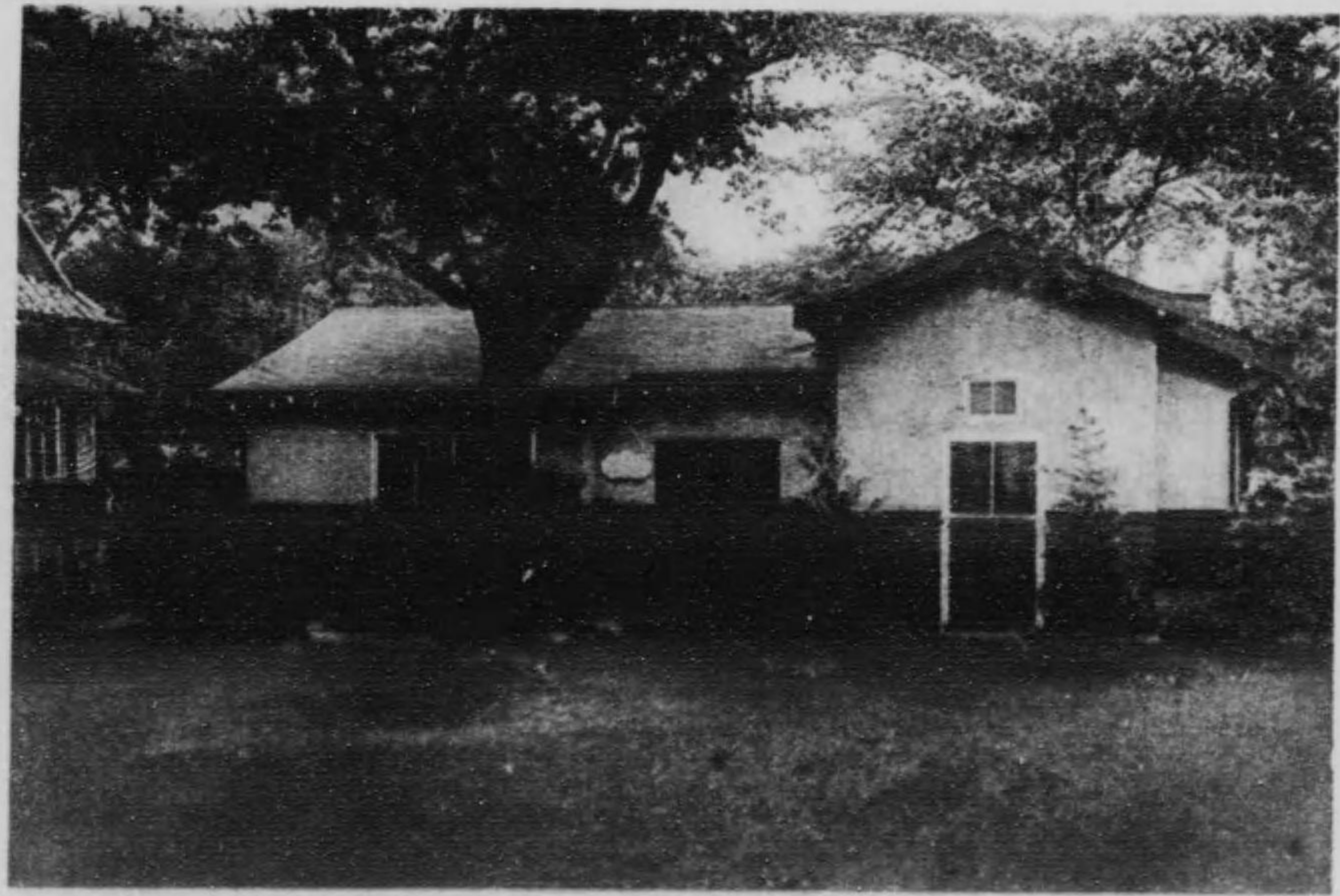
宅住品出社會式株トメセ本日



宅住品出郎三喜遠上



飯田三郎出品住宅



前田錦藏出品住宅

府縣別	出品人員	出品點數	名譽賞牌	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計	出品人員ニ對スル授賞者百分比
東京府	五	七	一	二	一	五	二	一	七、三
埼玉縣	四	三	一	一	一	一	一	一	一
宮城縣	八	九	一	一	一	一	一	一	三、五
山口縣	一	一	一	一	一	一	一	一	一
滿鐵會社	一	一	一	一	一	一	一	一	一〇〇
計	元	二二	一	二	一	六	三	三	四、八

第七十六類

耐震耐火耐水及防腐ニ關スル構造装置及特殊ノ材料

報告員 主任 審査官 内田祥三

本類ノ出品ハ其數少ク且名譽賞以上ニ値スルモノナカリシハ頗ル遺憾トスル所ナリ然レドモ鐵網「コンクリート」及防火戸ノ如キ其進歩著キモノアリシハ稍満足スベキ所ナリトス、而シテ本類ニ屬スベキ建築物ノ耐震耐火ニ關スル出品ハ殆ドアルナク特ニ此種構造中ノ尤タル鐵筋「コンクリート」構造ニ對シテハ其我國ニ用ヒラレテヨリ既ニ十數年ヲ經過セル今日ニ於テ未ダ何等優秀ナル考案ヲ加ヘタル出品ヲ見ザルヲ得ザリシハ斯道ニ志ス者ノ大ニ奮勵スベキモノアルヲ思ハシム今其出品物中比較的優秀ナルモノヲ略記スルコト左ノ如シ

一、川崎式鐵網コンクリート、特許川崎式鐵網ハ木骨ノ上ニ之ヲ用ヒテ小砂利「コンクリート」ヲ塗付ケ火ニ對シテ殆ンド抵抗力ナキ木造建築物ヲシテ準耐火ノ構造タラシムルモノニシテ明治四十二年創業以來漸次ニ其ノ販路ヲ擴メ各所ノ火災ニ際シテ其效果ヲ擧ゲタル實例尠カラズ、施工輕易ニシテ工費又比較的ニ廉ナルヲ以テ用途極メテ一般的トナリ、鐵網コンクリート、ナル語ハ建築上ノ一術語ト

ナルニ至レリ、又本鐵網ハ木材ヲ用ヒズシテ鐵網「コンクリート」ノ圍障ヲ造ルヲ得ベク其他網ノ形ノ特殊ナルヲ利用シ之ヲ以テ各種ノ工作物ニ應用セルモノアリ、殆ンド總テノ建築物ヲ木造トスル習慣ヲ有スル我國ノ現狀ニ於テハ防火上社會ニ貢獻スルコト尠カラズ是レ金牌ノ賞ヲ擬スルニ至リシ所以ナリ

二、大野式捲上ゲ戸、本品ハ明治三十八年以來出品者東京府大野正ノ考案作製セシモノニシテ木造建築物多キ我國ノ防火戸トシテ特ニ外國製品ノ缺陷ヲ補充スルニ意ヲ用ヒ常ニ其裝置ニ改良ヲ施シ操縱甚簡易ナリ、本品ノ販路ハ極メテ廣ク吾國內地ノ各都市ハ勿論臺灣、朝鮮、滿洲、支那等ニ及ビ輸入品防遏ノ效大ナルモノアリ、賞金牌ニ値スルモノト云フベシ

三、ソーゾー防水劑、本品ハ東京府砂崎合名會社ノ製造ニ係ル特許品ニシテ「モルタル」又ハ漆喰ニ混用シテ壁面ニ塗付ケ防水ノ目的ヲ達スルモノナリ出品人ハ永ク人造石ノ製作ニ從事シ近年我國ニ於ケル其進歩特ニ著シキモノアルニ對シテ貢獻スル所少カラズ、本品ハ我國ニ於ケル各種ノ防水劑中其製造ノ古キ點ニ於テ又其一般ニ普及セル點ニ於テ最優秀ナル地位ノ一ヲ占ムルモノト認ム

四、鐵筋コンクリート電柱、新潟縣増田義夫出品ノ同品ハ長數尺ノ圓筒形鐵筋「コンクリート」管ヲ作製シ之ヲ現場ニ於テ繼ギ足シ電柱ヲ建設スルモノトス、此種ノモノニ對シテ製作者ノ最苦心ヲ要スル點ハ其假枠及接合ノ狀態ニアリ、本品製作ニ用フル内部ノ假枠ハ數箇ノ圓筒形ノ管ヲ組合セタルモノニシテ施工簡易ナリ、其接合部亦不完全ナラズ、創業日尙淺シト雖モ新潟縣福岡縣東京府等ニ其販路ヲ有シ優良ナル製品ナルヲ認ム

五、田島式兩筒形「スチール、シヤツター」本品ハ東京府東京建鐵

株式會社ノ出品ニシテ防火捲上戸ノ一種ナリ、其特徴トスル所ハ裝

置ノ極メテ簡單ナル點ニシテ從テ此種裝置ノ缺點タル裝置破損ノ憂

ヒナカルベク優良品タルヲ失ハズ

六、百工式消火器、藥液ヲ使用スル消火器ハ其種類少カラザルモ東京

府東京百工商會出品ノ同品ハ藥液ノ容器平常密閉シアル點及其硝子

壁ノ破壊方法簡單ナル點ニ於テ同種類中優秀ナルモノノ一ト認ム

七、マノール防水劑、本品ハ東京府天中龍次郎ノ出品ニシテ「モルタ

ル」又ハ「コンクリート」中ニ之ヲ混用シテ防水ノ目的ヲ達セントス

ルモノナリ、事業創立ハ明治四十三年、相當ノ歴史ヲ有シ同種ノ材

料中比較的優秀ナルモノノ一ト認ム

八、金剛煙突、東京府金剛商會出品ノ同品ハ「セメントモルタル」中

ニ石綿ヲ混和壓縮シテ圓筒形ノ管ヲ作り之ヲ接合シテ煙突ニ使用ス

ルモノナリ、材料ノ性質上火及酸ニ對スル抵抗力ヲ有シ殊ニ保存良

好、價格亦高カラズ、創業日尙淺キニ拘ハラズ現在ニ於テハ既ニ年

額數拾萬圓ノ生産ヲ有ス浴室、臺所、其他ニ用フル煙突トシテ優良

ノ考案ヲ加ヘタルモノアルヲ認ム

本類ニ於ケル出品ハ東京、大阪、新潟及山形ノ二府二縣ニ屬シ出品者

十九名出品數五十四點ナリ、其府縣別擬賞左ノ如シ

府縣名	出品數	名譽大賞	名譽金賞	名譽銀賞	名譽銅賞	名譽鐵賞	名譽雜賞	計	出品人員
東京府	26	0	0	0	0	0	0	26	52
大阪府	1	0	0	0	0	0	0	1	1
新潟縣	1	0	0	0	0	0	0	1	1
山形縣	1	0	0	0	0	0	0	1	1
計	29	0	0	0	0	0	0	29	55

第七十八類 嵌成裝飾

第七十九類 固定裝飾

第八十類 室內裝飾

第八十一類 裝飾ニ要スル木材石材、人造石テラコッタ、石膏、漆

喰陶磁、硝子、紙織物、金屬、ウエニア等ノ製品

報告員 主任 審査官 大澤三之助

第七十八類近來歐風建築流行ニ伴隨シテ象眼モザイク等ノ嵌成裝

飾ハ大ニ需要ヲ增加シ從ツテ其發達ハ見ル可キモノアルヲ信ジ期待ス

ル所アリタルニ事實之レト反シ出品甚僅少ニシテ殊ニモザイクノ如

キハ全然之レヲ缺キ僅カニ渡邊秀一及巴商會ノ出品ニ係ル木象眼マル

ケトリ等ノ小數ノモノアルニ過ギザリシハ甚遺憾ナリ然レドモ兩者

何レモ技工意匠ノ點ニ於テ見ル可キ點少ナカラズ且其應用ノ範圍ヲ廣

メ倍々進歩ノ狀ヲ呈セリ

第七十九類 建築裝飾ニ要スル諸般ノ材料ニシテ前二類以外

ノモノハ殆んど之レヲ網羅セルモノナレドモ出品ハ之レニ伴ハズ種類

モ數量モ共ニ甚ダ少ナキハ大ニ遺憾ナリキ抑々我邦近時ノ建築界ノ發

第七十九類 本類ノ出品ハ主トシテ日本座敷用木彫ノ欄間ニシテ東

京都府ノ兩市及富山縣ノ出品ヨリ成リ後者ノ出品最多數ヲ占ム東京市

ノ出品ハ石川信光ノ桐ニ鳳凰ノ透彫ハ圖按ニ於テハ陳腐ナルヲ免レズ

ト雖ドモ彫刻ノ技工ニ於テ確實ナル所アリ後藤桂林作ノ兩面ノ彫刻亦

精巧ナル手腕ヲ示セリ京都市ニテハ和田源兵衛及比川井子綠ノ出品意

匠及ビ技工ニ於テ稍見ル可キ所アリ富山縣出品ノモノハ主トシテ透彫

及ビ肉彫ノ欄間ニシテ纖麗ナル技工ヲ示セル佳作僅少ナラズ且價格モ

亦相當ナリト認ム然レドモ概シテ意匠ハ平凡ニ構造モ亦堅牢ヲ缺クヲ

憾ミトス中ニハ木象眼ヲ使用シタル稍新奇ノ試ミヲナシタルモノアリ

タリト雖其應用當テ得ズ從ツテ效果未ダ十分ナラズ

第八十類 住家改良ノ問題ハ刻下ノ喫緊事トシテ一般社會ノ人々ニ

依テ云々セラル此時期ニ際シ室内裝飾ニ於ケル新意匠ハ又以テ大ニ見

ル可キモノ僅少ナラザル可キヲ信ジ大ニ期待スル所アリタルニ一モ纏

リタル作物ノ出品ヲ見ザリシハ甚奇異ノ感ヲ懷カシメタリ之レ製作ノ

期間短少ニシテ設計ノ暇ナカリシト陳列棚ノ割當ヲ狹隘ニシテ好ク一

室ヲ作り各種ノ家具ヲ配列スルノ餘裕ナカリシニ起因スルモノト稱ス

第一七八類 出品及授賞表

府縣名 出品數 名譽大賞 名譽金賞 名譽銀賞 名譽銅賞 名譽鐵賞 名譽雜賞 計 出品人員

府縣名	出品數	名譽大賞	名譽金賞	名譽銀賞	名譽銅賞	名譽鐵賞	名譽雜賞	計	出品人員
東京府	23	0	0	0	0	0	0	23	46
計	23	0	0	0	0	0	0	23	46

第一七九類 出品及授賞表

府縣名 出品數 名譽大賞 名譽金賞 名譽銀賞 名譽銅賞 名譽鐵賞 名譽雜賞 計 出品人員

東京府 23 0 0 0 0 0 0 23 46

計 23 0 0 0 0 0 0 23 46

出品人員

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

對スル

百分比

京都府	二	一	一	一	一	二	一〇〇
愛知縣	一	一	一	一	一	一	〇
富山縣	一	一	一	一	一	一	〇
廣島縣	一	一	一	一	一	一	〇
計	三	三	三	三	三	三	一〇〇

第一八〇類 出品及授賞表

府	名	出品	名譽	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計	出品人員
東京府	三	〇	一	一	一	一	一	二	九
計	三	〇	一	一	一	一	一	二	九

第一八一類 出品及授賞表

府	名	出品	名譽	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計	出品人員
東京府	三	〇	一	一	一	一	一	二	九
大阪府	六	一	一	一	一	一	一	三	五〇
神奈川縣	二	一	一	一	一	一	一	一	五〇
三重縣	一	一	一	一	一	一	一	一	〇
愛知縣	七	一	一	一	一	一	一	四	五七
岐阜縣	一	一	一	一	一	一	一	一	〇
山口縣	一	一	一	一	一	一	一	一	〇
德島縣	二	一	一	一	一	一	一	一	〇
香川縣	一	一	一	一	一	一	一	一	〇
計	五	三	一	一	一	一	一	九	一八

第百八十二類 家具

報告員主任 審査官 岡田信一郎

本類ノ出品ハ和洋家具、屏風、簾、掛置時計等ヲ包含シ、品目甚ダ多岐ニ互レリ、技工上ヨリ見レバ、指物細工ニ屬スルモノ過半ヲ占ム、其成績ハ地方出品ニアリテハ之ヲ前東京大正博覽會ノ出品ニ比シテ多

少進歩發達ノ跡アリ東京府出品ハ素ヨリ之ヲ他府縣ニ比スレバ成績ノ一頭地ヲ拔ケルアリト雖モ、前東京大正博覽會ニ比シテ殆ンド進歩ノ徴ス可キモノナシ、蓋シ出品人、製作者等ガ、時勢ノ歸趨ヲ見ルノ明ナク、時運ノ進歩ニ併行スルノ力ナク徒ラニ舊慣ヲ墨守スルニヨルナリ、當局指導ノ方針モ、製作技工ノ末梢ニ拘泥スルコトナク、時代生活方式ノ中樞ヲ把握シテ、良ク時勢ノ進運ニ適應スルヲ得セシムル事ニ重キヲ置クベキナリ
本類ノ中心タル家具類ハ和洋ヲ問ハズ、生活方式遂行ノ機具ニシテ、之ノ如何ニヨリテ、實際生活ガ或ハ繁瑣ニ、或ハ簡易ニ、或ハ擾雜ニ、或ハ愉快ニ、或ハ無益ニ、或ハ有效ニ行ハルルノ結果ヲ來ス、方今我等日本人ノ生活方式ハ舊日本式ニ歐米式ヲ重ネ二重三重ノ複雜ナル生活ヲナシ、人皆其繁擾ニ疲弊セリ建築ノ改善、家具ノ改良ニヨリ多少ナリトモ生活ヲ簡易愉快ナラシメ、二重三重ノ負擔ヲ輕減シテ、ヨク生活ノ能率ヲ擧ゲ得ル事ハ社會先覺者ノ聲ヲ大ニシテ稱導スル所ナリ
家具ガ其改善ニヨリカカル有意義ナル效果ニ寄與スルコト多大ナルハ二十世紀初頭ニ於ケル、獨逸ノ家具、並ニ室內裝飾ノ狀況ニ徴シテ明ナリ、現ニ當時博覽會ニ於テモ、建築業者ハ生活ノ改善ヲ念トスル、簡易ナル住宅ヲ出品シテ、文化村ヲ組織シ、時勢ノ要望ニ沿ハシムル期セリ、然ルニ家具部ニ於テハ此少ナリトモカカル時勢ノ反映ヲ見ルヲ得ザルハ頗ル失望ヲ禁ズル能ハサルナリ、蓋シ建築ノ改善ニ比スレバ、家具ノ改善ハ一層容易ニシテ且ツ行ハレ易シ、三越吳服店家具部其他二三商店ニ於テハ、現代ノ過渡生活ニ適應スル如キ、改良家具ノ陳列販賣ヲ見ルニ係ラズ、本類出品ノ全部ガ、此時勢ノ要求ヲ願慮スルコトナク和風家具ハ固ク舊套ヲ纏ヒ、洋風家具ハ純洋式ニシテ現代民

衆ノ大多數ガ要望スル文化生活生活トハ全ク没交渉ナルハ頗ル遺憾トスル所ナリ。家具類發達ノ一大信條ハ如何ニ役立ツベキカニアリ

當類出品ハ其性質上、和家具、洋家具、屏風、簾、掛時計等ニ大別シテ觀察スルヲ便トス、和家具ハ簾筒、小簾筒、長火鉢ノ類ト銘木、唐木ノ指物類トヲ中心トス

簾筒類ハ少數ノ特例ヲ除ク他主トシテ桐製ニシテ、形式技工共ニ舊來ノ儘ニシテ殆ド變化ヲ認メズ、木材練合セ色付及金具ノ形狀、鍍金等ノ梢末ニ技工上ノ進歩ヲ見可シト雖錠鍵等不完全ニシテ物品納藏ノ任ニ堪ヘズ、優良品ト雖木理ノ整美、工作技工ノ洗練等ヲ誇リ裝飾品トシテノ價值ノ他實際衣服ヲ納藏スルノ具トシテハ改善ノ跡全クナシ形式上ヨリハ洋服簾筒ト稱シテ簾筒ノ上半ヲ兩開扉トナシ、重柵トナセルモノ増加セリ、蓋シ洋服着用者ノ増加セル世世ト刺激ニヨルナル可シト雖、此等ノ簾筒モ洋服製藏ノ實際用途ヨリ見レバ未ダ適切ナルモノトハ言ヒ難シ。洋服着用ノ實際ニ習熟シ歐米服簾筒ノ長所ヲ參酌シテ適切ナル考案ヲナサバ簾筒形式ニ一生面ヲ拓キ世ノ需要ニ應ズルヲ得ン、小簾筒ノ類モ、近事各商業事務、家庭事務共ニ世ノ進運ニ連レ著シク複雜ニナレルニ對シ、多ク舊慣ヲ改ムルナク、事務整理ノ點ヨリ見テ何等ノ考案ヲ施サザルハ甚ダ遺憾ナリ

總ジテ工作ニハ習熟スレドモ適切ナル指導者ヲ缺クガ爲ニ時代ノ進運ニ應行スル能ハザルヤノ觀アリ、府縣ニ就テ之ヲ見レバ東京府ハ出品最モ多ク又工作モ優良ナリ、埼玉縣之ニ次グ、東京へ輸出スルモノ多ク製作上モ普通品ハ東京府ノ製品ニ比シテ大差ナシ
新潟縣ノ出品モ亦多數アリ、價格低廉ナレドモ工作精練ヲ缺ク
銘木、唐木ノ指物細工製品ニハ桑材製品及紫檀並ニ擬紫檀材ノ製品多

ク卓、柵、机、賞盆、花臺、器局、火鉢等ヲ主要ナルモノトス
意匠工作ニ於テ優良精選ナルモノ少カラズ

前田南齋、石關實太郎ノ如キ桑細工唐木細工ノ先輩ガ各其工人ヲ督シテ會ヲ組織シ、相互ニ技工上ノ研究練磨ヲナス如キハ甚ダ獎ス可キ事象ナリ只和風指物細工ノ家具類ガ固ク舊來ノ形式ニ固着シ全ク現時代ニ没交渉ナル如キ態度ハ遂ニ斯道ノ衰滅ヲ來スベキヤヲ危ム賞盆ノ出品ハ多數アレド紙卷賞盆主トシテ考案セル賞盆ヲ見ザルガ如キ又茶柵書柵ノ如キ共ニ一個ノ裝飾具タルニ留リ工藝ノ生命タル實用ヲ全ク顧慮セザル態度ハ甚ダ懸念ニ堪ヘザルモノアリ、出品ハ東京府最多數ニシテ概シテ優良ナリ、京都府新潟縣出品ノ紫檀細工等ニモ亦見ルベキモノアリ

山形縣ハ由來指物細工ニ力ヲ注ギタル所ナルガ今回ノ出品モ亦多數ニシテ且成績良好ナリ、然レドモ東京、京都ニ比シテハ猶一段ノ努力ヲ要ス、臺灣ハ其産スル所ノ特殊材ヲ以テ簾筒、机、柵等ヲ製作セリ工作仕上等ニ猶十分ノ研究ヲ要ス
西洋家具ハ近時歐式家居、事務所會社建築ノ増加ノタメ多大ノ製産ヲナシ、著シキ進歩ヲ示セリ、而シテ今後ノ社會生活改善ノタメニハ最モ重視スベキモノナリ、然ルニ今回ハ出品頗ル貧弱ニシテ、之レヲ前大正博覽會ノ出品ニ比シ反テ遜色アルハ怪訝ニ堪ヘズ。當業者ノ不熱心カ將又當局指導ノ徹底セザリシニヨルカ、第百八十二類中最モ主眼トスルモノヲ缺クガ如キ觀ヲ呈セルハ遺憾ナリ

擬賞ハ出品人ノ平常ノ成績技術製産、信用等ヲ參酌セルガ故ニ此類中比較的優賞ヲ得タルモノ多シ、緒言セルガ如ク今後ノ生活ノ實用器具トシテ洋家具ノ責任極メテ多大ナリ切ニ當業者ノ自覺ト奮勵ヲ望ム

出品ハ東京府ノモノ意匠構成等進歩著大ナレドモ塗料、仕上及椅子座席ノ「スプリング」布張りニ未熟ノ點アリ、他府縣出品ハ東京府ノモノニ比スレバ著シク劣リ意匠製作見ルニ足ラズ、十分ノ努力ヲ要ス。曲木製ノ椅子ハ製産多量構造堅固形態モ亦佳良ニシテ價格モ低廉ニ實用ノ目途ニ適ヘリ唯座席藤網ノ張方ニ未ダ十分ナラザル點アリ。藤製家具ハ近時著シク需要ヲ増シ製作モ亦進歩セリ蓋シ從來ノ日本室ニ椅子生活ヲナスガ如キ場合ニハ藤製家具ハ輕便ニシテ價格ハ廉ニ、形態モ亦輕快ニシテ簡易生活ノ實需用ニ適合セリ、當業者ガ一層奮勵シテ益々堅固ナルモノヲ製作セン事ヲ望ム。骨體ニ竹材ヲ使用スルモノニアリテハ特ニ其用法ニ注意ヲ要ス、臺灣ノ製品ハ形態製作共ニ優良ナリ、特ニ價格ノ著シク廉ナルハ稱ス可シ多ク製産シテ廣ク普及セシム可キナリ。

屏風ハ東京大阪京都愛知石川等府縣ノ出品アリ七寸箱使用ノモノ多クレドモ箱押方ニ却テ缺陷ヲ見ル奧背ノ製作ニ不良ノモノアリ、緣及金物共出色ノモノ少シ、特ニ十分ノ努力ヲナセル出品ナキハ遺憾ナリ。

簾ハ京都府出品最多ニシテ又見ルベキモノアリ。

掛並ニ置時計ハ東京府ノ出品ハ他部ニ屬シ獨リ愛知縣ノ出品ノミヲ見ル、愛知縣ノモノハ從來價格ノ低廉ヲ稱セラレ多ク支那ニ輸出セシガ近時衰退セリト稱セラル、出品ハ前大正博覽會ニ比シ見ル可キ進歩ナク、時勢ノ進歩ニ遅レタルタメ却テ退歩ノ如キ觀アリ。

本類出品ノ府縣別擬賞表左ノ如シ

第一八二類 出品及授賞表

府縣名	出品名	出品數	賞牌	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計	出品人員	對スル百分比
東京府	三〇	五三	一	八	六	五	二	二六	一	二

第百八十三類 點燈具
第百八十四類 敷物類
第百八十五類 建具類

報告員 主任 審査官 大熊 喜邦

第百八十三類ニ屬スルモノハ點燈具ニシテ出品數頗ル少ク僅ニ東京京都神奈川ノ二府一縣ヨリ出品人員五名出品數數二十六點ノ出品ヲ見タルニ過ギズ、出品物ハ「プランチヤードランプ」六點、電燈等及臺九點、電燈等七點、照明燈、夜業燈、卓上電燈、電氣用具各一點ニシテ概シテ進歩ノ跡ヲ認ムルニ足ルベキモノナク支那風ノ點燈具ノ如キハ從前ト大差ナキ製作タリ、點燈具ハ現時ノ狀態ニ於テハ其需用甚多ク須ラク一大改善ヲ爲スベキ時機ニ達セルモノナルニモ拘ラズ此等ノ出品ニハ概シテ改善進歩ノ跡ヲ認ムル能ハザルヲ遺憾トス

第百八十三類出品及擬賞表

府縣名	出品人員	出品數	銅牌	褒狀	計	出品人員	對スル百分比
東京府	三	二〇	一	一	二	〇	〇
京都府	一	九	一	一	二	一〇〇	〇
神奈川縣	一	七	一	一	二	一〇〇	〇
計	五	三六	三	三	六	一〇〇	〇

第百八十四類ニ屬スルモノハ敷物類ニシテ出品ハ殆んど總テノ敷物ト稱セラルベキ階級全部ヲ網羅シ其ノ種類及點數左ノ如シ

種類	點數	種類	點數	種類	點數
花 筵	一五	絨 筵	一	座 布 團	二
疊 表	一五	敷 通	六	座 座	二
青 筵	一〇	大 洋 織	二	座 座	二
山草 筵	一〇	大 洋 織	二	座 座	二
山多加織	一〇	大 洋 織	二	座 座	二

府縣	出品數	賞牌	金牌	銀牌	銅牌	褒狀	計
京都府	三	一	一	一	一	一	五
大阪府	六	一	一	一	一	一	五
神奈川縣	六	一	一	一	一	一	五
新潟縣	三	一	一	一	一	一	五
埼玉縣	三	一	一	一	一	一	五
茨城縣	三	一	一	一	一	一	五
愛知縣	三	一	一	一	一	一	五
靜岡縣	三	一	一	一	一	一	五
長野縣	三	一	一	一	一	一	五
宮城縣	二	一	一	一	一	一	四
福島縣	二	一	一	一	一	一	四
青森縣	一	一	一	一	一	一	四
山形縣	一	一	一	一	一	一	四
秋田縣	一	一	一	一	一	一	四
福井縣	一	一	一	一	一	一	四
石川縣	一	一	一	一	一	一	四
富山縣	一	一	一	一	一	一	四
島根縣	一	一	一	一	一	一	四
鳥取縣	一	一	一	一	一	一	四
岡山縣	一	一	一	一	一	一	四
廣島縣	一	一	一	一	一	一	四
山口縣	一	一	一	一	一	一	四
德島縣	一	一	一	一	一	一	四
大分縣	一	一	一	一	一	一	四
臺灣總督府	一	一	一	一	一	一	四
北海道廳	一	一	一	一	一	一	四
計	五八	一三	一三	一三	一三	一三	一三〇

今回ノ出品ヲ通覽スルニ上流階級ヨリ一般階級ニ至ル迄ノ用途品ヲ網羅シ各種各様ニ瓦リ「リノリウム」及「コルク」製品ノ如キ輸入防遏品アリ緞通由多加織、野草筵、花筵等ノ輸出品アリテ品質意匠ヲ改善シ原料ノ選擇技巧ニ進歩ノ跡ヲ示セルハ斯業發展上慶スベキモノナリトス今主ナル品種并主産地ニ就キ記セバ次ノ如シ

花 筵

岡山縣 花筵ノ主産地トシテ全國ニ冠タルヲ以テ種類最多ク技巧優秀品ナキニアラザレドモ歐洲戰中ヨリ内地ノ需用激増ノ爲メ原料ノ拂底工賃ノ昂騰等ヨリ價格暴騰ノ結果最安價ナル輸出品トシテノ特徵減殺サレタルヤノ如ク目下一大不況ニ際會セルヲ以テ從テ出品物ノ如キモ内地需用ヲ主眼トセルヤノ感アリシヲ遺憾トス要ハ原料ノ潤澤ヲ計リ工賃ノ低減ヲ期シ輸出品タルノ可能性ヲ發揮セシムルニ在リ

福岡縣 捺染輸出花筵トシテ品位上ヨリモ價格ノ比較的低廉ナルト蘭質及採收仕上ノ捺染ニ適スルトノ點ヨリ近時該品獨專ノ觀アリ從テ出品中輸出捺染品トシテ優良ノモノ尠カラズ將來需用地ニ於テ爾意匠圖案ノ嗜好變遷ニ順應スルコトニ努ムカ益々其眞價ヲ發揮シ得ベシ

内地用ノ捺染品ハ色澤、圖案ノ調和ヲ缺キシモノアルヤノ感アリ一層ノ研究ヲ要スベク輸出品四十碼物ハ原料ノ選擇、技巧等ニ優良品尠カラザリシモ技巧ニ過ギタル爲價格高ク輸出品トシテ適當ナラズト認メラルモノアリ

香川縣 輸出向機械織廣幅及普通花筵ノ出品アリ一般ニ製織技術ニ於テハ不良ナラザルモ原料及意匠ノ選擇ニ缺タル所アリシハ將來注意

平和記念東京博覽會第拾六部審查報告

審査部長 近藤虎五郎

總 說

第十六部ハ土木及交通ヨリ成リ其出品ハ交通館ヲ主トシ電氣館、各殖民地特設館等ニ陳列セリ

本邦ニ於ケル土木及交通事業ハ逐年進歩セルニ拘ハラズ本部ニ於テ審査セシモノハ出品人員十七此點數四十三官廳出品及之ニ準シ取扱ヒタルモノハ出品人員八、此點數五十五ニ過ギズ頗ル寂寞ヲ極ム是レ主トシテ府縣ヨリノ出品申込多數ナリシモ陳列面積ニ限リアルヲ以テ出品ヲ謝絶セルニ因ルモノニシテ斯業ノ全斑ヲ表現スルニ足ラザルハ博覽會トシテ遺憾ト謂ハザルベカラズ

土木ニ屬スル出品ハ概シテ研究實驗十分ナラズ甚シキハ偶發的ノ考案ニ成リ殆ンド研究ノ跡ナク博覽會ニ出陳スルノ價値アルヤ否ヤ疑ナキ能ハザルモノアリ今後ノ博覽會ニ於テハ十分ナル研究實驗ノ成果ヲ出陳センコトヲ望ム

交通ニ屬スル出品ハ孰レモ相當研究ノ跡ヲ認ムルコトヲ得殊ニ玉村式索道ハ多年熱誠ヲ以テ研究ヲ重ね經驗ヲ積ミ改良ニ改良ヲ加ヘ今ヤ殆ント完全ノ域ニ達セントスルモノニシテ賞讃措カザル所ナリ

官廳出品及之ニ準シ取扱ヒタルモノノ内各築港模型、鐵道省出品及航路標識管理所出品ハ各斯道ニ關スル智識ヲ啓發スル所鮮少ナラズト認メラルルモ其他ノ出品ハ概シテ平凡ナリシテ遺憾トス

東京自治館ニ於ケル道路、都市計畫、衛生工事、軌道等ニ關スル有益ナル多數ノ出品ハ全然本部ヨリ除外セラレタルコトヲ茲ニ特記ス
本部ノ審査分掌左ノ通り

第百八十九類 土 木

其一 道路及街路

主任 牧野 雅樂之丞

作 宣

後藤 運平

廣田 理太郎

其二 發電水力工事

主任 後藤 運平

中山 秀三郎

牧野 雅樂之丞

其三 衛生工事

主任 草 間 偉

(兼) 西崎 弘太郎

(兼) 野田 忠 廣

後藤 運平

廣田 理太郎

其四 治水工事

平和記念東京博覽會第拾六部審查報告

審査部長 近藤虎五郎

總 說

第十六部ハ土木及交通ヨリ成リ其出品ハ交通館ヲ主トシ電氣館、各殖
民地特設館等ニ陳列セリ

本邦ニ於ケル土木及交通事業ハ逐年進歩セルニ拘ハラズ本部ニ於テ審
査セシモノハ出品人員十七此點數四十三官廳出品及之ニ準シ取扱ヒタ
ルモノハ出品人員八、此點數五十五ニ過ギズ頗ル寂寞ヲ極ム是レ主ト
シテ府縣ヨリノ出品申込多數ナリシモ陳列面積ニ限りアルヲ以テ出品
ヲ謝絶セルニ因ルモノニシテ斯業ノ全斑ヲ表現スルニ足ラザルハ博覽
會トシテ遺憾ト謂ハザルベカラズ

土木ニ屬スル出品ハ概シテ研究實驗十分ナラズ甚シキハ偶發的ノ考案
ニ成リ殆ンド研究ノ跡ナク博覽會ニ出陳スルノ價値アルヤ否ヤ疑ナキ
能ハザルモノアリ今後ノ博覽會ニ於テハ十分ナル研究實驗ノ成果ヲ出
陳センコトヲ望ム

交通ニ屬スル出品ハ孰レモ相當研究ノ跡ヲ認ムルコトヲ得殊ニ玉村式
索道ハ多年熱誠ヲ以テ研究ヲ重ネ經驗ヲ積ミ改良ニ改良ヲ加ヘ今ヤ殆
ント完全ノ域ニ達セントスルモノニシテ賞讃措カザル所ナリ
官廳出品及之ニ準シ取扱ヒタルモノノ内各築港模型、鐵道省出品及航
路標識管理所出品ハ各斯道ニ關スル智識ヲ啓發スル所鮮少ナラズト認
メラルルモ其他ノ出品ハ概シテ平凡ナリシテ遺憾トス

東京自治館ニ於ケル道路、都市計畫、衛生工事、軌道等ニ關スル有益
ナル多數ノ出品ハ全然本部ヨリ除外セラレタルコトヲ茲ニ特記ス
本部ノ審査分掌左ノ通り

第百八十九類 土 木

其一 道路及街路

主任 牧野 雅樂之丞

作 宜

後藤 運平

廣田 理太郎

其二 發電水力工事

主任 後藤 運平

中山 秀三郎

牧野 雅樂之丞

其三 衛生工事

主任 草間 偉

(兼) 西崎 弘太郎

(兼) 野田 忠廣

後藤 運平

廣田 理太郎

其四 治水工事

其五 港灣工事

主任 後藤運平
中山秀三郎
牧野 雅樂之丞
主任 中山秀三郎
伴 宜
後藤運平

第九十類 鐵道及軌道

主任 草間 偉
伴 宜
中山秀三郎
牧野 雅樂之丞

第九十一類 索道其他ノ交通機關

主任 廣田理太郎
(兼) 渡邊浩一
後藤運平

第九十二類 航路標識

主任 中山秀三郎
伴 宜
後藤運平

審査ノ結果擬賞セシモノ十二名ニシテ之ヲ類別スレバ左ノ通り

Table with 4 columns: 類別 (Category), 出品名 (Product Name), 賞額 (Award Amount), 人員數 (Personnel Count). Includes items like 第一道路及街路 and 第九十九類.

Table with 4 columns: 類別 (Category), 出品名 (Product Name), 賞額 (Award Amount), 人員數 (Personnel Count). Includes items like 第九十九類 and 第九十二類.

第九十九類ノ一 道路及街路

川崎式鐵網混凝土鋪裝 一點 出品人 川崎 寛美
本品ハ石灰混凝土ノ基礎ニ鐵網混凝土ヲ敷設シ其上部ヲ「セメント」ト砂利トノ混合物ニテ仕上ゲタルモノニシテ鐵網ヲ用ルコトハ混凝土ノ經濟的並ニ龜裂防止上ノ施設トシテ當然ノ考案ナレドモ混凝土鋪裝ノ普及ヲ見ザル我國ニ於テ鐵筋混凝土ヲ鼓吹セントスルハ確ニ卓見タルヲ失ハズ

安値ニ仕上グル意味ニ於テ基礎ニ石灰混凝土ヲ用ヒ其配合ト厚サハ荷重ト路面ノ狀況ニ應ジ決定スルハ誠ニ至當ナル考ヘト云フベシ中間ノ混凝土層ニ鐵筋ヲ入レタルハ主トシテ混凝土ノ龜裂防止ノ爲ナルモ又基礎ト中間層ニガ温度ニ對スル伸縮ノ差ニ因リ互ニ離レルコトヲ防グ上ニ於テモ幾分效力ヲ有ス路面ノ上層ハ最モ多ク交通ノ爲メニ摩滅スルガ故ニ配合良キ混凝土ヲ用フル必要アリ配合良キモノハ龜裂ヲ生ジ易キヲ以テ混凝土ノ配合並ニ温度ノ高低ノ差ニ依リ鐵筋ノ分量、形狀ヲ定メ且ツ其位置ハ上部ニ近クシ全鐵筋ヲシテ有效ニ働カシムル様大ニ研究ノ餘地アリ五寸間格子ニ軟鋼五番線ヲ用ヒ之ニ配合スルニ川崎式鐵網九形第十號品ヲ以テセルモ後者ハ其效力幾分疑ハルモノミナラ

ズ混凝土ノ施工ヲ困難ナラシムル不便アリ尙ホ三層仕上トセルヲ以テ施工煩雜ナルノミナラズ鋪裝ノ等質ヲ缺クテ免レズ

「アスファルト」裝置 三點 出品人 穴原商會代表社員
「アスファルト」鋪道ノ良否ハ「アスファルト」ノ性質ニ因ルト雖モ主トシテ混凝土ノ性質、粒度、工事方法並ニ技術ノ巧拙ニ因ルヲ以テ材料ノ合理的配合ト經驗ト熟練トヲ兼備スルニアラザレバ其成功ヲ見ルコト難シ本商會ハ多年「アスファルト」業ニ從事シ廢舎、停車場ノ歩廊、運動場等ノ「アスファルト」工事ニ於テハ相當ノ成績ヲ擧ゲ得タリト雖モ「アスファルト」鋪道工事ニ於ケル經驗少キヲ遺憾トス「アスファルト」鋪道ハ交通ノ狀況ニ應ジ經濟的施設ヲナスハ勿論ナレドモ盛夏ノ候軟カ過ギズ冬期ニ於テ龜裂ヲ生ゼザルモノタルベク氣候ト工法トニヨリ「アスファルト」ハ勿論各混凝土ノ性質ニ應ジ夫々異レル規格並ニ配合ナカルベカラズ之等ノ研究ハ我々國「アスファルト」鋪道業ニ於ケル目下ノ緊要事項トス

道路用「スチームローラー」一點 出品人 太平洋鐵工株式會社
最近自動車ノ發達ニ伴ヒ道路築造術並ニ其使用機具機械モ一大革命ヲ來タシ路面ニ基礎ニ表裝ニ荷モ上級鋪裝工ニハ「ローラー」ハ必要缺クベカラザルモノトナレルニ際シ我國ニ於ケル其製造業者少キヲ遺憾トス本會社ハ我國唯一ノ「ローラー」製造會社ニシテ既ニ拾數臺ヲ製作販賣セリト雖モ創業日尙ホ淺キヲ以テ其製品大體外國品ノ模倣ヲ脫スルコト能ハザルモノノ如シ

本品ハ「タンデム」式六噸蒸氣「ローラー」ニシテ堅型汽缸ト二個ノ堅型汽缸ヲ有シ「ベベル、ギヤ、ドライブ」ナリ機關ハ凡テ一方ニ偏スルヲ以テ左右動ヲ起シ易ク機ノ片減リヲナスヲ免レズ速力遅ク力

第九十九類ノ二 發電水力工事

多少足ラザル憾アレドモ大體ニ於テ機ノ安定、取扱ヒノ輕快、運轉ノ圓滑ト堅牢トハ製造ニ際シ相當注意ヲ拂ヘルモノノ如ク本邦製品トシテハ構造製作品質共ニ相當ノ成績ヲ有シ外國品ニ比シ價格低廉ナリ

「アセチレン」瓦斯ノ發生ヲ其壓力ニヨリテ自動的ニ調整シ注水方法ヲ改良シテ「カーバイド」ヲ經濟的ニ使用スルノミナラズ比較的低温度ニ於テ瓦斯ヲ發生セシメ惡臭並ニ不純物ノ發生ヲ幾分減ジ衛生上ノ害毒ヲ減ズルト共ニ火口並ニ反射鏡ニ於ケル障害ヲ少ナカラシメ瓦斯使用前水中ヲ通過セシムル等從來ノ本邦製「アセチレン」燈ニ比シ改良セル點多クアリトス而シテ使用中發生瓦斯ノ壓力ヲ一定スルコト一層不純物少キ瓦斯ヲ發生セシムル等尙改良ノ餘地アル如シト雖モ構造製作品質何レモ相當ノ成績ヲ有シ野外照明明ニ適シ外國品ニ比シ價格低廉ナルヲ以テ廣ク使用セラル

電氣配給狀況及交通系統模型 一點 出品人 臺灣電力株式會社
臺灣全島ノ模型ニ於テ各都邑ニ一個ノ豆電燈ヲ設ケ其電燈ノ大小及色別ニ依リ當該都邑ノ電燈數及供給會社ヲ示ス裝置トセルハ精巧ナリト言フベシ交通系統ハ其複雜ナルコト模型臺大ニ過ギ模型ニ近寄ルコト能ハザルコト模型ノ位置館ノ中央ニシテ光明ニ乏シキコト等ノ爲メ容

易ニテ了知スルコトヲ得ズ高低ノ縮尺ヲ平面縮尺ノ五倍トセルハ大ニ過グルガ如シ山岳頗ル急峻不自然ノ感アリ尙ホ本模型臺ノ一隅ニ日月潭發電工事ノ模型ヲ陳列セリ姉妹ヶ原ニ於テ濁水溪ヨリ引水シ一旦日月潭ニ導キ更ニ導水シテ水裡發電所ニ至ル計畫ヲ示セルモ意匠製作共ニ拙劣殊ニ模型面ニ二條ノ點線ヲ畫キ導水隧道ヲ示セルガ如キハ模型タルノ本旨ヲ没却セルモノニシテ格別人目ヲ引クニ足ラズ蓋シ水力電氣ニ關スル智識ヲ啓發スルノ效果極メテ僅少ナルベシ

第百八十九類ノ三 衛生工事

汚水淨化装置 一點

出品人 西原 脩 三

最近大都市ニ於テ焦眉ノ急ニ迫レル糞尿處分問題ハ畢竟各戸ニ水洗式便所ヲ採用シ完全下水道ノ完成ヲ待テ汚水ヲ之ニ放流スルニアラザレバ到底解決スル能ハザルハ明カナリ然レドモ之ガ爲メニハ多大ノ年月ヲ要ス其時期ニ到達スル迄ハ各戸ニ於テ其下水ヲ相當ニ淨化シ在來ノ下水若ハ附近ノ河川ニ放流スルノ方法ヲ最モ簡便ニシテ而モ衛生的ナリトス西原式汚水淨化装置ハ泰西ニ於ケル下水處分ノ原理ニ則リ之ニ本邦ノ實狀ニ適スルガ如ク考按ヲ加ヘタルモノニシテ幾多ノ場所ニ實施セルニ大小各在來ノ汲取りノ煩ヲ省キ臭惡ヲ除キ蠅蚊等ノ病毒傳播ノ危險ヲ少クシ相當ニ下水ヲ淨化シ得テ完全下水道完成ノ曉マデ及其下水道ノ恩惠ニ浴セザル地方住民ノ衛生ノ爲ニ夥カラザル效績有ルモノト云フ可シ本會へ出品セルモノハ西原式ノ普通ノモノト多少形式ヲ異ニシ淨化槽ヨリ出デタル汚水ヲ間歇的ニ噴射シテ之ヲ濾過スルモノナリ水壓不足ニシテ射出十分ナラズ水壓ヲ増スカ又ハ管徑ヲ大ニシテ其抵抗ヲ減ズルヲ可トス沈渣乾燥装置ニ至テハ甚ダ要領ヲ得

ザルモノト云フ可シ尙ホ病源菌ヲ完全ニ除去センガ爲ニハ別ニ漂白粉又ハ鹽素等ノ消毒裝置ヲ完備スルヲ要ス

「アホロ」式給水装置 一點

出品人 片山 廣 斗

本邦水道分布ノ狀態ヲ見ルニ大都市ニ於テハ稍普及セリト云フヲ得ルモ偏僻ナル町村ニテハ頗ル不備ナリト稱セザルヲ得ズ從テ今後ハ寧ろ人口一萬以下ノ町村ニ給水スル所謂簡易水道ノ普及ニ努力セザルベカラズ「アホロ」式給水装置ハ此ノ目的ヲ以テ製作セルモノニシテ其特長ハ河水又ハ井水ヲ水源トシ「ポンプ」ノ力ニ依リテ壓力濾過槽ヲ經更ニ氣壓水槽ニ入り所要ノ水壓ヲ以テ目的個所ニ給水サレ其間ニ配水槽又ハ配水塔ノ必要ヲ見ズ且火災ノ際ハ豫備「ポンプ」ヲ直列ニ連結シテ能ク常壓ノ二倍ノ壓力ヲ與フルニ在リ而シテ其構造ハ壓力濾過機ト類似スルモノニ凝集劑ヲ加フル事ナシ硬水ノ際ニハ「ゼオライト」普通ノ水ニハ石英砂ヲ用ヒ濾過速度ハ一日約四百八十米ニ達シ機械濾過法ノ約三乃至四倍ニ相當スルヲ以テ淨化作用ハ「アドソルブション」ナル特種ノ作用ニ依ルト稱スルモ果シテ如何ナル場合ニモ應用シ得ルヤ猶疑ヒナキ能ハズ且水質分析ノ結果モ未ダ明ナラズ然レドモ源水ノ硬度高キ場合ニ之ヲ軟水トスルト共ニ或ル程度ニ清淨シ得ルハ確實ニシテ源水佳良ニシテ叙上ノ程度ノ清淨ヲ以テ普通満足スル簡易水道又ハ家庭用水道ニハ場所ヲ取ルコト少ク簡便ニ目的ヲ達シ得ル裝置ト云フベシ

和田式耐寒共用栓 一點

出品人 株式会社松尾工場

和田式耐寒共用栓 二點

寒國ニ於ケル給水栓ノ冬期氷結スルハ水道當事者並ニ需用者ノ最モ苦痛ト不便ト感ズル所ニシテ和田式耐寒水道栓ハ此障礙ヲ除去センガ爲ニ考按セラレタルモノナリ其原理ハ給水柱ヲ地下深く不凍部ニ達セ

所ニ揚ゲ水砂分装置ナルモノヲ考案シ巧ニ水ト砂トノ比重ノ差ヲ利用シテ之ヲ別チ漏斗狀ノ函中一定ノ砂量ニ達スレバ自動的ニ底ノ球弁ヲ開キ適宜ノ量ヲ運搬車ニ積ミ込ムモノニシテ著シク積込ミノ勞ヲ省ケリ實用ノ結果良好ナリシヲ以テ東京市淀橋淨水場ニ於テモ從來ノ洗砂器ヲ改メテ松田式ヲ採用スルニ至レリ本ニハ用途單ニ水道用砂ニ止マラズ岩鹽其他礦産物洗滌ニ應用セラルベシ然レドモ藻ヲ以テ汚レタル砂ノ洗滌ノ際ハ投入人口ノ金網ハ閉塞サレ左右ニ落トスル砂粒多クガ如シ更ニ改良シテ完璧ヲ期スルヲ要ス

七吋水道用阻水弁外寫眞 一點

出品人 増田 啓 次 郎

材料ハ「ケース」及弁ノ主體ハ鑄鐵ニシテ摺動部其他ニ砲金及眞鍮ヲ用フ特長トスル所ハ「スピンドル」ヲ支持スル座鐵ヲ内面ヨリ挿入シテ上部ヲ省略シ弁ノ高ヲ減ジ埋設ヲ便ニセルト磨滅ノ際此座鐵ノ交換ニ依リ能ク永年ノ使用ニ堪フルヲ得セシメントニ在リ然レドモ此ノ座鐵ハ後來故障ノ因ヲナスノ虞有リ且品質、産額及工場ノ内容等ヲ見ルニ他ノ製作所ニ比シテニ推獎スル點ヲ認メズ猶研究改良ノ餘地有リト云フ可シ

汚水處分装置模型 外五點

出品人 原田 芳 兵 衛

模型ハ建築物内ノ衛生裝置斷面ニシテ便所、洗面器、浴室、勝手、給水及排水管等ノ配置及取付ケヲ示シ洋式衛生設備ノ宣傳ニ供セルモノナリ然レドモ製作粗雜ニシテ管ノ配列等明瞭ヲ缺ク外ニ城口式汚水淨化裝置ノ青寫眞、便器、洗面器等ヲ陳列セルモ平凡ニシテ評論スルノ價値ナシ

第百八十九類ノ四 治水工事

シメ其底部ニ於テ給水管ノ一部ヲ「エゼクター」管トナシ其周圍ニ二三箇ノ小孔ヲ設ケ其先キニ水栓ヲ設置ス故ニ水栓ヲ閉塞セル時ハ給水管内ニ殘留セル水ハ悉ク此小孔ヨリ流出シテ給水柱ノ底部ニ溜リ再び水栓ヲ開放シタル時前記ノ溜水ハ「エゼクター」管内ヲ昇騰スル逆水ノ爲メ僅々數秒間内ニ盡ク吸揚セラレ使用ノ都度此作用ヲ繰返ヘスヲ以テ凍結部ニハ使用中ヲ除キ常ニ水ヲ殘留スルコトナシ從テ能ク耐寒ノ目的ヲ達スルコトヲ得

明治四十一年製作開始以來北海道、朝鮮、滿洲等ニ既ニ約四千五百個ヲ實施セルニ其結果良好ナリ然レドモ夏期乾上ノ作用ヲ必要トセザル際ニモ之ヲ繰返ヘシ給水柱底ニ出入スル水ハ多少水ヲ汚化スル虞ナキニアラズ殊ニ給水柱ガ木造ノ際ニ於テ甚シ若シ簡單ニ普通給水柱ノ作用ト併用セシムルコトヲ得レバ其便益蓋シ夥カラザルベシ

松田式洗砂器模型 一點

出品人 松田 英 夫

水道事業中洗砂作業ノ緊要ナルハ言ヲ俟タズ從テ洗砂器ノ種類モ亦夥カラズ然レドモ多クハ高壓水ヲ要シ然ラザルモノモ他ノ動力ヲ要シ且其價格モ不廉ナルヲ常トス本出品人ハ東京市淀橋淨水場ニテ十數年其業ニ從事シ幾多ノ失敗ト研究トヲ重ネ遂ニ僅ニ二封度以上ノ水壓ニ依リ汚砂ヲ清ク洗滌シ得ル簡易ナル洗砂器ヲ考案シ松田式汚砂投入裝置ノ特許ヲ得タリ若四封度以上ノ壓力有ル水ヲ得レバ更ニ能率高シ此洗砂器ノ原理ハ「エゼクター」式ニ依ルモノニシテ其特長トスル所ハ西洋式ニ比シ僅少ナル水壓ニ依リテ其作用ヲナスコト價格低廉ナルコト使用水量ヲ節約シ得ルコト努力ヲ減ズルコト等ナリ猶二十封度以上ノ高壓水ヲ利用シ得ル所ニテハ噴射裝置ニテ最後ニ得タル砂水混合物ヲ高

特許川崎式金網蛇籠 一點

出品人 川崎工場主川崎寛美

東京市芝區田町ニ完備セル工場ヲ有シ製作ハ簡易、迅速製品ハ輪盤自
在從テ運搬格納ニ輕便、實ニ本邦ニ於ケル唯一ノ機械製金網蛇籠ニシ
テ相當研究ノ跡ヲ認ムルコトヲ得、容易ニ六番線蛇籠ヲ製作シ得ルハ
手編ノ辛フジテ八番線迄ナルニ比シ確ニ長所ナルモ網目ノ方形ナルハ
手編ノ龜甲形ナルニ比シ結石ノ脱出ヲ抑制スルガ稍劣ルモノト認ム其
他手編ニ比シ一長一短格別優劣ナク價格ハ却テ幾分高キ嫌アルヲ以テ
本品ノ需用ハ大體水害復舊工事ノ如キ臨時ニ多量ヲ要スル場合又ハ適
當ナル編手ヲ得ザル場合等ニ限ラレルガ如シ今一段ノ奮勵ヲ以テ價格
ヲ低廉ニシ需用ヲ普及シ河川工事ニ貢獻センコトヲ望ム

第百九十類 鐵道及軌道

地下鐵道模型外圖面 二點

出品人 東京地下鐵道株式會社

地下鐵道模型ハ竣工ニ於ケル日本橋停車場附近ノ構造、道路面トノ關
係及地質ヲ示セルモノニシテ實際ニ模型電車ヲ運轉シ上部ニハ閃光電
燈ヲ以テ品川、千住間ニ於ケル地下鐵道ト路面電車トノ速力ヲ比シ下
部ニハ九葉ノ圖面ヲ以テ施工ノ順序及方法ヲ明示シ且蓄音機ヲ以テ常
ニ帝都ニ於ケル高速鐵道ノ必要及可能ヲ説キ本會會場ニ於テ最モ高評
ヲ博セルモノノ一トナリ多數ノ觀客ハ常ニ群ヲナセリ斯クテ遺憾ナク
地下鐵道ニ關スル知識ヲ普及セシメタリ唯地下電車ノ日本橋ノ如キ極
要ナル停車場ニ停車セザルハ多少奇異ノ感無キニアラズ猶同會社ハ辛
先シテ東洋ニ於ケル最初ノ高速鐵道ノ計畫及調査ニ若シ以テ帝都交通
ノ不備ヲ補ハントシ起工ニ先チテ先づ其路線ニ沿ヒ精細ナル地質ノ調
査ヲナシ又ハ技師ヲ歐米ニ派シテ最新ノ知識ヲ求ムル等本邦學術界ニ

貢獻セル所顯著ナリト云フ可シ

第百九十一類 索道其他ノ交通機關

九七〇

我國ニ於ケル索道ハ鑛山ニ於ケル運搬機關トシテ初テ用ヒラレ其建設
ニ當リテハ外國技師ヲ聘シ又必要ノ機械及部品モ之ヲ外國ニ求メタ
リ然ルニ漸次内地ニテ之ヲ製造建設スルニ至リ現今索道ノ建設製造ヲ
ナスモノハ玉村工務所、中央工業所、高田商會、安全索道株式會社等
ヲ主要ナルモノトス而シ其應用ハ獨リ鑛山ノミナラズ木材、石炭、及
砂利、其他種々ナル物資ノ運搬ニ用ヒラレ我國ノ如キ山嶽溪谷多キ地
ニ於テハ最モ運搬上ニ利便ヲ與ヘタリトス而シテ各製造所其他ノ既ニ
建設セルモノ無慮五百餘線此延長壹千餘哩ニ達セルナラン今ヤ索道ハ
殆ンド内地製造品ノミニシテ外國輸入品アルヲ聞カザルニ至レリ

索道 搬車 七點

出品人 玉村 勇 助

玉村勇助ノ考案設計セルモノハ特ニ見ルベキモノアリ同工務所ハ交通
館ノ全幅ヲ橫斷シテ摸型ヲ設ケ單線式索道ヲ間斷ナク運轉シテ公衆ニ
其運搬狀態ヲ示ス裨益スル所大ナリ而シテ別ニ抱索子、走車、搬器、
及索受裝置數個ノ實物ヲ出品ス就中館外ニ木柱ヲ設ケテ之ニ吊懸セル
モノハ普通搬器及ビ乘客運搬用トシテ考案セル搬器ニシテ又索受裝
置、抱索子及走車ノ軌索及曳索トノ關係ヲ明瞭ニ諒解セシムルコトヲ
得セシメタリ

玉村ハ最初足尾銅山ニ建設セラレタル獨逸國「ブライハルト」式索道
ヲ取扱ヒ其後海外ノ索道ヲ視察シ爾來深ク自ら研究シ英、米、獨ニ幾
多ノ特許ヲ得尙ホ研究ヲ怠ラズ今回所謂相對性索道搬車ナルモノヲ考
案シ特許ヲ出願シ之ヲ出品シタリ其云フ所ニヨレバ抱索子ノ凡ユル原

理ヲ究メ其最モ有效ナル方法ヲ採用シタルモノニシテ其抱索力最モ強
大ナリト云フ此抱索子ノ力ニ依リテ四十五度ノ急傾斜ニ於テモ能ク曳
索ヲ摺ミテ滑走脫離スルコトナシト云ヘリ此相對性抱索子ハ複式及單
式何レニモ適用シ得ベク我邦ノ如キ急傾斜多キ索道ニ最モ適當ナリト

ス然レドモ此抱索子ハ更ニ之ヲ簡便ナル構造トナシ以テ其價格ヲ低減
セシメ以テ之レガ普及ヲ計ルノ要アルベシ而シテ又搬車ガ積卸場ノ出
入ニ於テ適當ナル導軌ヲ設ケ其抱索子ト索條トノ結合反解離ニ就テモ
十分ノ研究ヲ遂ゲ脫離又ハ不完全結合等ナカラシメタリ而シテ又索道
ノ自在索受裝置ナルモノハ在來ノ平衡梁ニ一層ノ改良ヲ加ヘタルモノ
ニシテ在來ノ平衡梁ニ索條ニ直角ナル縱橫ノ兩軸ヲ關聯セシメタル上
下左右ニ自在ニ回轉セシメ得ベクナシタルモノナリ故ニ索條ノ畫ケル
曲線ハ平面的ニ非ズシテ立體的ノ曲線ナリ從來ノ索道ノ線路ハ平面的
ニ直線ニ架設スルヲ必要トセシモ此索受裝置ヲ利用スルトキハ索道ノ
縱角較大ナル個所ニ於テハ平面的ニ多少ノ屈曲ヲ可能ナラシムルコト
ヲ證明シ索道建設ノ上一層ノ利便ヲ増進スルモノナリ加之重力及風
力ニヨル索道ノ動搖ヲ自由ナラシメ從テ索條ノ磨損脫線ヲ防止シ又索
道線路ノ撰定上鈔カラザル利便ヲ供スルヲ得タリ

玉村工務所ガ明治三十九年以來大正十一年ニ至ル十七年間ニ建設シタ
ル索道ハ百七十七線此總延長ハ三百八十餘哩ニ達ス而シテ其最モ長キ
モノハ北山索道會社ノ單線式十二哩五分(十時間ノ運搬量一百噸設置
動力百七十五馬力)ニシテ其運搬量ノ最多キモノハ足尾銅山ニ於テ複
線式索道一千二百五十噸(延長一千二百尺動力三十五馬力)ナリトス
斯カル多年ノ經驗ヲ有シ多量ニ製出セルニモ拘ハラズ特種ノ製造裝置
ヲ設ケズ專ラ手工ニ依リテ其各部ヲ製作スルハ製品ノ一定及交換性ヲ

有セザルノミナラズ價格モ亦タ廉ナラザルノ嫌ナキニ非ズ將來一層ノ
改良ヲ要スベキモノナリトス

索道 搬車 二點

出品人 中央工業所

交通館内ノ西壁ニ沿フテ單線式索道ノ模型ヲ置キ電動機ヲ用ヒテ毎日
間斷ナク運轉シテ公衆ニ示シ山嶽溪谷ノ到底鐵道ヲ布設シ能ハザルガ
如キ場合ニ能ク物資ノ運搬ヲナシ得ルノ狀況ヲ示セルハ裨益スル處鈔
シトセズ

抱索子ハ「トツグル」ノ働キヲ利用シ搬車内ノ重量ヲ利用シテ索條ヲ
適度ニ抱握セシムルモノナリ而シテ其緊壓力強大ニシテ急斜(垂直ニ
テモ)ノ場合摺動脫離スルコトナシト云フ出品ハ搬車ノ實物一個ニシ
テ索條ヲ抱握セシメ之ヲ垂直ニ吊シテ公衆ニ其緊握ノ強キコトヲ實證
セリ而シテ又抱索子ノ構造ハ概シテ部分少ナク簡略ナリ其製造ハ
專ラ人工ニ依リ特種ノ工具ヲ用ヒザルヲ以テ其運動動モスレバ弛緩或
ハ緊著ヲ免レザルコトアルベシ之レ現今我邦ノ工業狀態ニ於テ免レ難
キ處ナルベシト雖モ宜ク十分ノ注意ヲ拂ヒ改良ヲ企圖スベシ
之ヲ要スルニ索道ニヨル物資ノ運搬ハ獨リ鑛業ノミナラズ或ハ土木工
事ニ或ハ林業ニ或ハ海陸聯絡ニ或ハ工場内ノ運搬ニ其他各般ノ事業ニ
應用セバ普通ノ軌道ニヨルニ比シ固定資本ヲ要スルコト少ク且輕便ニ
シテ有效ナル場合多カルベシ即チ「テルフハイ」若ハ「リツチガイウ
ード、ケーブルカー」ノ如キモノモ多數使用セラルルニ至ランコトヲ
希望スルナリ本博覽會ニ於テ僅々ニ製造所ノ出品ノミニシテ他ノ出品
ヲ見ザリシハ遺憾ナリシ

第九十二類 航路標識

折射玻璃 一點 出品人 日本光機工業株式會社
本邦航路標識燈數ハ本年四月一日調ニ依レバ四百五十三個平均一個當...

各個調査報告

札幌市街模型

本模型ハ全札幌市街ヲ示ス縮尺二千五百分の一圖ニシテ繪ヲ以テ背景...

出品人 北海道廳

以來ノ人口、戶數ノ増減ヲ示ス圖表ヲ掲ゲ能ク其發達ノ狀況ヲ明ニセ...

黒田長官民情視察模型

出品人 北海道廳

本模型ハ明治三年黒田開拓使次官榊太島ヨリ歸途民情視察ノ爲メ大主...

北海道拓殖模型

出品人 北海道廳

本模型ノ中央ニ八十萬分ノ一北海道本土ノ浮出圖ヲ作り左上隅ニハ日...

富山全縣模型

出品人 富山縣

發電所、郡、市、町、名所、舊跡、著名區、產物等ヲ示セル多數ノ建...

濁水溪治水工事模型

出品人 臺灣總督府

濁水溪治水工事ヲ紹介スルノ目的ナルニ拘ラズ縮尺ヲ小(二萬分ノ一)...

千波湖改良事業

出品人 茨城縣

寫眞五葉平面圖一葉ヲ陳列シ外ニ額面ヲ掲ゲ事業經營方法ヲ記載セリ...

札幌模型面ニ混亂林立シ格別人目ヲ引クモノナク本模型ノ目的何レニア...

江戸川水道設計圖

出品人 江戸川上水町村組合

公共團體ノ出品ニシテ而モ施工中ニ係ル水道工事ノ圖面ニ葉ニ過ギザ...

灌溉溝模型

出品人 北海道廳

雨龍郡深川土功組合ノ施行ニ係ル灌溉工事ノ模型ニシテ石狩川ヨリ引...

ト認ムルモ設計ノ内容ニ至リテハ之ヲ知ルニ由ナシ蓋此種事業ハ國策上極メテ緊要ナルベシ之ヲ世人ニ紹介スル亦無益ニアラザルベシト雖モ之ヲ紹介スル方法トシテハ模型ノ一日瞭然タルニ及バザルコト遠シ

築港模型

築港模型ノ出陳ハ交通館ニ名古屋港、北海道館ニ小樽、函館、室蘭ノ三港朝鮮館ニ仁川港、滿蒙館ニ大連港アリ之ヲ大正三年開催ノ大正博覽會ニ出陳セル築港模型ニ比スルトキハ其製作ニハ著シク改良セシ點アリテ孰レモ良好ナリ出陳方法ニ關シテハ名古屋港ヲ除キ其ノ他ハ側壁ヲ利用シ模型背部ノ遠景ヲ畫キ模型ト遠景畫トヲ巧ニ調和セシメ觀覽者ニ良好ノ印象ヲ與ヘタリ名古屋港模型ノ位置ハ交通館内ノ要地ヲ占メ模型ノ縮尺ハ小ナレドモ製作ハ良好ニシテ之ヲ硝子箱ノ内ニ納ムルガ故ニ塵埃ニ汚サルコト少ク觀覽者ニ快感ヲ與フ統計圖表寫眞等ハ孰レモ模型上ノ空壁ヲ利用シ之ヲ掲載セリ仁川港模型ニハ東洋ニ類ナキ船渠口ノ開門アリ特ニ説明者ヲ置キ此種ノ知識ノ普及ニ努メラレタルハ多トスル處ナリ

以上孰レノ模型ニ於テモ港内各要部ノ名稱ヲ指示スル方法ヲ缺キ偶々大連港模型ニハ之ヲ指示シアルモ模型大ニシテ指示札細少ナル爲メ鮮明ナラズ遺憾トスル處ナリ

大形鳥瞰圖外三十六點

出品人 鐵道省
鐵道省出品ハ大形鳥瞰圖一點表二十四點寫眞九點模型三點ニシテ陳列面積ノ制限ニ因リシナランモ之ヲ大正博覽會ニ於ケル出品ニ比スルニ内容ニ於テ多少ノ遜色アルハ遺憾トスルコトコトナリ

國有鐵道鳥瞰圖ハ日本ヲ中心トシ世界ノ交通ヲ示セル幅四十八尺高九尺ノ一大圖面ニシテ本邦内地及其殖民地ニ於ケル鐵道線路及地形ヲ美麗ナル彩色ヲ以テ精細ニ表ハシ世界全般ヲ一大平面トシテ左ハ亞米利加大陸ヲ越ヘテ遠ク亞弗利加、歐洲ヲ望ミ右ハ「ヒリツピン」海峽殖

民地ヨリ印度洋ヲ見南ハ「トラツク」ガム「ヤツブ」島ヲ越ヘテ濠洲「ニュージラランド」南極ヲ望ミ波線ヲ以テ世界ノ主要航路ヲ示セリ一圖面ヲ以テ能ク一大模型同様ノ效果ヲ收メ常ニ多數ノ觀客ヲ引キシハ成功ニシテ形ノ大ナルコト與テ力アリト信ズ

待遇設備寫眞類ハ鐵道省ガ如何ニ從業員ノ待遇ニ留意セルカナヲ示スモノニシテ社會問題ノ骨子ニ觸レタルモノト言フ可シ

傷害實況圖面ハ鐵道ニ因ル旅客及公衆ノ過失傷害ノ實況ヲ通俗的ニ畫キ之ニ小註ヲ加ヘ各種原因毎ニ其傷害數及全傷害數ニ對スル其割合ヲ示シ交通館内ニ於テ能ク觀客ヲ引キシモノノ一ニシテ傷害豫防ノ宣傳ニ著シキ效果ヲ舉ゲタルモノト言フ可シ

前掲以外ノ寫眞、模型、圖面等モ亦鐵道ニ關スル知識ヲ啓發スル所少カラザルベシ

航路標識實況配列模型 外二點

出品人 航路標識管理所

大正三年開催ノ大正博覽會ニ於テ航路標識管理所ハ伊豆大島燈臺ニ使用スベキ第四等連閃燈器ヲ出陳電燈ヲ點シ回轉セリ今回ハ同管理所ヨリ第五等折射玻璃回轉燈ヲ出陳點火回轉スルト共ニ壹等不動燈玻璃ノ一部ノ實物ヲ出陳シ其使用スベキ位置ヲ圖示シ猶柱燈立標等ニ用フベキ岡本氏發明ノ日光弁ノ實物並ニ「アセチリン」瓦斯明暗燈器實物ヲ出陳點火シ其作用ヲ紹介シタルハ有益ナルコトトス以上ノ出品位置ハ交通館ノ入口ニ當レルヲ利用シ防波堤頭ノ燈臺模型二個ヲ同館入口左右ニ配置シ更ニ背景ニ港口附近ノ景色圖ヲ副ヘ之ニ立標ノ位置ヲ示シ航路標識ニ關スル知識ノ普及ニ意ヲ用ヰタルハ賞賛ニ値ス今ヤ船舶ノ航海益々頻繁トナリ航路標識ノ普設ヲ切實ニ感ズル時ニ當リ本邦沿岸里程ニ對スル航路標識數ノ割合ハ最近ノ調査ニ依レバ世界ノ第十三位ニ在リト聞ク此ノ如キ統計ヲ表示セラレシナレバ觀覽者ノ注意ヲ促スニ一層有利ナリシナランカ

第十七部 航空及運輸

平和記念東京博覽會第拾七部審査報告

部長 寺野 精一

一、審査分掌

一、第百九十三類、第百九十四類、第百九十五類（但シ第百九十三類中第二項ヲ除ク）

主任 松井 命
列座 栖原豊太郎
同 花嶋孝一
同 兒玉常雄
報告員 菱田唯藏
補助 佐藤直藏

二、第百九十三類中ノ第二項ニ屬スルモノ

主任 栖原豊太郎
列座 松井 命
同 花嶋孝一
報告員 竹村勘悉
補助 佐藤直藏

三、第百九十六類

主任兼報告員 兒玉常雄
列座 堤 正義
同 菱田唯藏

四、第百九十七類ノ内第一、二、三項ニ屬スルモノ

五、第百九十七類ノ内第四項ニ屬スルモノ

主任 朝倉希一
列座 松浦和平
同 松井文二郎
報告員 坂井 清
補助 服部一雄

六、第百九十七類ノ内第六項ニ屬スルモノ

主任 竹村勘悉
列座 松浦和平
同 根岸政一
同 浅川權八
報告員 永田直武

七、第百九十七類ノ内第五項ニ屬スルモノ、及第百九十八類

主任 永田直武
列座 遊佐幸平

ノ努力ヲ望ムコト切ナリ猶機體機關ノ設計ニ於テモ多クハ未ダ外國ノ型式ニ隨從スルニ止マレルハ遺憾トスベク、須ラク其基礎的研究ヲ勵ミ以テ獨創的改良進步ヲ案ズルニ至ランコトヲ要スルト同時ニ、製作者ト組織者ト共ニ相並ビテ更ニ一層眞摯ナランコトヲ要スベシ

鐵道機關車車輛類——此類ニ於テハ出品少數ニシテ且ツ第一流製作業者ノ出品ヲ缺キシト雖、猶能ク斯業ノ發達ヲ窺フ可ク、國內需要ハ凡テ自給シ得ルノ外、延イテ海外ニモ其餘力ヲ展バシ得ベキヲ示セリ

自働車類——此類ニ於テハ著シク製造業者ノ増加ヲ示シタリト雖、體型及機關共多クハ外國品ノ模倣ヲ脱セズ、而シテ其品質ニ於テハ著シキ懸隔ヲ認メザルモ價格ニ於テ大ニ遜色アルハ是レ畢竟其需用未ダ多カラズ從ツテ多量製産ノ方法ヲ探ルニ至ラザルニ坐ス可ク、現下ノ情勢ニ在リテハ亦已ムテ得ザルモノト言フ可シ

自轉車類——此類ノ出品ハ普ク本邦ノ重ナル製作業者ヲ網羅シ當部出品中最モ多數ヲ占メ斯業ガ近來異常ナル發達ヲ成シタルヲ示セリ而シテ從來ノ博覽會ニ於テ毎々多數ノ出品ヲ擁シタル人力車ガ今回ハ全ク影ヲ潛メテ自働車殊ニ自轉車ガ代リテ其位置ヲ占メタルハ明カニ時相ノ推移ヲ見ルベク、製品モ亦概ネ優良ニシテ技術ノ進步ヲ證シ僅少部分品ノ外ハ凡テ本邦ニ於テ自給シ得ルヲ示セリ産額ハ頗ル増大セリト雖ドモ一方内地需用モ亦激増セルガ爲メ未ダ全ク輸入ヲ防絶スルニ到ラズ、而シテ斯業ガ漸ク分業的製産組織ニ進展スルノ傾向アルハ大ニ喜ブ可ク、蓋シ將來有望ナル本邦工業ノ一トシテ益々發達シ餘力ヲ海外ニモ奮フ可キハ遠キニ非ラザルベシ

乳母車類ハ元來其構造簡單ニシテ且ツ洋式ヲ模シタルモノニ係リ、製作技術上大ナル進步ハ認メ難ク將來猶改良スベキ諸點ヲ有ス、近來漸

次輸出ノ域ニ進ミタレバ、亦他時我國工業ノ一廓ヲ成スニ至ルベシ

荷造包裝類——ハ出品少數ニシテ本邦斯業ノ未ダ甚ダ幼稚ナルヲ證スルモノト云フ可シ、唯出品者中ノ二三者ガ創業當初ヨリ相當ノ資本ヲ投ジテ新式ノ設備作業ヲ採用シ眞摯ナル經營振ヲ示セルハ大人意ヲ強ウスルニ足ル

造船工業及海運業——此類ニ於テハ出品少數ニシテ且ツ斯界第一流者ノ參加セルモノ少ナク、爲メニ這般歐洲大戰中ニ遂ゲタル發達ノ狀況ヲ舉示スルニ足ラズ唯船舶用品縫製品類ニ於テ能ク輸入防遏ノ效績顯著ナルモノ數者ヲ見タルハ最モ喜ブ可シ

之ヲ要スルニ各類共相當進步ノ跡ヲ認ム可キハ明ラカニシテ從來ノ博覽會交通部類ニ於テ常ニ多數ノ出品ヲ擁シタル人力車ガ全ク場内ニ影ヲ失シ飛行機、自動車、自轉車ガ之レニ代ハリシハ瞭カニ世態ノ推移ヲ見ルベシ唯各類ヲ通ジ本邦第一流ニ屬スル者ガ動モスレバ或ハ出品ヲ躊躇シ或ハ審査ヲ辭退シ或ハ陣列ヲ輕視スルノ傾アルガ如ク認メラルルハ、是レ果シテ何ニ職由スルカ、思フニ現下世間經濟狀態ノ不振沈滯セルノミニ依ルニハアラザルベシ

航空館ノ建築様式ニ就イテハ多少遺憾ノ廉アリ將來此種ノ舉アルニ當リテハ大ニ考慮ヲ要スルモノアルベシ

第一、航空機類及其部分品

(第百九十三類、第百九十四類、第百九十五類、但シ第百九十三類中第二項ヲ除ク)

報告員 菱田唯藏

出品者 東京府荏原郡大崎町

藤倉工業株式會社

出品品目

- 飛行機用塗料 二十點
- 同上原料醋酸纖維素 九點
- 氣球用球皮 四點
- 飛行機用塗料塗粧模型飛行機機翼 一枚
- 海軍用自由氣球(十分之一模型) 一
- 海軍用繫留氣球(十分之二模型) 一
- 陸軍用 同上

各種ノ球皮及ビ氣球類ニ就イテハ明治三十四年以來護謨引防水布ニ於テ有スル經驗ニ、氣球ニ特有ナル研究ト經驗トヲ重ネ現今ニ於テハ二種ノ專賣特許ヲ有シテ優良ナル製品ヲ供給シ得ルノミナラズ此方面ニ於テ陸海軍用氣球及飛行船供給者ノ唯一ナルモノナリ

飛行機用塗料、同有色塗料、同塗料原料ニ對シテハ大正二年本邦航空界ノ全ク幼稚ナル時期ニ於テ他ニ先ンジテ其製造及研究ヲ開始シ爾來引繼キテ今日ニ至リ純國産品トシテ性質良好ナルモノヲ製産シ廣ク陸海軍工廠並ニ民間飛行機製作所ニ供給スルニ至レリ

創立 明治三十四年十月

資本金 壹百萬圓

使用人員 職員 三十九名

職工 百七十名

敷地 三千二百三十五坪

大崎工場 建物 三十一棟 千五百二十七坪

機械類 百十餘臺

深川氣球昇騰試驗所 敷地 九千四百五十六坪

氣球格納庫一棟 四百二十坪

其他建築中

大正十年度産額

- レインコート類 二六九、一〇〇
- 防水布類 五二二、七二四
- 氣球及材料類 二八四、八〇〇
- 飛行機翼用塗料 一三九、二六二
- 空氣枕、水枕、及水囊類 七〇、九九九
- 絶緣布 五五、五五〇
- 電氣用諸材料 一八一、一七九
- 其他 一七七、四三〇

航空機材料ニ關係アル業績左ノ如シ

大正二年六月臨時軍用氣球研究會ヨリ航空機用絹布及綿布ノ製造研究ヲ命ゼラレ之レヲ完成ス

大正二年十月飛行機用帆布塗料ノ製造研究ヲ開始ス

大正三年三月臨時軍用氣球研究會ヨリ飛行機用帆布塗料製造工場タル指名ヲ受ク

大正三年七月臨時軍用氣球研究會ヨリ航空船機飛球皮製作ノ命ヲ受ケ之ヲ完成ス

大正四年一月横須賀海軍工廠ヨリ飛行機翼用塗料製造工場タル指名ヲ受ク

大正七年七月海軍省艦政局ヨリ繫留氣球製作ノ命ヲ受ケ爾來引續キ

製作ニ従事ス

大正九年四月本社製造ノ羽布塗料ハ陸軍航空部補給部ノ規格第一號ニ合格シタル旨判定書ノ交附ヲ受ク
大正九年五月陸軍航空部ヨリ製留氣球製作ノ命ヲ受ケ爾來引續キ製作ニ従事ス
大正九年九月海軍省ヨリ氣球類及航空機材料製造ニ關シ監督官派遣ノ指定工場タルノ命ヲ受ク

大正十一年一月深川區鹽濱町ニ氣球昇騰試驗ノ爲メ格納庫ヲ新設ス要スルニ本邦航空事業ノ全ク幼稚ナル時期ヨリ既ニ製造研究ヲ始メ非収益的ナルニモ係ラズ其業ヲ持續シ氣球及航空船ノ民間唯一ノ工場タリ且純國産品タル翼塗料ヲ最モ多ク供給スルニ至レル功績ハ稱揚スルニ値スト認ム

出品者 大阪市南區灘波久保吉町

合資會社 新田ベニヤ製造所

出品品目 航空機製作用合板 各種

本社製品ノ成績ハ優良ナリ、飛行機用材トシテノ合板ハ性質強靱、外面何等ノ缺點ナク、接合輕快、耐熱耐水ナルヲ要シ且寸度ノ大ト供給ノ豊富トヲ必要トス

出品者ハ資本金五拾萬圓ノ合資會社ニシテ大正七年以來北海道十勝國中川郡止若驛ニ於テ

工場敷地 一萬三千坪
工場建物 四十七棟 延坪二千三百六十六坪
設備機械 四十九臺
使用人員 百八十三名

ヲ有スル本邦最大ノ新業經營者ナリ

製品ノ原料ハ北海道各地ニ繁茂セル雜木即チ檜柳樺楓楸アサダキハダ樺桂胡桃柿櫻其他各地ノ銘木ヲ用キ幅三十尺、長サ八尺迄厚サ一呎以上任意ノ合板ヲ製造シ大正十年度ニ於テハ五百萬平方尺(製造能力ハ年額二千萬平方尺)ヲ產出シ販途ハ遠ク支那南洋歐洲ニ及ブ
飛行機用合板ハ製品ノ一部ニシテ軍用飛行機用品トシテノ產額大正十年度ニ於テ二十萬平方尺ナリ

本邦ノ如ク飛行機用トシテ其儘適當ナル良材ノ產出僅少ナル國ニ於テハ殊更、木材ノ節約ト其利用ハ絕對的ニ必要ナリ出品者茲ニ見ル所アリ規模豐大設備完全ナル工場ト熟練セル技術者トヲ以テ新業ニ従事シ優良ナル成績ヲ示シツツアルハ邦家ニ益スル所決シテ少カラズト認ム

出品者 東京市麴町區有樂町

合資會社 高田商會

出品品目

醋酸性纖維素 三塚
飛行機用羽布塗料 一塚
同(膠著用) 一塚
同(カムフラージュ用) 七塚
螺絲機用目止劑 一塚
同 漆液 一塚
飛行機模型 一箇

出品物ハ出品者ガ總代理店タル東京府豐多摩郡代々幡町字南笹塚日本高級塗料株式會社ノ製品ナリ
出品中羽布塗料及其原料ハ價稍高キモ成績頗ル良好ナリ

日本高級塗料株式會社ハ資本金貳拾五萬圓ニシテ人員二十三名ヲ使用シ製産能力年額五萬七千疋ヲ有ス大正八年ヨリ醋酸性纖維素ヲ原料トスル飛行機羽布塗料ノ製造研究ニ従事シ同年十月陸軍第一號規格品トシテ合格以來陸海軍民間飛行機製作工場ノ爲ニ塗料ヲ供給シ良好ナル成績ヲ收メツツアリ
醋酸性纖維素ヲ原料トスル塗料ハ其製法頗ル困難ニシテ現時大部分ノ供給ヲ輸入品ニ仰ギ居ル状態ニ在リ此秋ニ於テ本出品ノ如キ優良ナルモノヲ製出スルハ特記スベキモノトス

出品者 群馬縣新田郡太田町

中島知久平

出品品目

中島B6型飛行機 一臺

本機ハ佛國「ブレゲー」型ニ探リ「ロールス、ロイス」三百六十馬力發動機ヲ裝備ス、特徴ハ主要構造ヲ金屬製ニシタルト材料ガ住友伸鋼所製輕銀ナル點ニアリ
主要寸法左ノ如シ

全幅 一四、七六
全長 八、九九
全高 三、六〇
翼幅 一、九九
翼間隔 一、七〇

中島飛行機製作所ハ大正六年十二月創立シタルモノニシテ工場二、〇〇〇坪、格納庫二、〇〇〇坪、飛行場二、三〇〇、〇〇〇坪ヲ有シ所員總計五百六十名業務ニ従事ス、現在ノ製作能力ハ一箇年百八十臺ナリ

創設以來主トシテ陸海軍ノ命ヲ受ケテ軍用飛行機ノ製作ニ従事シ本邦民間飛行機製作所ノ主要ナルモノナリ、現今迄ニ製作セルモノ陸軍用飛行機百九十臺、海軍用飛行機百六臺、其他飛行機十一臺ナリ
本所ガ早クヨリ新業ニ従事シ中島式飛行機ヲ考案設計シテ陸軍用ニ供シタル外多數ノ軍用飛行機ヲ製作供給シ民營工場ノ權威者タルハ經營其宜シキヲ得タルモノニシテ其努力ト本邦新界ニ致シタル貢獻トハ宜シク認ムベキモノナリトス

出品者 千葉縣津田沼町

伊藤飛行機研究所

出品品目

飛行機 一臺
プロペラ 五本
空中寫眞 二枚

出品セル伊藤式飛行機ハ競技用小形複葉機ニシテ「ルノー」七十馬力發動機ヲ應用シテ製作セル固定式空氣冷却星形五氣筒四十馬力發動機ヲ裝備シ、其輕快ナルト機體各部ノ寸度ヲ内地ニ於ケル汽車輪送ヲ顧慮シテ、小型無蓋貨車ニ積載シ得ル如クセルヲ特徴トス、其他設計要目ハ左ノ如シ

全幅 十九呎
全長 十六呎六吋
全高 九呎六吋
連力(每時) 七十七哩
航續 二時

尙航空局ノ出品ニ係ル秋田號ハ伊藤飛行機研究所ニ於テ設計製作シタ

伊藤飛行機研究所ハ本邦ニ於ケル民間飛行機製作ノ率先者ニシテ初メ大正四年二月千葉縣稻毛海岸ニ創設シタレドモ大正六年九月東京灣海嘯ノ爲、格納庫、工場、住宅等ヲ破壊セラレタルニヨリ翌年四月同縣津田沼海岸ニ再設、大正十年四月資本金拾貳萬五千圓ノ株式組織トナシ同十一年六月資本金ヲ壹百萬圓ニ増資スル事ニ決ス

現在ノ設備ハ敷地一、七八〇坪、工場八棟、格納庫一棟、等ニシテ技術者三名、事務員八名、職工其他六十三名、飛行士六名、助手二名ナリ有シ、飛行機製作能力一年一百臺、飛行士養成能力一箇年三十名ナリ而シテ創設以來製作シタル飛行機ノ數ハ陸上機廿八臺、水上機三臺、養成シタル飛行士ノ數ハ廿六名内航空局ノ免狀所有者ハ十九名ナリ本研究所ガ其創立以來、陸海軍飛行機ノ製造ヲ命ゼラルル等ノ政府直接ノ援助ナキニ係ラズ銳意航空思想ノ普及ト飛行機製作並ニ飛行士養成ニ力メ民間ニ於テ機體製造、操縦者養成ヲ殆ンド單獨負擔シ以テ本邦民間飛行界ヲ今日ノ狀態ニ齎シタルハ困難且幼稚ナル斯界ニ鑑ミテ感賞ニ値スベシ

出品者 神戸市兵庫東尻池

川西龍三

出品品目

川西第二號飛行機	一臺
川西第三號飛行機	一臺
車輪臺	二點
額側	二點

第二號機ハ「ユンケル」型單葉機ニ模シ外皮總テ合板ヲ用キ「ホー」

スコット」ニ百馬力發動機ヲ裝置ス、竣工後直ニ出陣シタルモノナルヲ以テ飛行試験其他ノ實地成績ナシ、其設計要項左ノ如シ

一、使用目的	競技用	全幅	三一、七
一、主要寸法(呎)	全長	全高	一一、六
	全幅	翼幅	八、九
			四、九
一、翼斷面形	「ドユーランド」第五十三號		
一、發動機	「ホー、スコット」二百馬力		
一、擔荷(封度)	揮發油二時間分		一一〇〇
	滑油五時間分		三〇〇
	乗員一名		一四〇
	水		二〇〇
	合計		三九〇
一、重量(量封度)	螺旋器		三〇〇
	放熱器		六〇
	發動機		五九〇
	胴體		二〇〇
	翼		四〇五
	尾		七六
	脚部		一一〇
	操縱機		四〇
	總計		一九一一

一、速度(毎時ノ哩)

最大	一四五
標準	一二二
著陸	六五

第三號機ハ「マイバツハ」二百六十馬力發動機ヲ裝置セル「ソツビー」型複葉機ニシテ構造ニ特徴ナシト雖ドモ岐阜縣各務原飛行場ヨリ旅客二名ヲ搭載シ第一日天龍川福長飛行場ニ著陸第二日東京ニ航空シ來レル成績ヲ有ス、其設計要項左ノ如シ

一、使用目的

商業用	三四、五
全幅	二九、一
全長	一〇、四
全高	五、二
翼幅	五、五
翼間隔	五、五
R A F	第十五號

一、翼斷面形 「マイバツハ」二百六十馬力
一、發動機 揮發油三時間分
一、擔荷(封度) 滑油五時間分

合計	四二〇
螺旋器	九三五
放熱器	五〇
發動機	一五〇
胴體	一〇〇〇
翼	三〇〇
	四六五

川西機械製作所ハ川西龍三、中島知久平等ガ大正七年五月設立シタル合資會社日本飛行機製作所ノ解散(大正九年十月)後川西龍三ノ經營スル所ニシテ神戸市兵庫東尻池字大竹濱ニ於テ工場敷地二、二二三坪工場建物(一四棟)一、五〇〇坪ト其レニ相當スル製作機設備トナ有シ大正十一年四月末迄ニ敷地代金ヲ除キ七拾五萬圓ヲ投資シ現在技術員十九名、事務員十三名、職工百五〇名ヲ有ス

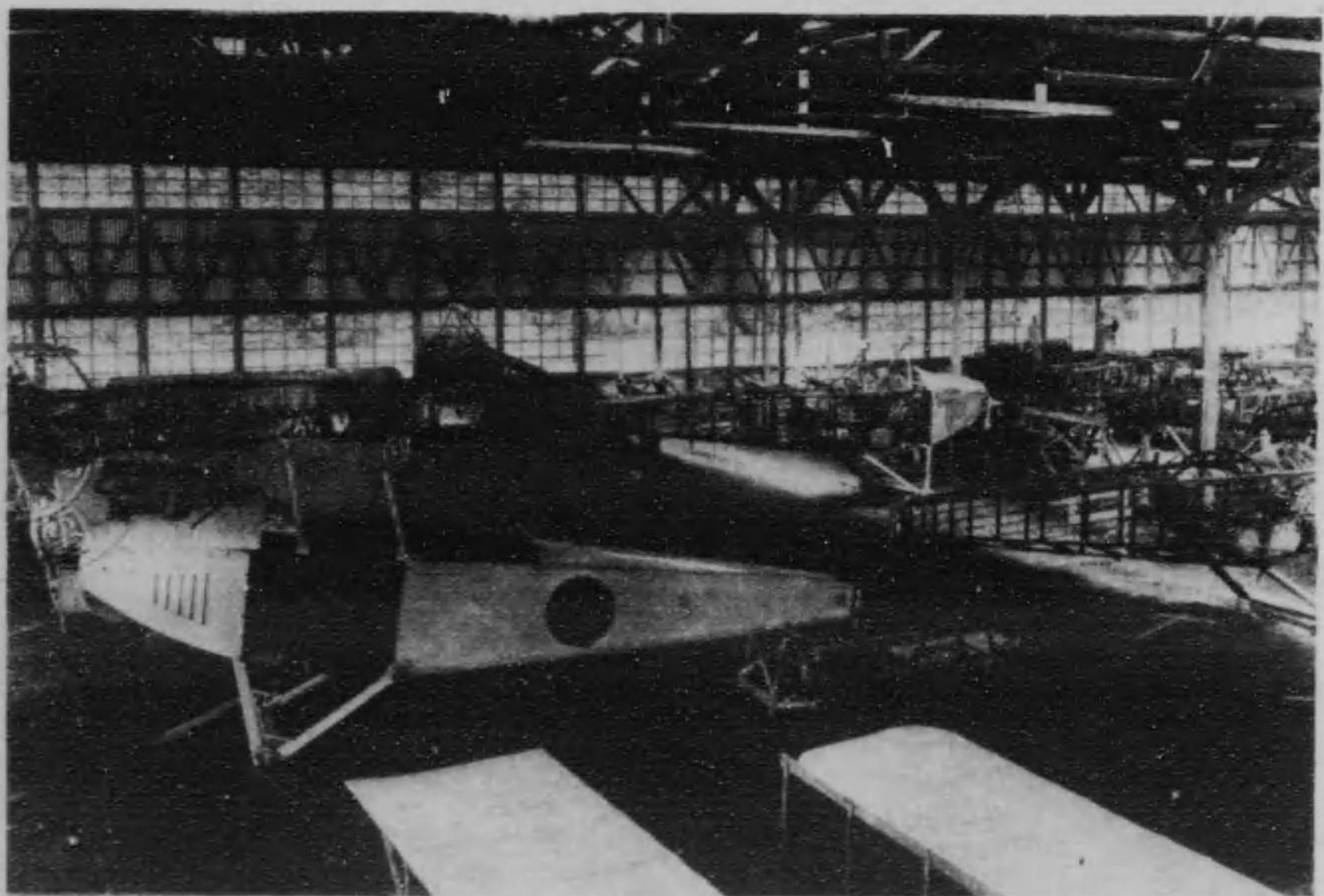
出品者 神奈川縣鎌倉郡川口村

東京螺子製作所

出品品目

乙式一型偵察機用張線螺	二型十一種
同螺	十一型八十二種
同線止金	一組
同栓類	數種
同座金類	數種

所 作 製 機 行 飛 島 中



同 鑽 帶 五 種
 同 鋸 數 一 種
 甲式三型練習機用張線螺 十八 種
 同 螺 釘 百六十七種
 同 ユニバーサル、ジョイント 二 種
 プ式用張線螺 八 種

航空機用螺子ハ他ノ機器ニ使用スルモノト異リ其材料ノ優良ナルベキハ勿論、寸度極メテ正確ニシテ總テ相互交換性ヲ有スルヲ必要トス、本所製品ハ歐米並ニ内地ヨリ原料ヲ購入シタル後物理的試験ニヨリテ均一ナル良材ヲ選出シ精密機械工具ニヨリテ加工シ、最後ニゲージ又ハ微測計ヲ用ヒテ十度ヲ検査シタルモノナリ

本所ハ明治三十一年一月ノ創設ニ係リ精密螺子及工具類ノ専門的製造ニ従事ス夙ニ陸海軍ノ指定工場トナリ明治卅七八年戰役及歐洲戰役ニ際シテハ兵器用部分品ノ單獨指令ヲ受ク、大正九年十月機械設備改善ノ必要ヲ考ヘ現所ニ工ヲ起シ精銳ナル機械設備ヲ施シ大正十年五月竣工シタルモノナリ而シテ現在一、五四〇坪ノ敷地ト四〇〇坪ノ工場トヲ有シ、技師三人、職工七十五人、其他十人ヲシテ製作ニ従事セシム、製産價格ハ大正十年ニ於テ五六四、五六八圓ナリ

本邦ニ於テ航空機用螺子類製作ニ従事スルモノ二三アルモ現時陸海軍ノ納入規格ニ合格スルモノハ本所製品以外ニ求ムルヲ得ズ、以テ製品ノ優良ナルヲ知ルベシ

出品者 東京市本所區中之郷業平町
 三田土ゴム製造合名會社

ゴム引布製飛行服 一 著
 飛行機機體取扱作業袴靴 一
 飛行機タイヤ(A) 一本
 同 上 (B) 一本
 同 上 (C) 一本
 飛行機用中袋(A) 二本
 同 上 (C) 二本
 飛行機用エボナイト製蓄電池用外筐 一個
 配 電 盤(六氣箱用) 一個
 電 刷 子 一個
 集 環 子(シングル) 二個
 同 二個
 絶縁用赤色エボナイト板 一枚
 耐油ホース各種 三本
 緩衝ゴム(徑十三耗) 一卷
 糸 ゴ ム 二把

製品中飛行機用「タイヤ」ハ成績良好ニシテ獨逸製品ニ劣ラズ陸軍軍用飛行機ニ使用セラル、乍併緩衝ゴム紐並ニ輕油ゴム管ハ其要求ガ普通ナラザル爲成績思ハシカラズ尙改良研究ノ餘地多シ

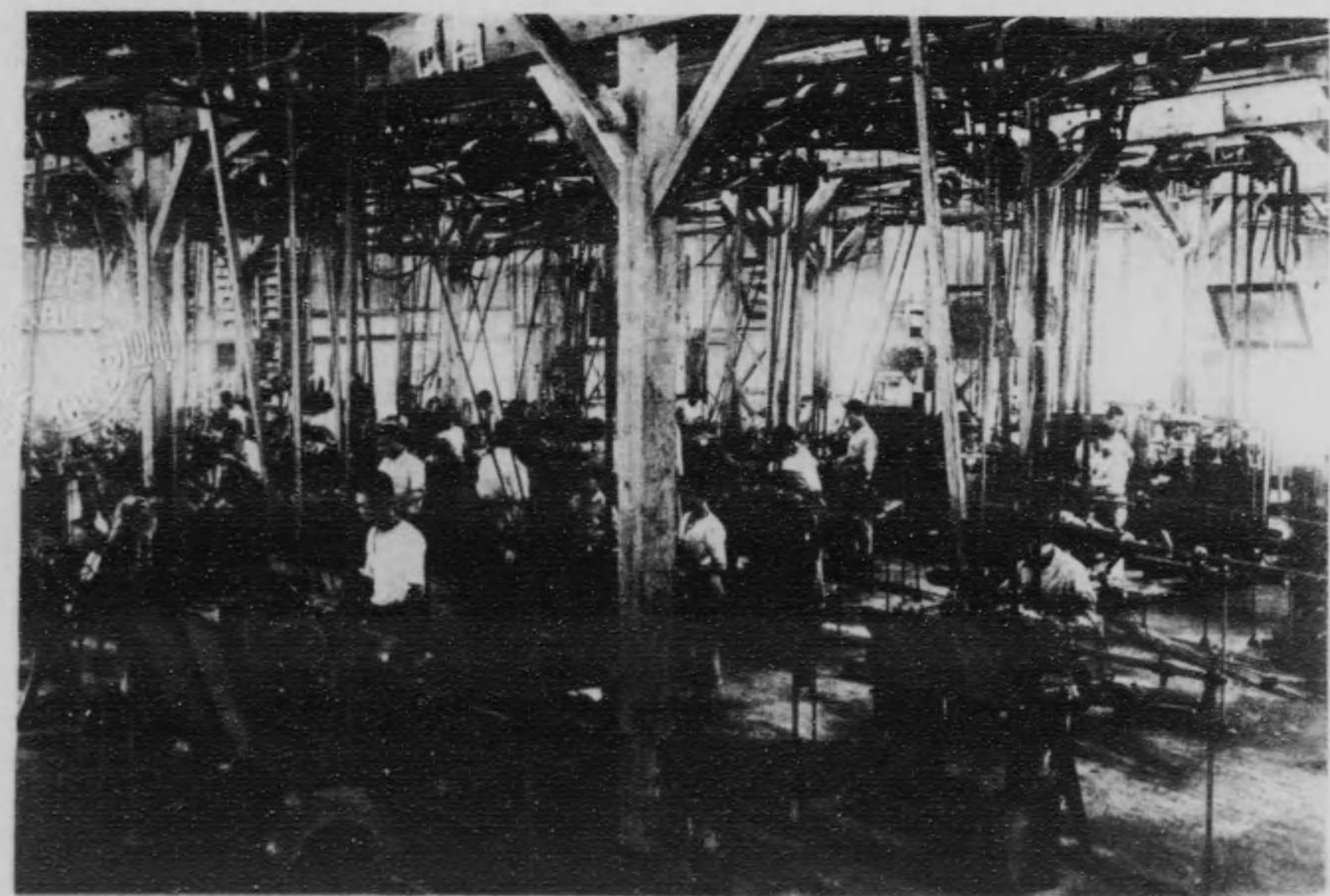
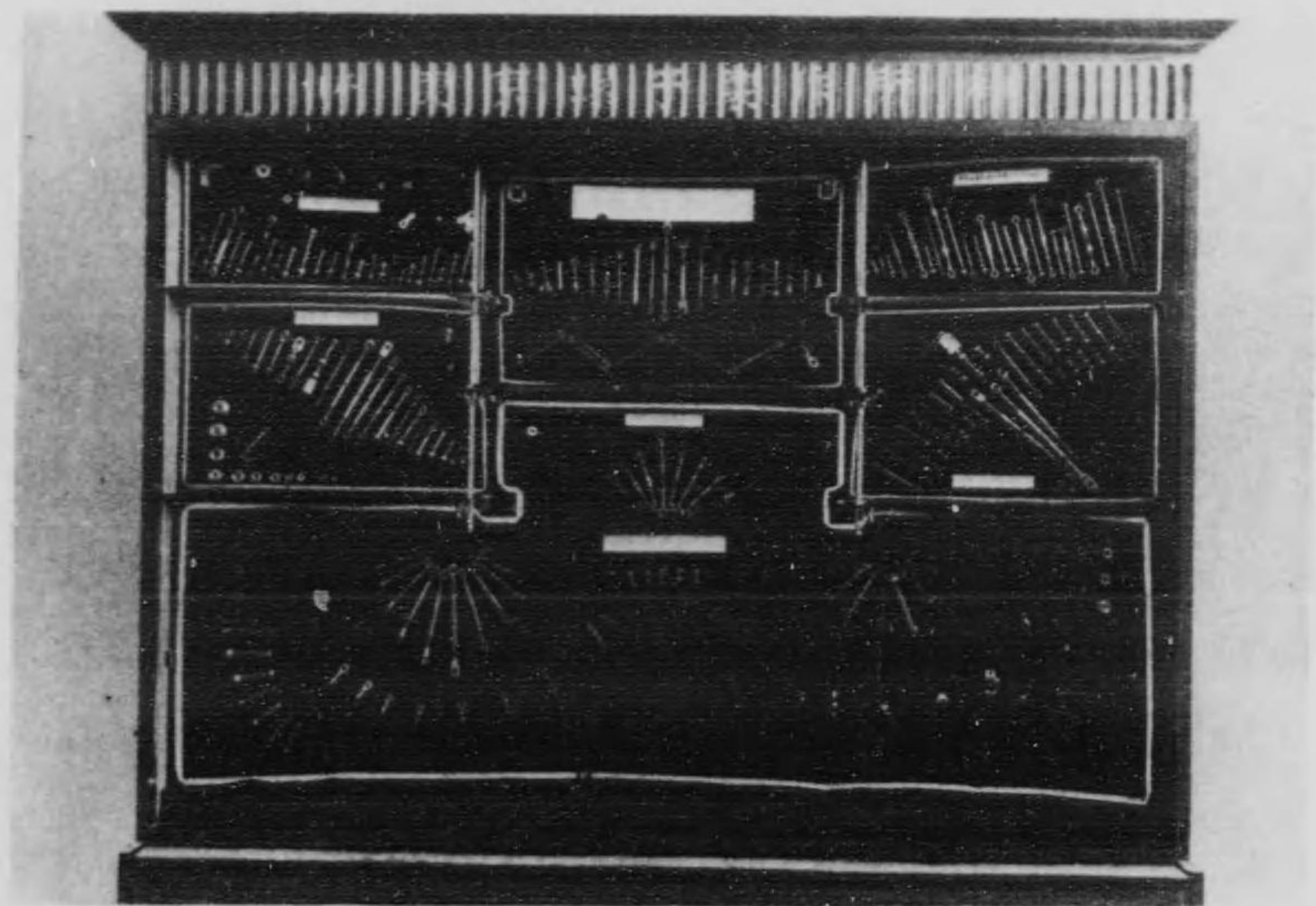
元來飛行機用「タイヤ」ハ自動車用「タイヤ」ト外形相似タレドモ飛行機用トシテ特ニ要求セラルル側方強力並ニ重量ノ可及的輕少ハ其製造ヲ困難ナラシムルコト大ナリ、本社製品ノ成績良好ナルニ至ルハ苦心研究ノ結果ト見ルベシ

出品者 東京市淺草區玉姫町

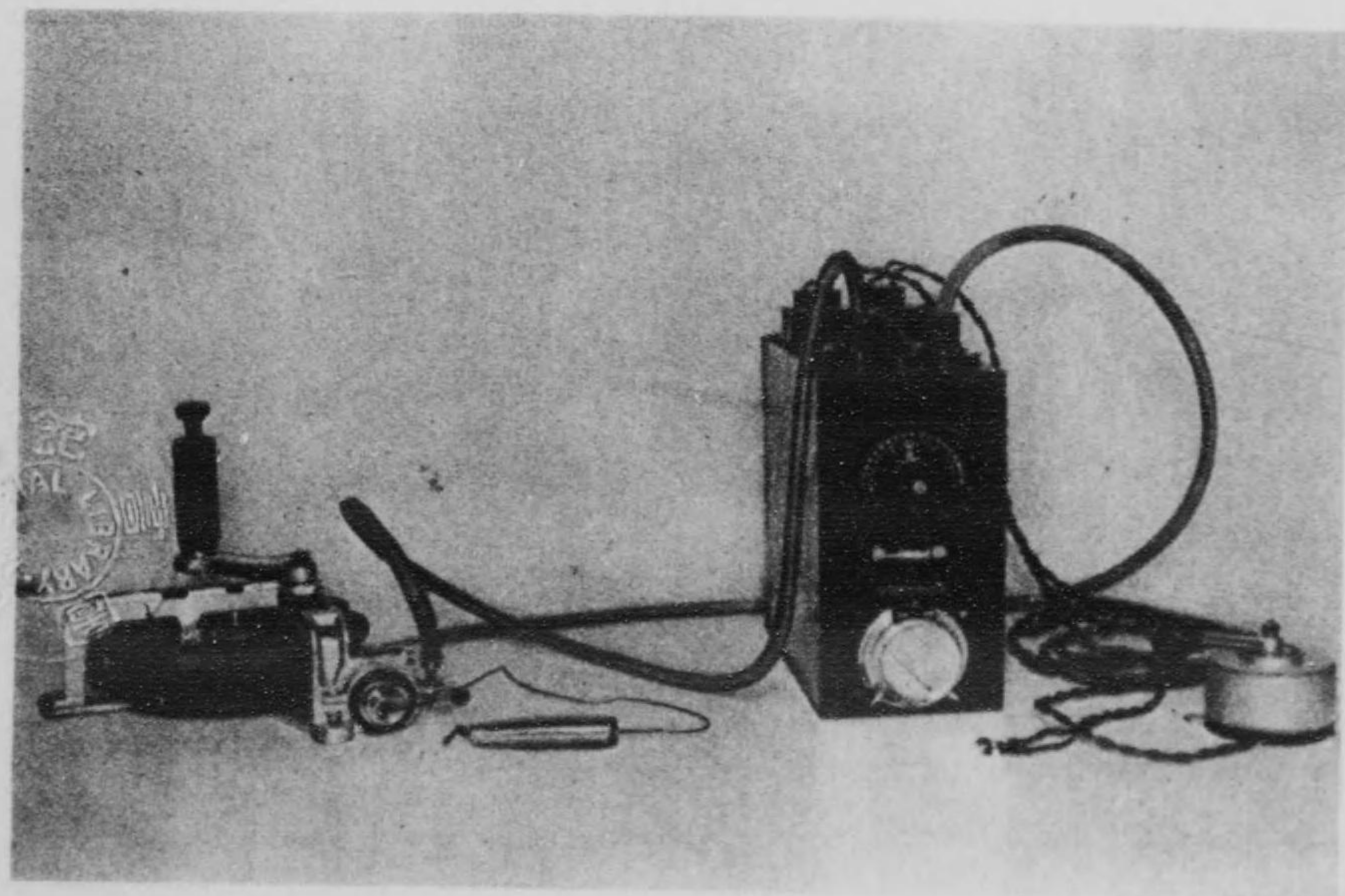
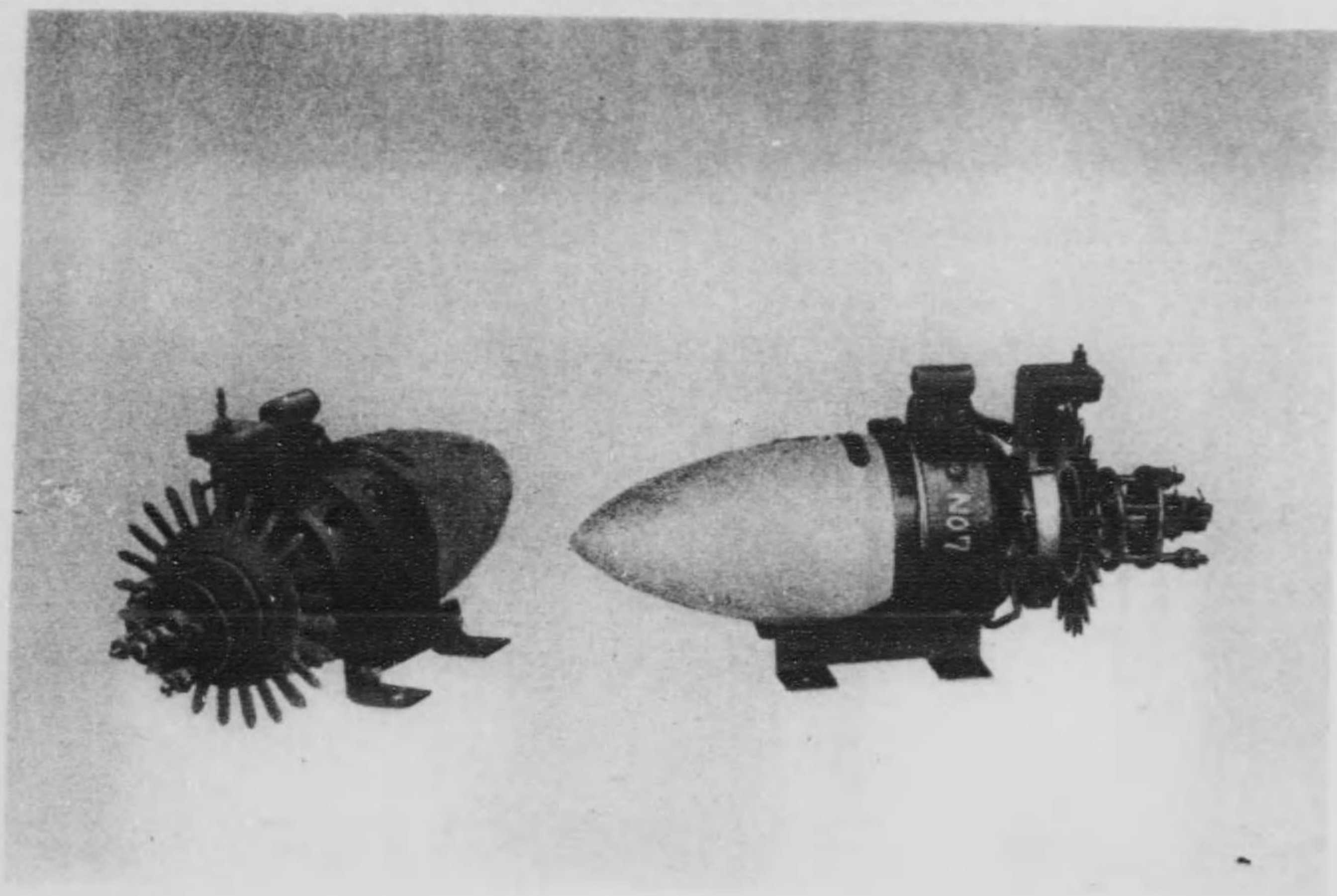
伊藤飛行機研究所



東 京 螺 子 製 作 所



日本無線電信株式會社



日本護謨株式会社

出品品目

A型飛行機用車輪	一
B型同上	一
C型同上	一
モ式同上	一
緩衝護謨紐	二十米
緩衝護謨管	十米

製品中飛行機用「タイヤ」ハ成績良好ニシテ陸軍軍用飛行機用トシテ使用セラル、緩衝ゴム紐並ニ輕油護謨管ハ成績良好ナラズ尙製法研究ノ餘地多シ

元來飛行機用「タイヤ」ハ自動車「タイヤ」ト形状相似タルモノナレドモ飛行機用トシテ特ニ要求セラルル強力ヲ増ス爲ニ層乃至四層ノ「コード」ヲ埋メ込ミ出來上リノ重量可成の輕小ナルヲ要スヲ以テ製造法容易ナラズ本社ニ於テハ特許製造法ヲ用ヒ製出品ノ成績良好ナルハ努力ノ跡見ルベシトス

出品者

東京府豊多摩郡澁谷町大字下澁谷

日本無線電信電話株式会社

出品品目

航空用無線電信機	壹組
航空用電熱保温服	壹著

陸用、船用トシテ無線電信機ハ比較的成效セルモノアルモ航空機用トシテハ尙未成品タル域ヲ脱セス

電熱保温服ハ全ク研究時代ニ屬シ改良ノ餘地頗ル多シ

日本計器製造株式会社

出品品目

飛行機用テール回轉計	一個
同速度計	一個
同羅針儀	一個

本社製品ノ機能ハ比較的良好ナルモ外國製品ニ比シ頗ル高價ニシテ尙研究ノ餘地アリ

出品者

住友合資會社伸銅所

出品名

輕銀板「ヂュラルミン」
アルミニウム板
輕銀山形棒
アルミニウム山形棒
銅管
ラヂエーター用眞鍮管
輕銀管
アルミニウム管
壓搾瓦斯壘
銅管

以上ノ中航空機用トシテ最重要ナルモノハ輕銀ナリ

(イ) 製品成績ト同社製輕銀ハ抗力四二―四五瓦每平方耗、延一〇〇

耗、試験片ニテ一五%程度ノ成績ヲ有シ現今ノ最良品ト同程度ナリ

(ロ) 會社ノ大要ト同社ハ鋼系合金ノ諸製品ノ製造及蒸氣罐用鋼管ノ製造等ノ技術ニ關シテハ已ニ二十有餘年ノ歴史ヲ有シ其製品ノ卓越セルハ一般ニ認メラル

上記航空機用諸材料ニ關シテハ同社實驗室ニ於テ大正四年「ヂュラルミン」ノ研究ヲ開始シ同社工業ノ可能性ヲ利用シ今日ニ至ルモノナリ

(ハ) 研究機關ト同社ハ總延坪四三四坪ノ實驗室ヲ有シ製品ノ改良及創造、不良品ノ原因探究等ニ付テノ必要ナル設備ハ極メテ完備セルモノナリ

尙同社ノ特質ハ其ノ研究ニ從事スル當事者ノ優秀ナル事ニアリテ研究ノ主腦者、指導者トシテ又研究員、研究助手トシテ學識アル所員二十名ヲ有シ研究ガ極メテ合理的ニ行ハレ居ル事ナリ

(ニ) 同所ノ航空機用材料ニツキ研究セル事項及研究中ノ事項、同研究所ニテ航空機用トシテ「ヂュラルミン」ノ研究ハ大正五年ニ發表サレタルモノヲ初メテトス、其他種々ノ輕金屬ニ關スル研究事項ハ

X 光線ニ依ル合金ノ研究

「ヂュラルミン」以外ニ他ノ「アルミニウム」系輕銀ノ研究

「マグネシウム」系輕金屬ノ研究

等ニシテ此等輕金屬ハ將來屢々發達スベキ總金屬飛行機等ノ爲メニ重要ナルモノナリ

(ホ) 結論

同社ハ民間會社ニテ之等輕金屬ヲ製出スル唯一ノ會社ナルモ現在迄ノ我航空界ノ此方面ニ對スル要求ハ極メテ貧弱ナル状態ニアリ、從ツテ其ニ對シ同社ノ製出セル量モ多量ナラズ單ニ陸軍、海軍等ノ試驗的ノ使用ニ對シ製品シタル程度ナリ、併シ同社ガ現在設備ヲ利用シ又相等擴張シ又同所研究室ノ研究ヲ基礎トシテ陸海軍、民間航空界ノ發展ニ供ヘ後來此等材料ノ多額ノ要求ニ應ジ得テ優良ナル材

料ヲ供給シ得ルハ容易ナル事ト認ム

出品者

東京製鋼株式會社

出品名

航空機用鋼線各種 (燃線)
同 ビアノ線各種
氣球用鋼燃線各種

(イ) 製品成績ハ良好ニシテ「ビアノ線」ハ徑〇・二五耗ヨリ五耗迄十種アリ其ノ内〇・二五耗ノモノニテ、一八〇疋平方耗、五耗ノモノニテ一四〇疋平方耗、ノ抗張力ヲ有シタリ
屈曲試驗一半徑五耗ノ「JAW」ニツク間ニ狭ミテ圖ノ如ク屈曲シ折斷スル迄ノ回數ヲ示ス



〇・二五耗徑ノモノニ於テ 九六回
五耗徑ノモノニ於テ 四回
成績次表ノ如シ

直径耗	破斷抵抗力		同曲式線 JAWノ類
	徑平方耗	徑平方耗	
0.25	8.5	174.	96
0.30	12.5	177.	91
0.35	17.0	176.	85
0.40	22.0	175.	80
0.50	34.0	174.	70
0.60	49.0	173.	60

試験ス

材料ノ撰擇製造方法ノ改良、製品ノ向上等ニ對シテ不斷ノ研究ヲナシツツアリ

(ハ) 結論一要スルニ現下我が航空界ハ特ニ數量ニ於テ極メテ幼稚ニシテ同社ヘノ要求ハ極メテ少量ナリ、即チ今日迄營利ヲ離レ試驗的ニ從過シ來レルモノニシテ現在相當優良ナルモノヲ製出セリ今後航空界ノ發展ト共ニ其生産額ヲ増加シ尙質ニ於テ發達シ得ベキ十分ナル基礎ヲ有スルモノト認ム

出品者

日本特殊鋼合資會社

出品名 F W マ グ ネ ト 鋼
ステーションレツス鋼
航空發動機用曲軸軸用鋼
自動車發動機用曲軸軸用鋼
航空發動機用接合棒用鋼
自動車發動機用接合棒用鋼
「ローン」式航空發動機用各種鋼
「サルムソン」式航空發動機用各種鋼

(イ) 製品ノ成績一同社ハ從來工具用其ノ他特種高級合金鋼等ノ優良品ノ供給者タル事ハ已ニ公知ノ事實ナリ、現ニ出品セル如キ航空機及自動車用特殊鋼ヲ陸海軍用航空發動機ノ製造ニ向ツテ供給スルモノハ單ニ同社アルノミナリ

「サルムソン」メルセデス「ローン」イスバノスイザ「ペンツ」「ローレン」等ノ各部ニ使用セル材料ニシテ夫々其ノ性質ヲ異ニセル多種ノ特殊鋼ハ皆同社ノ供給セルモノナリト云フヲ得ベク其性質極メテ良好ナリ

0.70	07.0	174.	23	"
0.80	88.0	174.	46	"
0.90	112.0	175.	40	"
1.00	138.0	174.	35	"
1.50	314.0	177.	20	"
2.00	544.0	173.	30	"
2.50	852.0	178.	30	10H
3.00	1192.0	168.	11	"
3.50	1617.0	168.	8	"
4.00	1900.0	168.	6	"
4.50	2362.0	148.	5	"
5.00	2780.0	141.	4	"

(ロ) 會社ノ大要一三十五年間艦船、礦山用ノ鋼索ヲ製作シ本邦ニ於テ斯業ノ最高權威タルハ一般ニ認メラレタル事實ナリ、上ニ掲ゲタル航空機用諸品ハ同社ノ深川工場ニテ専ラ製造シ陸海軍、民間航空機用トシテ供給スル國內唯一ノ會社ナリ

航空機用トシテ使用サル、「ビアノ」線等ハ他ノ一般鋼線ト比シ特ニ優良ニシテ信頼シ得ルモノヲ必要トスルヲ以テ其材料ノ撰擇、設備操作ニ就イテハ特別ノ注意ヲ要スルモノタルハ當然ナリ

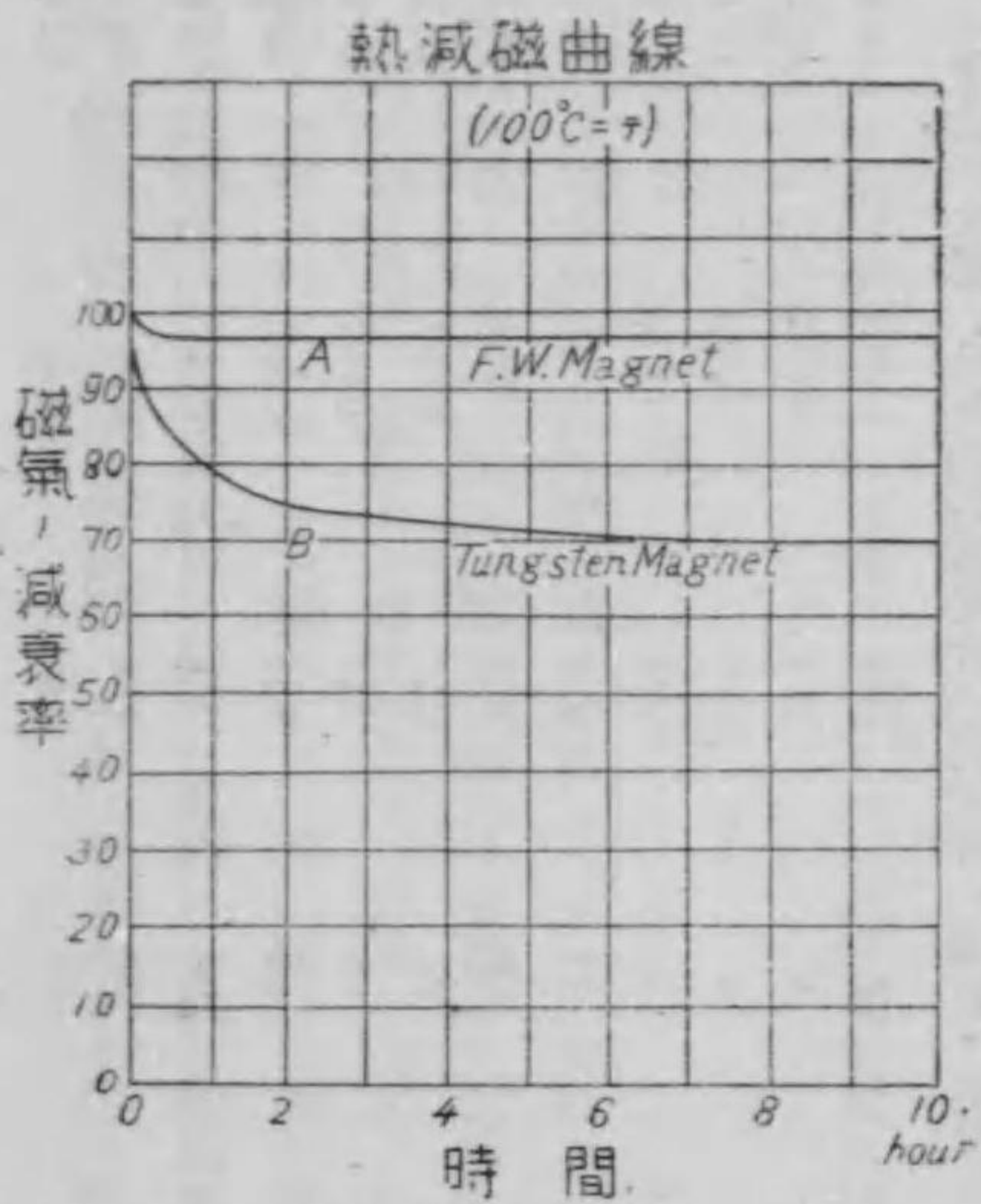
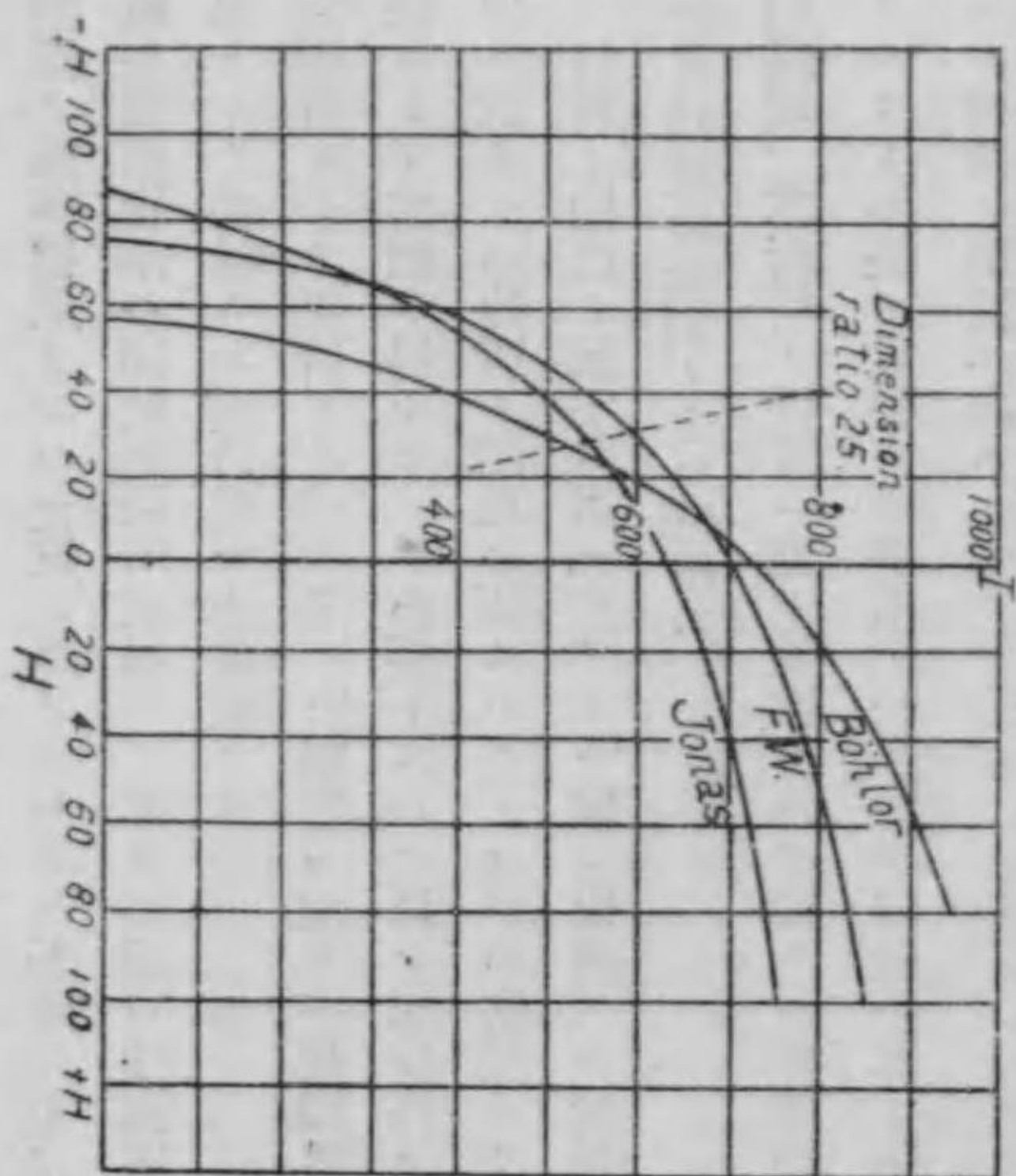
(ハ) 材料一同社ノ航空機用「ビアノ」線ニ使用スル材料ハ瑞典國ノHofors 特殊炭素鋼ノミヲ使用ス

熱的處理、其材料ノ性質ニ應ジ適當セル必要ナル熱處理ノ方法ヲ官制スルコトハ最も重要ナル事項ノ一ニシテ同社ハ其ノ研究ノ結果ニナレル特種ノ裝置ヲ有ス

試驗室、化學室、顯微鏡室、材料試驗室、製品検査室、等何レモ相當ノ設備ヲ有ス

又各鋼線ハ兩端ヨリ採取セル試験片ニテ張力、捩屈曲ニツキ嚴密ニ

W. F. Magneta Steel 八同會社ノ研究室ニテ發明セルモノニシテ con-
ive force 大ニ residual magnetism 又相當ニ大ニシテ從來ノ Wweidm-
Bolter 等ノ magneto steel ヨリモ良好ナリ尙其ノ成分ニハ高價ナル



特殊成分ヲ含マズ國內ニ多量ニ産スル「クロム」「マンガン」ヲ主
成分トス而モ熱處理法極メテ簡單ニシテ燒割ヲ生ズルコト絶對ニナ
シ W. F. Magneta Steel 之亦同社ノ研究ニヨリ發明セラレタルモノ
ニシテ從來ノ Wweidm & Bolter ニ比シ腐蝕ニ對スル抵抗大ニ又耐熱性
モ比較的大ナリ

航空發動機排氣弁用鋼トシテ特ニ研究スベキモノナリ、本「Wweidm &
Bolter」外國製「ステンレス」鋼トノ耐蝕性ヲ比較スルニ次表ノ如
シ

W. F. Magneta Steel 一〇%硫酸 一〇%鹽酸 五%硝酸 二〇%醋酸
英國製「ステンレス」 一時間 一〇時間 四〇分間 數時間
尙此ノ鋼ノ特質トスル所ハ其硬度極メテ高キコトニシテ「シヨア」
六〇—七五、「プリネル」五〇—六〇ヲ有スルモ燒入調節ニ依
リ任意ニ其ノ硬度ヲ低下セシメ得ル點ニアリ

(ロ) 研究機關—當社ノ特質トスル所ハ研究設備ノ完全ナルコト此
ニ從事スル研究員ニハ何レモ鐵鋼方面ノ優秀ナル人材ヲ集中セルコ
トナリ、而シテ學理ト工業トノ連鎖極メテ適當ニ實現セラレ

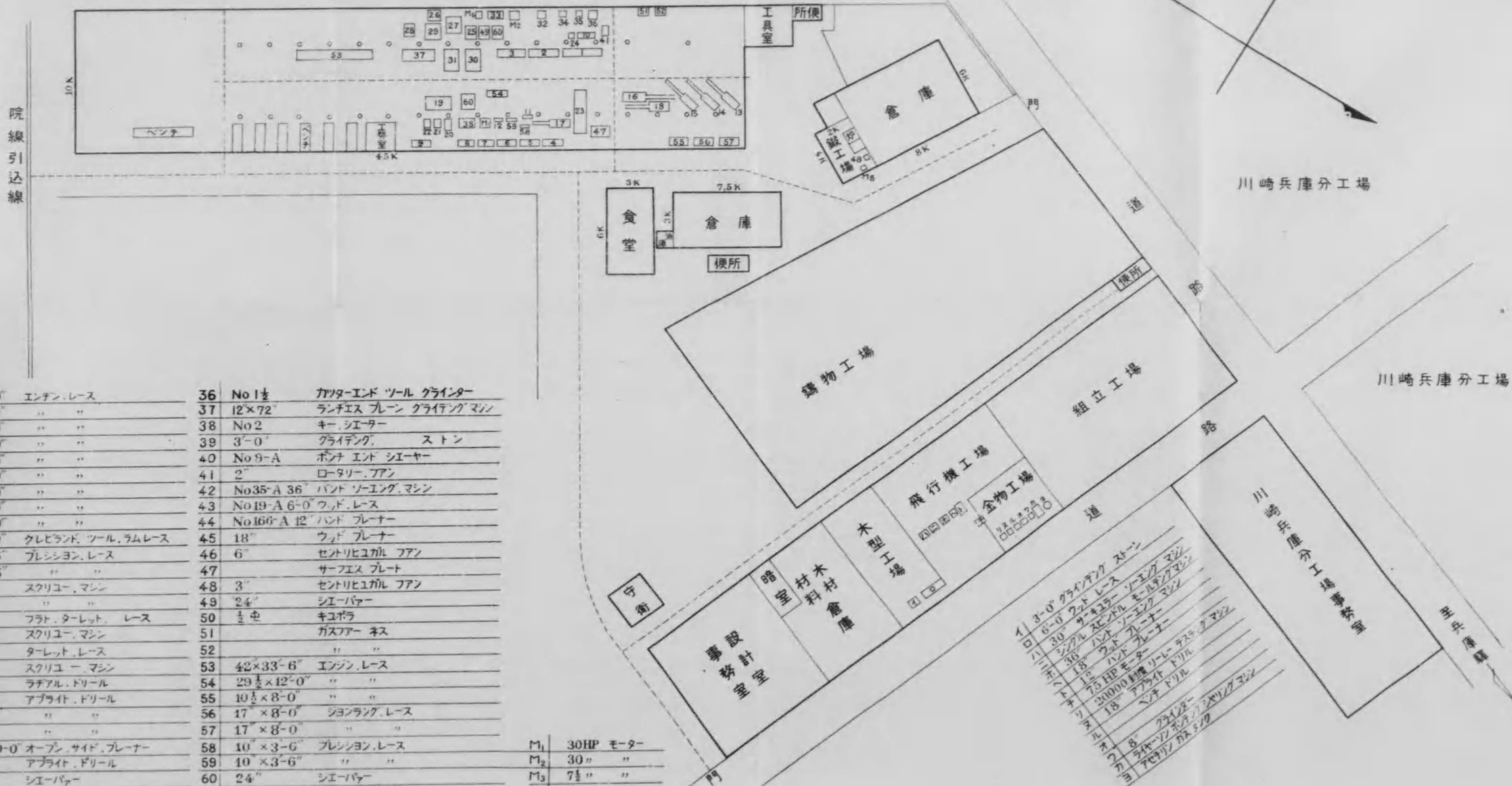
第二 航空機用内燃機類及機體材料

(ハ) 結論

本邦航空界ガ(特ニ發動機製造)其ノ幼稚ナル時代ニ於テ他ノ工業
ニ比シ比較的困難トスル特殊合金鋼ヲ得ルニ不自由ヲ見出サザリシ
ハ當社ノ製品ガ十分満足シ得ル程度ニ進歩シ居タルニ依ルモノニシ
テ今後航空界ノ發達ト共ニ其ノ質ニ於テモ量ニ於テモ遺憾ナキ發展
ニ對シ遺憾ナキ基礎ヲ有ス

30	No2	11	24
31	No2	21	28
32	No2	3	30
33	No6	4	38
34	12"	8	18
35		6	24
		7	11
		8	21
		9	21
		10	22
		11	10
		12	10
		13	3
		14	7
		15	3
		16	3
		17	20
		18	15
		19	5
		20	2
		21	20
		22	20
		23	20
		24	20
		25	16
		26	8
		27	41
		28	21
		29	21
		30	21
		31	21
		32	21
		33	21
		34	21
		35	21

川崎兵庫分工場



1	24×14-0	エンジン・レース
2	24×12-0	" "
3	24×12-0	" "
4	18×8-0	" "
5	18×8-0	" "
6	18×8-0	" "
7	18×6-0	" "
8	18×6-0	" "
9	18×6-0	" "
10	12×6-0	クレピランド・ツール、ラムレース
11	10×3-6	プレシジョン・レース
12	10×3-6	" "
13	3 $\frac{1}{2}$ ×36	スクリュー・マシン
14	3 $\frac{1}{2}$ ×36	" "
15	2 $\frac{1}{2}$ ×26	フラット・ターレット・レース
16	3 $\frac{1}{2}$ ×36	スクリュー・マシン
17	20	ターレット・レース
18	1 $\frac{1}{2}$ ×9	スクリュー・マシン
19	5-0	ラチアル・ドリル
20	24	アプライ・ドリル
21	20	" "
22	32	" "
23	36×40×10-0	オープン・サイド・プレーナー
24	20	アプライ・ドリル
25	16	シエーパー
26	No14	ユニバーサル・シエーパー
27	11	グリーン・マベルゼネレーター
28	24×12	キーヤー・ホッピング・マシン
29	No2	ウェーザル・ミリング・マシン
30	No2	ユニバーサル・ミリング・マシン
31	No2	" "
32	No200.8	リンクエンド・サーフェイス・グラインダー
33	No60	ヘールド・シリンダー・グラインダー
34	12	エメリー・ホーメル・グラインダー
35		トウエスト・ドリル・グラインダー

36	No14	カッター・エンド・ツール・グラインダー
37	12×72	ランチス・プレーン・グラインディング・マシン
38	No2	キー・シエーター
39	3-0	グラインディング・ストーン
40	No9-A	ボナ・エント・シエーター
41	2	ロータリー・ファン
42	No35-A 36	バンド・ソーイング・マシン
43	No19-A 6-0	ウッド・レース
44	No16-A 12	ハンド・プレーナー
45	18	ウッド・プレーナー
46	6	セントリヒュガル・ファン
47		サーフェイス・プレート
48	3	セントリヒュガル・ファン
49	24	シエーパー
50	$\frac{1}{2}$ 屯	キヨボラ
51		ガス・アー・キス
52		" "
53	42×33-6	エンジン・レース
54	29 $\frac{1}{2}$ ×12-0	" "
55	10 $\frac{1}{2}$ ×8-0	" "
56	17×8-0	シヨラング・レース
57	17×8-0	" "
58	10×3-6	プレシジョン・レース
59	10×3-6	" "
60	24	シエーパー
61	20000	テストング・マシン

M1	30HP モーター
M2	30 " "
M3	7 $\frac{1}{2}$ " "
M4	3 " "
M5	1 " "
M6	$\frac{1}{2}$ 基 ゼネレーター

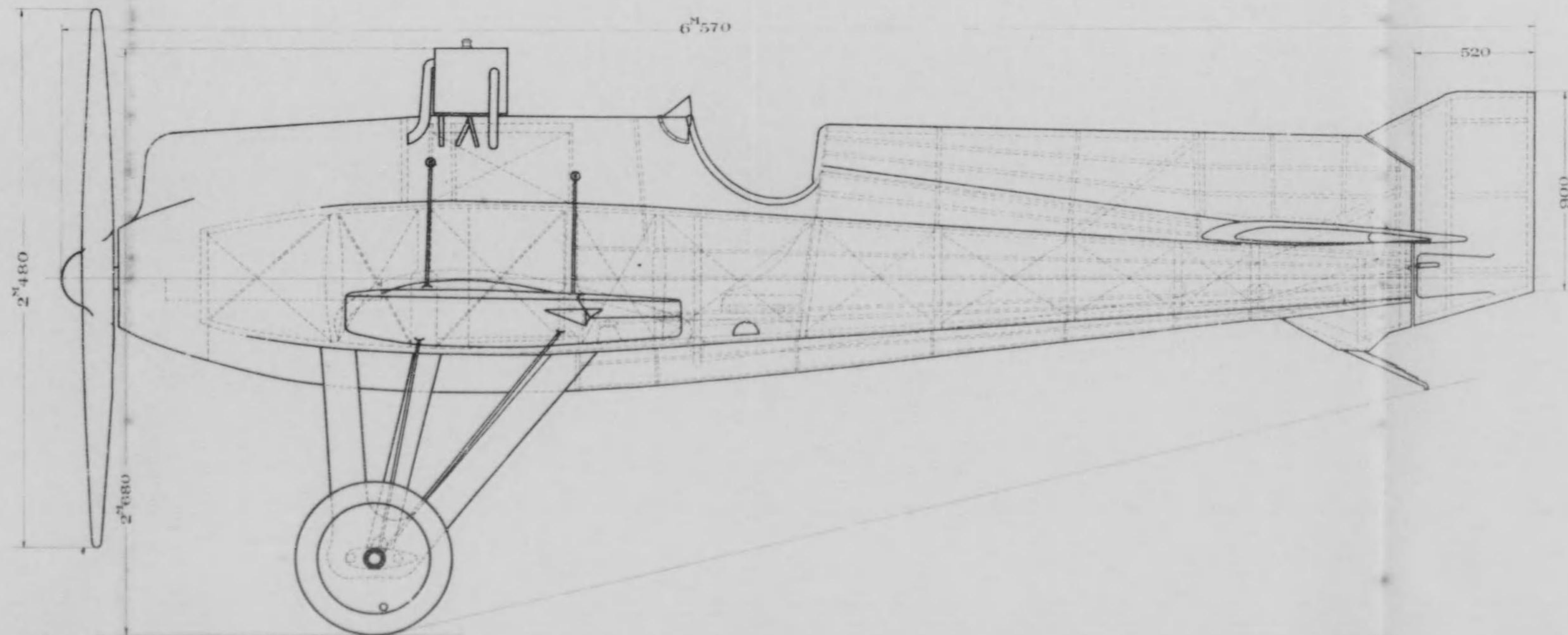
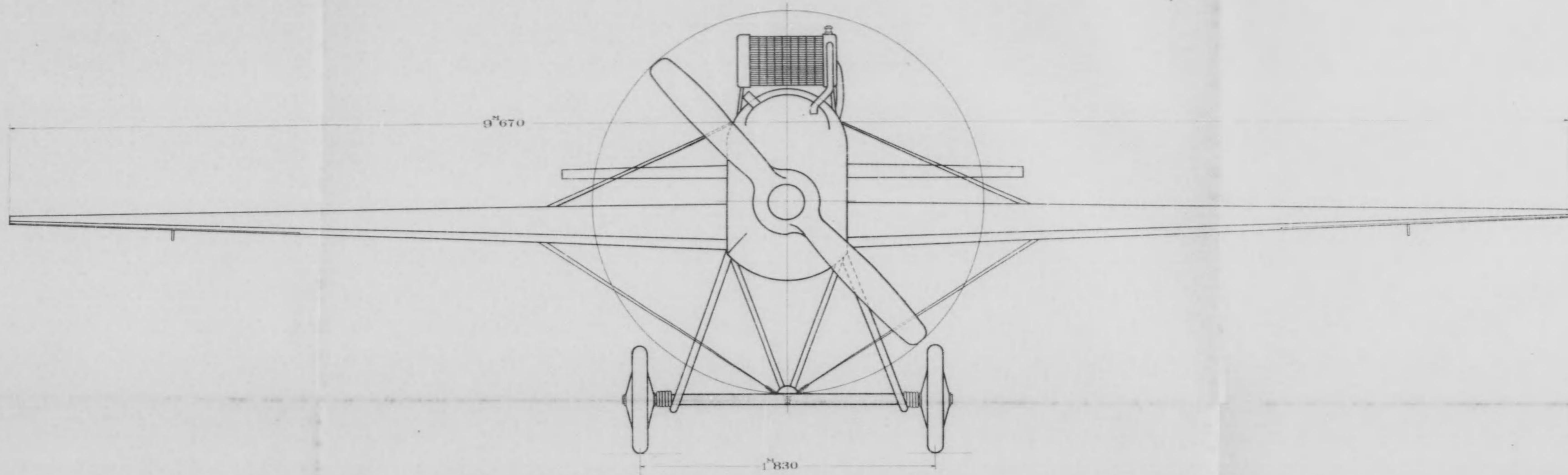
工場建坪	506 坪
倉庫	405 "
事務所	18 "
現在敷地	817 "
予定	1070 "

1	3-0	グラインディング・ストーン
2	3-0	ウッド・レース
3	3-0	ウッド・レース
4	3-0	ウッド・レース
5	3-0	ウッド・レース
6	3-0	ウッド・レース
7	3-0	ウッド・レース
8	3-0	ウッド・レース
9	3-0	ウッド・レース
10	3-0	ウッド・レース
11	3-0	ウッド・レース
12	3-0	ウッド・レース
13	3-0	ウッド・レース
14	3-0	ウッド・レース
15	3-0	ウッド・レース
16	3-0	ウッド・レース
17	3-0	ウッド・レース
18	3-0	ウッド・レース
19	3-0	ウッド・レース
20	3-0	ウッド・レース
21	3-0	ウッド・レース
22	3-0	ウッド・レース
23	3-0	ウッド・レース
24	3-0	ウッド・レース
25	3-0	ウッド・レース
26	3-0	ウッド・レース
27	3-0	ウッド・レース
28	3-0	ウッド・レース
29	3-0	ウッド・レース
30	3-0	ウッド・レース
31	3-0	ウッド・レース
32	3-0	ウッド・レース
33	3-0	ウッド・レース
34	3-0	ウッド・レース
35	3-0	ウッド・レース

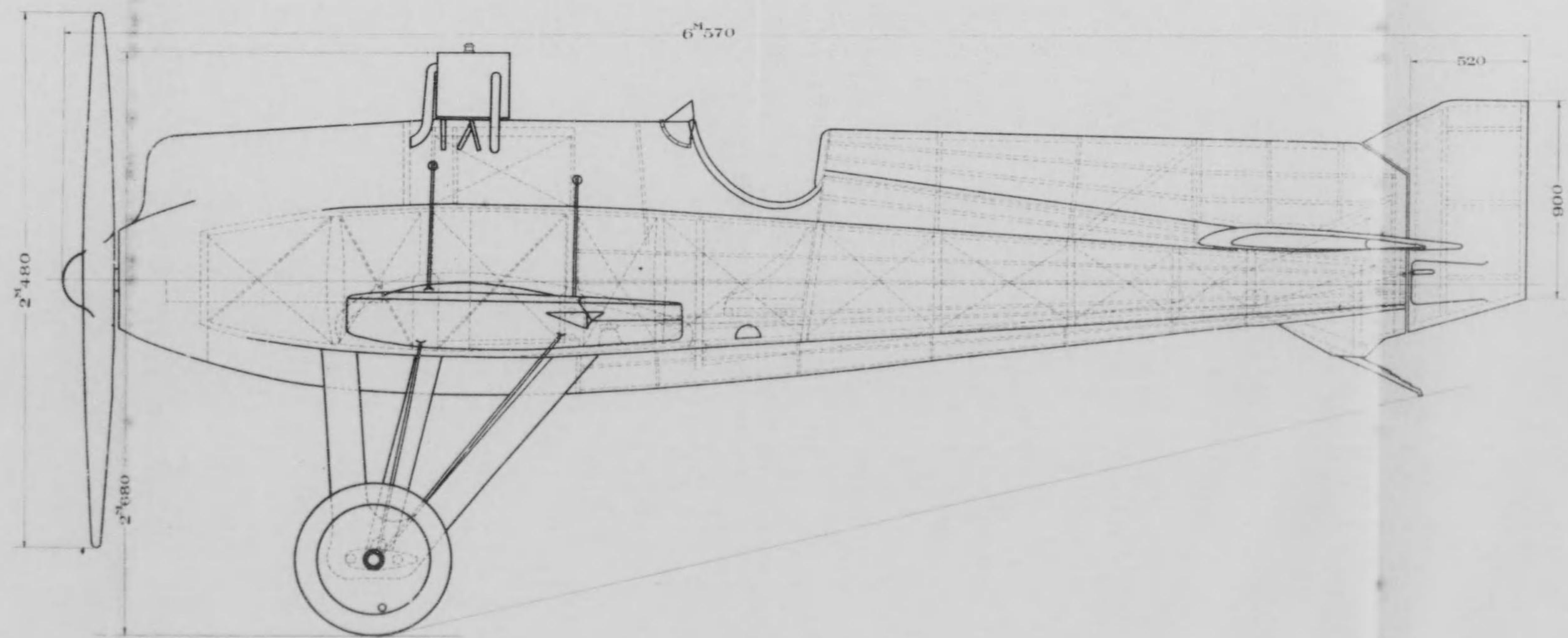
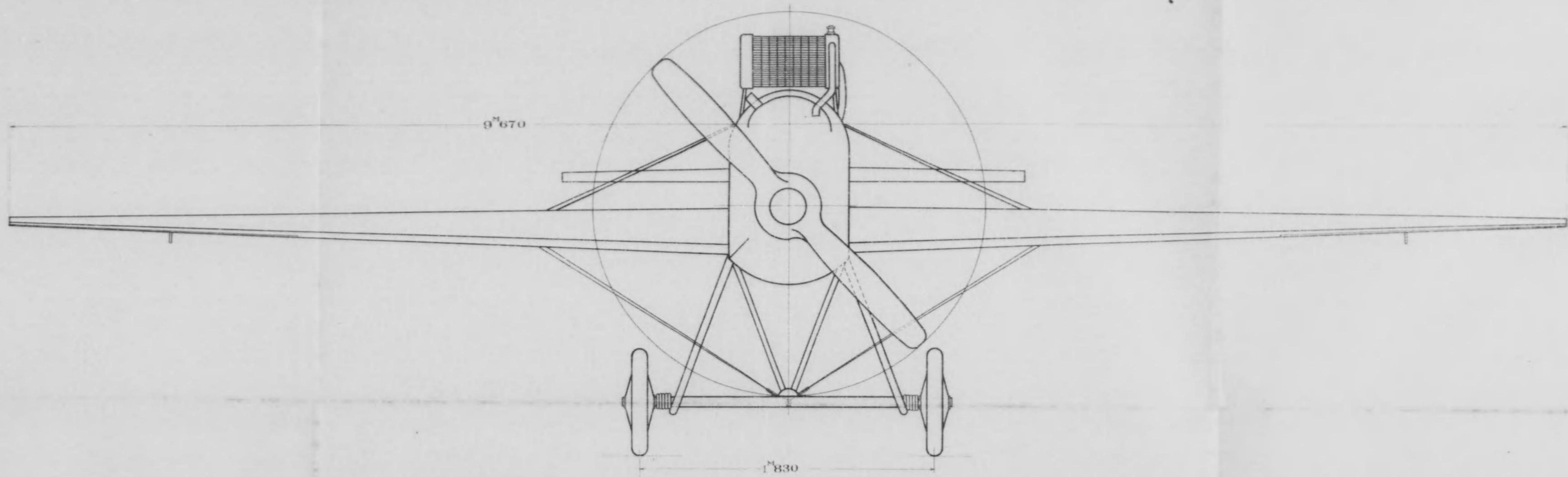
川西機械製作所建物敷地及機械据付圖

神戸市兵庫東尻池字大竹濱

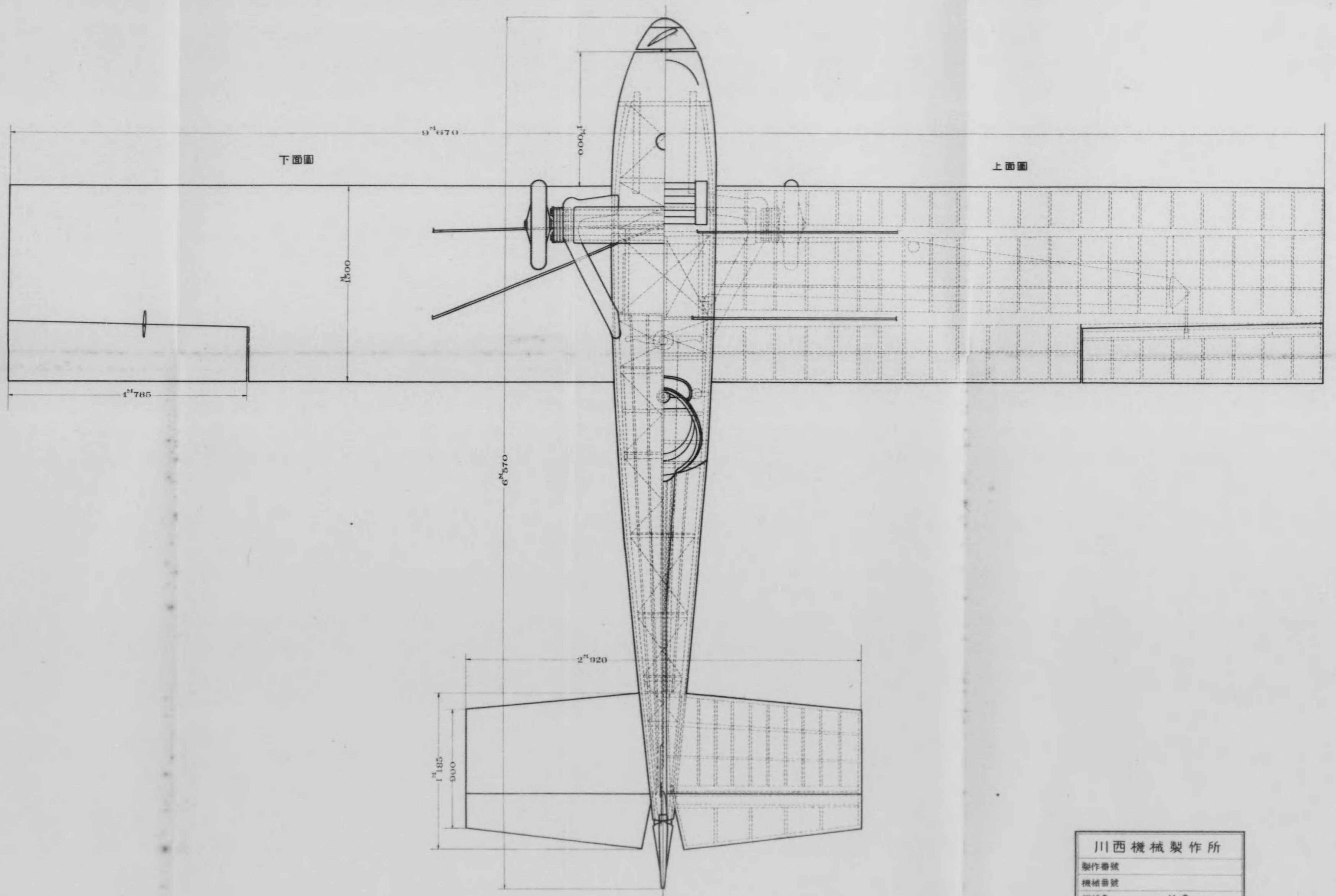
電話本局三二一六番



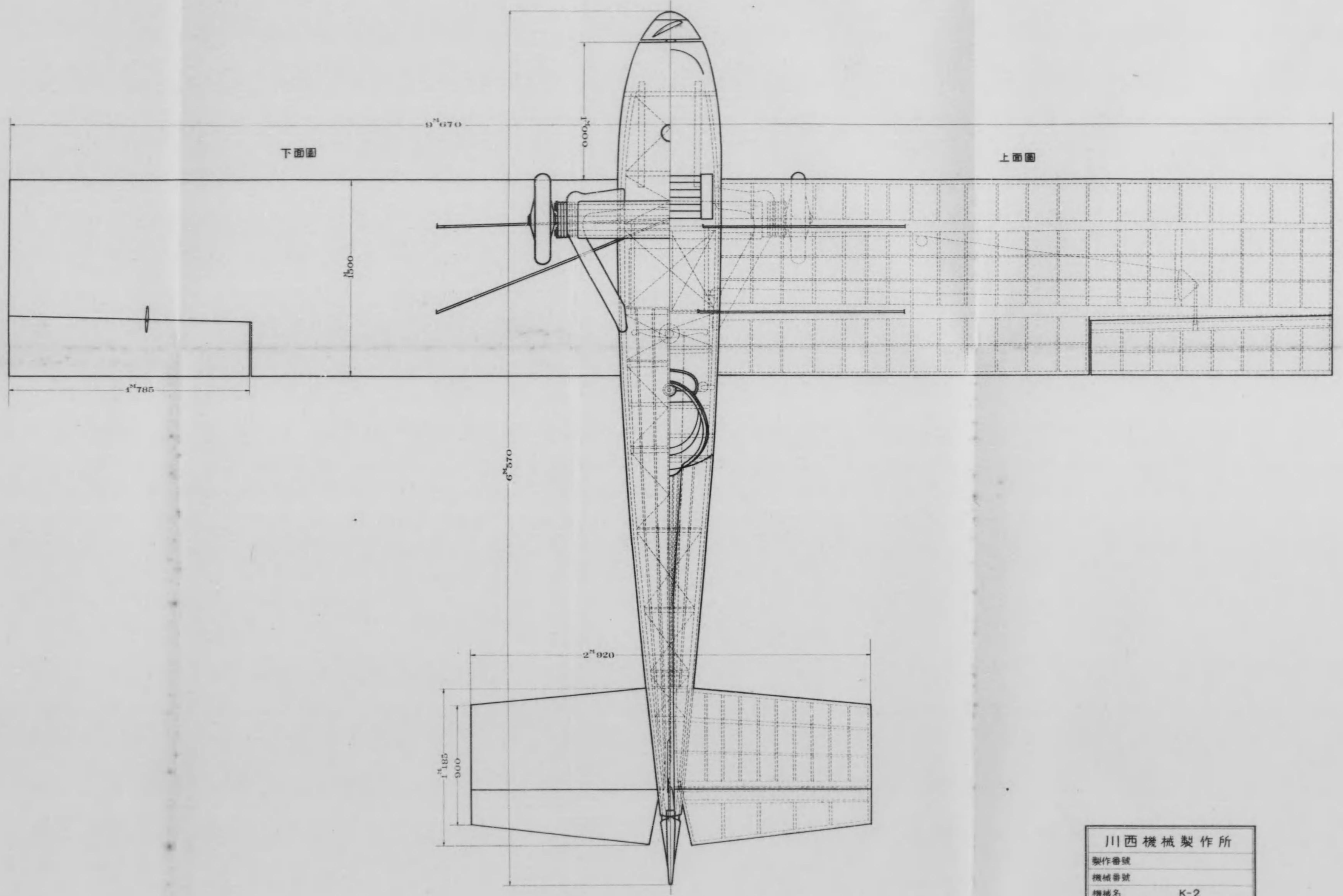
川西機械製作所			
製作番號			
機械番號			
機械名		K-2	
所要圖面數及番號			
部 番 號	組 立	分 番 號	正面及側面
設計		作圖	
寫圖		請查	
圖面番號		A 036	



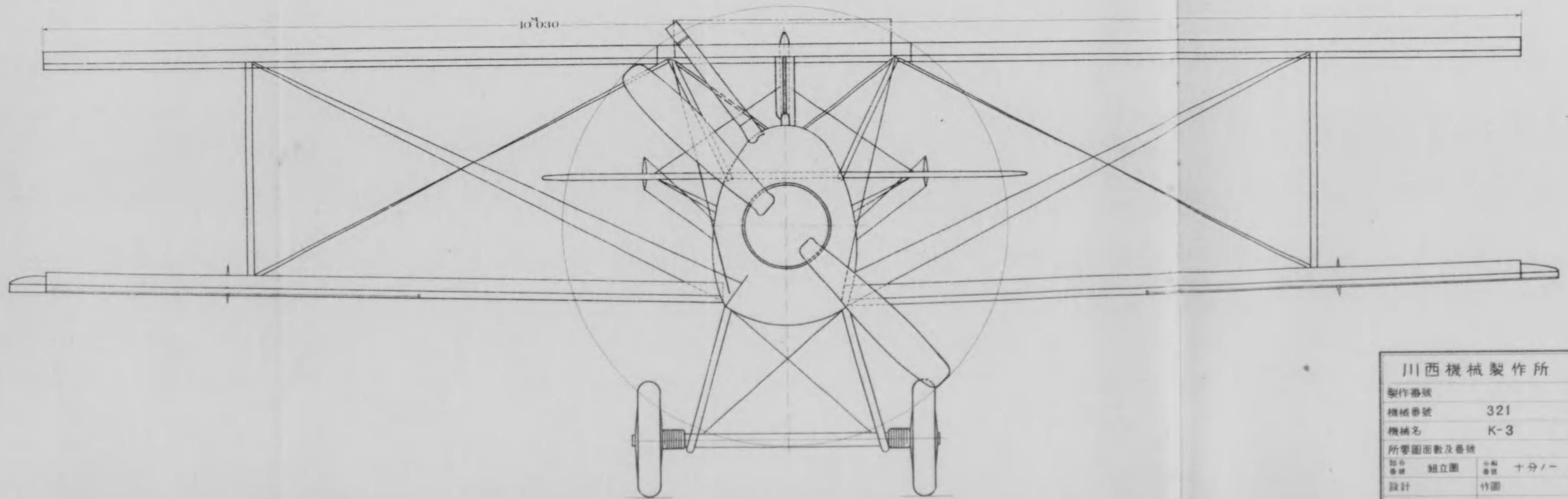
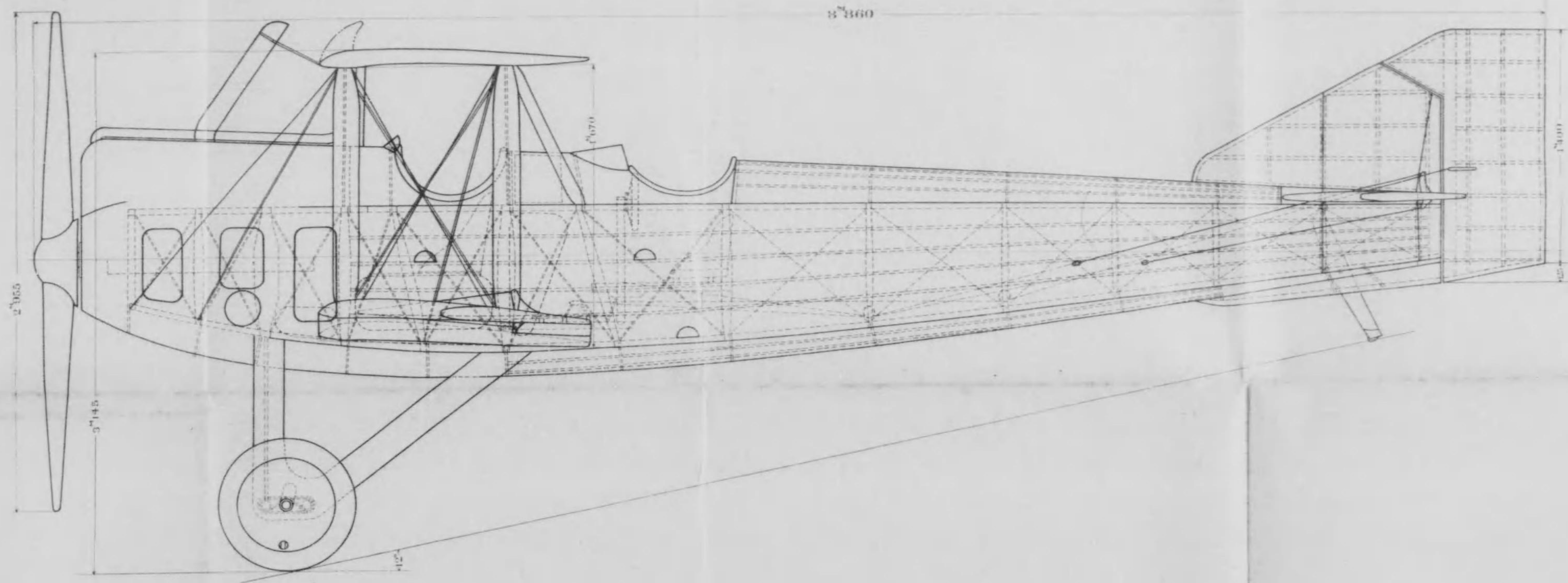
川西機械製作所			
製作番號			
機械番號			
機械名		K-2	
所要圖面數及番號			
設計	組立	檢驗	正面及側面
寫圖			作圖
圖面番號	A α 36		



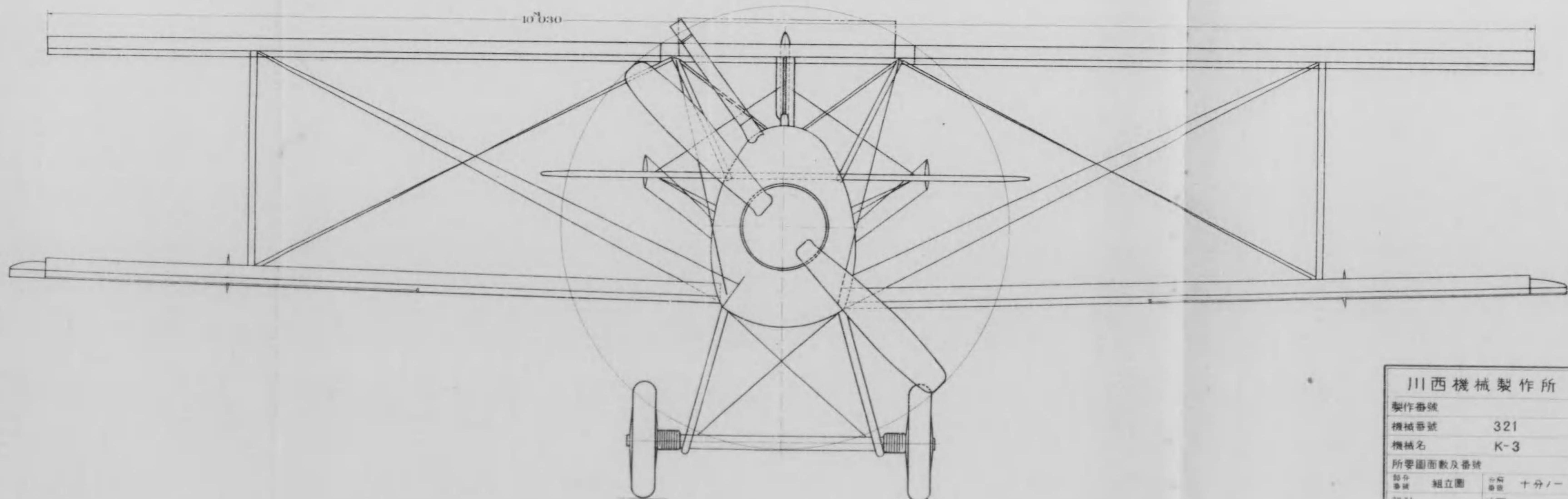
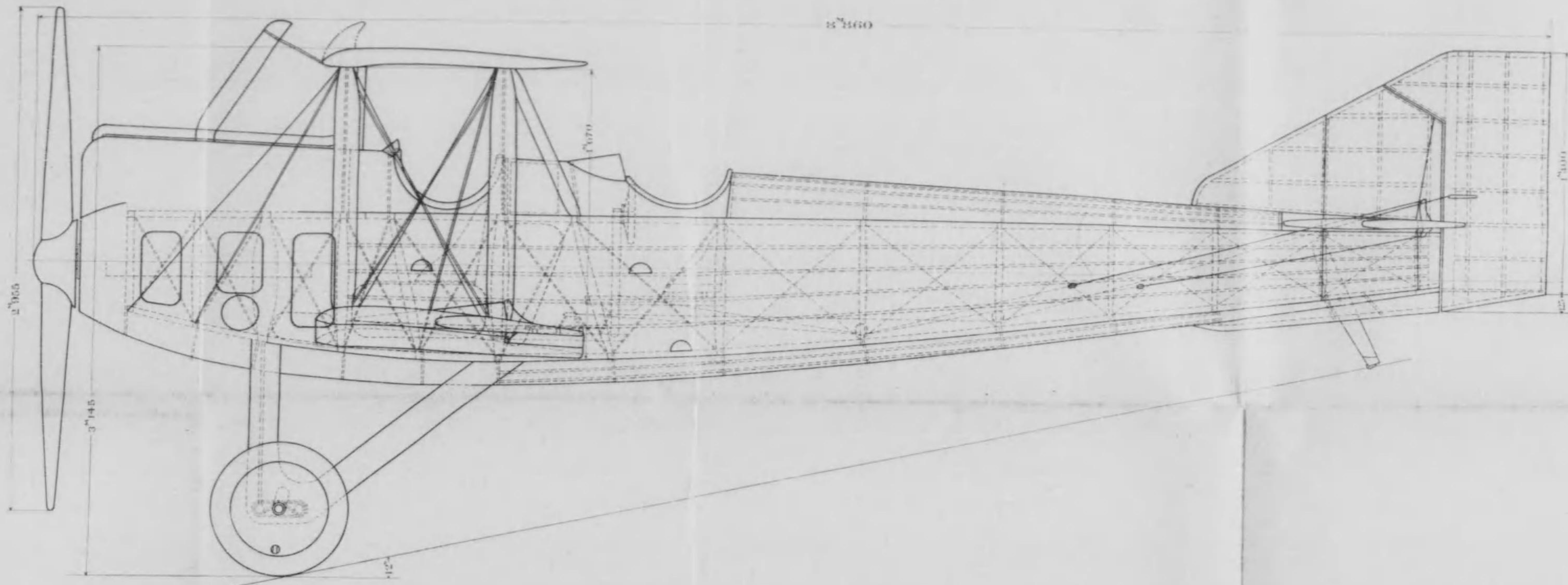
川西機械製作所			
製作番號			
機械番號			
機械名		K-2	
所要圖面數及番號			
組立	立	分組	平面
設計		作圖	
寫圖		調査	
圖面番號	A 27		



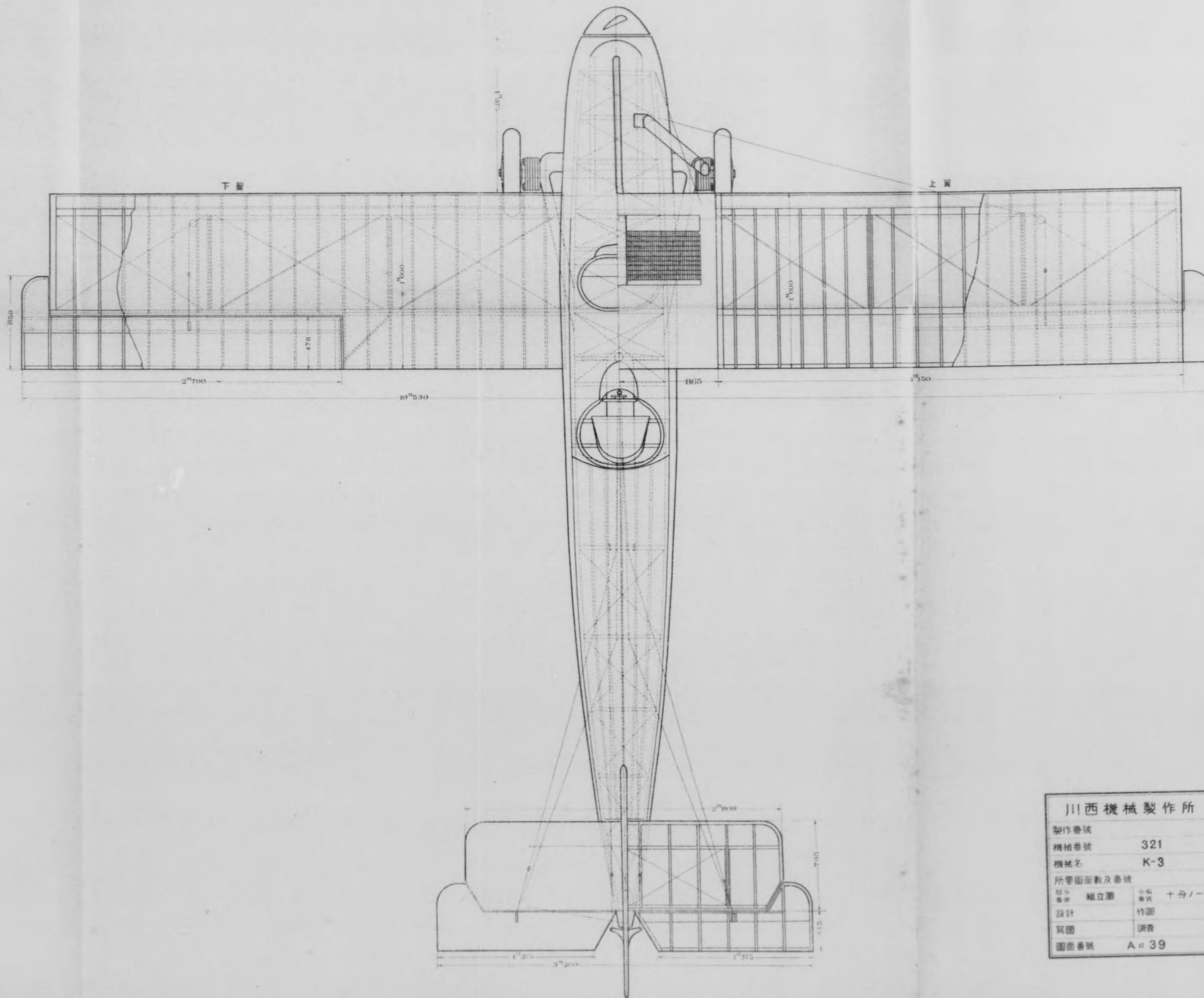
川西機械製作所			
製作番號			
機械番號			
機械名		K-2	
所要圖面數及番號			
部 番 號	組 立	分 番 號	平 面
設計		作圖	
寫圖		調査	
圖面番號		A a 37	



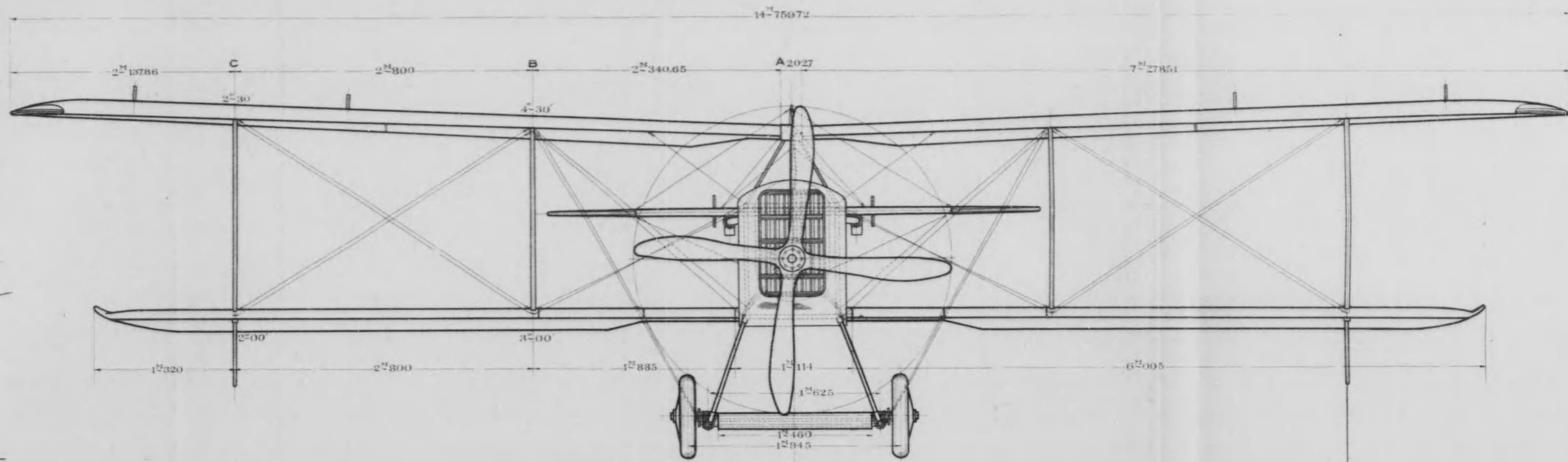
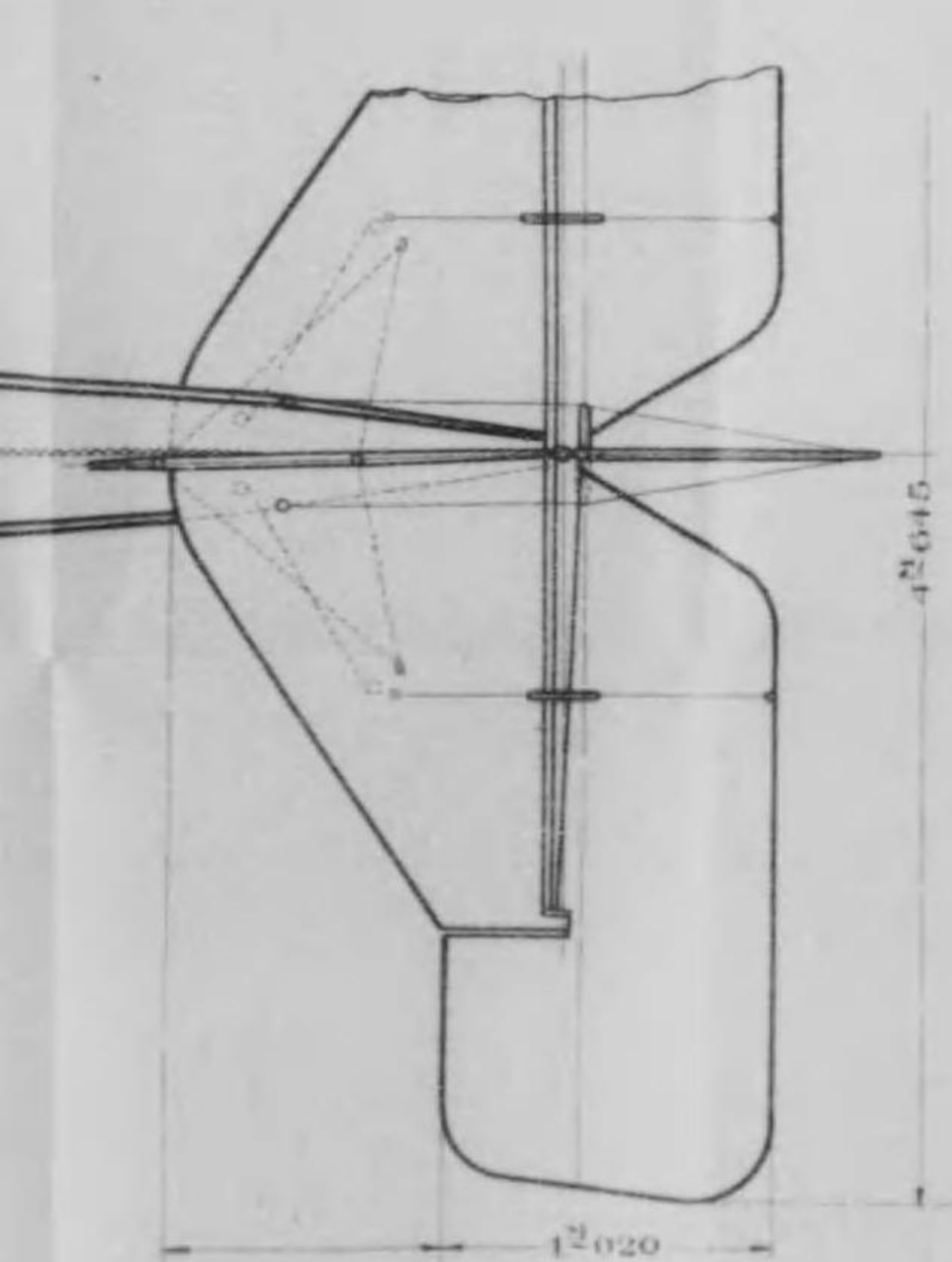
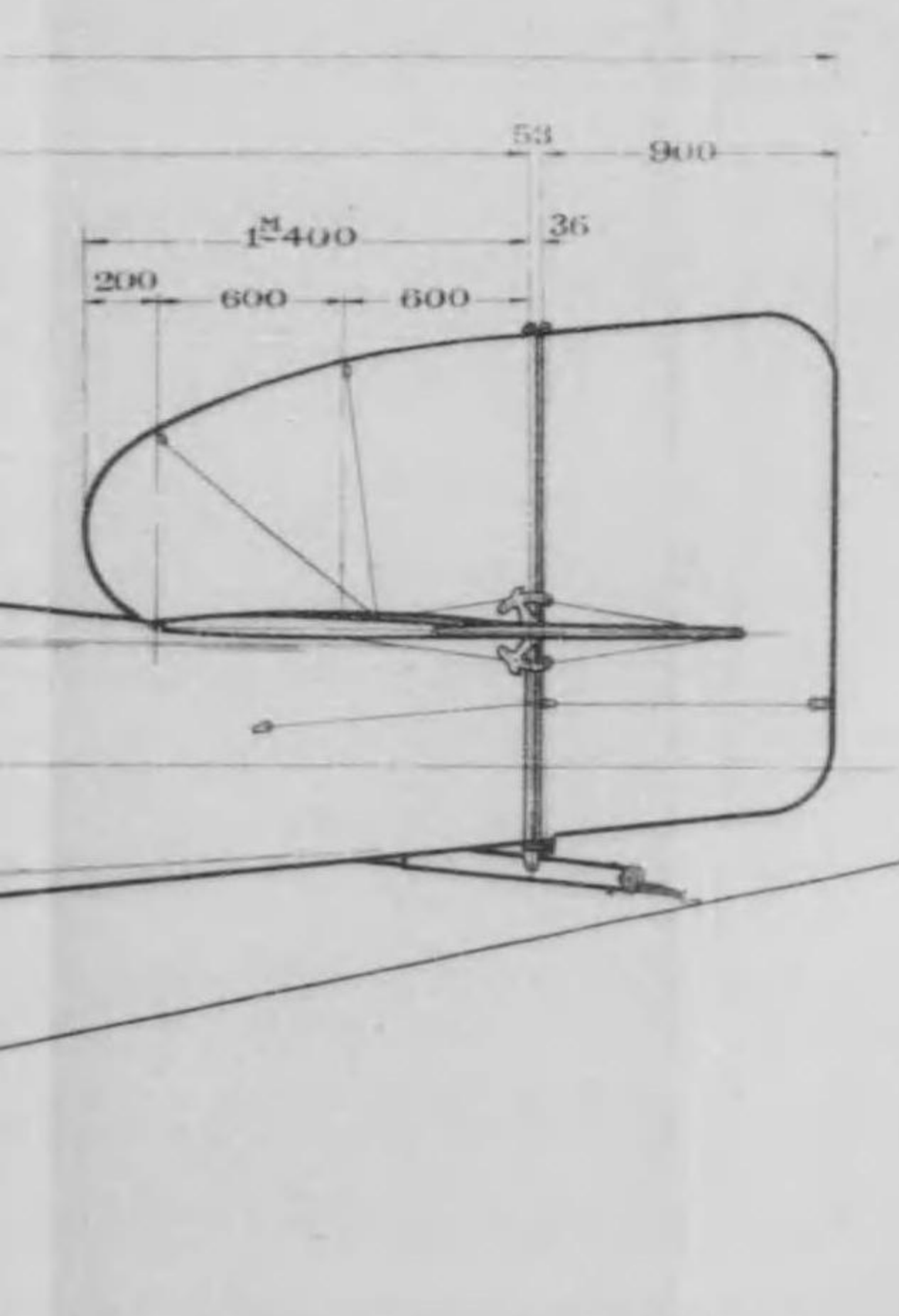
川西機械製作所			
製作番號			
機械番號	321		
機械名	K-3		
所要圖面數及番號			
組立圖	1張	十分之一	
設計	竹園		
寫圖	須藤		
圖面番號	A 38		



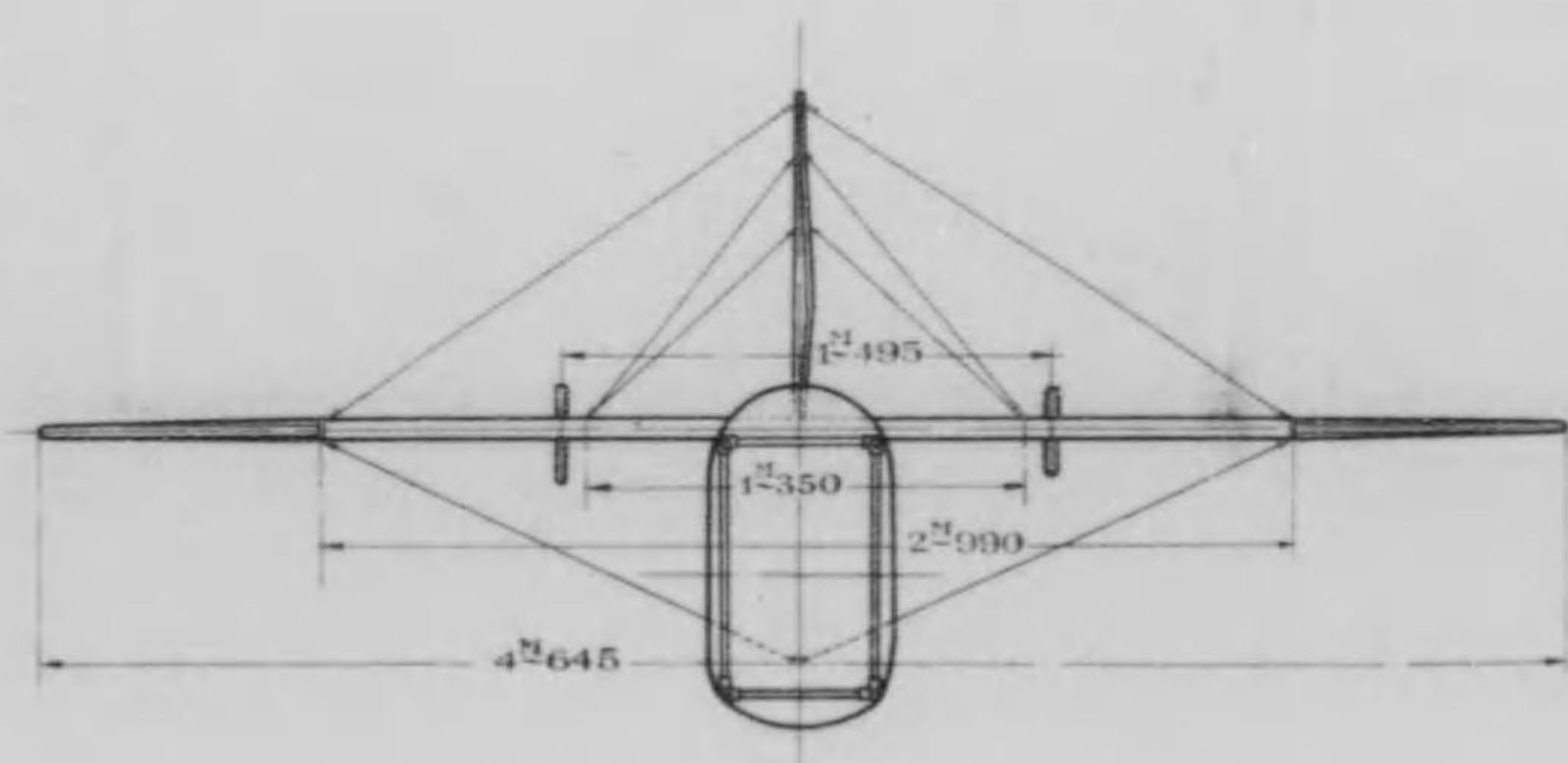
川西機械製作所			
製作番號			
機械番號		321	
機械名		K-3	
所要圖面數及番號			
部分番號	組立圖	分數	十分ノ一
設計	竹園		
寫圖	清彦		
圖面番號	A a 38		



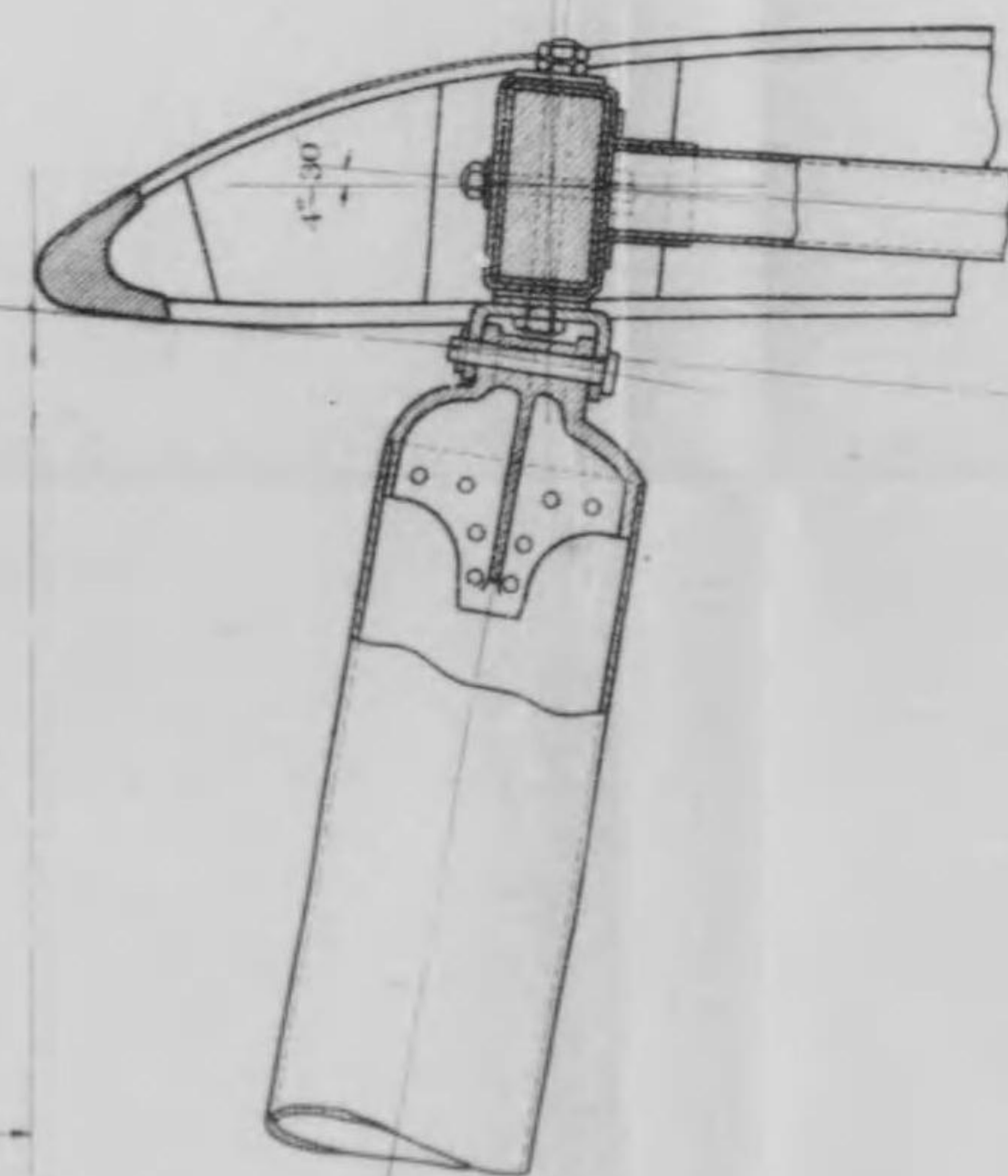
川西機械製作所		
製作番號		
機械番號	321	
機械名	K-3	
所要圖面數及番號		
組立圖	1張	十分之一
設計	竹園	
寫圖	鎌倉	
圖面番號	A d 39	



尾部詳細



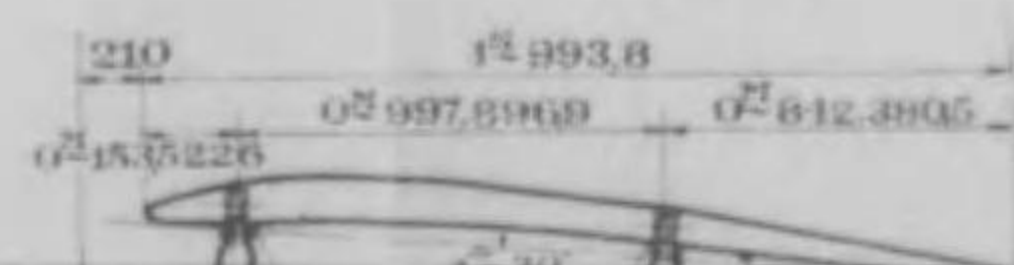
B部支柱取付詳細



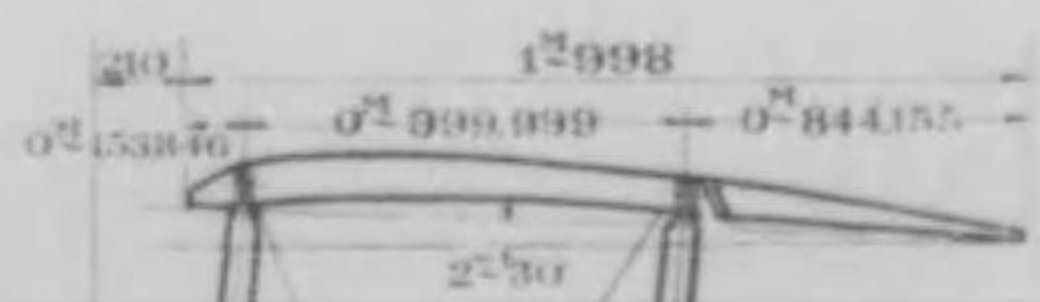
A部切斷



B部切斷

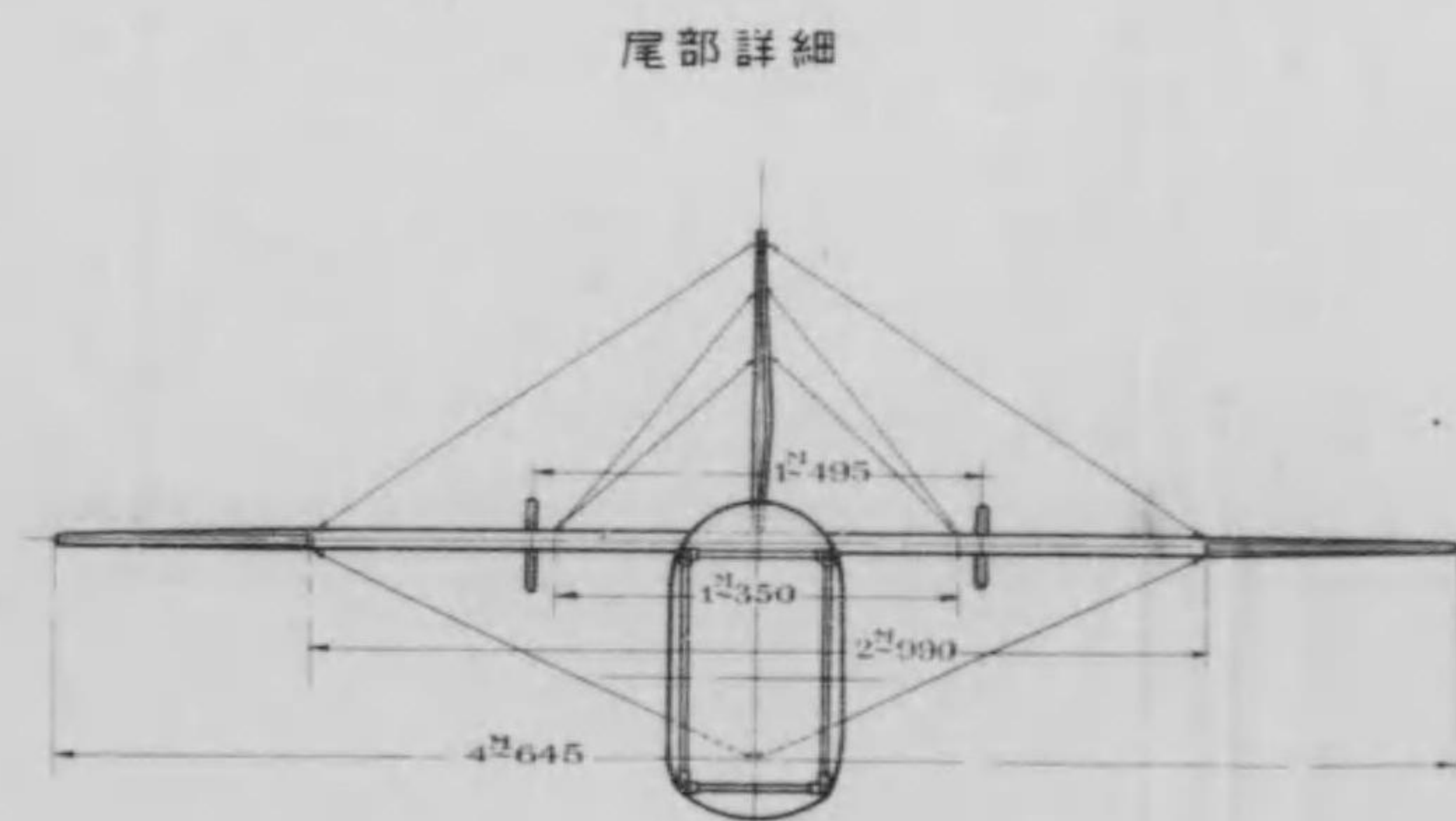
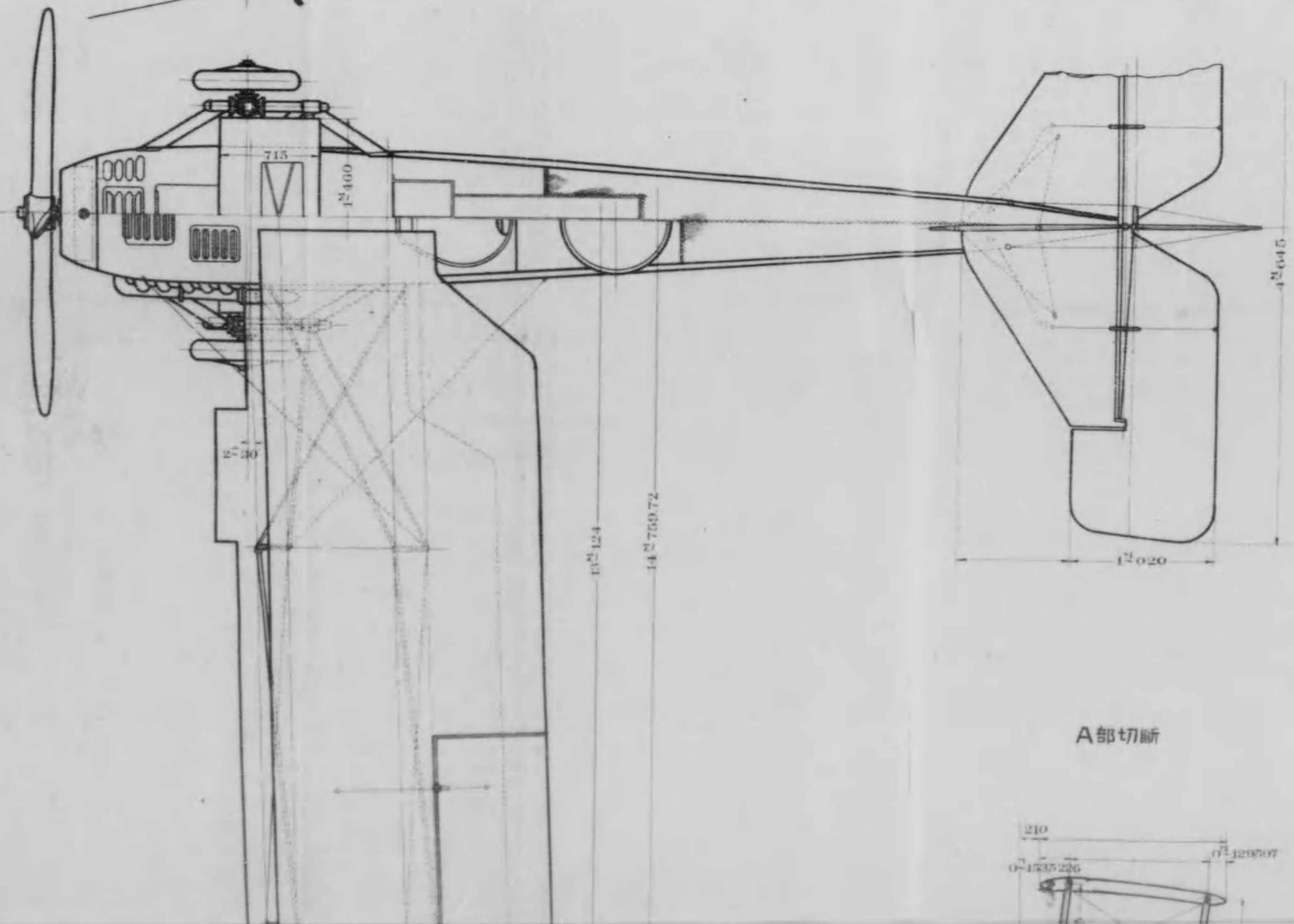
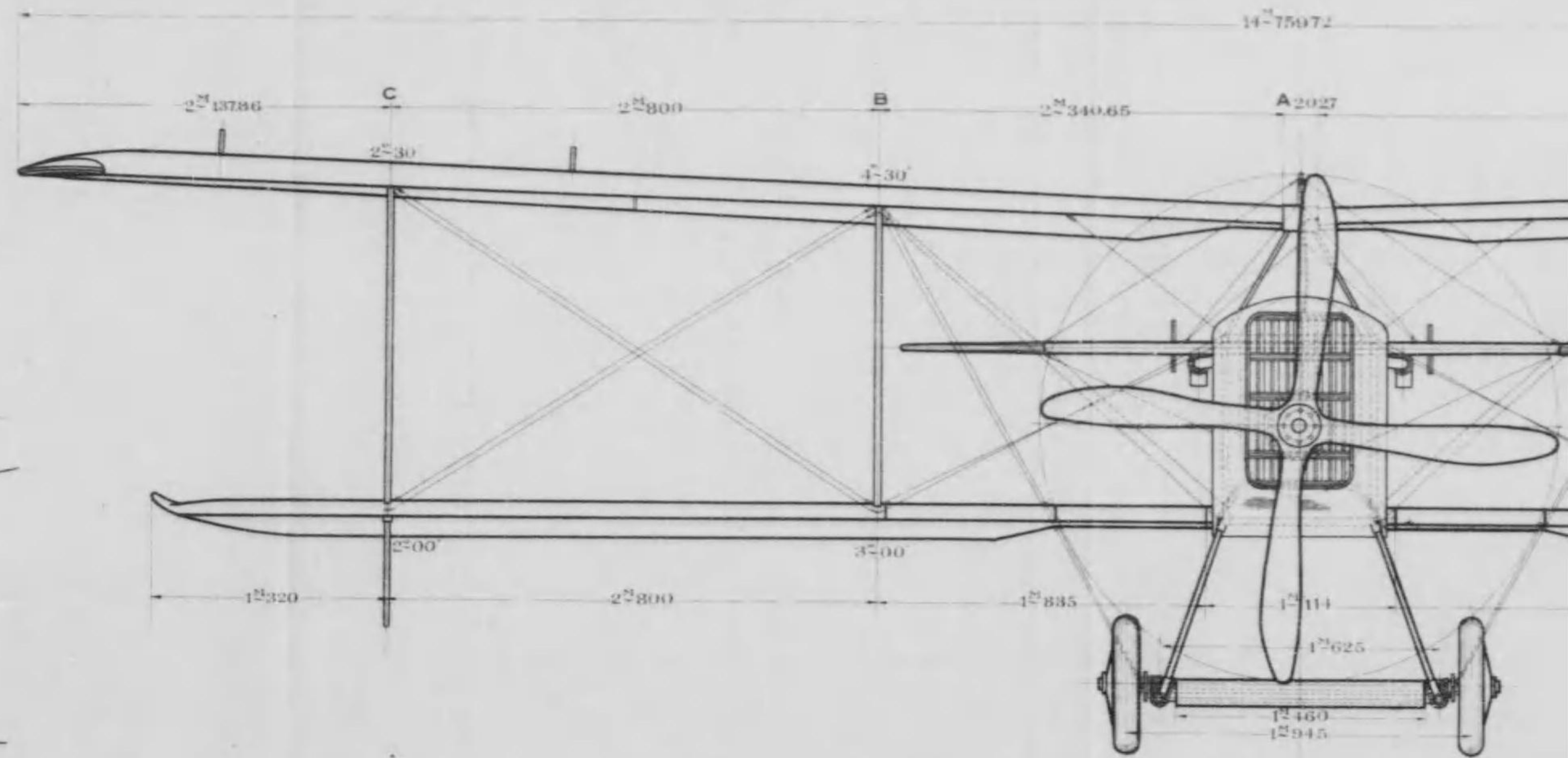
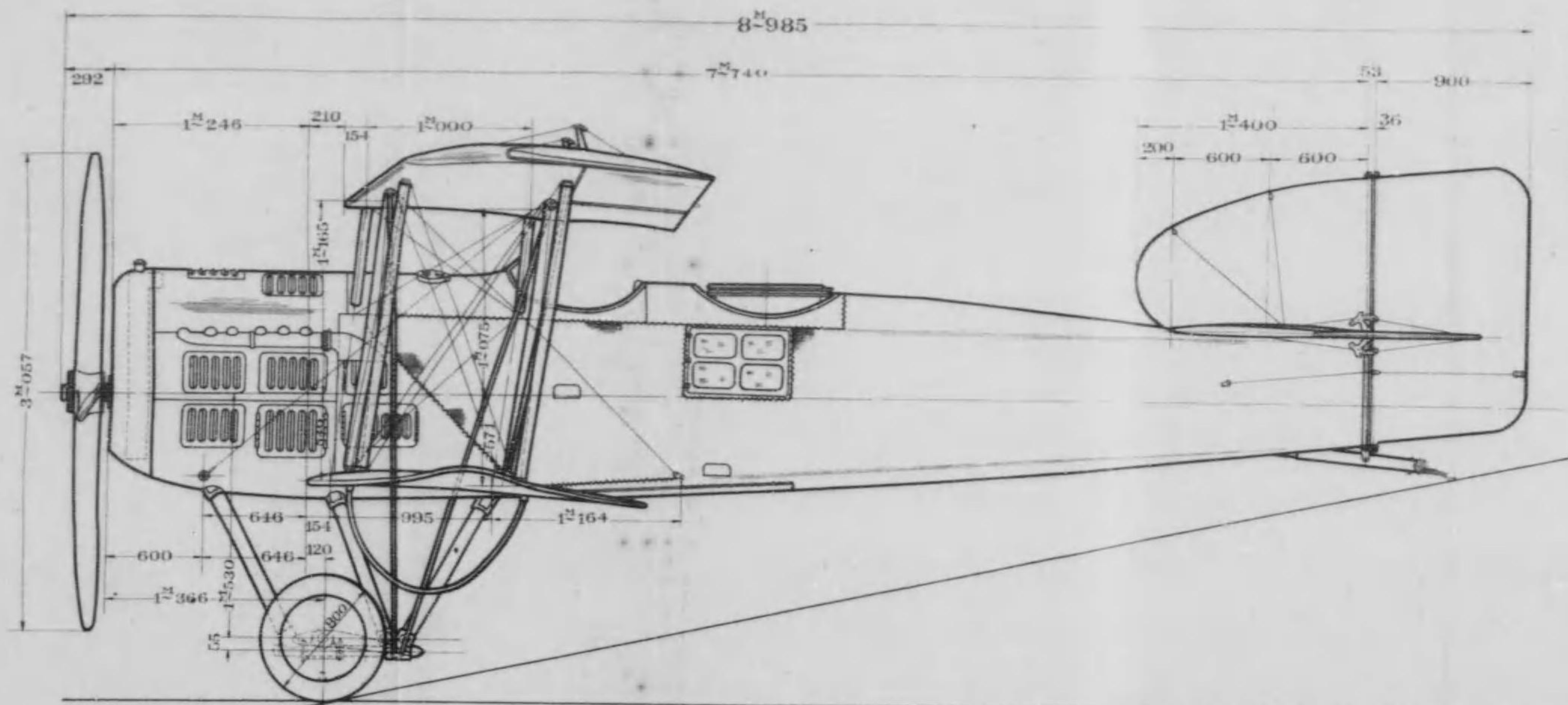


C部切斷



210



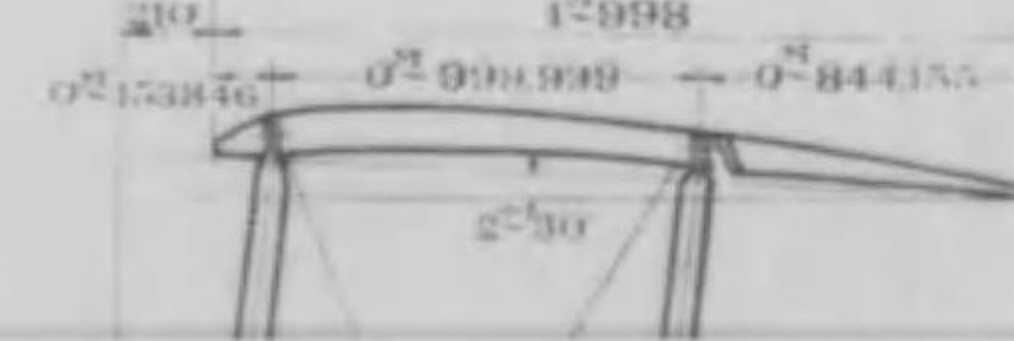
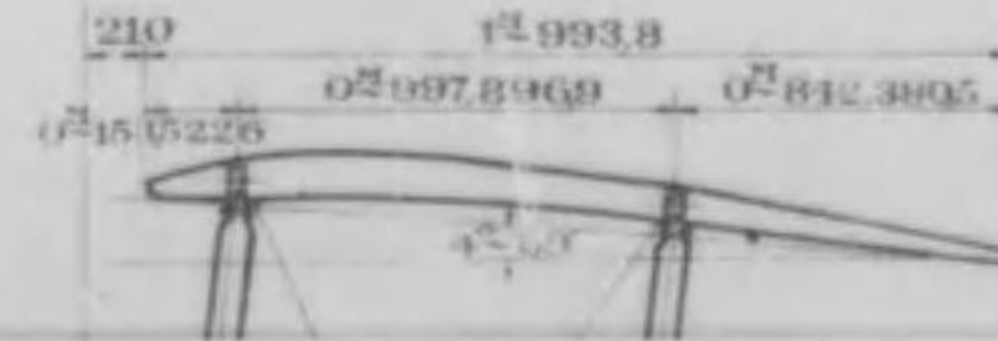


B部支柱取付詳細

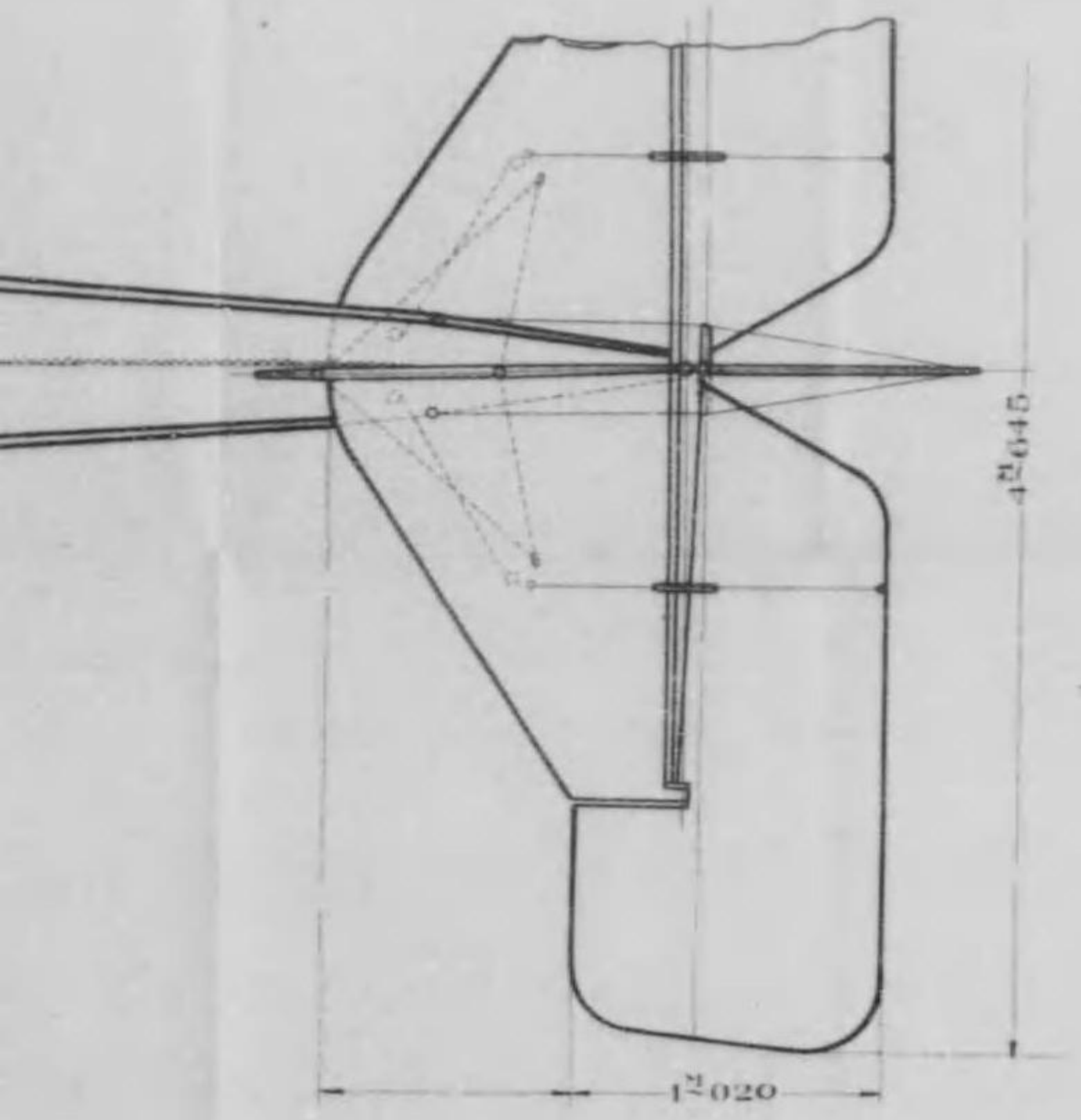
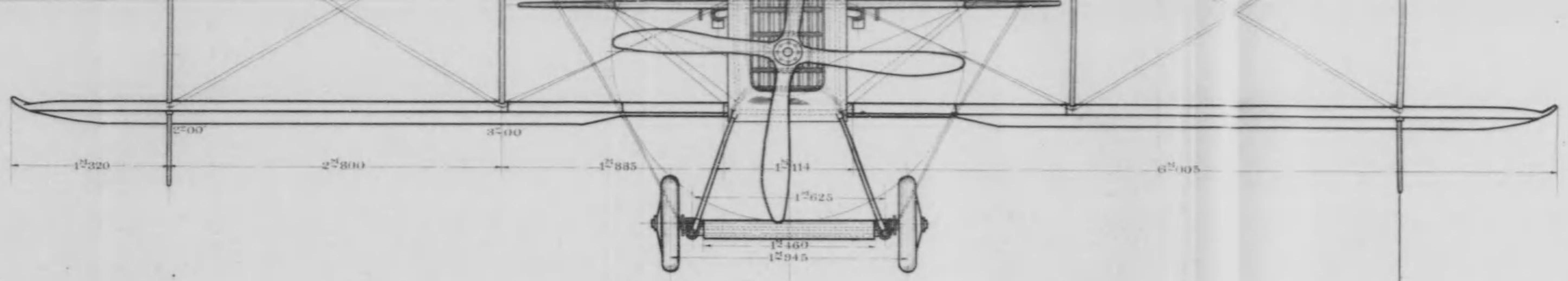
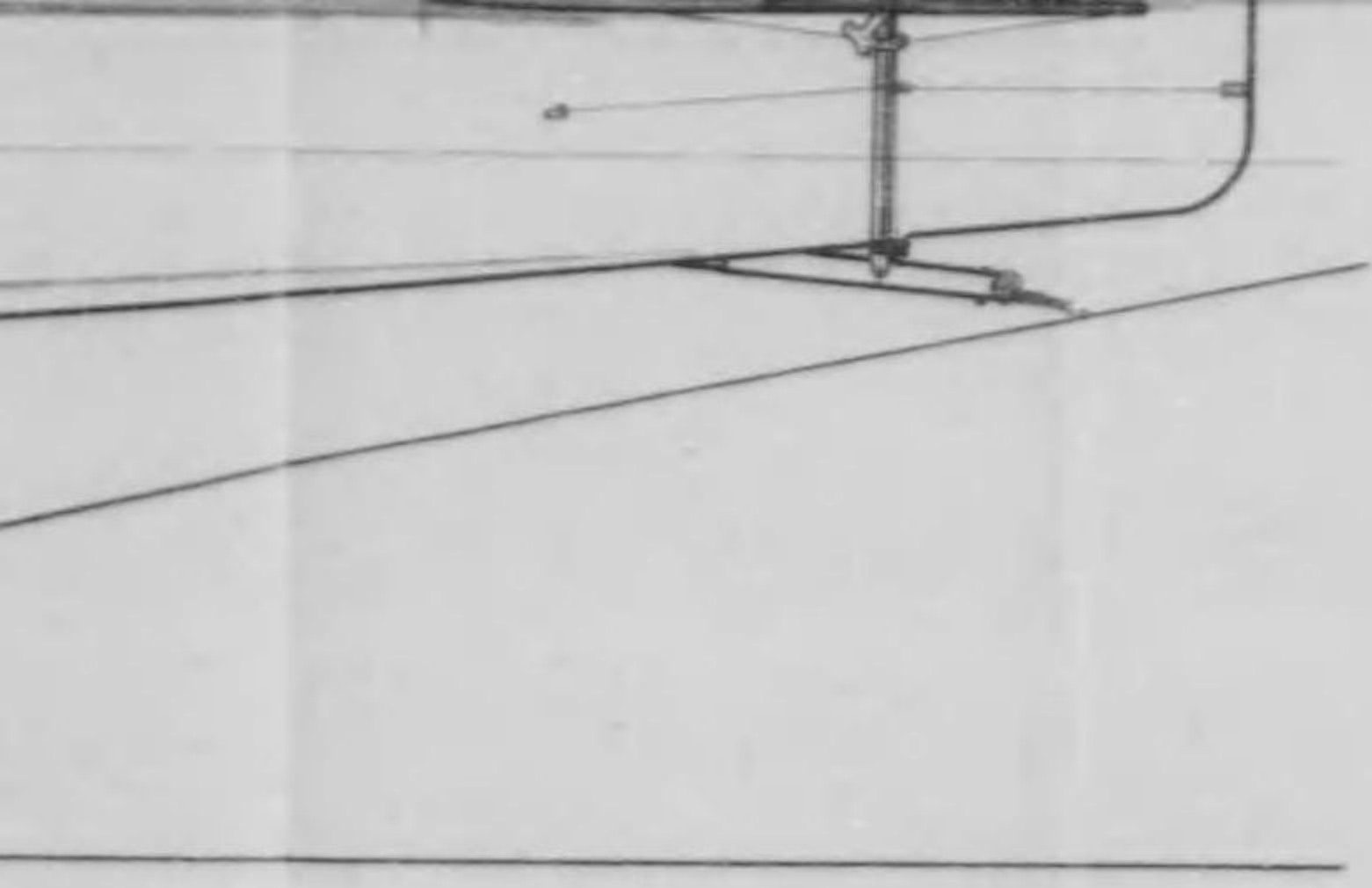
A部切斷

B部切斷

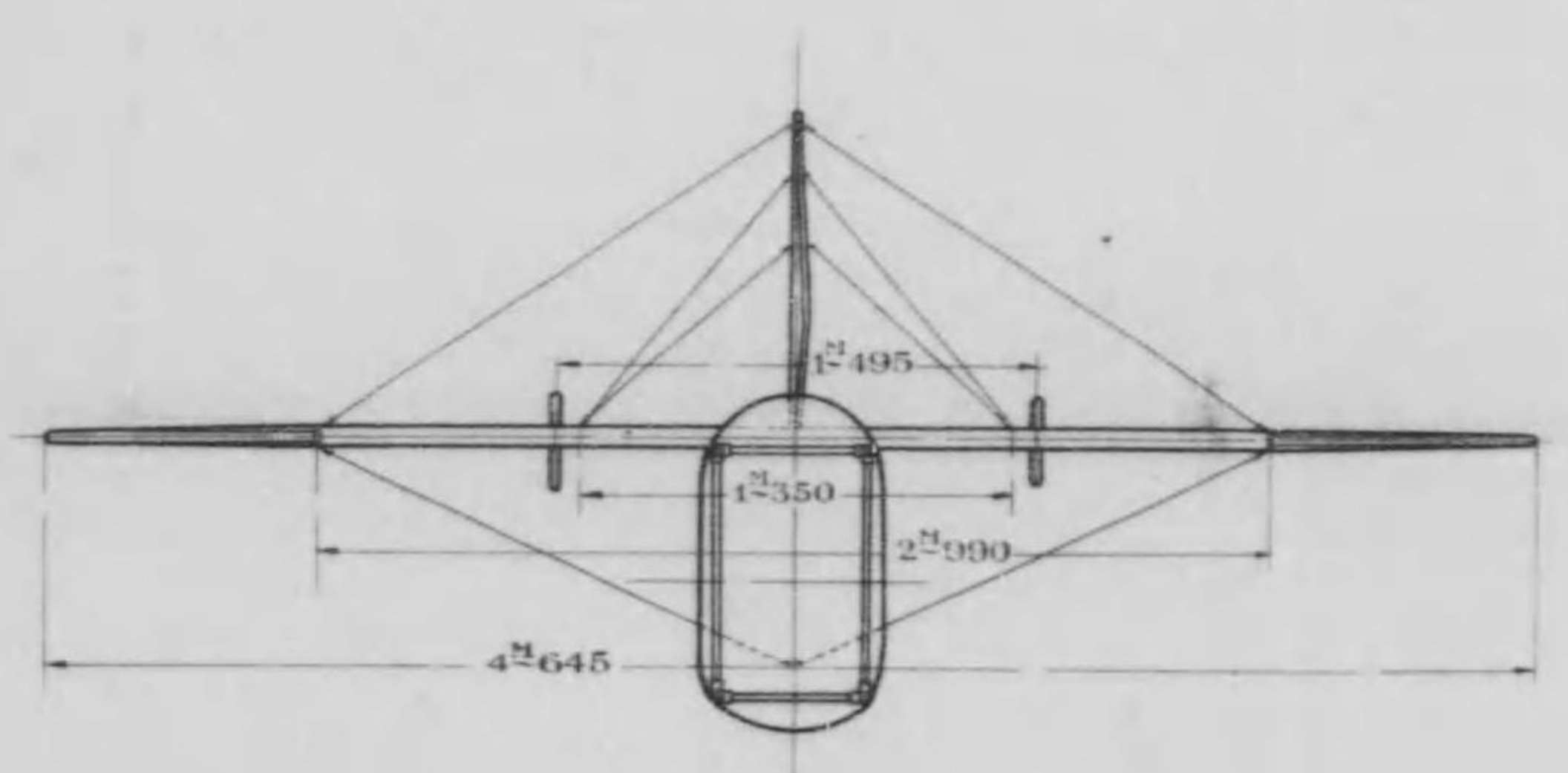
C部切斷



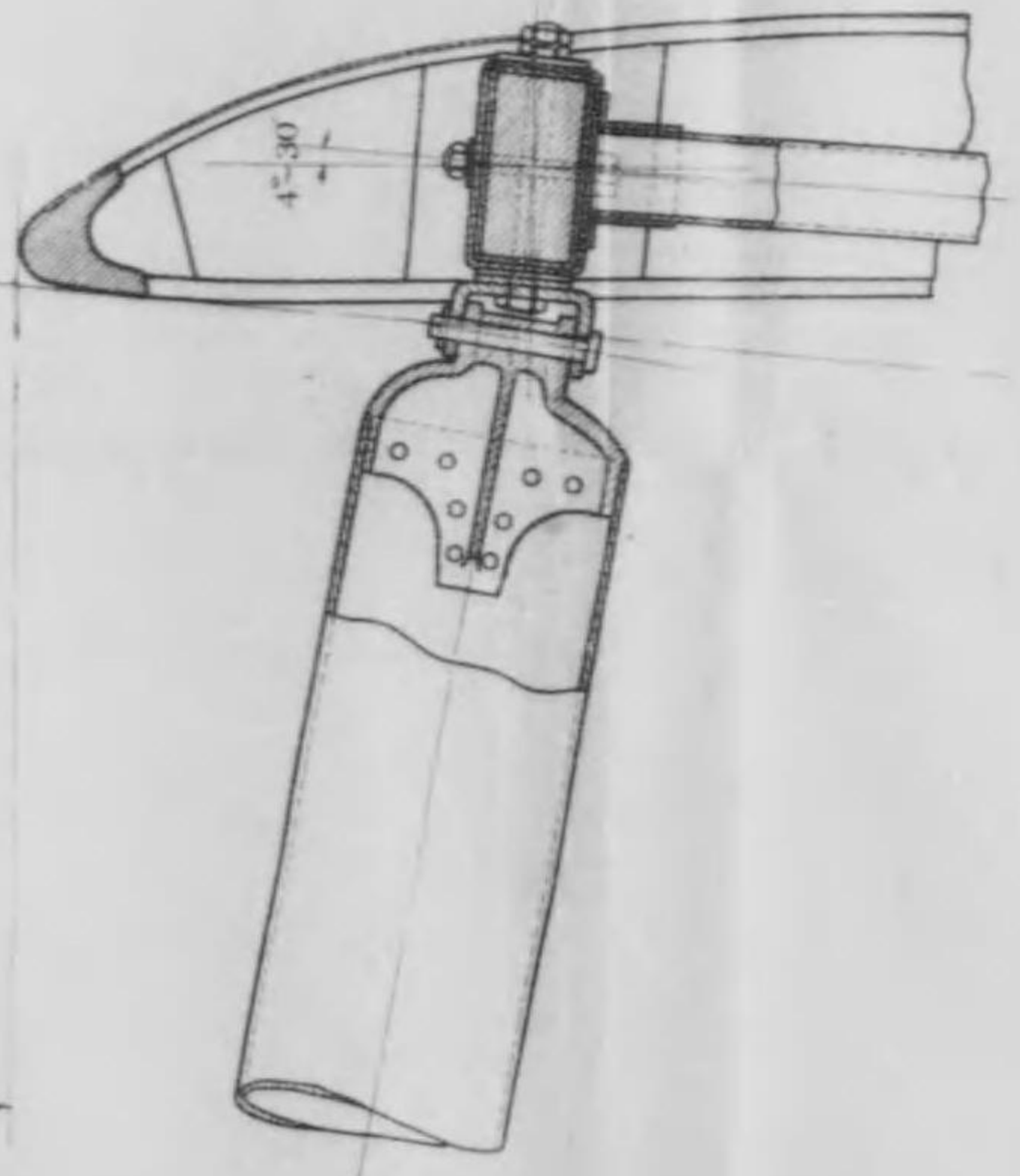
210



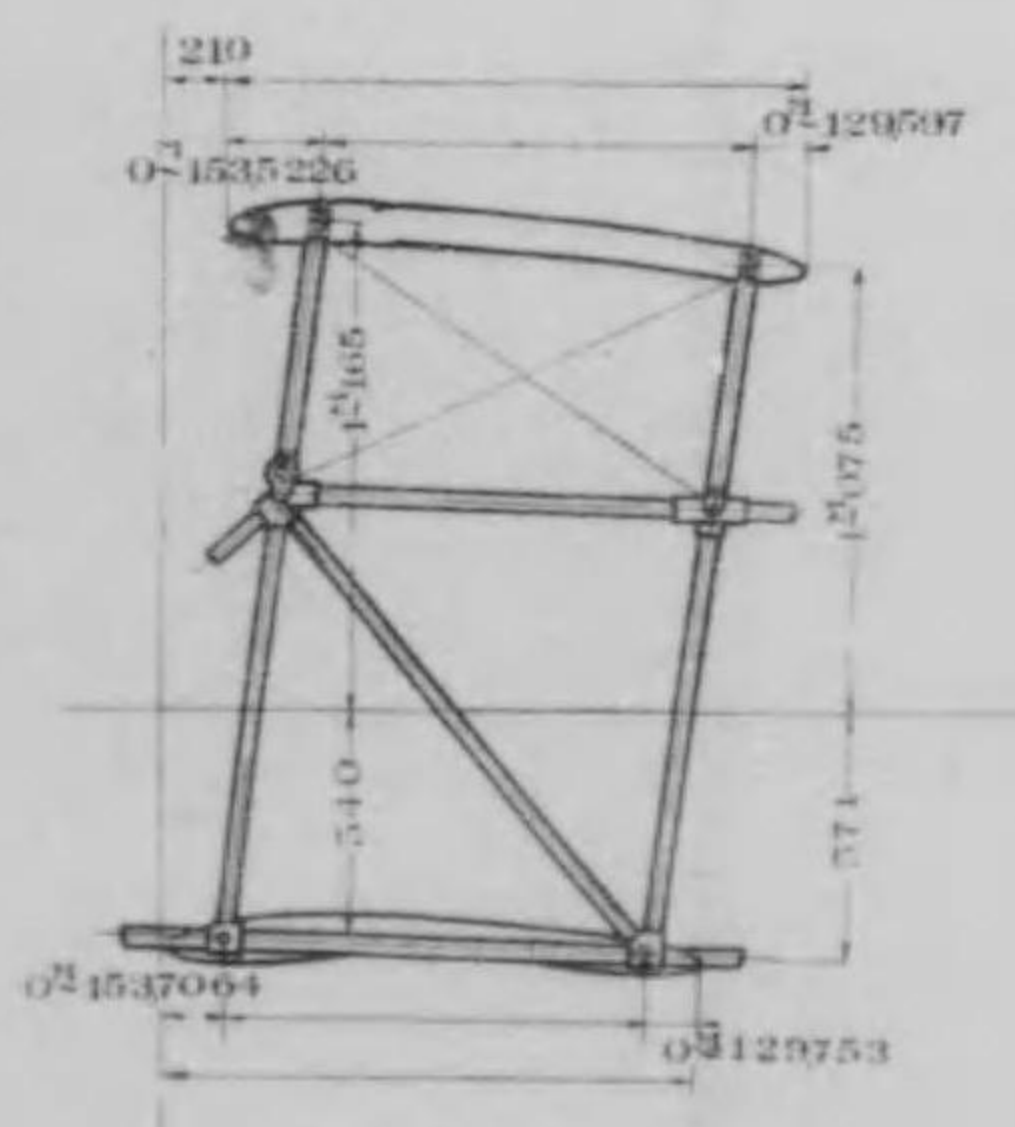
尾部詳細



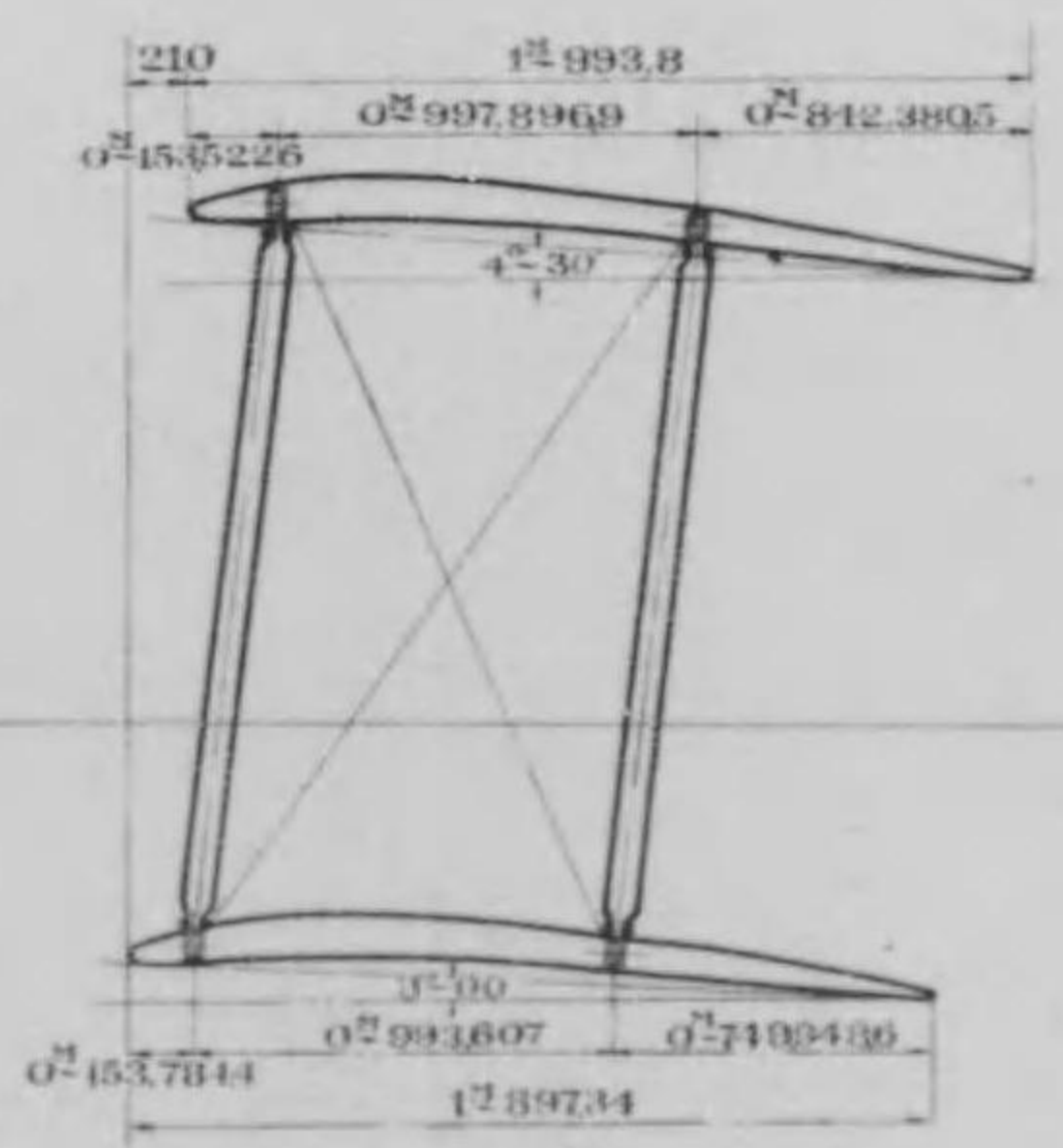
B部支柱取付詳細



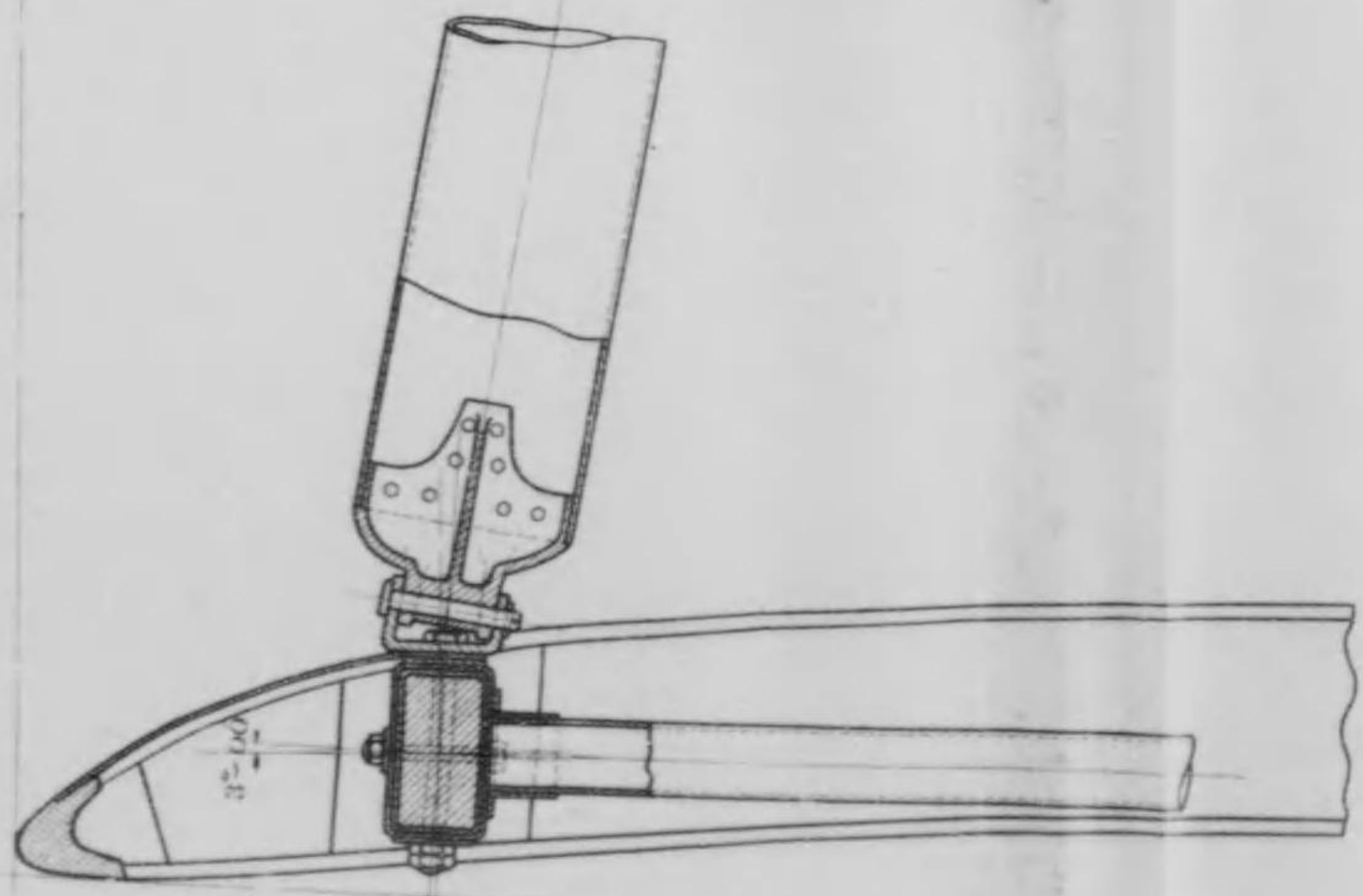
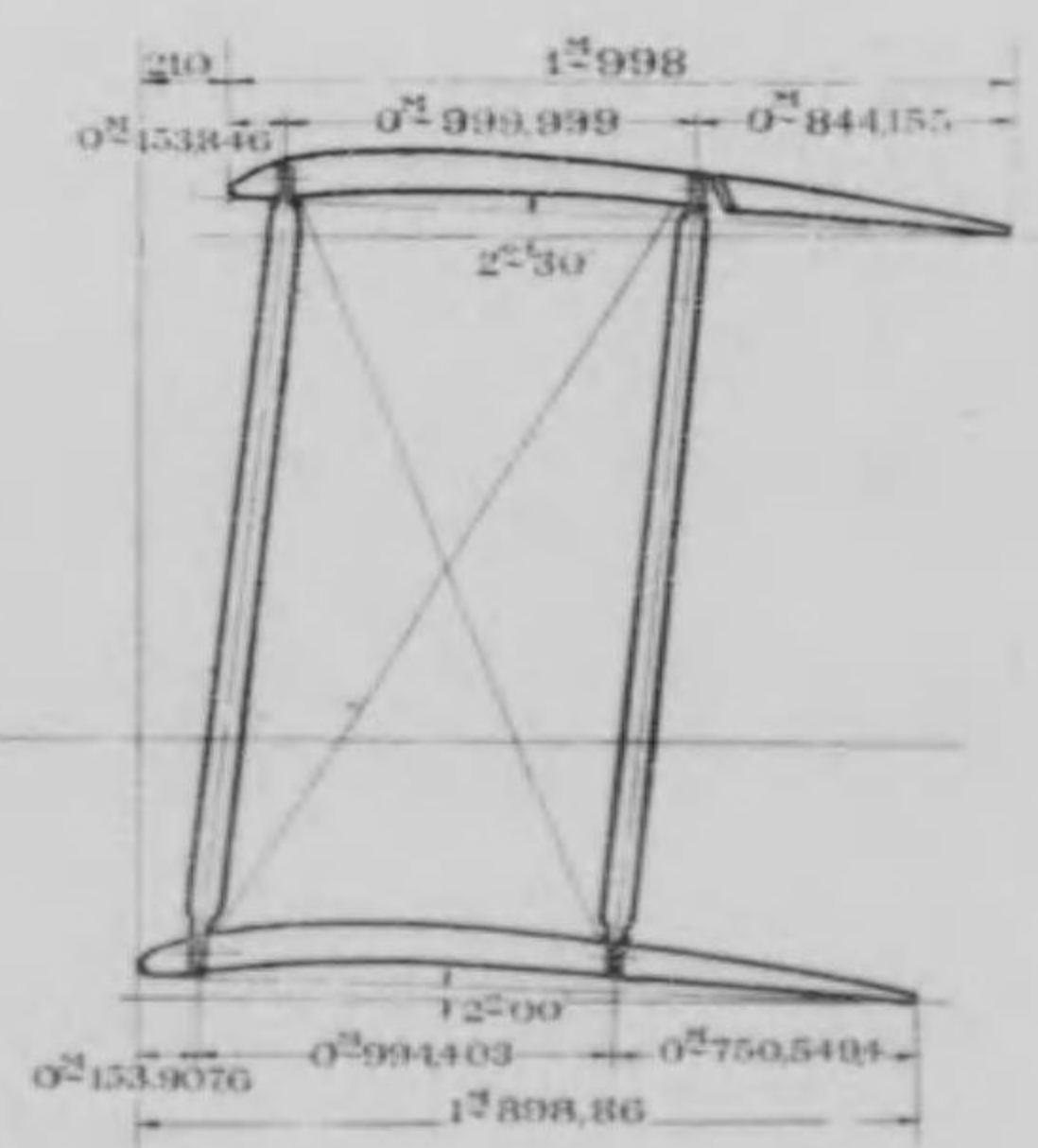
A部切斷



B部切斷

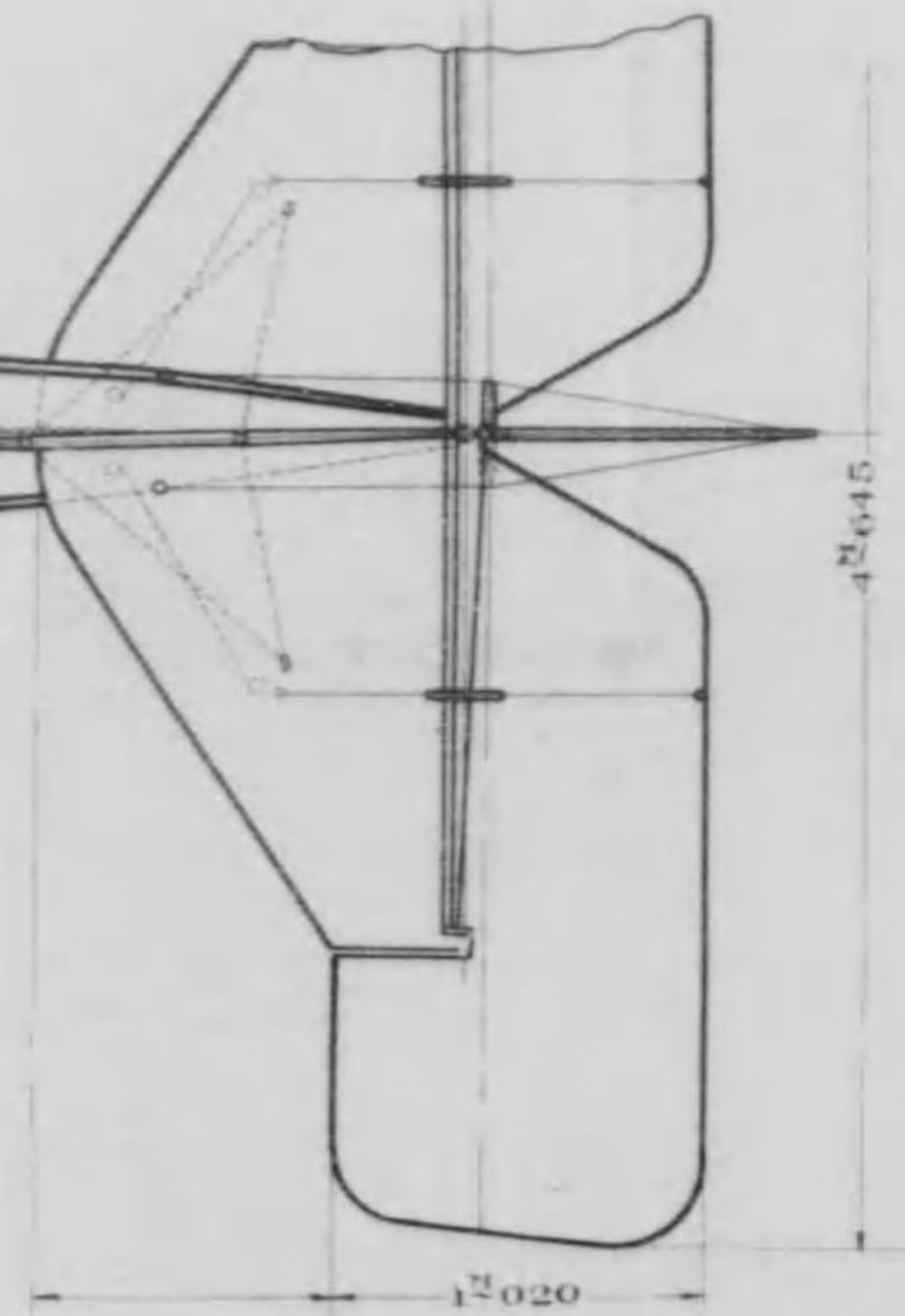
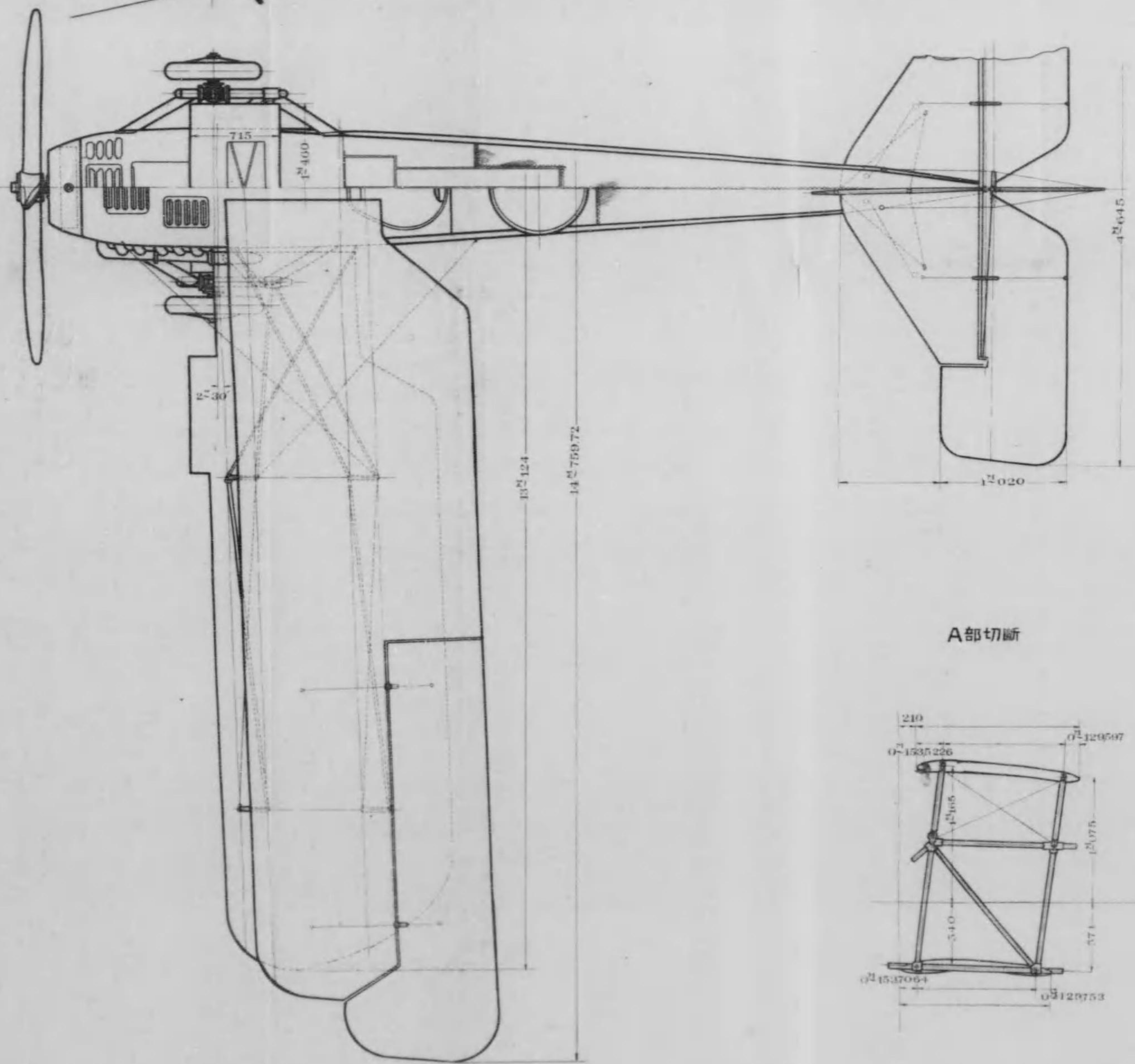
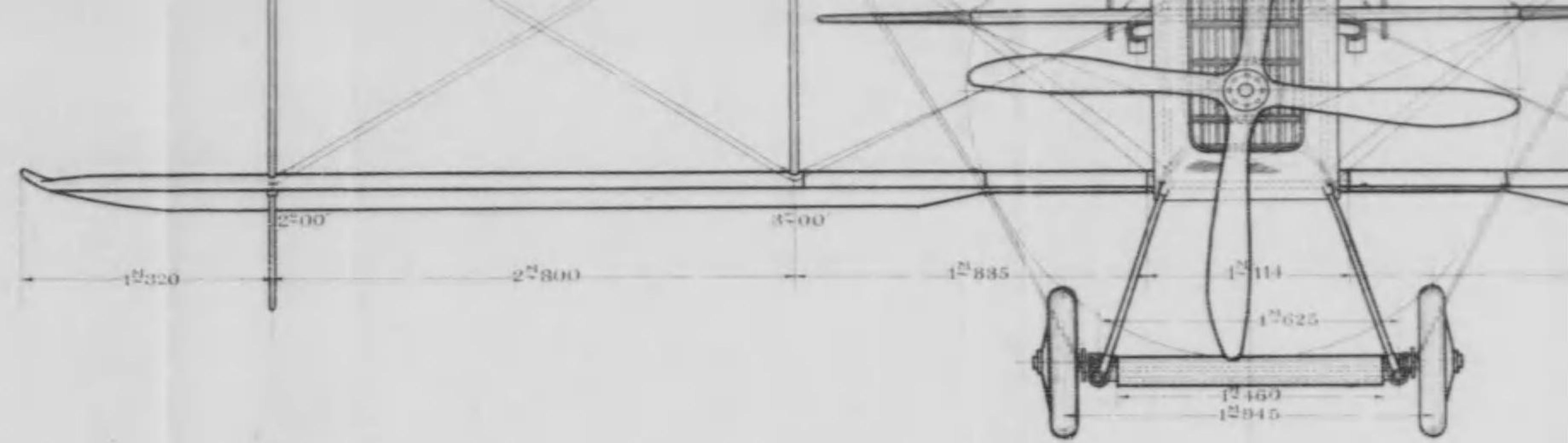
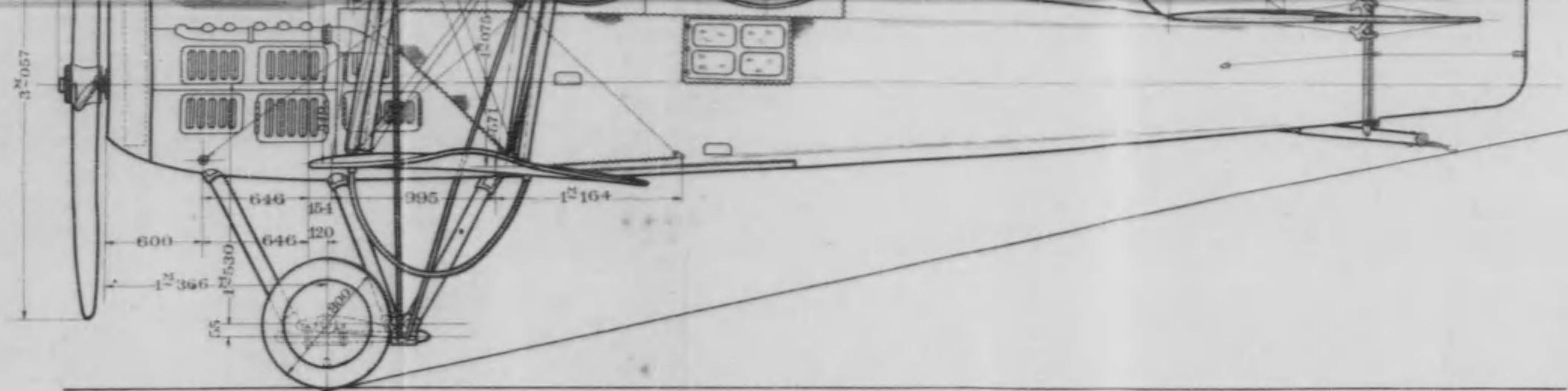


C部切斷

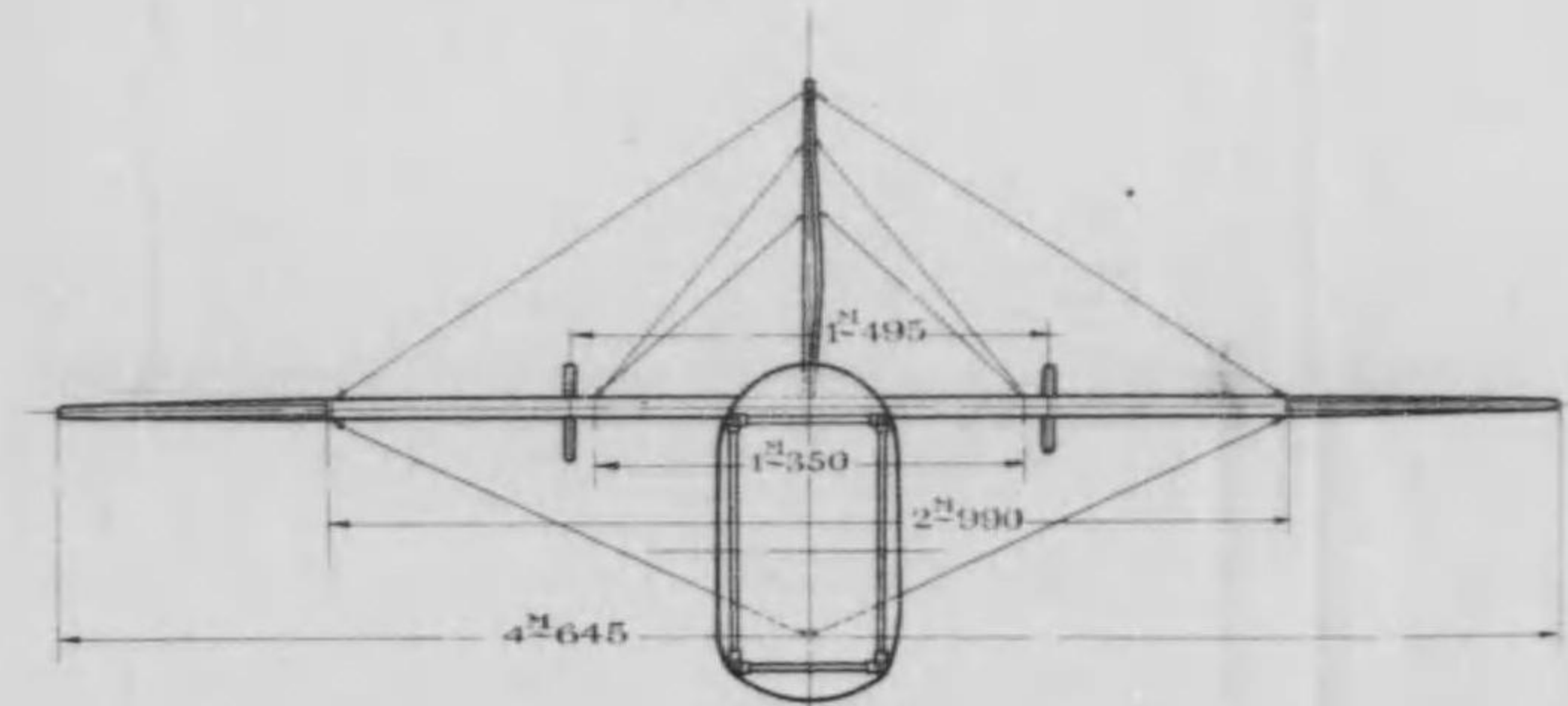


中島飛行機製作所			
全体組立之圖			
中島式	B.6	型	所長
材	質		工場長
製造個數			係員
尺	度	1/20	組長
製圖	大正 年 月 日		製圖者
出圖	大正 年 月 日		寫圖者
工事番號			
寫圖番號	1231		區分番號

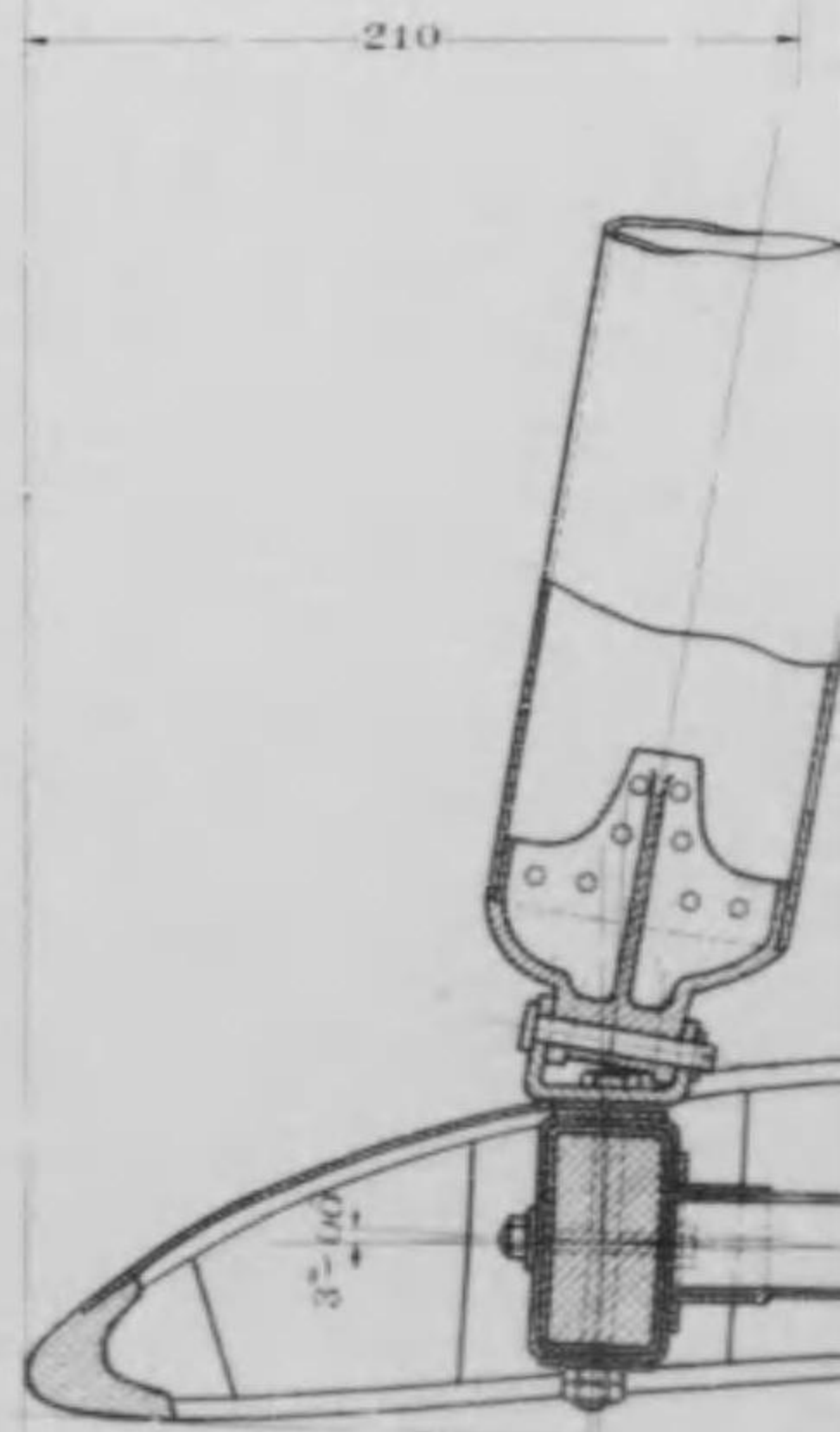
記入寸法ハ概單位トス



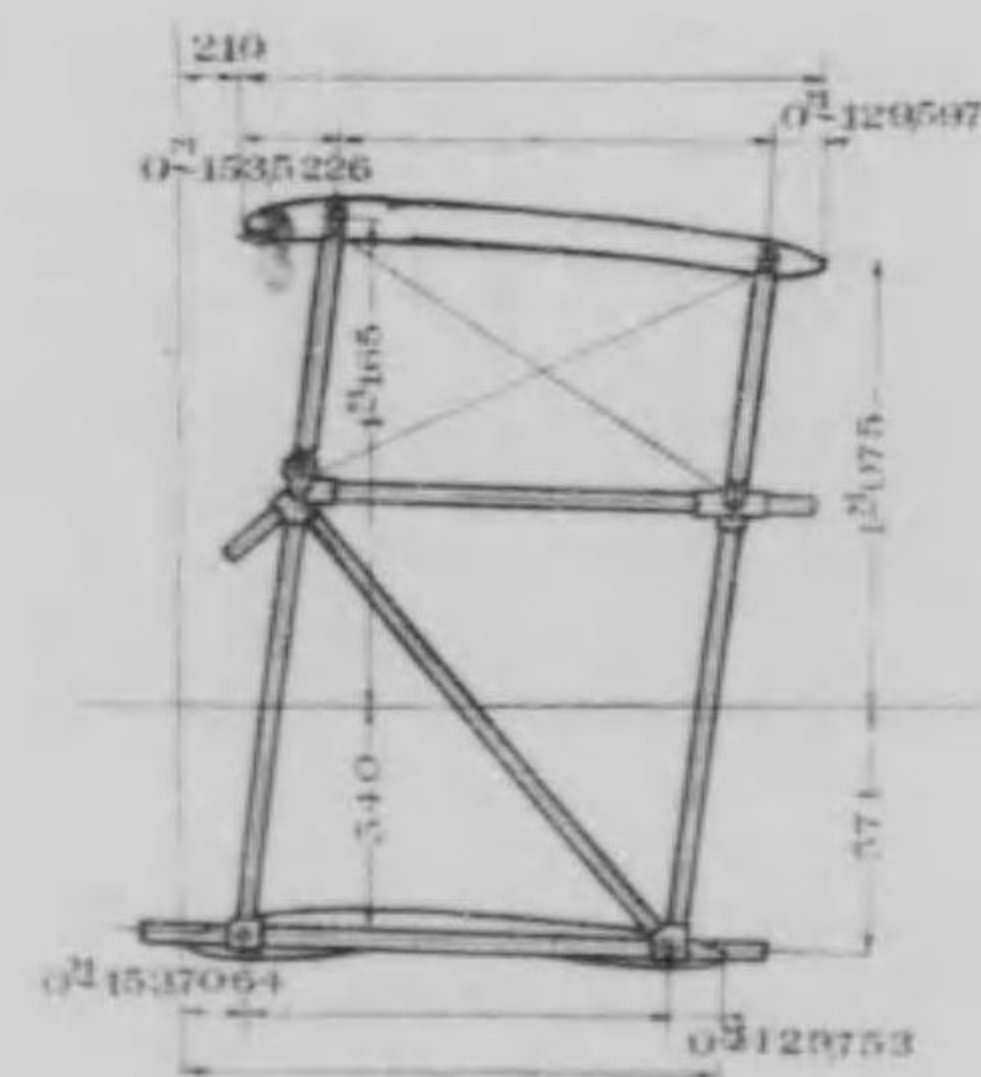
尾部詳細



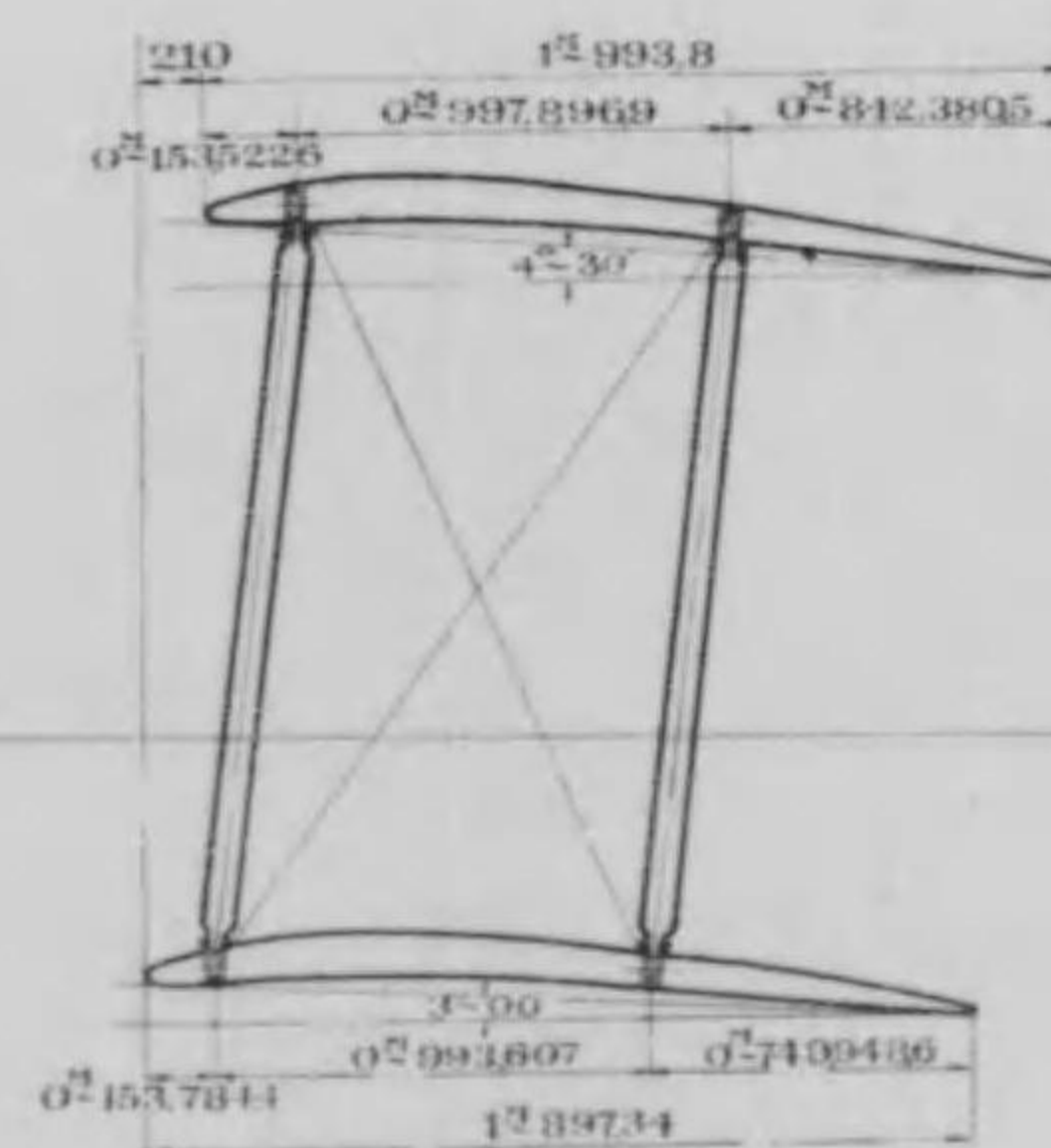
B部支柱取付詳細



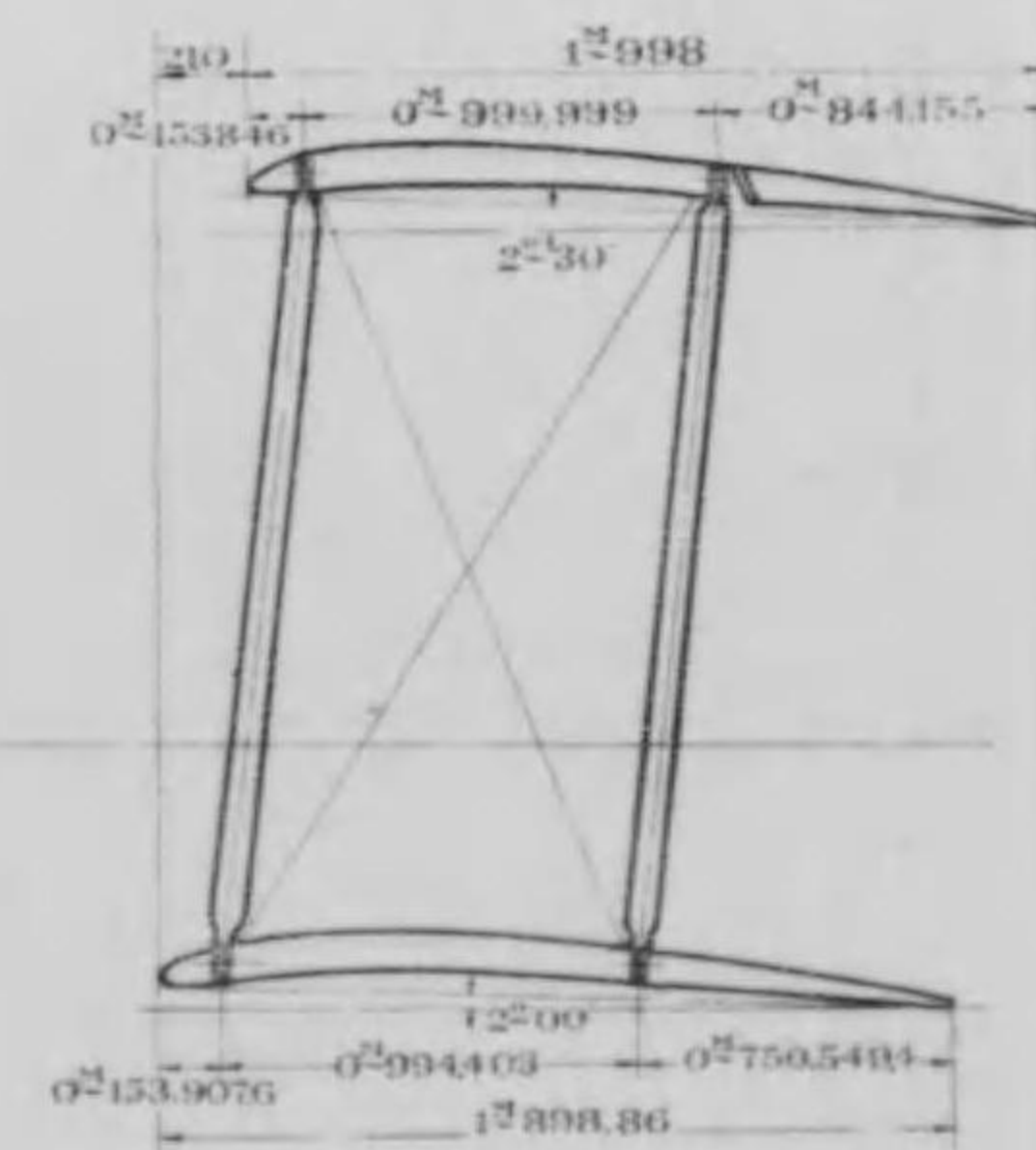
A部切斷

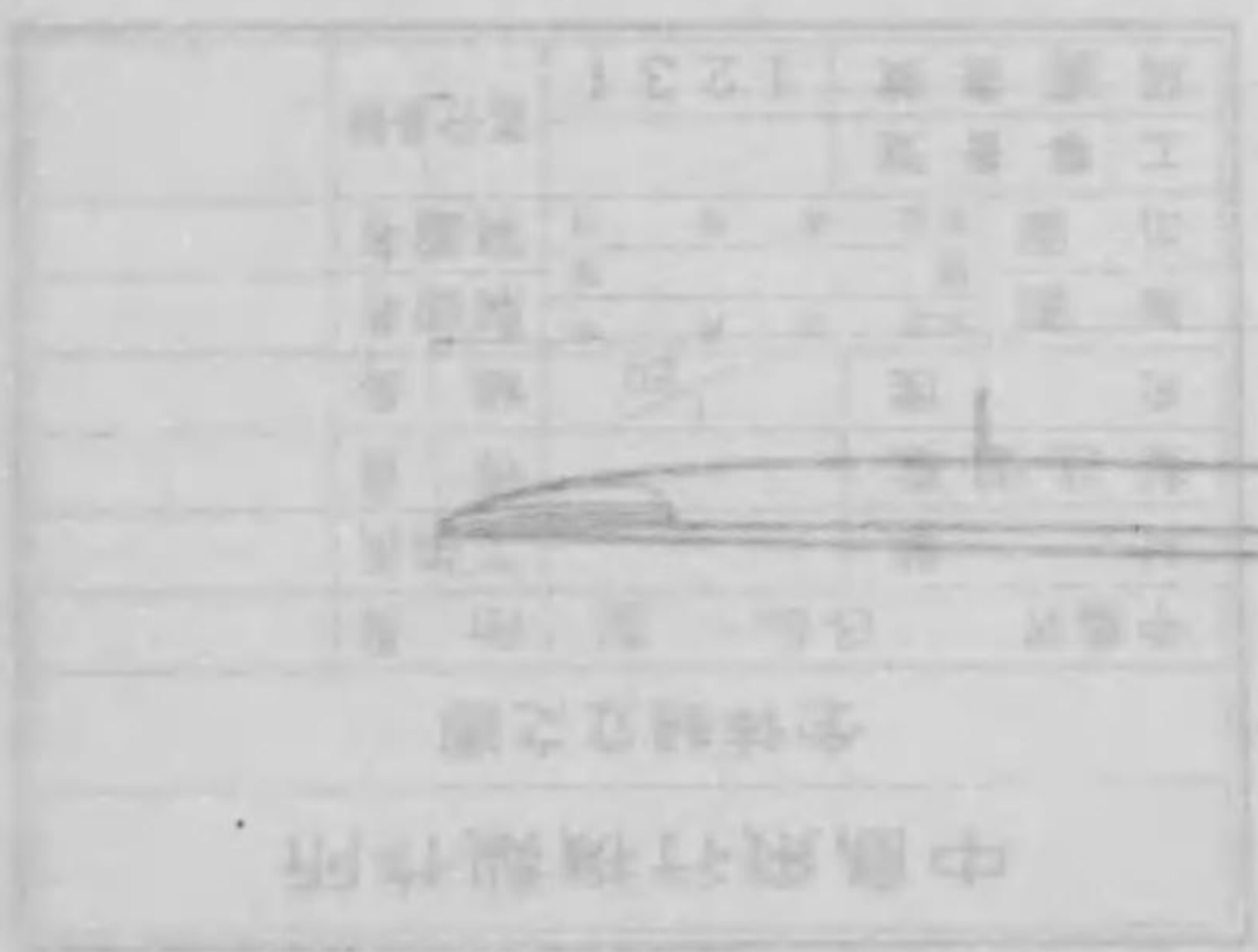


B部切斷



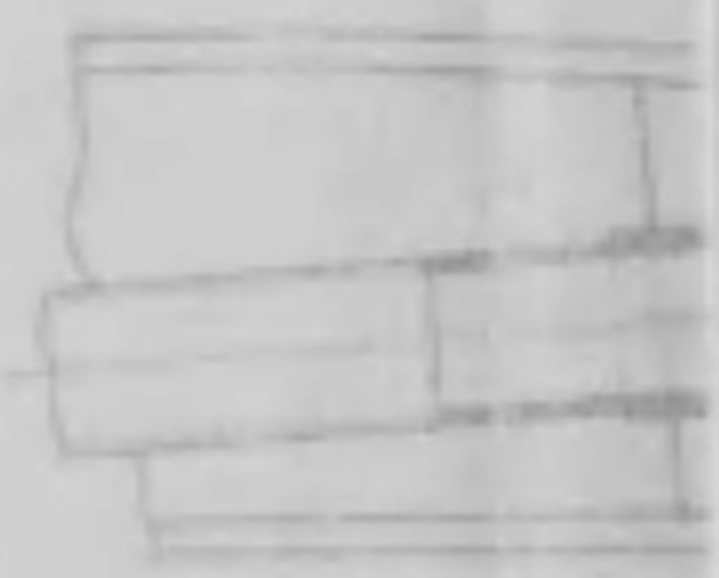
C部切斷





中國飛行機株式會社

137



報告員 竹村勸 同 栖原豊太郎

一、出品者及褒賞

(金 牌)

東京市麴町區大手町 東京瓦斯電氣工業株式會社

二、出品名目

- イ、「ローン」型飛行機用八十馬力發動機 一臺
- ロ、同發動機部品ピストン外廿五種 四十六點
- ハ、「六年型」飛行機用百馬力發動機 一臺

三、製品成績

「ローン」型發動機ハ東京瓦斯電氣工業株式會社ガ佛國ノ「ルローン」會社ヨリ其ノ製作權ヲ買收シ佛國ノ原型ニ基キ製作シツアルモノナルガコレニ使用セル金屬材料ハ「マグネツト」及點火栓ヲ除ク外總テ日本製ノモノナリ

本發動機ノ主要事項ヲ舉グレバ次ノ如シ

型 式	空氣冷却、九氣筒迴轉式
氣 筒 内 徑	一〇五耗
行 程	一四〇耗
壓 縮 率	四・七二
迴 轉 速 度	每 分 一、二〇〇
總 馬 力	八五
正 味 馬 力	七七
重 量	一、一四疋

ガソリン消費量 每馬力時 〇、三〇疋
滑油消費量 每 時 四、八立

ローン型發動機ノ設計構造ニ關シテハ佛國製ノ原型ニヨリタルモノニシテ既ニ定評アルモノナリ現今英佛等ニ於テ小型練習用飛行機ニハ多數ニ使用セラレツツアリ

本出品ハ嚴重ナル規格ノ下ニ日本製ノ材料ヲ適用シ製作一般ニ精巧ニシテ緊要部分ノ間隙加工特ニ精密ナリ主軸、連桿、ピストン及軸リング、吸氣及排氣瓣、歪輪齒輪等ハソレゾレ適當ナル特殊鋼ヲ使用シ氣筒内ニハ特殊鑄鐵ヲ使用セリ氣筒外筒、歪輪取付銀等ハ半硬鋼ヲ用ヒ曲軸室ハ半軟鋼、歪輪ニハ極軟鋼ヲ使用ス

之レヲ佛國製ノ同型發動機ニ比スルニ何等ノ遜色ヲ認メズ從來陸軍航空學校ニ於テハ練習用飛行機ニ装着シ使用セリ、本邦民間ニ於テ製作セル發動機中最モ多數ニ使用セラレツツアルモノナリ、本機ノ三十時間連續運轉試驗ノ際毎分一三〇〇迴轉ニ於テ總馬力百馬力ヲ出セリ、本發動機ノ製作加工ニ關スル技術甚ダ優秀ニシテ成績佳良ナルモノト認ム

「六年型」百馬力發動機ハ陸軍ノ命令ニヨリ製作セルモノニシテ東京砲兵工廠ノ設計ニ成レルモノナリ當會社ニ於テハ陸軍ノ監督官監督ノ下ニ製作シツツアリシガ現今ニテハ其製作ヲ中止シタリ本發動機ノ主要事項次ノ如シ

型 式	水冷却式、直立六氣筒
氣 筒 直 徑	一一〇耗
行 程	一四〇耗
迴 轉 速 度	每 分 一、二五〇

正味馬力
重 量

一〇〇
二一〇斤

本發動機ノ材料ハ總テ内地製ノモノヲ使用セリ其主ナル部分ヲ舉グ
レバ氣筒ニハクロム鋼ヲ使用シ、曲軸及連桿ニハニツケルクロム鋼、
ピストンニハ、アルミニウム合金ヲ使用ス、吸氣瓣、排氣瓣、ピス
トン、歪輪軸、齒輪等ハソレゾレ特殊鋼ヲ使用シ曲軸室及揮發器ハ
アルミニウム合金ヲ使用セリ

本發動機ヲ審査スルニ其製作加工概ネ可良ナルモノト認ム

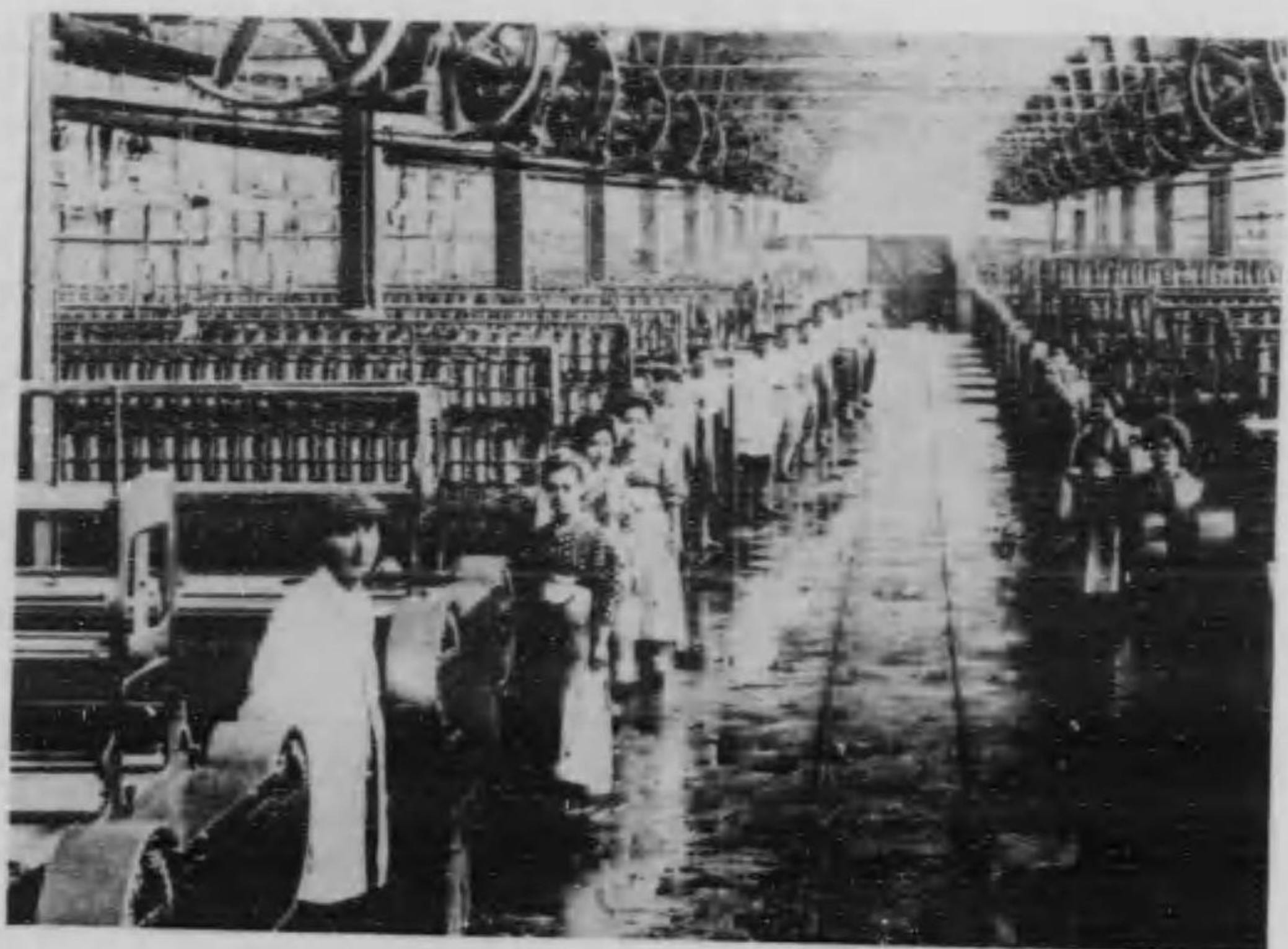
四、會社ノ概況、製産數等

東京瓦斯工業株式會社ハ明治四十三年八月ニ創立サレタルモノニシ
テ現在資本金貳千萬圓、使用人員約二千三百人ナリ、航空發動機製
作ノ事業ヲ開始シタルハ大正七年五月ニシテ爾來主トシテ製作セル
モノハ今回出品シタル「ローン」型發動機及「六年型」發動機ノ二
種ナリ、創業以後大正十一年四月行ノ製作數前者二十三臺及後者五
十七臺ナリ外ニ海軍飛行機用百三十馬力水冷却式發動機數臺ヲ製作
シタリ現在ハ「ローン」型發動機ノミヲ製作ス其數毎月十二乃至十
五臺全部陸軍ニ納入シツツアリ

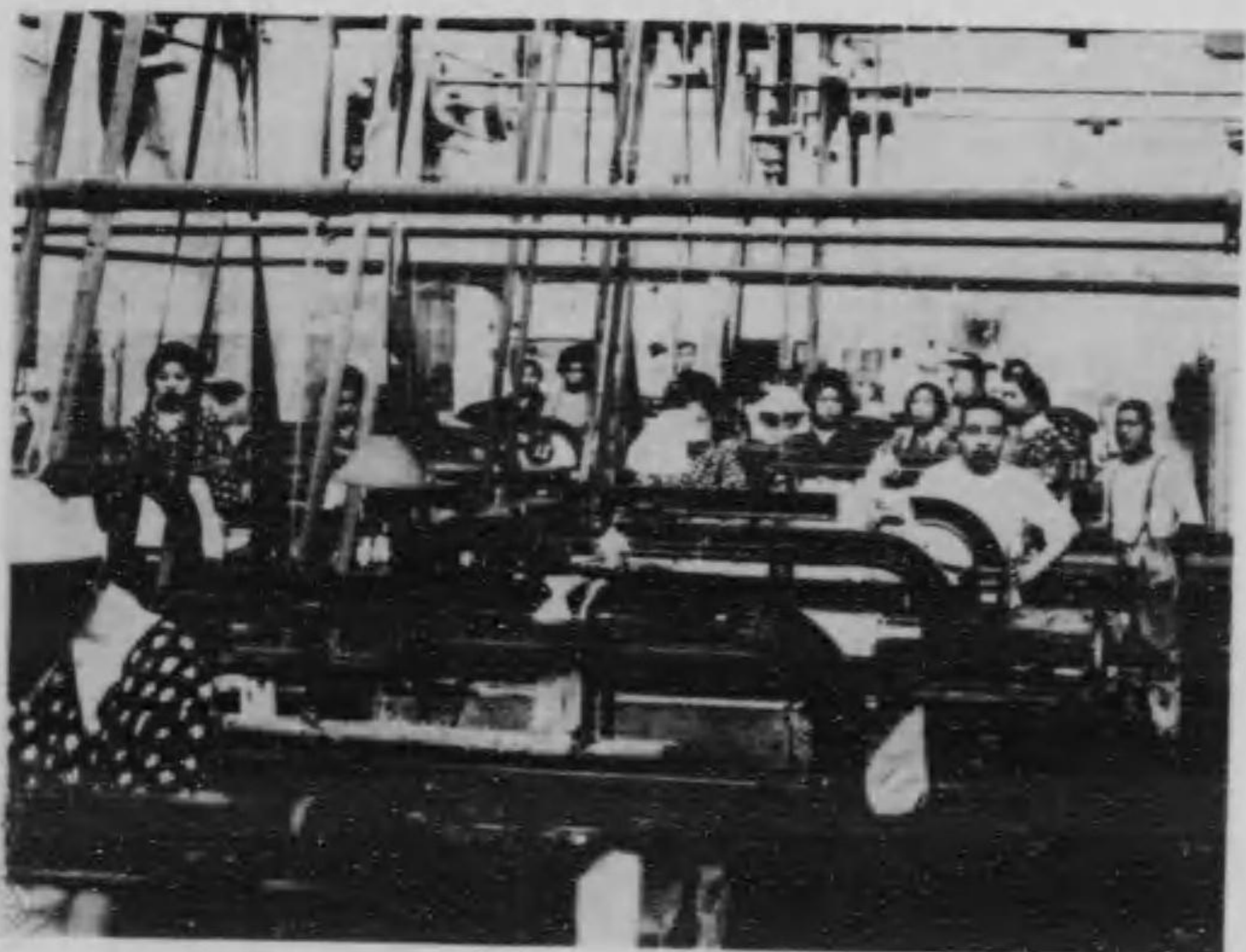
五、評 論

工場設備ハ極メテ完備セリト云フコト得ザレドモ各種工作機械ニ新
式モノヲ多ク使用シ検査用ゲージ類及試験機械等ノ裝置亦備ハレリ
其製造能力ハ前記現今ノ製造高ニ比シ遙ニ大ナルガ如シ
本會社ハ航空發動機ノ製作ニ關シテハ開始後日尙未淺ク他ノ博覽會
等ニ於テ褒賞ヲ受ケタルコトナシ

日本製麻株式會社



上 同



動機ハ佛國製原型ノ複製ニ外ナラズ又「六年型」發動機ハ陸軍ノ設
計監督ノ下ニ製作セルニ過ギズ從テ其成績良好ナリトスルモ何等特
筆ノ價値無キガ如シ然レドモ航空發動機ノ如キ其構造極メテ精巧ナ
ル機械ニアリテハ單ナル模倣ト雖モ亦容易ナラズ本會社ハ事業開始
後極メテ短時日ノ間ニ其ノ製作ニ成功シ然カモ之レニ要スル金屬材
料ハ發電機ノ外全部日本製品ヲ利用「ローン」型發動機ノ如キハ佛
國製原型ニ比シテ劣ラザルノ成績ヲ得タルハ本會社ノ努力甚ダ大ナ
リシ結果ナルコトヲ思ハザルベカラズ特ニ近年事業界ノ甚ダ不況ナ
ルニ當リ需要ハ工場能力ノ一部分ニ過ギザル狀態ニ於テハ本會社ノ
忍耐努誠ヲ察セザルベカラズ元來航空發動機製作ノ事業タル極メテ
多數ノ工作機械類及ビ工具ゲージ等ヲ要シ其設備ニ多大ナル經費ヲ
要ス本邦民間ニ於テ此ノ種ノ事業ヲ經營スルモノハ本會社ノ外他ニ
一アルノミ本社事業ノ盛否ハ本邦ノ民間航空工業ノ盛否ニ大ナル影
響アルモノナリ審査官ハ過去及現在ニ於ケル本社ノ努力ト其成績ニ
對シ茲ニ金牌ヲ擬スルト同時ニ將來ニ於テモ益々改良進歩ヲ計リ航
空界ノタメ努力センコトヲ望ムモノナリ

一、出品者及褒賞

(銀 牌)

東京市麴町區有樂町一ノ一

日本製麻株式會社

二、出品品目

- イ、飛行機用麻羽布(五十二吋巾) 一點
- ロ、同 (三十九吋巾) 一點
- ハ、飛行機用麻テープ 一點
- ニ、飛行機格納庫用 帆布 一點

ホ、同 麻布 一點

ヘ、羽布裁縫用麻糸 一點

ト、一 耗 麻 綱 一點

三、出品成績

右飛行機用羽布ハ其重量、強度、延伸等現今ノ飛行機用ニ適シ塗料ニ對スル關係亦良好ナリ外國製品ニ比シ全ク遜色ナシ成績優良ナリト認ム

四、會社ノ概況

本會社ハ大正三年二月創立セラレ資本金壹千五百萬圓（拂込金額九百萬圓）ナリ製品工場ハ東京府下岩淵町及崎玉縣浦和町ニアリ原料工場ハ北海道岩見澤町外十八箇所ニアリ職工總數六千百餘名麻帆布類、ダツク類、リンネル類、飛行機用羽布類、布管類、其他麻糸、麻織物一般ヲ製造シ其產出高一箇年麻織物六百九十八萬碼麻糸類百九十七萬所ナリ

右製品中飛行機用羽布製造ニ着手シタルハ大正五年ニシテ漸々改良セラレ大正七年末ヨリ優良品ヲ製出スルニ至レリ現今陸海軍及民間ノ飛行機製作所ニ供給セリ

一、出品者及褒賞
（銀 牌）
東京市京橋區本八丁堀二丁目一番地 東京麻絲紡績株式會社

二、出品品目
航空機作用材料麻帆布 二點

三、製品成績
原料苧麻ヲ精練シ潤紡裝置ヲ爲シタル紡績機ニヨリ紡出シタル原絲

ヲ以テ製織シタルモノニシテ其強度、延伸、重量等、從來ノ絹綿及亞麻製羽布ニ比シ優良ナリト認メラレ嘗テ陸軍航空部ヨリ規格超過割増金ヲ下附セラレタルコトアリ
飛行機用羽布トシテ優良ナルモノト認ム

四、會社ノ概況

本會社ノ事業創立ハ大正五年十二月ニシテ資本金四百五十萬圓（拂込金貳百貳拾五圓）現在ノ使用人員五百七十餘人ナリ、一箇年間麻羽布ノ製產高約十萬米ニシテ金額約參拾萬圓ナリ、當會社ガ苧麻絲ヲ以テ羽布ノ製造ヲ研究開始シタルハ大正九年ナリ從テ博覽會共進會等ニ出品シ褒賞ヲ受領シタルコトナシ羽布ノ販路ハ帝國陸海軍ノ飛行機製作所及民間ニ於ケル飛行機製作所ナリ

一、出品者及褒賞
（銀 牌）
東京市京橋區新肴町五番地 日本麻絲株式會社

二、出品品目
イ、飛行機用羽布 二點
ロ、飛行機格納天幕用ダツク 一點

ハ、羽布綴糸 一點

三、出品成績
右飛行機用亞麻製羽布ハ其重量、強度、及延伸ノ點ニ於テ現今ノ飛行機用タルニ適當ナリ塗料ノ附着狀況良好ナリ成績優良ナリト認ム

四、會社ノ概況
本會社ハ大正二年十月創立セラレ資本金參百五十萬圓使用人約二千七百名製品工場ヲ栃木縣鹿沼町ニ有シ原料工場ヲ北海道内九箇所ニ

有ス主トシテ北海道産亞麻及支那産支那麻ヲ原料トシテ麻織物及糸類一般ヲ製ス一箇年ノ製産數量前者ハ八十萬碼ニシ後者ハ四百萬碼總價額七百萬圓ナリ

飛行機羽布ハ近年製造ヲ開始シタルモノニシテ陸海軍及民間飛行機製作所ニ供給セリ

五、評 論

飛行機用羽布ヲ出品セル三會社即チ其一日本製麻株式會社其二東京麻絲紡績株式會社其三日本麻絲株式會社ヲ一括シテ概評セントス、各會社トモ創立後日尙ホ淺ク何レモ十年ニ達セズ特ニ飛行機用羽布ノ製作ヲ開始シタルハ最近ノ事ニ屬ス然レドモ其製品優良ニシテ實用ニ適シ現今ニ於テハ羽布トシテ全ク外國品ノ輸入ヲ必要トセザルニ至レリ然レドモ其強度、延伸等ノ不均一ノ程度尙甚ダ小ナラザルハ遺憾トスル所ニシテ將來益々改良セラルベキナリ、去ル大正四年大正博覽會ニ於テハ此種ノ出品一モ無カリシニ比シ斯業ノ進歩ハ誠ニ大ナリト云ハザルベカラズ前記諸會社ハ此ノ進歩ニ對シ誠ニ功勞アルモノナリ茲ニ何レモ銀牌ヲ擬賞シタリ

一、出品者及褒賞

(銅 牌)

東京市赤坂區溜池町三十番地 日本自動車株式會社

二、出品品目

- イ、飛行機用羽布特種塗料原料(佛國製醋酸纖維素) 一點
- ロ、同羽布特種塗料 六點
- ハ、同用接着糊 三點
- ニ、同用螺進機 一點

ホ、同用車輪

一點

ヘ、同用タイヤ及チユープ

各一點

ト、同用緩衝ゴム紐

八點

チ、航空服

二點

リ、其 他

五點

三、出品成績

出品品目中(イ)(ロ)及(ヘ)ハ帝國陸海軍規格適用品ナリ飛行機羽布用特種塗料ハ佛國製醋酸纖維素ヲ原料トシタルモノニシテ其含有量約八〇パーセントナリ有害物無機酸等ヲ含マズ耐火耐水性概ネ佳良ナリ

接着糊モ陸軍ニ於ケル塗料規格ニ適合スル様製シタルモノナリ流動性ヲ有シ數分間ニテ凝固ス羽布ノ膠着ニ適セリ飛行機用螺進機ハ「ヒスバノスイザ」二百二十馬力發動機用ノモノナリ材料ハ胡桃ニシテ九枚ヨリナル表面ハ漆仕上ナリ製作良好ナレドモ特記スベキ點ヲ認メズ

飛行機用車輪、本品ノリムハ軟鋼板ヲ用ヒ酸素銲接シタルモノナリスポークハ鋼線ニシテ其取付環ハ半硬鋼製覆輪軸承環ハ青銅ナリ全體ノ製作良好ナリ

タイヤ及チユープ、別ニ特記スベキ點ナシ

飛行機用緩衝護謨紐

護謨紐ハ日本製ニシテ其断面ハ一耗平方ナリ護謨紐ノ被覆ハ二重ニシテ内編ニハ綿絲ヲ用ヒ外編ニハ亞麻糸ヲ用フ編方及破斷力ハ陸軍ノ規格ニヨリテ製作シタルモノナリ實用上成績概ネ良好ナレドモ耐久力ニ於テ未ダ十分ナラザル點アリ

航空服、表面ハ「ボツクス」皮ヲ用ヒ裏面ニハ兔毛ヲ用ヒタルモノナリ海軍航空隊ニ於テ使用セラレ其成績良好ナリ

四、會社ノ概況

本會社ハ明治四十一年ニ創立セラレ資本金百萬圓使用人現在約三百名ナリ主トシテ自動車等ノ製作販賣ヲナス本出品ニ關スル事業ヲ開始シタルハ僅ニ數年前ニ過ギズ而シテ最近一箇年間ノ製産高及取扱ニ係ル數量及金額次ノ如シ

製産品目	製 産	高 取 扱	ニ 係 ル 數 量	金 額
飛行機用特種塗料	八四、〇〇〇	疋	三五、〇〇〇	圓 一四〇、〇〇〇
同 接 着 糊	三、六〇〇	疋	五〇〇	圓 二、五〇〇
同 車 輪 タイヤ等	一、五六〇	組	三〇〇	圓 三七、五〇〇
同 緩 衝 護 謨 紐	一〇、〇〇〇	米	六、五〇〇	圓 二二、七五〇
航 空 服 類	五〇〇	組	一〇〇	圓 三、五〇〇
其 他 若 干				

五、評 論

本會社ノ出品ハ種々ノ品目ニ互レリ何レモ成績概ネ可ナレドモ他ニ對シ極メテ優秀ナリト特記スベキニ非ズ尙改良スベキ點多キガ如シ然レドモ創業日尙ホ淺キニ關ラズ概ネ良好ナル製品ヲ產出シ其取扱高亦少ナカラザルハ其努力大ナリシモノト云ハザルベカラズ茲ニ銅牌ヲ擬賞セリ

一、出品者及褒賞

(銀 牌)

東京市京橋區木挽町六丁目二番地 小林吉次郎

二、出品品目

- イ、六氣筒發動機用高壓磁氣發電機 三點

ロ、發動機始動用高壓磁氣發電機

二個

ハ、八氣筒發動機用高壓磁氣發電機

一個

ニ、航空發動機用發火栓

二個

ホ、磁氣發電機ノ製作ヲナス裝置

五〇組

ヘ、發電機ノ作用ヲナス機構

一組

ト、發電機ノ切斷面

一個

三、製品成績

六氣筒發動機用及八氣筒發動機用A、G、L、高壓磁氣發電機及發動機始動用磁氣發電機

本機ハ構造略々「ボツシユ」式發電機ニ類似セルモノナルガ主トシテ内地材料ニヨリ且ツ特殊ノ塗料ヲ使用セリ内部ノ絶緣ニ土佐産雁皮紙ヲ利用シ良好ナル結果ヲ示セリ創業以來漸々改良ヲ重ね現今ニ於テハ其成績外國製品ノ優秀ナル發電機ニ比シ遜色ナシ左ニA、G、L、六氣筒用發電機ノ毎分二千五百回轉ニ於ケル開電路電壓曲線及閉電路電流曲線ヲ示ス

航空發動機用發火栓、環狀間隙型ニシテ絶緣ニハ雲母ヲ使用セリ構造精巧ナレドモ之レヲ外國製品ニ比スルニ特ニ優秀ナリト認ムルコトヲ得ズ

閉電路電流曲線ヲ示ス

航空發動機用發火栓、環狀間隙型ニシテ絶緣ニハ雲母ヲ使用セリ構造精巧ナレドモ之レヲ外國製品ニ比スルニ特ニ優秀ナリト認ムルコトヲ得ズ

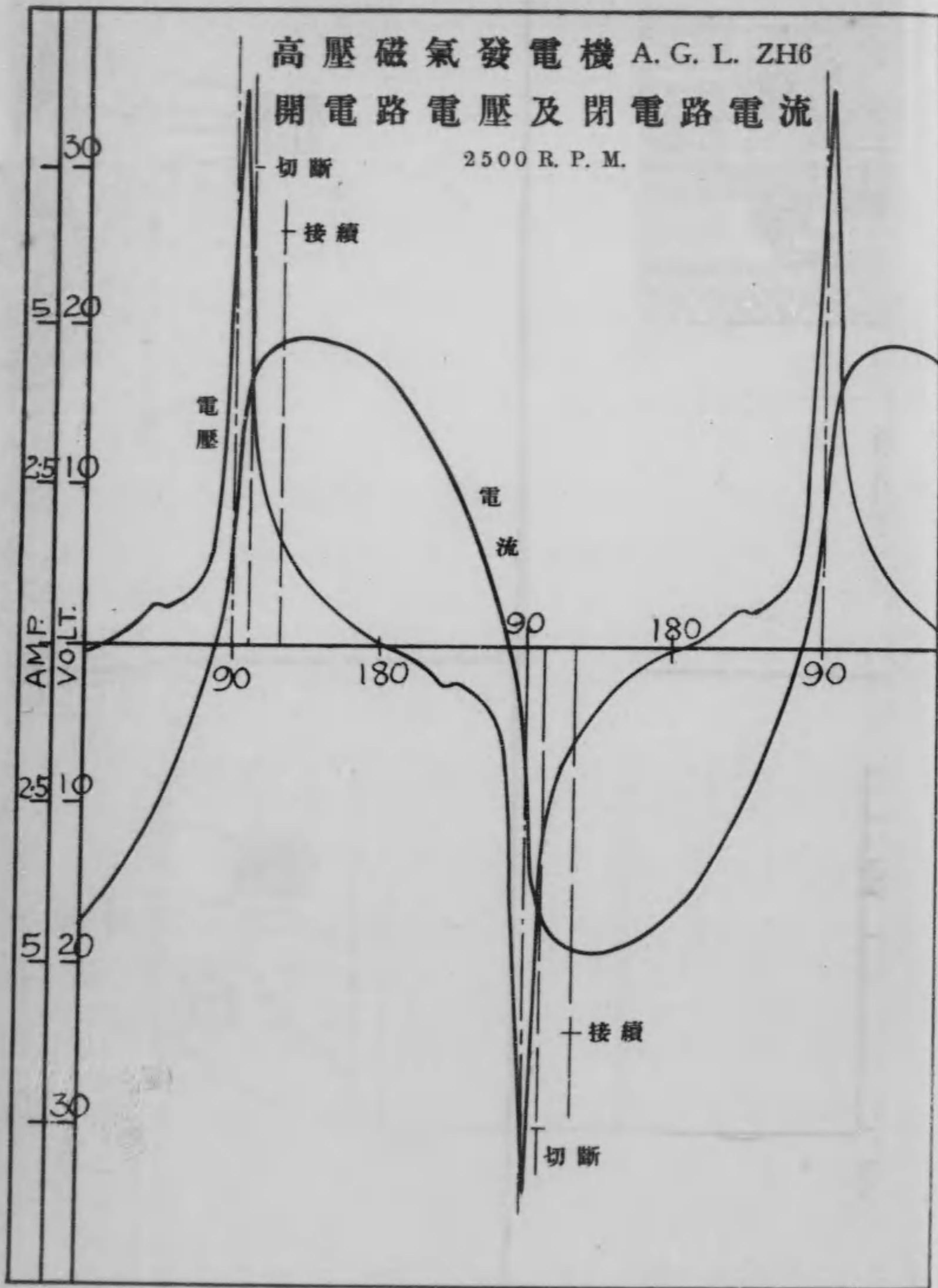
四、事業ノ概況

出品者ガ本事業ヲ創立シタルハ大正四年二月ニシテ資本金參拾萬圓從業員現在三十人ナリ創立以來本發電機ノ製造漸次進歩シ現今ニ於テハ一箇月ニ各種發電機三十個乃至五十個ヲ製作シ且ツ多數ノ發火栓ヲ製作ス從來主トシテ海軍ニ供給シ横須賀及佐世保海軍工廠、海軍造兵廠等ニ納入セリ飛行機用發動機ニ使用サレツツアリ

小林吉次郎出品

高壓磁氣發電機 A. G. L. ZH6
開電路電壓及閉電路電流

2500 R. P. M.



五、審査評論

過去十年間本邦民間ニ於テ航空發動機用高壓發電機ノ製作ヲ開始セシモノ少ナカラズ然シナガラ本機ハ其形態小サク構造又簡單ナルニモ關ラズ其製作比較的易カラズ且ツ需要甚ダ大ナラザルニ加ヘ歐米ニ於ケル優良ナルモノ廉價ニ輸入セラルルタメ本邦ニ於ケル小規模ノ新シキ製作者ハ之レト競争スルコト能ハズ完全ナル製品ヲ產出スル前ニ事業ヲ中止シタルモノ少ナカラズ本出品者ハ此ノ間ニ處シ數年ノ努力ニヨリ概ネ優良ナル製作ヲ出スコトヲ得現今民間ニ於ケル製作者トシテ他ニ比スベキモノ少キニ至レリ、諸種ノ研究及試験設備ヲ有シ研究ヲ怠ラザルハ誠ニ斯業後達ノ上ニ於テ功勞アルモノト云ハザルベカラズ茲ニ銀牌ヲ擬賞スルモノナリ然レドモ本出品者ヲ歐米ノ先進製作工場ニ比スレバ其設備ニ於テ其規模ニ於テ勿論同日ノ論ニ非ズ、尙改良進步ヲ計ルベキ餘地少ナシトセズ出品者ノ一層ノ研究ト努力トヲ希望スルモノナリ

一、出品者及褒賞

(銅 牌)

東京市日本橋區檜物町七番地 廣瀨商會 廣瀨太次郎

二、出品品目

- イ、飛行機格納用天幕模型及其他ノ天幕模型 四點
- ロ、飛行機用亞麻製羽布 一點
- ハ、天幕用地質 二點

三、出品成績

出品者ガ審査ヲ請求セル要點ハ飛行機格納用天幕ナルガ此ノ天幕ハ收容能力ヲ大ニスルタメ比較的大ナル面積ニ對シ中央基柱ヲ使用セ

ズ周圍ニ於ケル支柱ニテ吊リ保テリ尙分解組立ヲ容易ナラシムル様注意シアリ陸軍航空學校其他ニ於テ使用セルガ其成績概ネ可良ナリトス

四、出品商會ノ概況

本商會ハ明治三十八年三月ニ創立セラレタルモノニシテ現今資本金百五十拾萬圓、使用人員百十四名、生産及取扱高併算一箇年壹千萬圓ト稱ス主トシテ陸軍省、航空學校、各航空大隊、陸軍東京經理部、師團經理部及海軍造兵廠等ニ納入セリ

五、論 評

本商會ノ出品ハ現在ニ於テ極メテ優秀ナリトハ稱スルコトヲ得ズ改良ノ餘地多シ然レドモ出品者ハ飛行機格納用天幕ノ設計構造ニ關シ常ニ考慮シ屢々新案ヲ當局者ニ提示シ研究改良ヲ怠ラザルガ如シ將來大ニ進步ヲ豫想セシム一層ノ努力ヲ希望ス

一、出品者及褒賞

(金 牌)

愛知縣愛知郡御器所村大字御器所字古市場五番地

株式會社岡本自轉車自動車製作所

二、出品品目

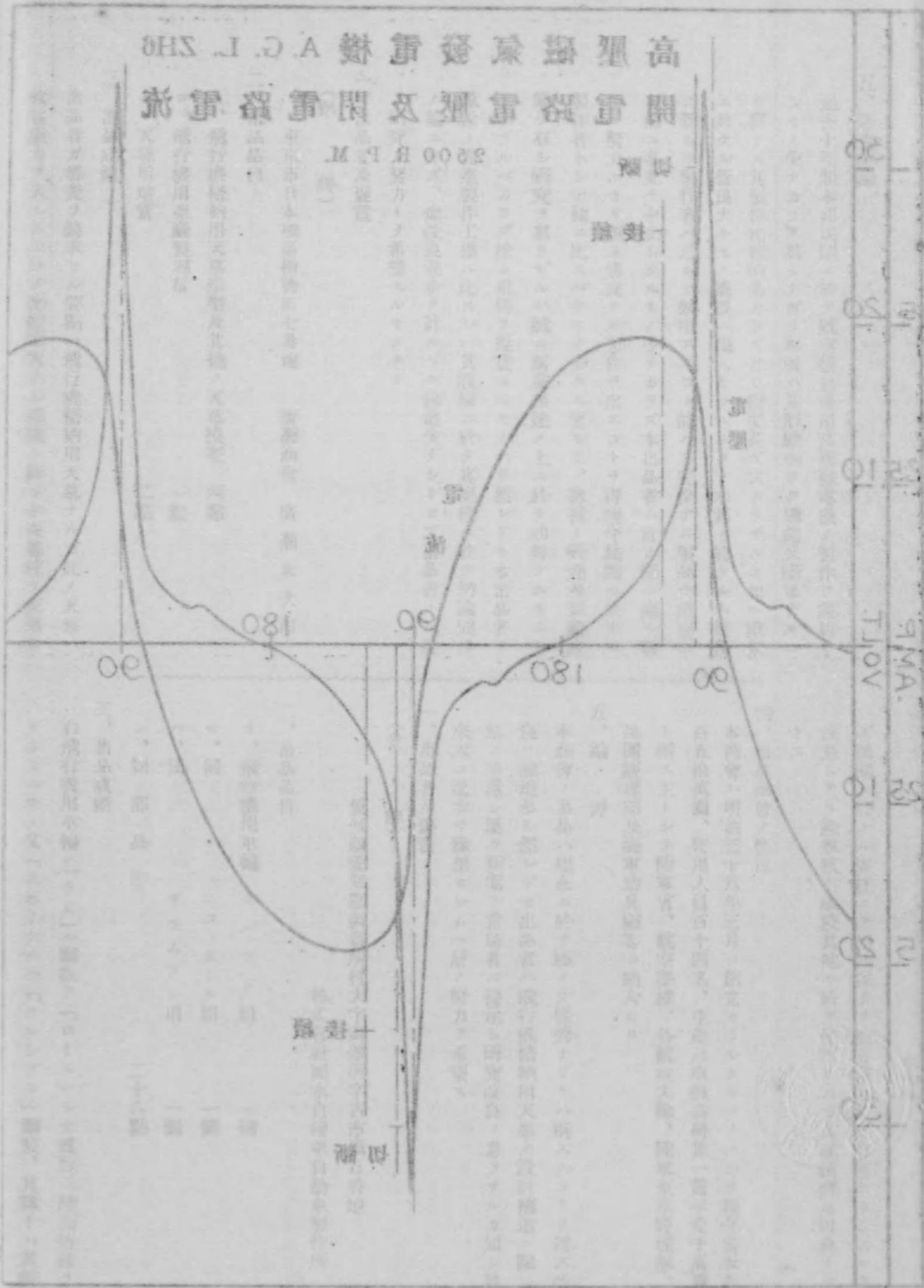
- イ、飛行機用車輪 スパツド用 一個
- ロ、同 ニューボール用 一個
- ハ、同 サルムソン用 一個
- ニ、同 部品等 二十六點

三、出品成績

右飛行機用車輪「リム」ハ鋼板ヲ「ロール」シテ成形シ酸素熔接ヲナシタルモノ又「スポーク」ハ「クルシブル」鋼製、其螺子ハ黃銅

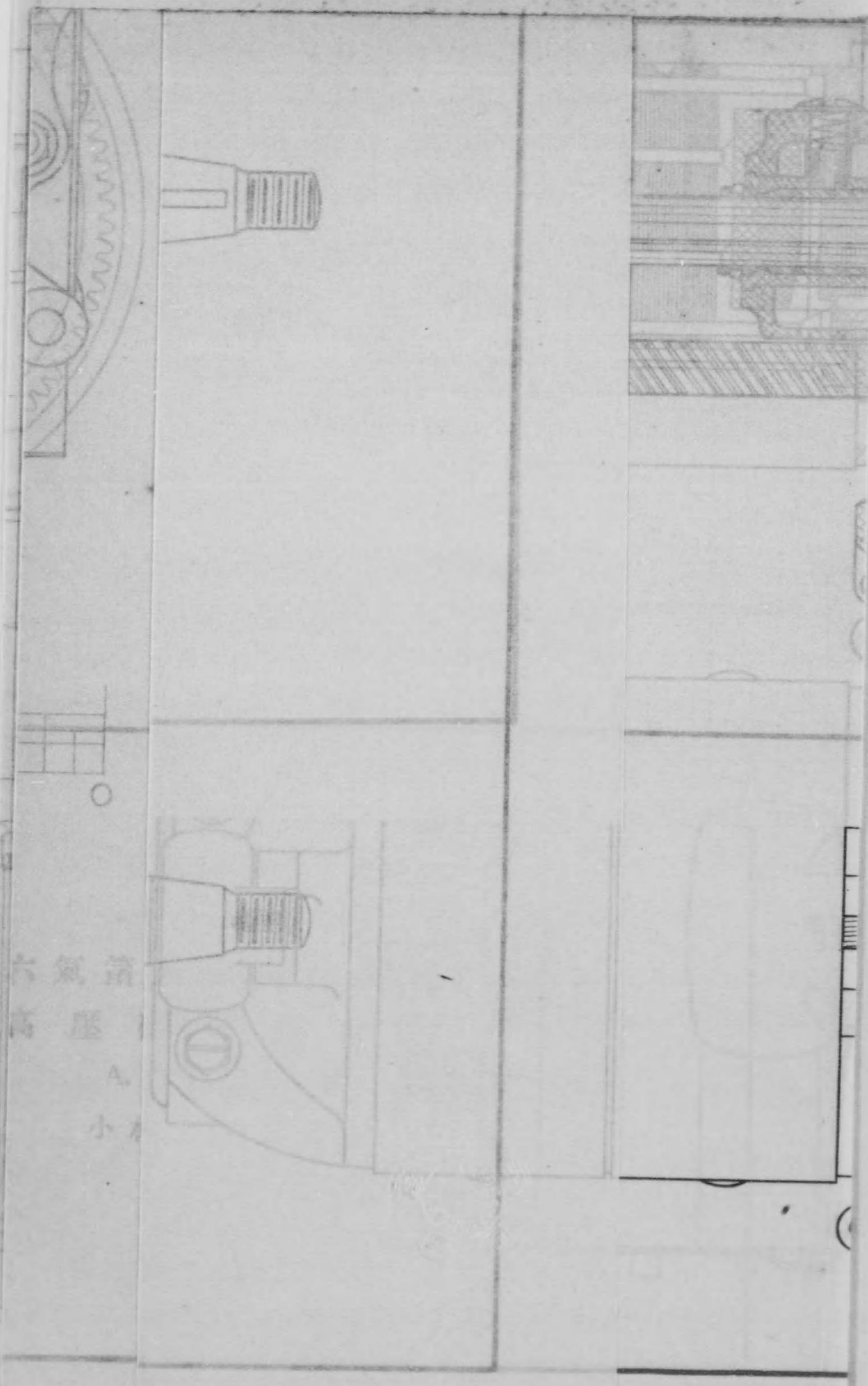
品出顯夫吉林小

高壓變壓器及開關
A.C. L. ZH8

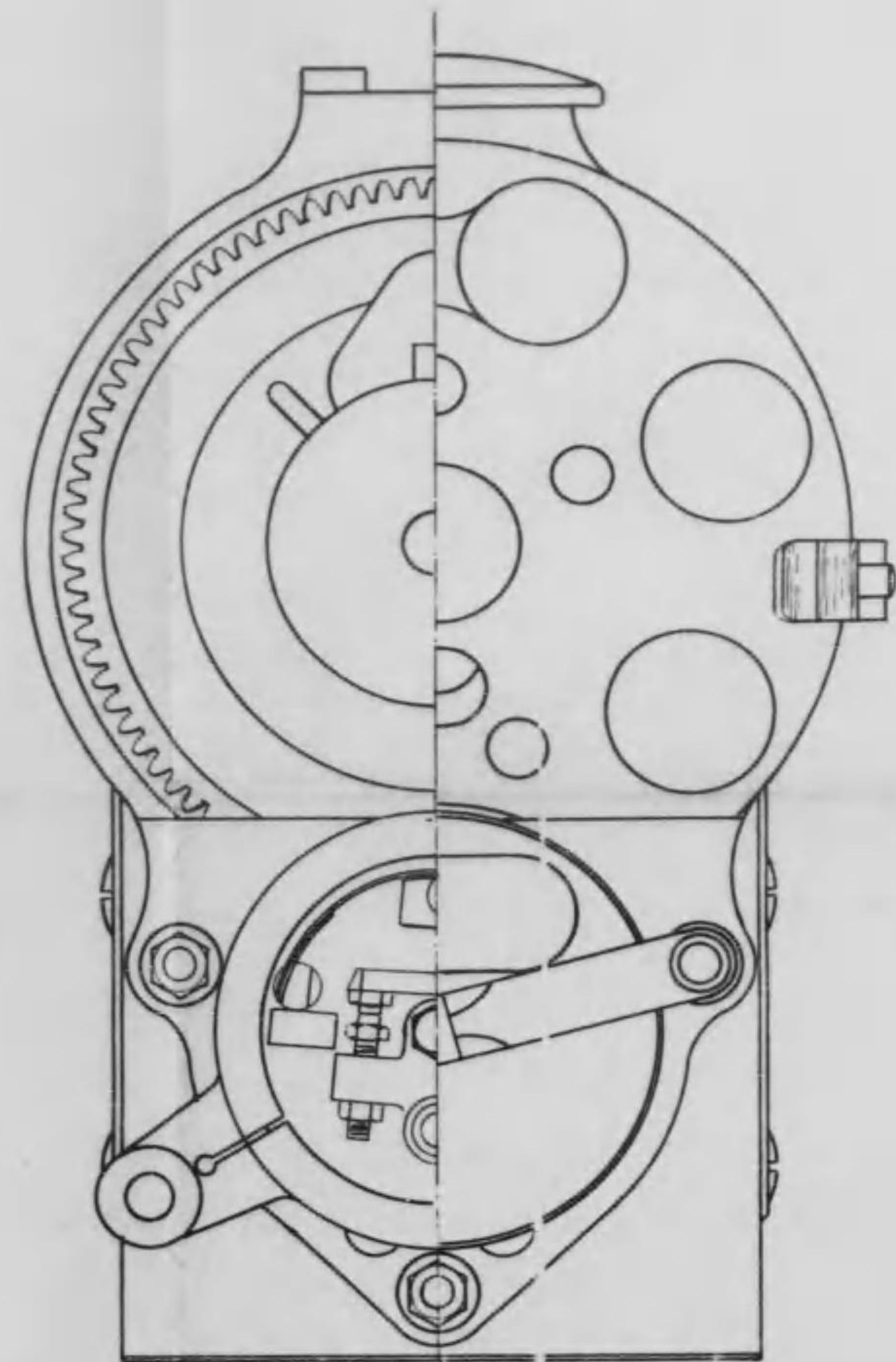
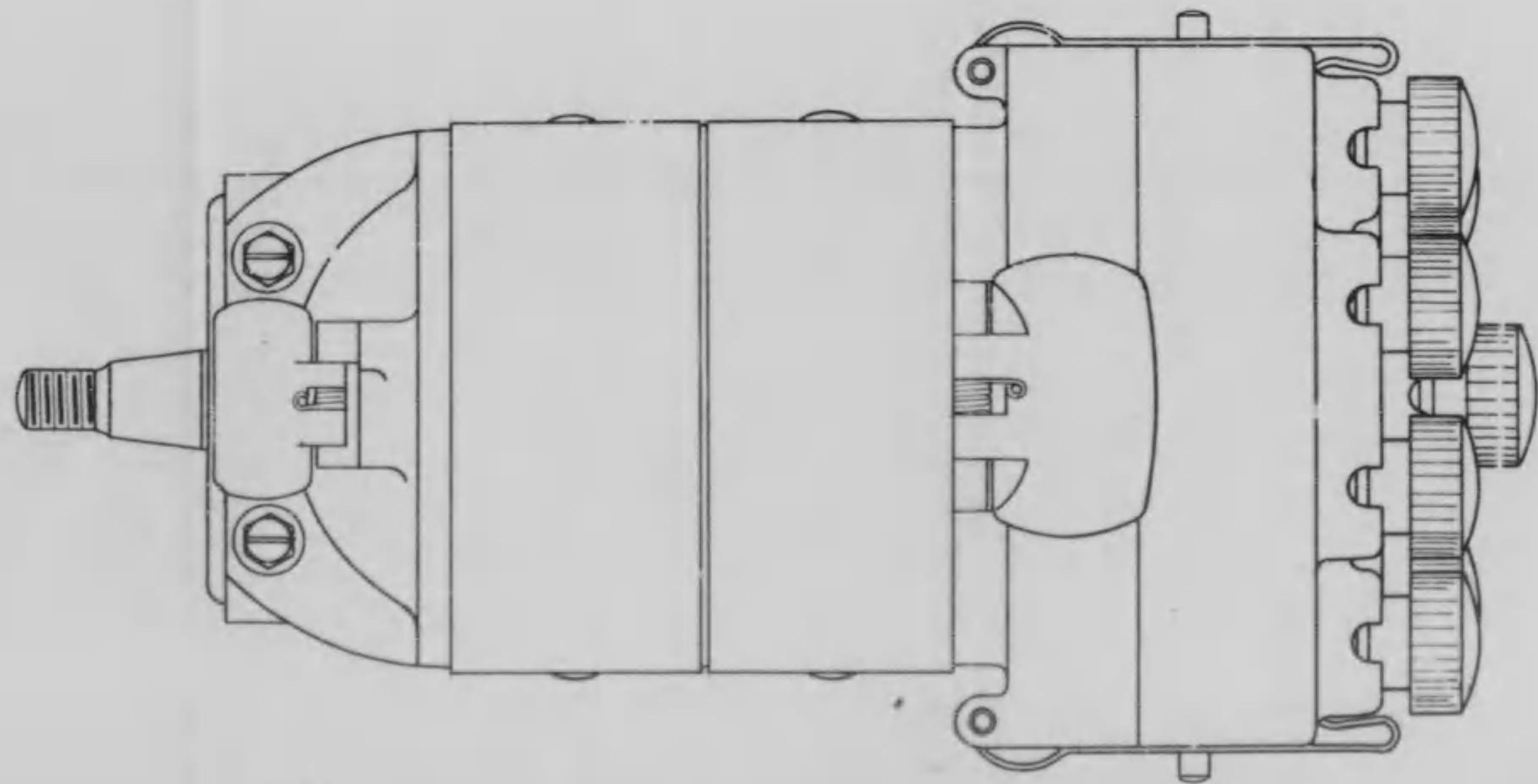
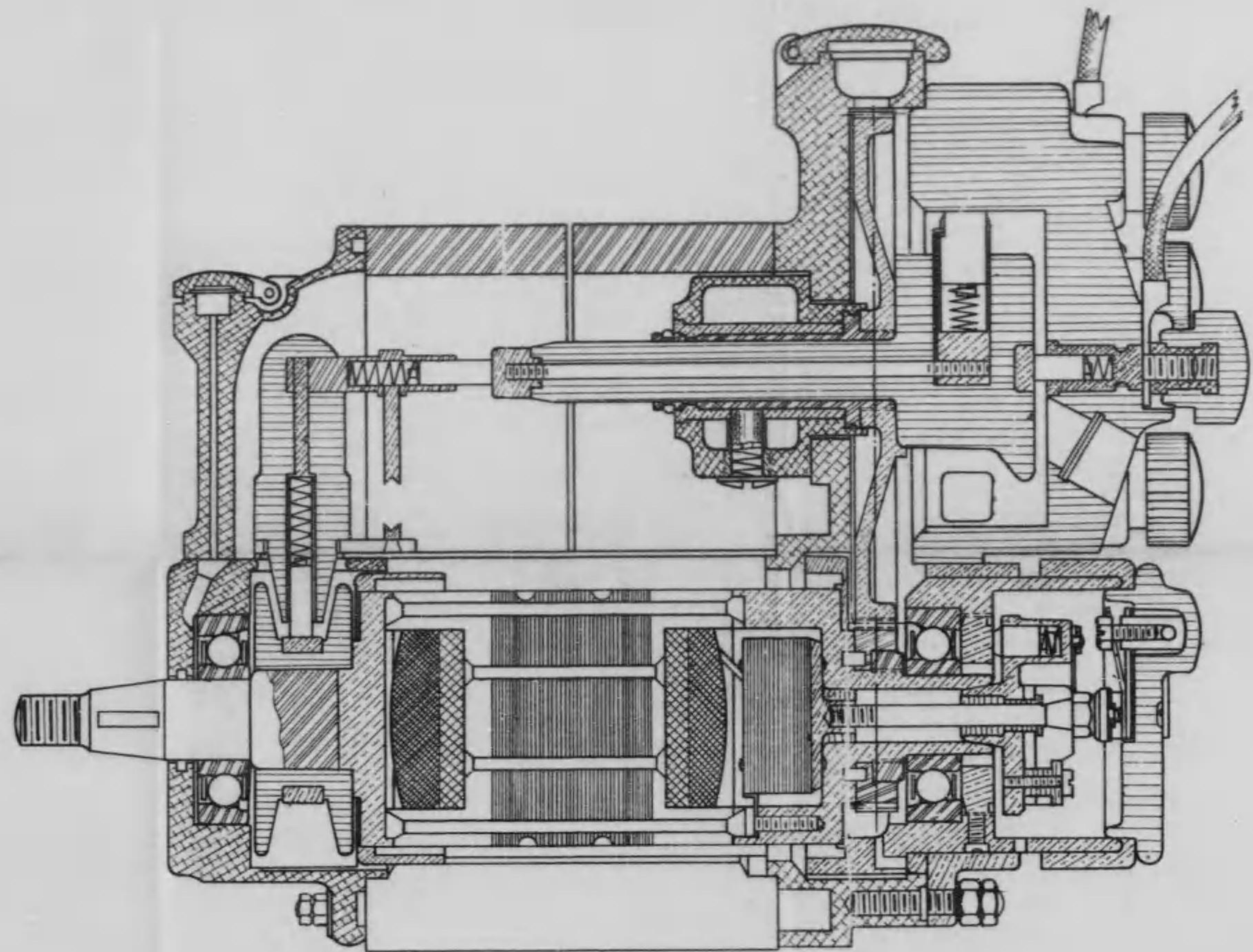


2000 R.F.M.

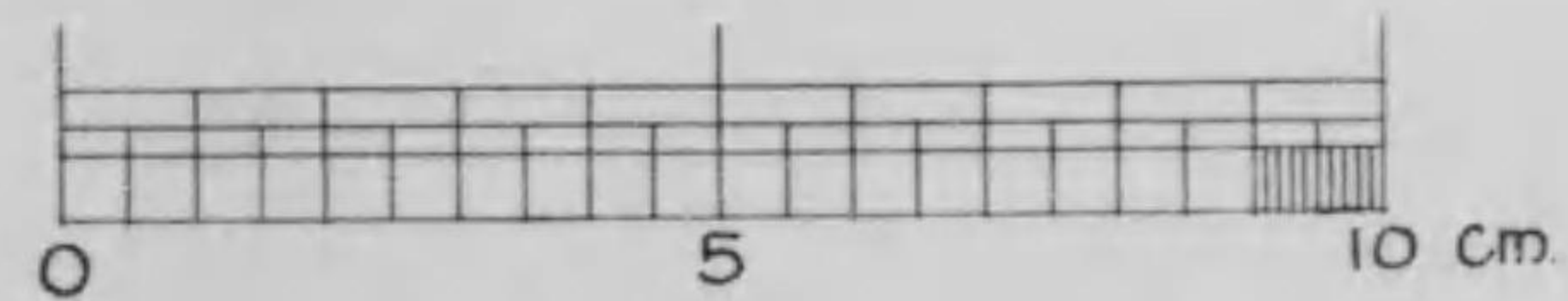
Technical specifications and descriptive text in Chinese, detailing the transformer's performance, materials, and construction. The text is arranged in vertical columns around the central diagram.



六氣箱
A
小

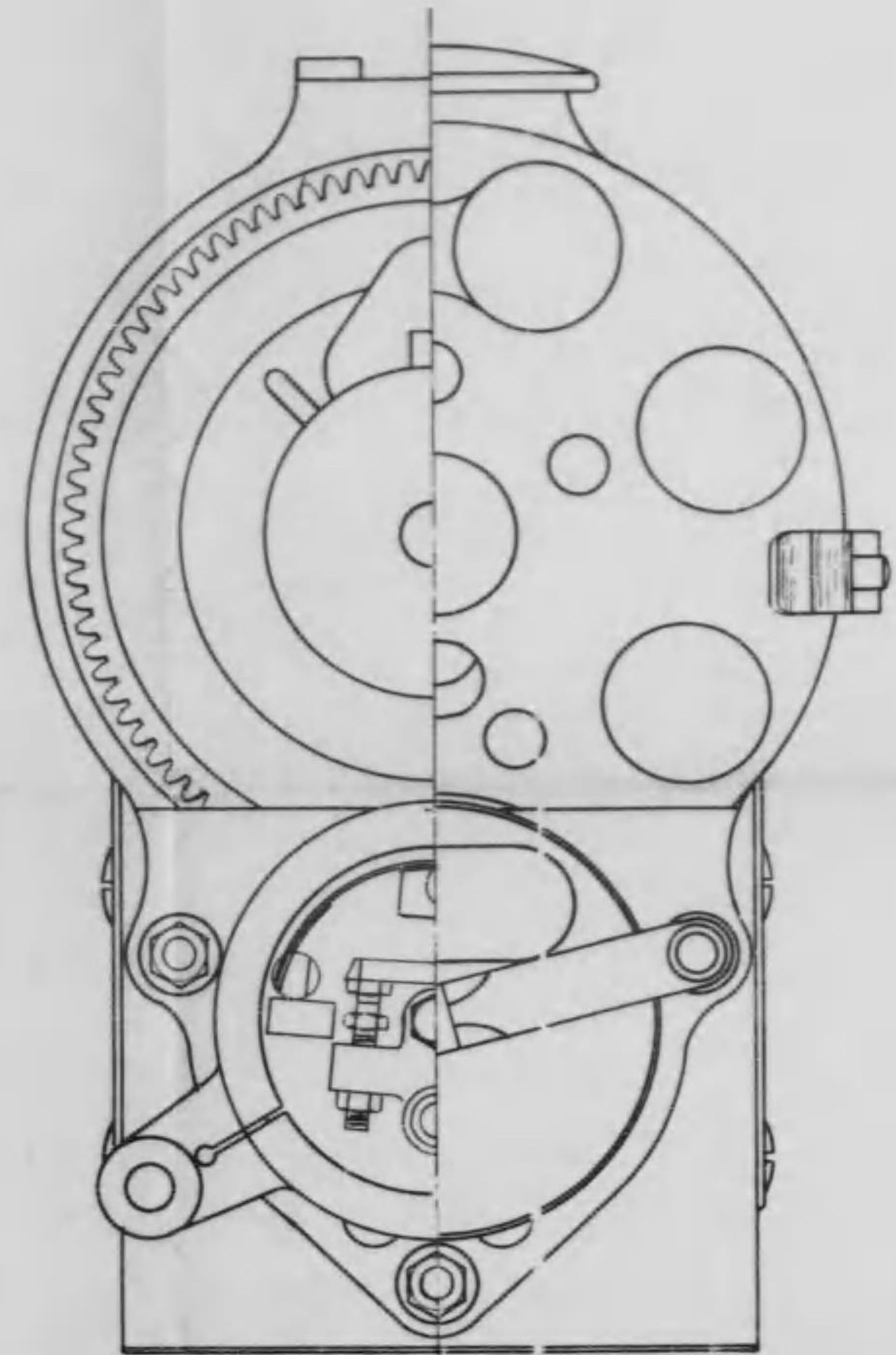
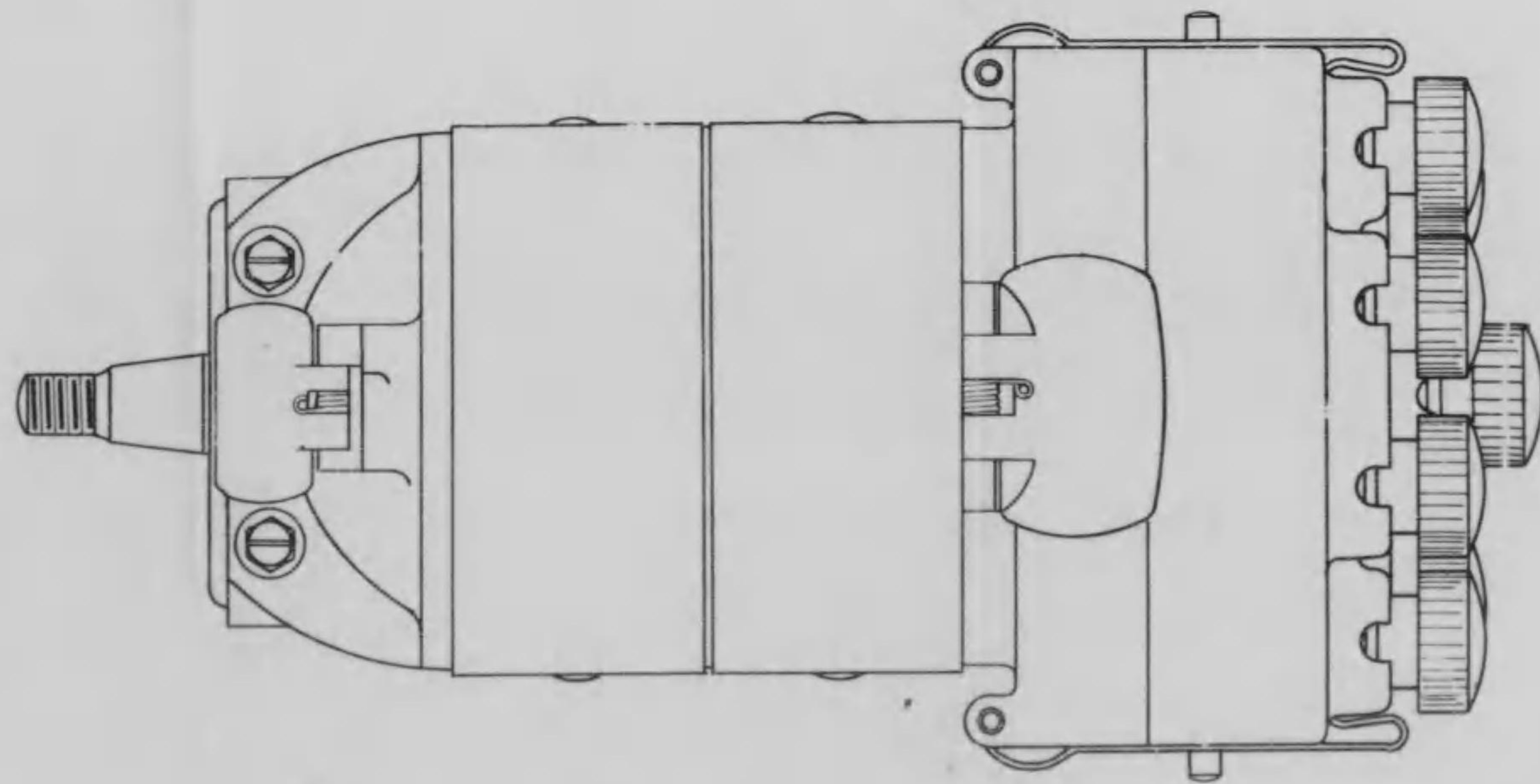
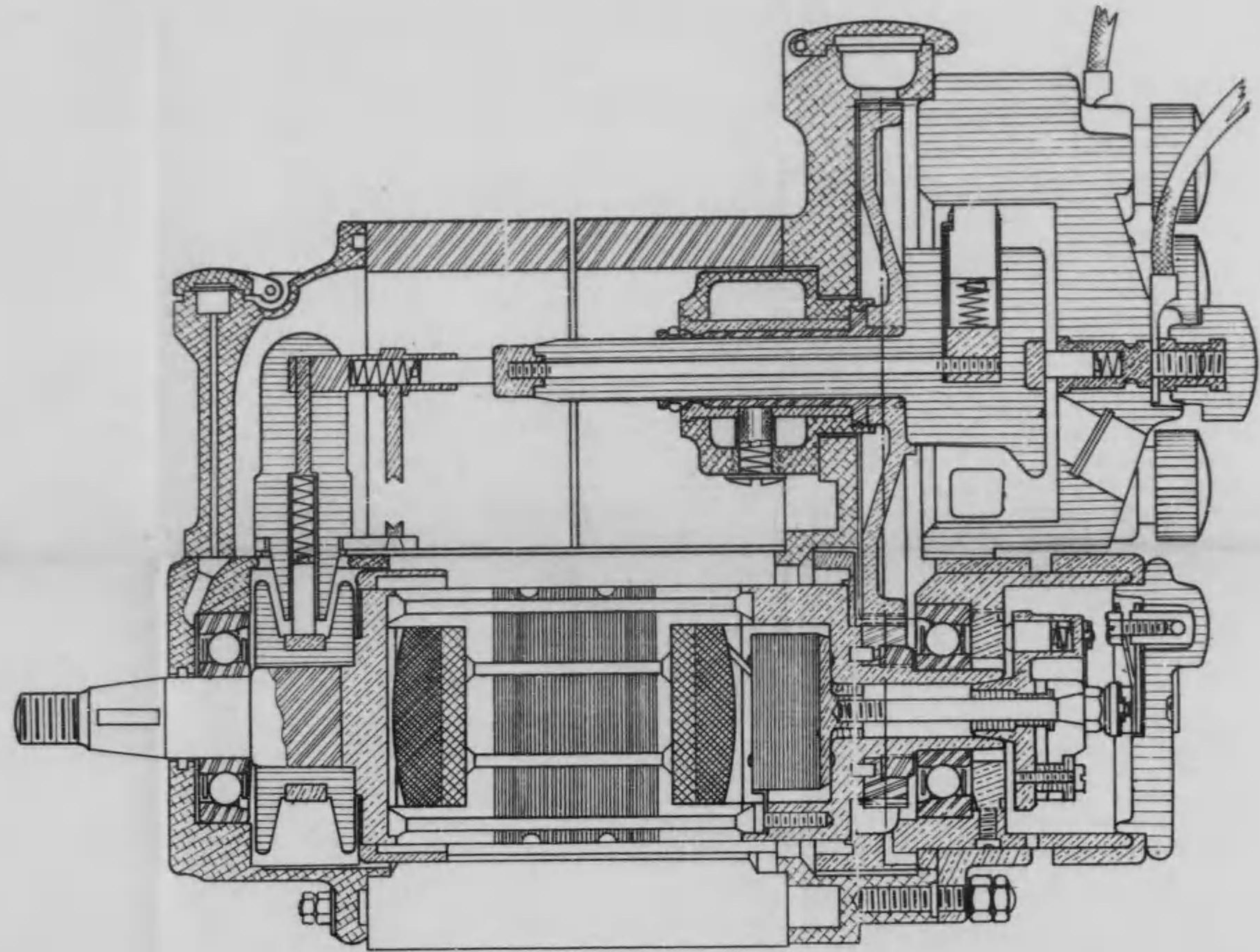


尺度

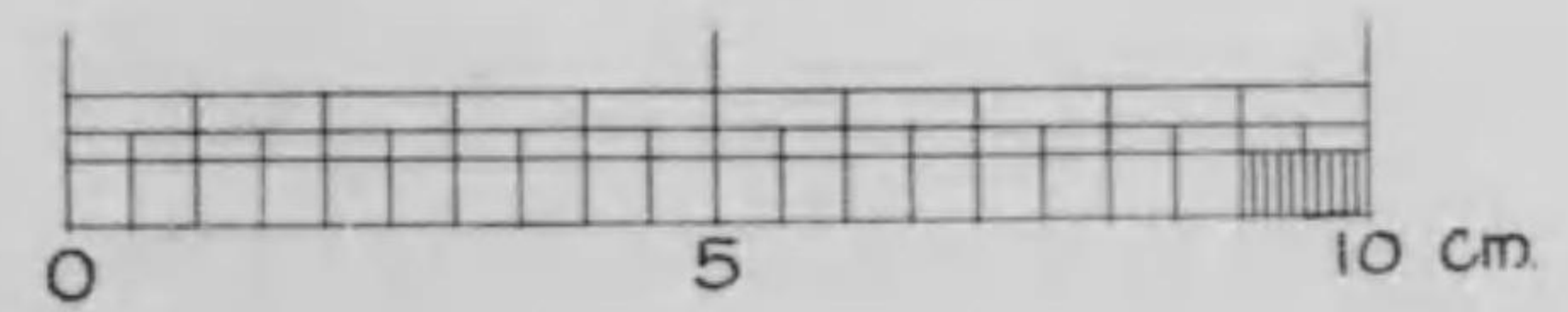


六氣筒航空發動機用
高壓磁氣發電機
A. G. L. ZH6 型
小林吉次郎出品

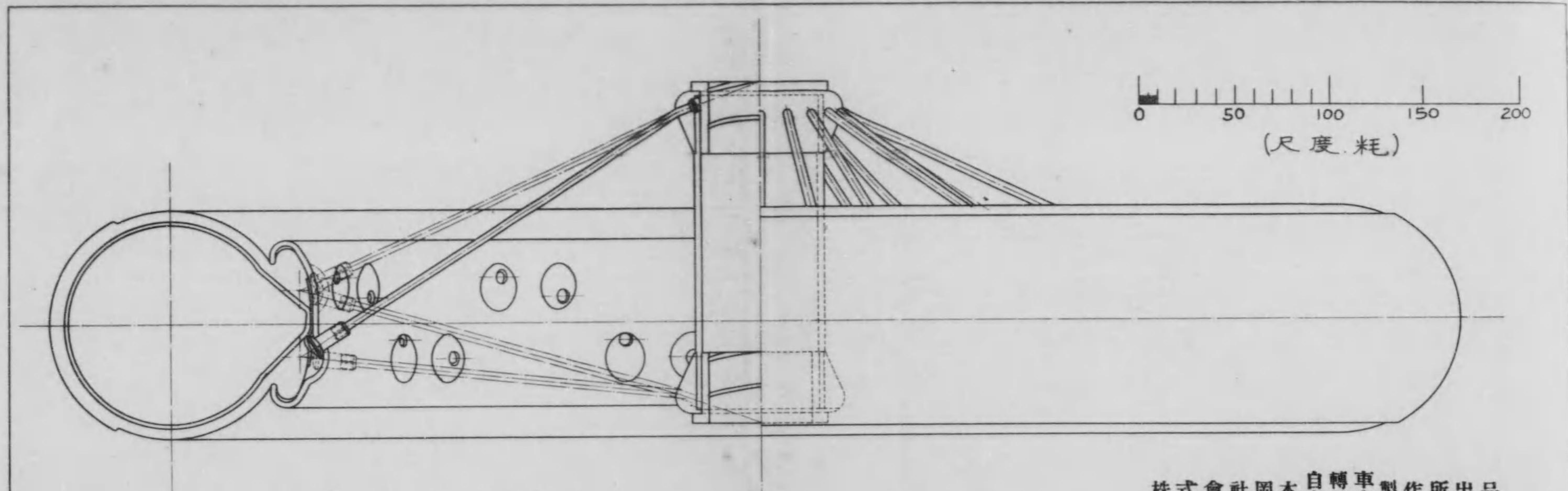




尺度

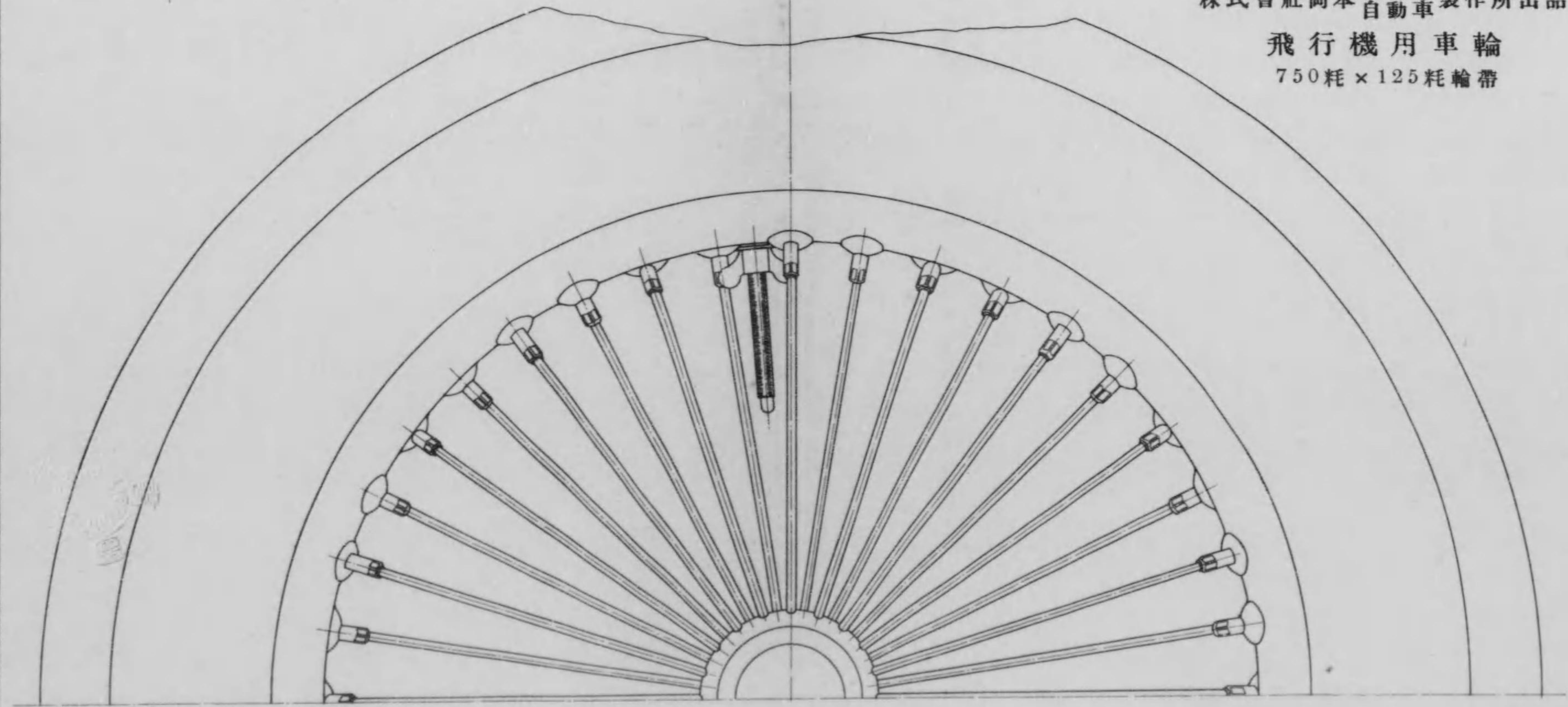


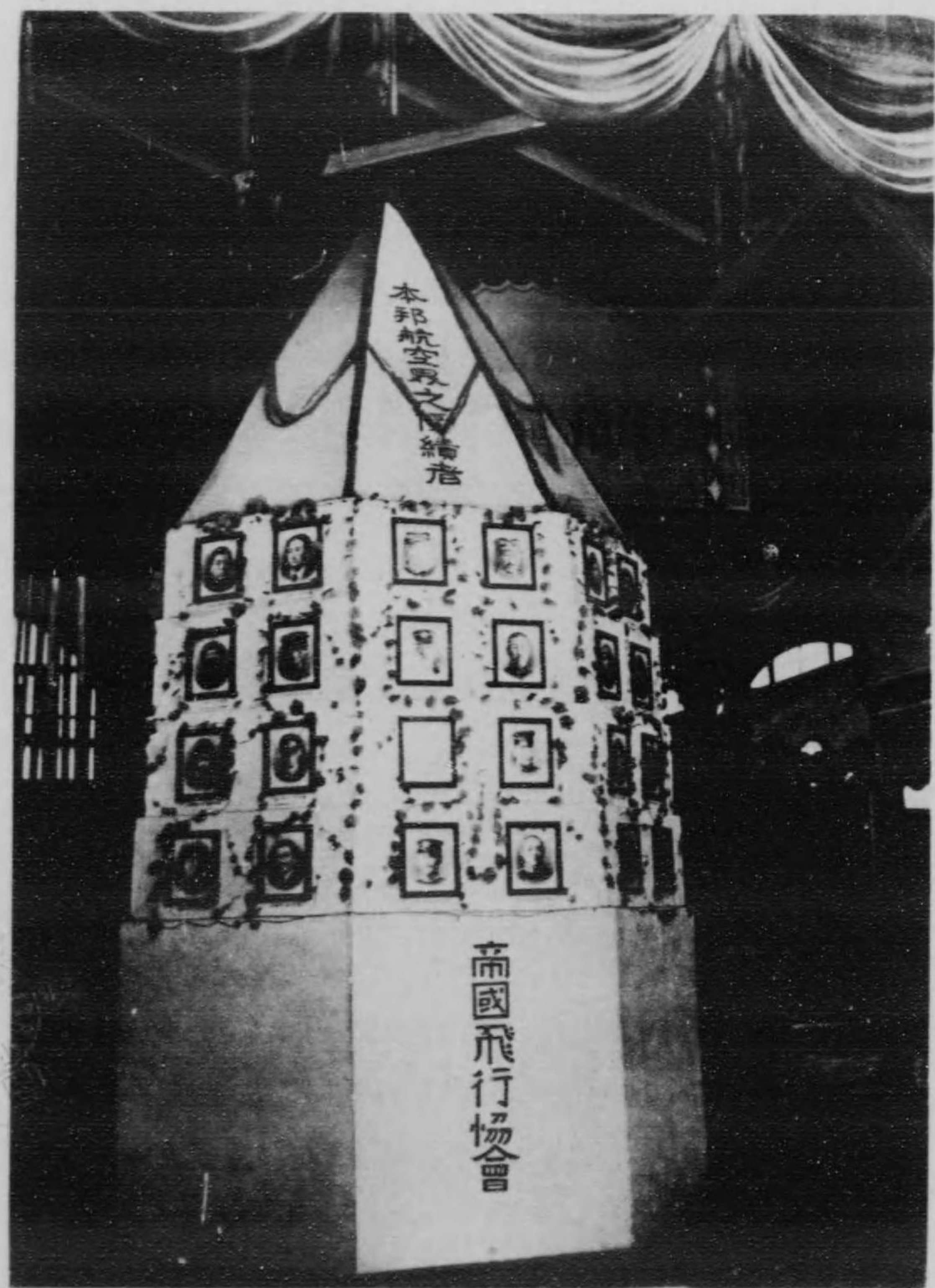
六氣筒航空發動機用
高壓磁氣發電機
A. G. L. ZH6 型
小林吉次郎出品



0 50 100 150 200
 (尺度. 耗)

株式會社岡本自轉車製作所出品
 飛行機用車輪
 750耗 × 125耗輪帶

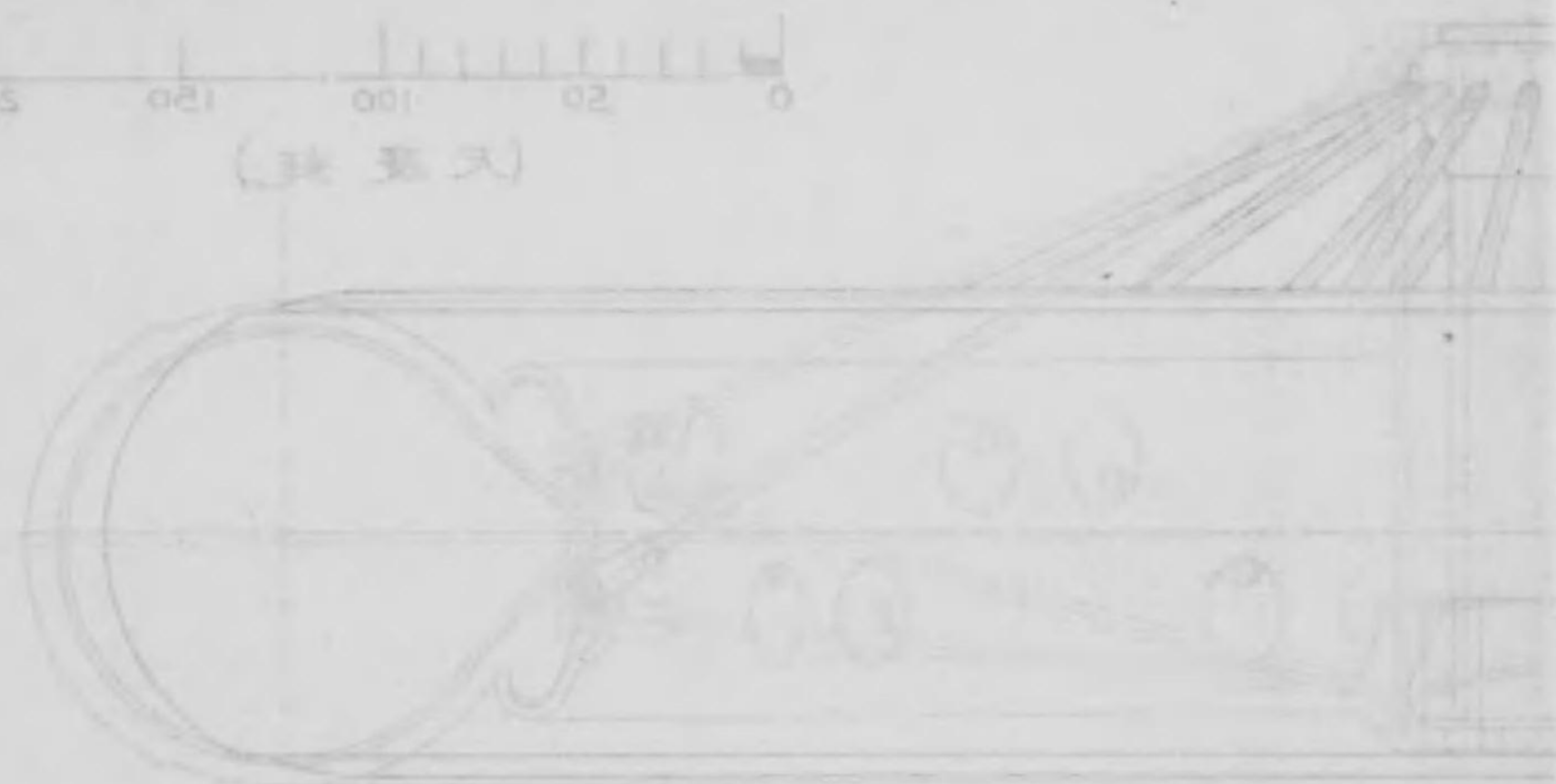




帝國飛行協會出品

005 021 100 02 0

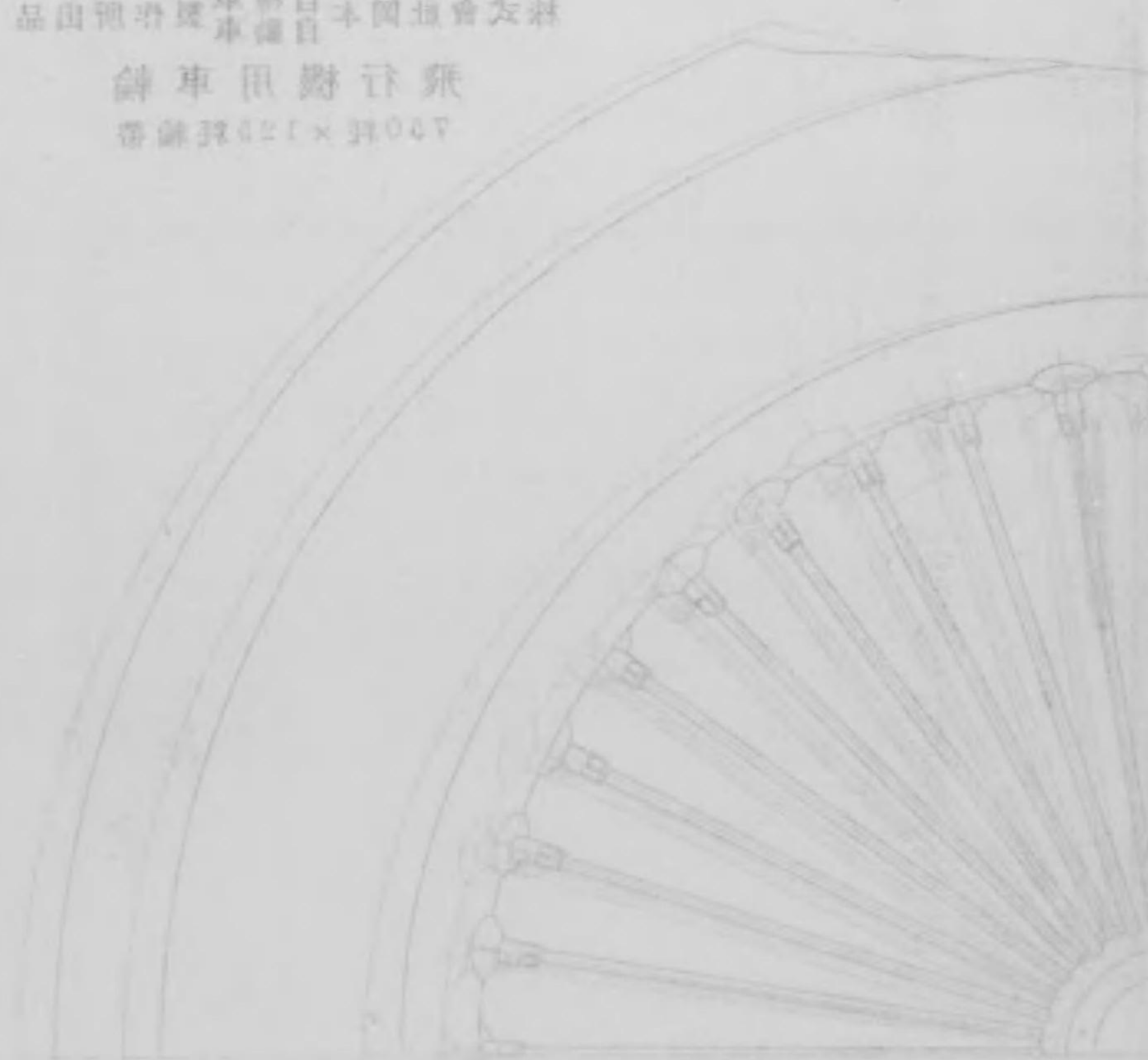
(其五)



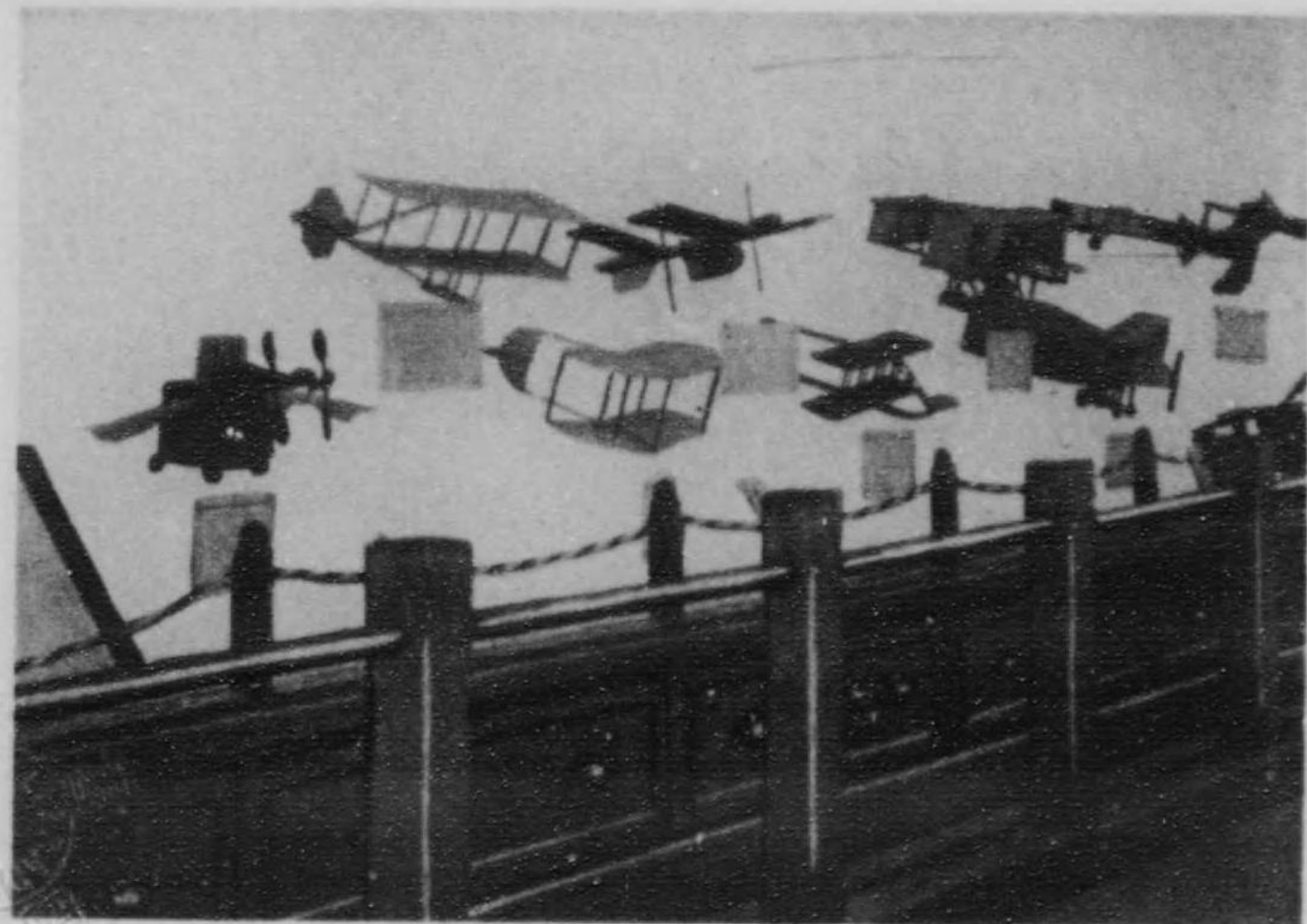
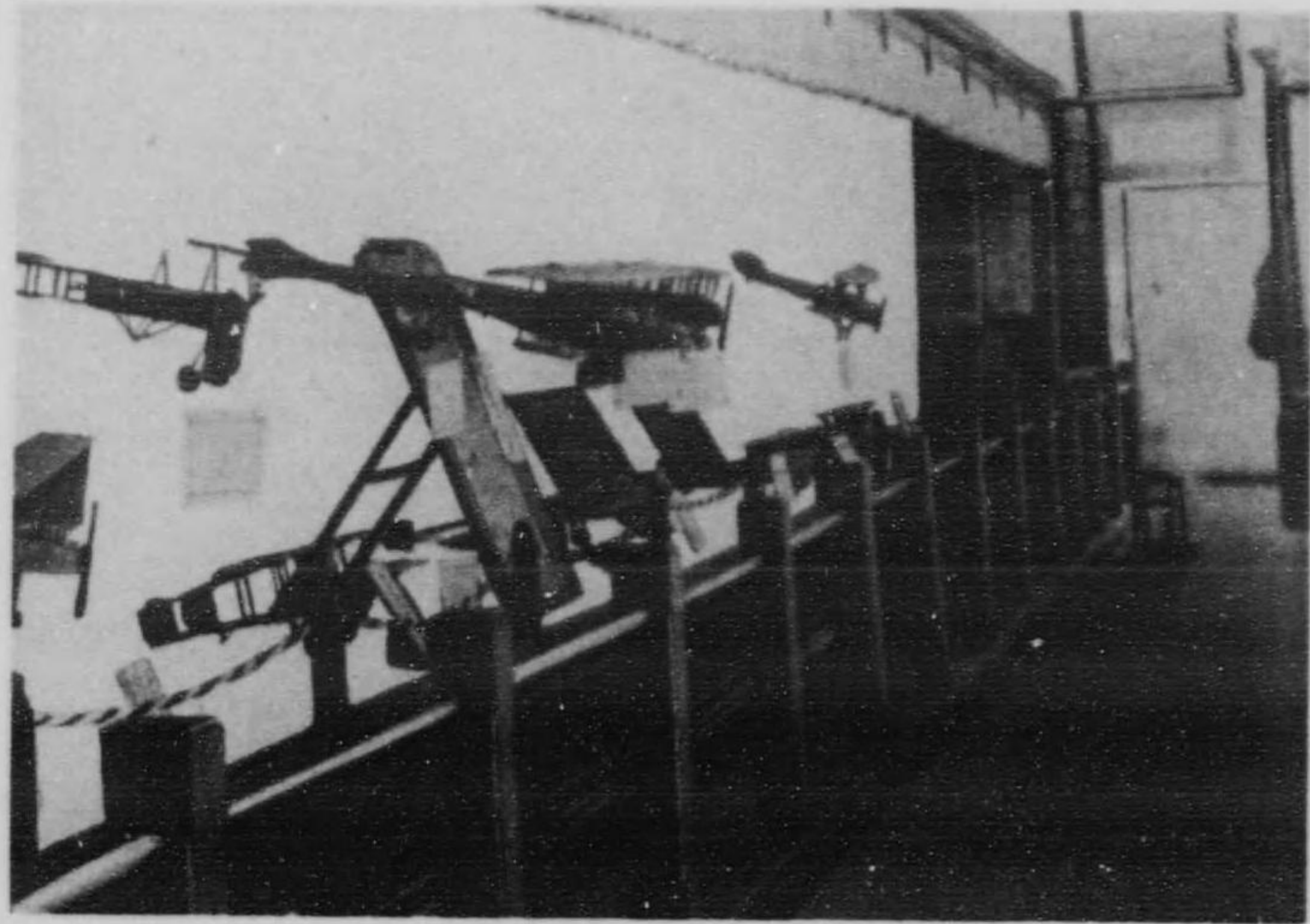
品出預計度車新自本國協會友社

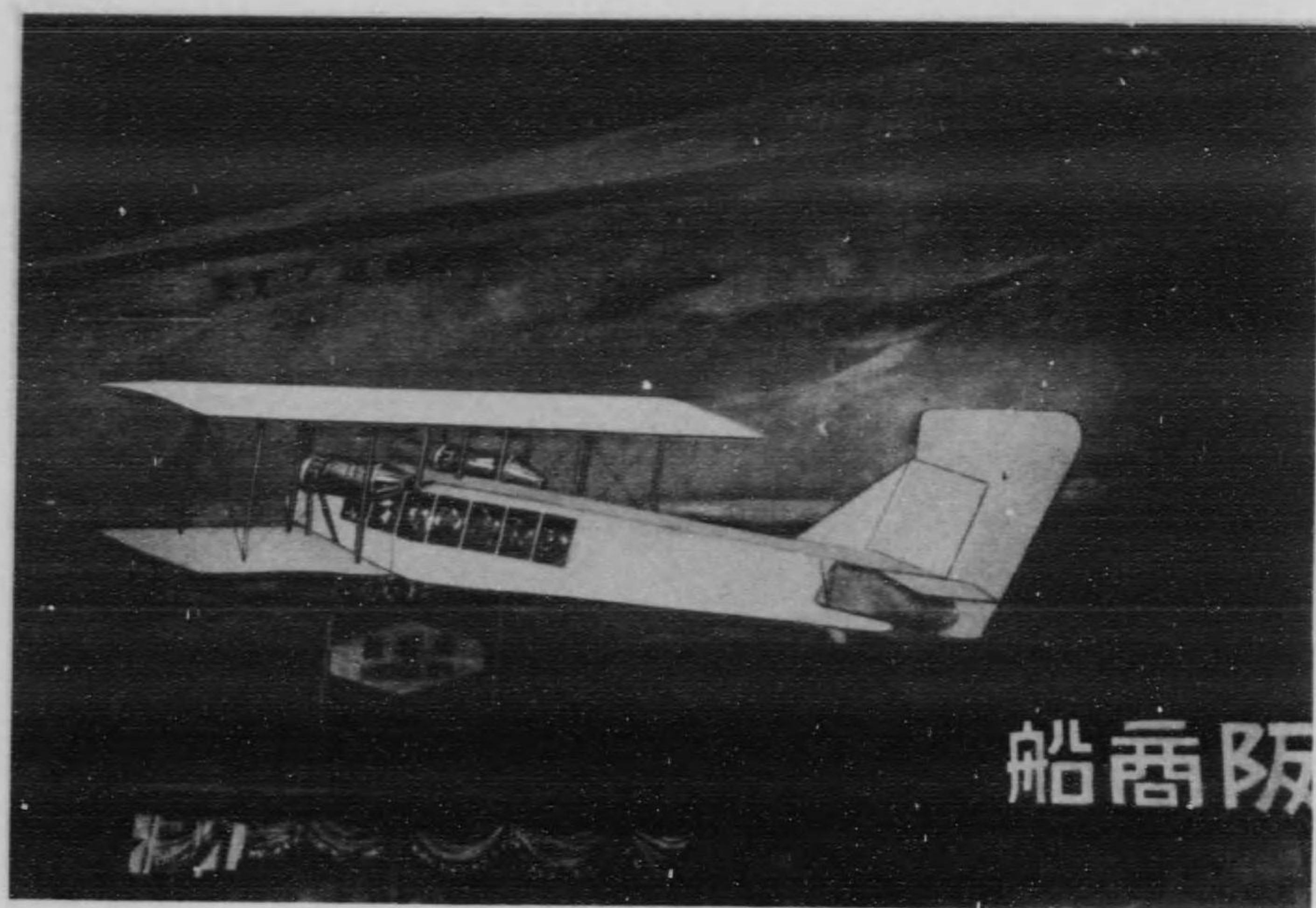
鐘車用對計兼

帶錄其021x34007



帝國飛行協會出品



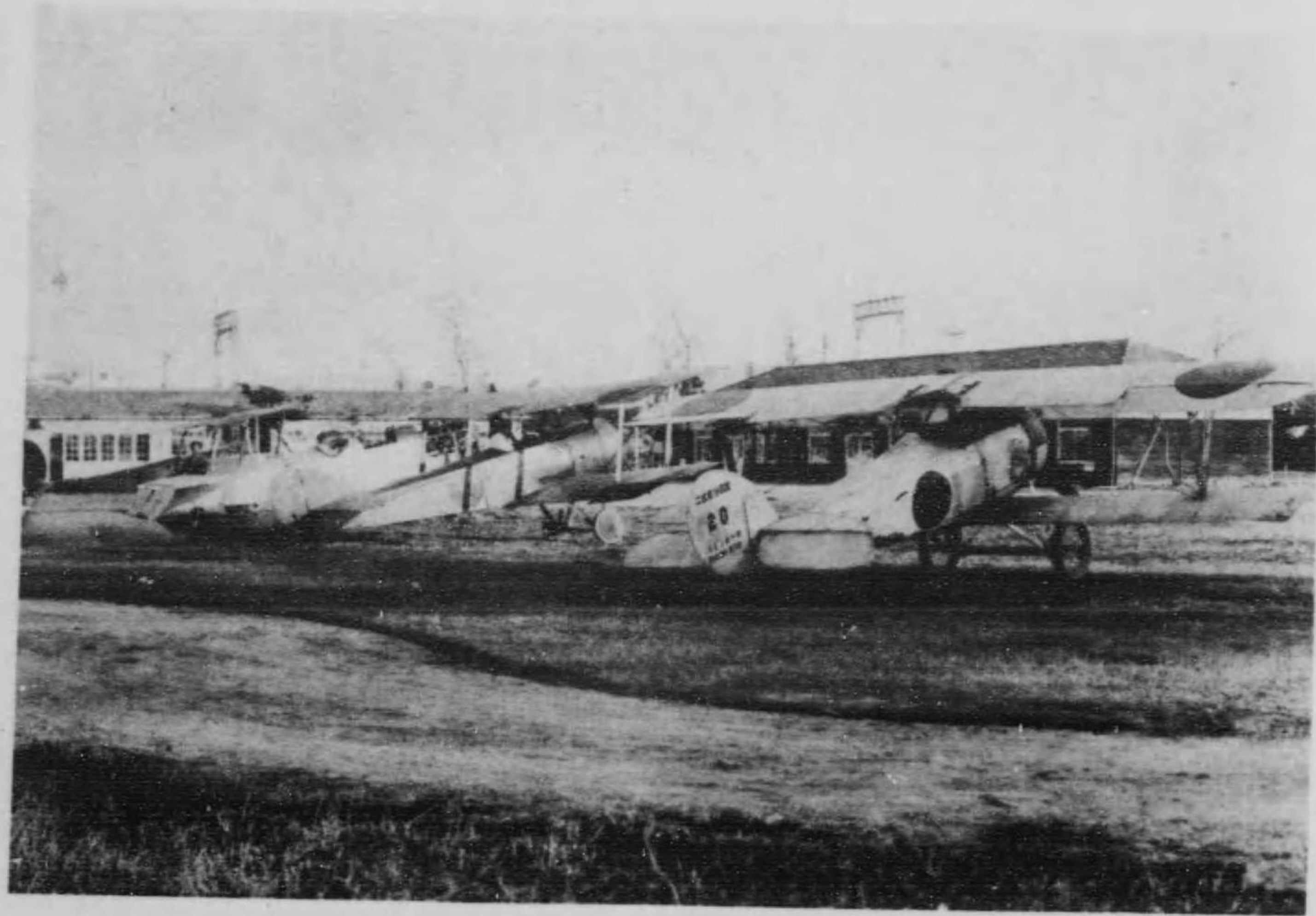


帝國飛行協會出品



同上

日 本 自 動 車 學 校



航空事業成績報告

自一九二九年六月創立(至一九三〇年十二月末日)

(一) 第一回吊慰金の贈呈 (六千五百圓) 七
 贈呈 山縣本郷 贈呈 八千五百圓 七
 (二) 第二回吊慰金の贈呈 (六千五百圓) 七
 贈呈 山縣本郷 贈呈 八千五百圓 七
 (三) 奉祝飛行「一」の舉行 拾圓 七
 贈呈 山縣本郷 贈呈 八千五百圓 七

(四) 郵便飛行懸賞金の奇附

賞外 第一等賞入選者 贈呈 八千五百圓 七
 賞外 第二等賞入選者 贈呈 七千五百圓 七
 賞外 第三等賞入選者 贈呈 六千五百圓 七
 賞外 第四等賞入選者 贈呈 五千五百圓 七
 賞外 第五等賞入選者 贈呈 四千五百圓 七
 賞外 第六等賞入選者 贈呈 三千五百圓 七
 賞外 第七等賞入選者 贈呈 二千五百圓 七
 賞外 第八等賞入選者 贈呈 一千五百圓 七
 賞外 第九等賞入選者 贈呈 五百圓 七
 賞外 第十等賞入選者 贈呈 三百圓 七

(五) 懸賞論文の募集

賞外 第一等賞入選者 贈呈 八千五百圓 七
 賞外 第二等賞入選者 贈呈 七千五百圓 七
 賞外 第三等賞入選者 贈呈 六千五百圓 七
 賞外 第四等賞入選者 贈呈 五千五百圓 七
 賞外 第五等賞入選者 贈呈 四千五百圓 七
 賞外 第六等賞入選者 贈呈 三千五百圓 七
 賞外 第七等賞入選者 贈呈 二千五百圓 七
 賞外 第八等賞入選者 贈呈 一千五百圓 七
 賞外 第九等賞入選者 贈呈 五百圓 七
 賞外 第十等賞入選者 贈呈 三百圓 七

(六) 飛行大會優勝者記念品贈呈

(七) 第一回補助金の贈呈 (五千圓) 七
 贈呈 山縣本郷 贈呈 八千五百圓 七
 (八) 第二回補助金の贈呈 (六千五百圓) 七
 贈呈 山縣本郷 贈呈 八千五百圓 七
 (九) 第一回幼童飛行家追悼會の舉行

(一〇) 第三回吊慰金の贈呈 (六千五百圓) 七
 贈呈 山縣本郷 贈呈 八千五百圓 七
 (一一) 第一回優勝牌の贈呈

(一二) 第一回軍用飛行機見學會の舉行

(一三) 無料航空宣傳活動爲真會の舉行

(一四) 第四回吊慰金の贈呈 (六千五百圓) 七
 贈呈 山縣本郷 贈呈 八千五百圓 七

日本航空犠牲者 陸軍之部

氏名	軍	階級	所属	死因	死日	遺族
木村修一	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 木村三子
徳田金一	陸軍	中尉	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 徳田金一
重松翠	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 重松翠
樋口嘉穂	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 樋口嘉穂
澤田秀	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 澤田秀
杉野治	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 杉野治
坂元守吉	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 坂元守吉
高橋勲	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 高橋勲
飛松龍雄	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 飛松龍雄
磯城辰三	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 磯城辰三
三井文雄	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 三井文雄
岩富英	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 岩富英
星野行宜	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 星野行宜
岡田五郎	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 岡田五郎
松原寛巳	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 松原寛巳
伊東正雄	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 伊東正雄
瀧川英治	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 瀧川英治
伊藤三郎	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 伊藤三郎
井澤新太郎	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 井澤新太郎
森友信	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 森友信
高田徳太郎	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 高田徳太郎
武蔵良夫	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 武蔵良夫
小林英	陸軍	少佐	陸軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 小林英

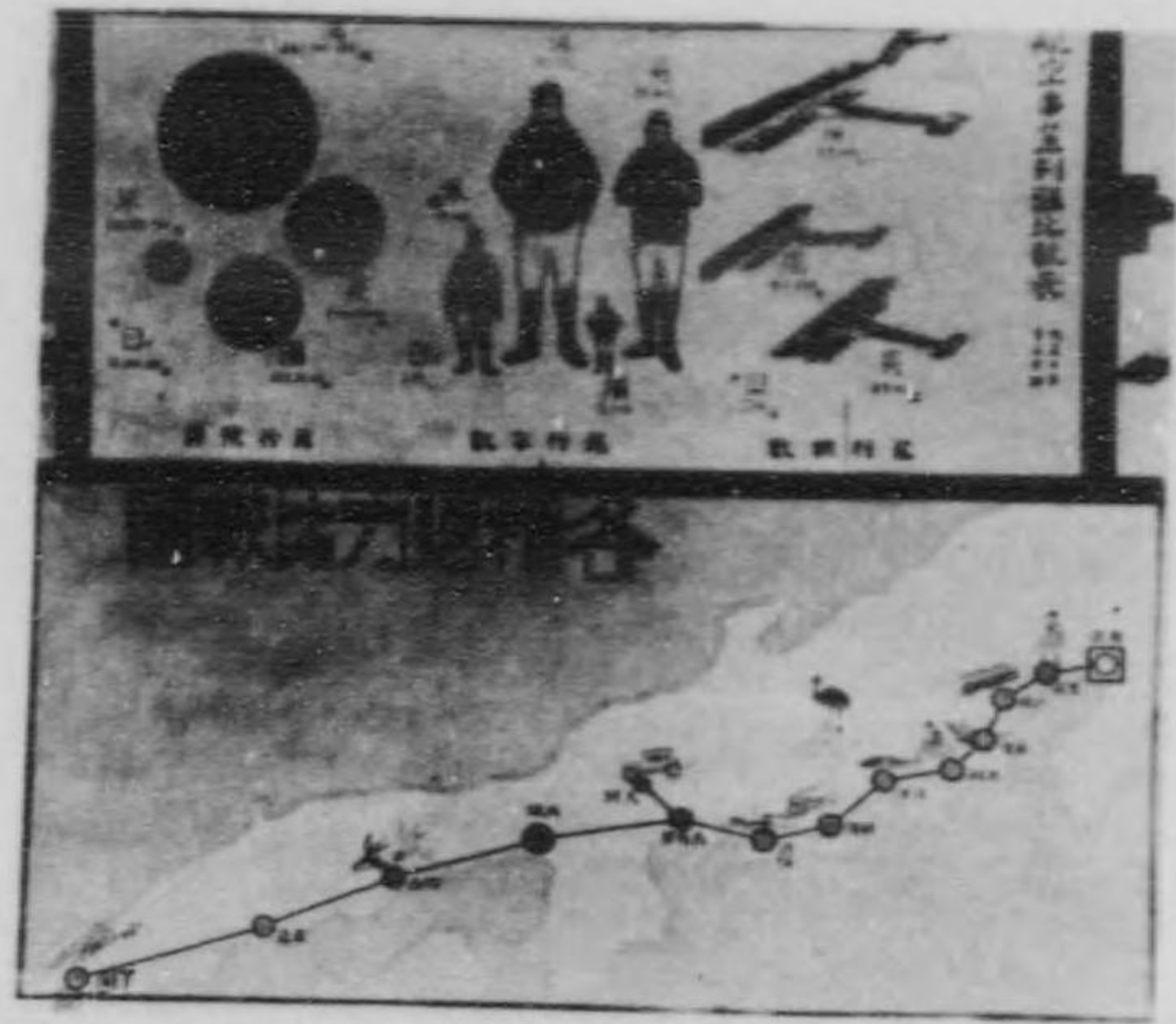
三ノ品出會援後人婦業事空航

一覽表 海軍之部

氏名	軍	階級	所属	死因	死日	遺族
佐藤重雄	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 佐藤重雄
武部信雄	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 武部信雄
柳井久彦	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 柳井久彦
青木栄一	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 青木栄一
阿部新治	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 阿部新治
阿部基雄	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 阿部基雄
山崎豊一	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 山崎豊一
木俣重雄	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 木俣重雄
留田勲	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 留田勲
山内三郎	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 山内三郎
井上三雄	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 井上三雄
神原正下	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 神原正下
三宅二郎	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 三宅二郎
山田茂雄	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 山田茂雄
山下昇	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 山下昇
上野隆太郎	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 上野隆太郎
高橋武郎	海軍	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 高橋武郎

民間之部

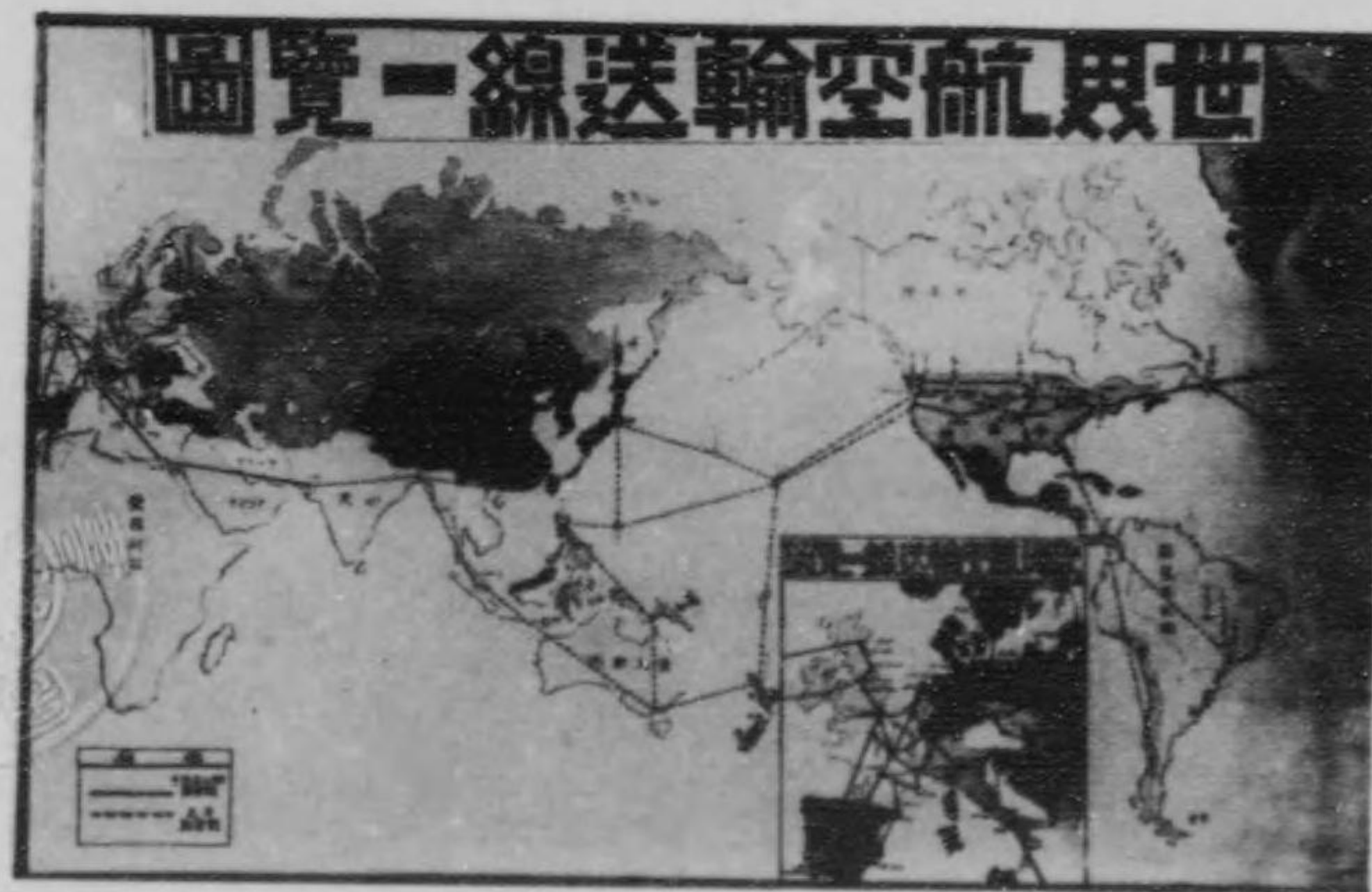
氏名	軍	階級	所属	死因	死日	遺族
近藤元久	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 近藤元久
武石浩敏	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 武石浩敏
大橋繁治	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 大橋繁治
武市正徳	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 武市正徳
五井清太郎	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 五井清太郎
山中忠雄	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 山中忠雄
小林祝之助	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 小林祝之助
山崎道雄	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 山崎道雄
山崎英三	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 山崎英三
武石新一	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 武石新一
藤原英一	民間	少佐	海軍航空隊	飛行中	昭和17年11月10日	妻 藤原英一



五ノ品出會援後人婦業事空航

民	海	陸	空
<p>民</p> <p>航空線</p> <p>東京 大阪 名古屋 京都 神戶 福岡 札幌 仙台 青森 函館 旭川 釧路 網走 旭川 釧路 網走</p>	<p>海</p> <p>航空線</p> <p>東京 大阪 名古屋 京都 神戶 福岡 札幌 仙台 青森 函館 旭川 釧路 網走 旭川 釧路 網走</p>	<p>陸</p> <p>航空線</p> <p>東京 大阪 名古屋 京都 神戶 福岡 札幌 仙台 青森 函館 旭川 釧路 網走 旭川 釧路 網走</p>	<p>空</p> <p>航空線</p> <p>東京 大阪 名古屋 京都 神戶 福岡 札幌 仙台 青森 函館 旭川 釧路 網走 旭川 釧路 網走</p>

六 同



七 同



製、轂ノ「ブツシユ」ハ青銅製、軸筒ハ軟鋼製ナリ其構造ヲ圖ニ示
ス加工法甚ダ良好ニシテ外國製ノ優良ナル製品ニ比シ敢テ遜色ナシ
成績優等ナリト認ム

四、會社ノ概況

本會社ノ事業ハ明治三十二年ニ開始セラレ現今資本金百五十萬圓從
業員總數約六百名ナリ名古屋市内及市外ニ工場ヲ有シ自轉車ノ製造
會社トシテ本邦最大ナルモノナリ、本類ニ出品シタル飛行機用
車輪ハ大正八年ニ其製造ヲ始メタルガ其後大正九年八月以降ハ直接
陸軍航空部監督官ノ指示ノ下ニ製作シツツアリ其製作ニ専ラ從事セ
ルハ現在技術員及職工合計四十五名ニシテ一箇月約千組ヲ製作スル
設備ヲ有ス大正十一年夏迄ニ陸軍ニ納入セシ數合計約千個ニシテ現
ニ製作中ノモノ數百個ナリ

五、評 論

現今我陸軍ニ於テ製作セラルル飛行機ノ車輪ニハ多ク本會社ノ製品
ヲ採用セリ、本會社ハ其製作ヲ開始シテヨリ極メテ短日月ノ間ニ少
ナカラザル設備ヲナシ優秀ナル製品ヲ產出シ上記ノ現況ニ達セシコ
トハ技術ノ進歩著シキモノト云ハザルベカラズ且ツ現ニ其製作加工
ニ就テ種々研究ヲ重ネ改良ヲ計リツツアリ將來ノ發達進歩ヲ豫想セ
シム由テ茲ニ金牌ヲ擬賞セリ

第二 第九十六類

報告員 兒 玉 常 雄

帝國飛行協會

大正三年四月二十三日日本航空協會ト帝國飛行協會ト合併シ同年九月

二十六日財團法人設立認可、同年十一月三十日 久邇宮殿下ヲ總裁ニ
奉戴シ、大正七年六月二十四日國民飛行會ト併合ス

大正七年八月五日航空事業獎勵ノ爲、金五十萬圓ヲ下賜セラレ大正八
年六月三十日國際航空聯盟會ニ加入ス

該協會ハ本邦唯一ノ航空團體ニシテ大正四年以來巡回飛行ニ懸賞飛行
ニ、或ハ博覽會、展覽會ヲ開催シ本邦民間航空事業ノ發達ニ貢獻アリ
今回ノ博覽會ニ於テモ航空犧牲者ノ寫眞ヲ初メ各種飛行機ノ模型ヲ出
品シ航空思想ノ普及ニ務メタリ出品物ノ概要寫眞ノ如シ

航空事業婦人後援會

主トシテ婦人ノ力ニ依リ各種ノ手段ニ依リ航空事業ノ發展ヲ後援スル
團體ナルモ其ノ基礎未ダ強固ナラズ事業トシテ見ルベキモノナシ
出品物ハ航空事業婦人後援會事業成績報告、(寫眞12) 日本航空犧牲
者一覽表(寫眞34) 航空事業列強比較表、各種速力比較表(5) 日
本航空界一覽表(6) 世界航空輸送線一覽表(7) ナリ

日本自動車學校

航空機並航空用發動機ノ技術的教育ヲ專ラ目的トスル本邦唯一ノ學校
ニシテ將來經營良シキヲ得バ其ノ成績見ル可キモノアルベシ

第四、機關車電車及其用具類

報告員 坂 井 清

目 錄

一、審査要綱

二、鐵道車輛

イ、總 說

ハ大ニ認ムベキモノニシテ設計工作又相當ノモノタルヲ以テ銀牌ヲ授與スルヲ適當ナリト認メタリ

(ハ)楠木製作所

楠木製作所ノ出品ハ二噸輕便機關車ニシテ其ノ小形ナルコトヲ特徴トセリ

設計上ヨリ之ヲ見ルトキ三噸ノ小型機關車ヲ設計シテ製作シタルコトハ大ニ多トスベキコトニシテ其ノ設計ノ模様ヨリ見テ決シテ歐米ノモノノ模寫ニアラザルヲ知ル而シテ設計ニ當リ數多ノ計算ヲ爲セルコトヲ認ムルモ設計上尙數多改良ノ餘地ヲ存スルモノアリ、工室ニ於テモ同様ナリ

然レ共本工場ハ大正三年創設以來比較的多クノ技術者ヲ使用シテ銳意成品ニ特色アラシメントシ、製糖會社ニ各種ノ機械ヲ供給スルト共ニ大正六年ヨリハ製糖會社及鐵道會社等ニ對シ小形輕便機關車及客貨車ヲ供給シツツアリタルヲ以テ大戰ノ當時此ノ種車輛ノ必要ナルニ當リ大ニ世ニ貢獻シタルコトアルヲ認ム

東京分工場ハ近來ノ買収ニ係ルモノニシテ内務省注文ノ機關車十臺製作中ナリ、大阪工場ハ之ヲ臨檢セズト雖製作設備ニ於テ優秀ナルモノトハ認メズ

之ヲ要スルニ本工場ハ車輛殊ニ機關車製作工場トシテハ設計並製作ニ於テ尙大ニ改良ヲ要スベキモノアリト雖モ之ニ囊狀ヲ與フノ價值アリト信ズ

(二)枝光鐵工所

枝光鐵工所ノ出品ハボギー電車模型、及四輪電車車臺模型ナリ、前者ハ米國ニ於テ廣ク使用セララルル車臺ヲ模倣シタルモノニシテ後者

以テ本設計ハ世ノ要求ニ適スルモノト認メ得ベク、油ノ代價ニシテ相當ナランニハ將來有望ナルモノナランモ、本會社ノ供給セル此種車輛ノ實際ニ使用セラレツツアルハ極メテ少數ニシテ未ダ十分ナル經驗アリト認ムベカラザルナリ

而シテ同社ニ於テハ此ノ如キ設計ノ客車ヲ設計製作ナシツツアルニ拘ハラズ所要馬力ト速度、乗客定員等ニ關スル研究ノ未ダ足ラザルモノアリ、且又機關ノ動力ヲ中間軸ニ傳フルニ當リテハ摩擦嚙合ヲ使用セルモノニシテ此ノ摩擦車ノ一方ノ車ニハ纖維ヲ使用シ居リ可ナリ長日月間摩耗スルコトナク使用ニ堪フト稱シ居レリト雖此ノ種ノ動力傳達方法ハ力ノ大サノ極メテ小ナル場合ノ外ハ兎角困難ヲ伴フベキモノニシテ此ノ種乗合客車ニ應用シ相當期間故障ナキモノナルカ否ハ頗ル疑問ノモノタリトス況ンヤ其ノ實際使用上ノ經驗ニ乏シク實際上ノ成績ニ依リ實用上ノ效能ヲ知ラシムルニハ尙未ダ早キニ失スルモノナリ、此ノ如クニシテ本出品ハ擬賞ヲ爲スニハ尙早シト認ムルモノナリ

(三)スプリング類

スプリング類ハ次ノ三工場ヨリ出品セラレタリ

(イ)東京鋼材株式會社

(ロ)帝國發條製作所

(ハ)株式會社枝光鐵工所

此等三工場ノ内前二者ハ本邦ニ於ケル二大スプリング工場ナルヲ以テスプリングノ出品ハ良ク本邦スプリング工業界ノ代表的ノモノナリト云フコトヲ得ベシ、此等ノ成品中主要ナルモノハ鐵道省官房研究所ニ於テ試驗セシガ其ノ成績ハ次ノ如クニシテ何レモ相當ノ成績

ハ米國ヨリ本邦ニ輸入セラレテ各所ノ市街電車ニ使用セララルルモノノ模倣ナリ此等ノ出品ハ其ノ設計外國品ノ模倣ナリト雖材料ノ選擇ニ於テ本邦工場ニ於ケル製作ニ便ニシタルヲ特徴トス、四輪電車ノ車臺ハ果シテ此ノ種ノモノガ適當ナルヤ否ヤハ考慮ヲ要スルモノアリト雖モ此ノ種車臺ガ多數本邦市街鐵道ニ於テ使用セララルルニ當リ此ノ種ノ模倣製作ヲ行フコトハ適當ナルベシ、又ボギー車ノ形式ハ本邦ニ採用シテ適當ナルモノト認ム

出品ハ模型ナルヲ以テ其ノ工作程度ヲ見ルコト能ハズ又其工場ハ九州ニアルガ爲メ之ヲ臨檢スルコト能ハズ從ツテ其ノ詳細ヲ知ルコト能ハズト雖モ大正六年創立以來各種車輛、鐵骨構造物ノ製作ヲナシ來リ殊ニ電車ハ全國所々ノ鐵道鐵道會社ニ供給シ居ルヲ見レバ斯業界ニ致シタル貢獻ハ相當大ナリト認メザルベカラズ、又近ク大ニ發展スルノ計畫中ナリト云フ依テ本工場ニハ銅牌ヲ與フルヲ適當ナリト認ム

(ホ)日本鐵道事業株式會社

本會社ヨリハ自動機關車(ガソリン機關付機關車)及自動機客車(ガソリン機關付客車)各一輛ヲ出品セリ其ノ内機關車ハ全部米國ノ設計製作ニ係ルモノナルヲ以テ審査範圍外ナリト認メタリ

客車ハ之レニ使用セル機關ハ米國製ナリト雖車體及臺車ハ同會社ノ設計製作ニ係ルモノニシテ臺車ハ此種車輛トシテ適當ナルモノト認メリ

本出品ノ特色ハガソリン機關ヲ軌道ノ客車ニ應用シタル點ニアルモノニシテ此ノ種客車ヲ使用シテ馬車又蒸氣機關車ニテ運轉セル軌道動力ヲ變更セントスルモノ漸次増加シ來ル傾向アリトコトナルヲ示セリ、而シテ東京鋼材株式會社及帝國發條製作所ハ唯ニ出品セラレタル成品ノ優良ナルノミナラズ其ノ製造能力其他ニ於テ擬賞ヲ爲スベキモノト認メ別ニ記載セル理由ノ下ニ夫々名譽賞牌及銀牌ヲ授與スルヲ相當ト認メタリ、枝光鐵工所ノ出品モ又相當優良ナリト雖、同社ハスプリング製造所トシテハ創業日尙淺ク成品ノ實際ニ使用セララルコト少クシテスプリング製造者トシテ重キヲ爲スニ至ラザルヲ以テ其ノ評點數ハ擬賞ヲ爲スニ足ラザルナリ

品名	種類		用途	製造所名	車台名	車台技術					
	原高	棒ノ直徑									
東鋼	14 1/8	1 1/4	7/8	6 1/2	4 1/2	8	11	9 1/2	56	25 1/4	0
帝發	14 1/8	1 1/4	7/8	6 3/4	4 1/2	8	11	9 3/8	54 1/4	25	1/16
枝光	8 3/8	—	1 1/4	6 1/16	—	5	—	6 1/16	26	—	1/16

備考 東鋼及帝發ハ大小二個共ニ壓縮シ枝光ハ大一個ノミナルヲ以テ單獨ニ施行セリ尙細部ニ沙々寸法ハ圖面ヲ參照シテ差異アル部分ハ添字ヲ以テ三品ノ成績下表ノ通リ

荷重	東鋼		帝發		枝光		光
	撓度	撓度ノ差	撓度	撓度ノ差	撓度	撓度ノ差	
0	0	0	0	0	0	0	0
1000	0.50	0.50	0.51	0.51	0.12	0.12	0.12
1500	0.70	0.20	0.71	0.20	0.24	0.12	0.12
2000	0.90	0.20	0.89	0.18	0.34	0.10	0.10
2500	1.10	0.19	1.08	0.19	0.43	0.09	0.09

No. 1 成績續

荷重	撓度(吋)	差	撓度(吋)	差
13000	2.96	0.22	3.25	0.22
14000	3.16	0.26	3.44	0.19
15000	3.39	0.20	3.58	0.14
16000	3.61	0.23	3.64	0.06
16700	3.68	0.22	—	—
—	—	0.07	—	—

No. 1 東京鋼材株式會社製自動車前輪發條
 No. 2 同上
 No. 3 帝國發條製作所自動車後輪發條
 No. 4 同上 貨車用發條
 No. 5 同上 機關車用發條

測定寸法 (ヌベテ時ニテ測定セリ)

現品種類	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5
スプリング	33.5	48	50	41 7/8	42
キヤンク	5 1/4	12	6 7/16	2 5/8	1 9/16
バツクルノ厚サ	チツ	チツ	チツ	9/16	1
バツクルノ幅	チツ	チツ	チツ	3 1/2	4
バツクルノ中心偏倚	チツ	チツ	左 1/16 右 5/16	1/16	1/8
バツクルノ代ギ一ルト徑	5/16	5/16	5/16	チツ	チツ
板ノ厚	1 1/4	5/16	5/8	1 1/2	1 1/2
板ノ幅	1 1/2	2	3	3.5	4
最短板ノ長	9	10 3/8	15 1/4	6 7/8	10 3/4
各板ノ間隔	2 5/8	—	1 3/4	7/8	2 1/4
板ノ形	8	9	12	11	11
自重	18 1/8	45 7/8	128 1 3/8	171.5 1/4	210 3/4 1/16

No. 2 成績續

荷重	撓度(吋)	差	撓度(吋)	差
0	0	0	0	0
100	0.29	0.29	0.21	0.21
200	0.49	0.20	0.26	0.15
300	0.76	0.25	0.61	0.25
400	1.05	0.29	0.97	0.24
500	1.37	0.32	1.03	0.26
600	1.68	0.21	1.51	0.28
700	1.89	0.21	1.80	0.29
800	2.19	0.30	2.10	0.30
900	2.49	0.30	2.41	0.31
1000	2.71	0.28	2.70	0.29
1100	3.07	0.30	3.02	0.22
1200	3.33	0.26	3.31	0.27
1300	3.61	0.28	3.59	0.28
1400	3.88	0.27	3.89	0.30
1500	4.17	0.29	4.25	0.22
1600	4.48	0.31	4.53	0.28
1700	4.76	0.28	4.80	0.27
1800	5.07	0.31	5.10	0.30
1900	5.35	0.28	5.35	0.25
2000	5.69	0.24	5.58	0.23

No. 3 成績續

荷重	撓度(吋)	差	撓度(吋)	差
0	0	0	0.75	0.75
100	0.28	0.28	0.88	0.13
200	0.58	0.30	1.03	0.15
300	0.95	0.37	1.40	0.27
400	1.22	0.27	1.75	0.25
500	1.61	0.39	2.09	0.25
600	1.96	0.35	2.41	0.32
700	2.24	0.29	2.78	0.27
800	2.60	0.36	3.10	0.32
900	2.97	0.37	3.45	0.35
1000	3.37	0.40	3.80	0.35
1100	3.77	0.40	4.20	0.40
1200	4.11	0.34	4.55	0.35
1300	4.48	0.37	4.87	0.32
1400	4.86	0.38	5.25	0.35
1500	5.25	0.39	5.65	0.40
1600	5.66	0.41	6.02	0.35
1700	5.96	0.30	6.32	0.32
1800	6.39	0.43	6.67	0.35
1900	6.76	0.37	7.03	0.36
2000	7.11	0.35	7.37	0.34
2100	7.42	0.31	7.73	0.36
2200	8.00	0.58	8.17	0.44
2300	8.50	0.50	8.60	0.43
2400	8.89	0.39	9.03	0.43
2500	9.42	0.53	9.40	0.27
2600	—	—	—	—

No. 4 成績續

荷重	撓度(吋)	差	撓度(吋)	差
0	0	0	1.53	1.53
1000	0.65	0.65	2.12	0.29
1500	1.01	0.36	2.59	0.47
2000	1.36	0.35	3.09	0.50
2500	1.75	0.39	3.53	0.44
3000	2.15	0.40	4.00	0.47
3500	2.54	0.39	4.36	0.36
4000	2.90	0.36	4.82	0.46
4500	3.25	0.35	5.25	0.43
5000	3.61	0.36	5.67	0.42
5500	3.99	0.38	6.08	0.41
6000	4.37	0.38	6.45	0.37
6500	4.70	0.33	6.75	0.30
7000	5.11	0.41	7.15	0.40
7500	5.41	0.30	7.52	0.37
8000	5.82	0.41	7.86	0.34
8500	6.24	0.42	8.19	0.33
9000	6.69	0.45	8.55	0.36
9500	7.36	0.57	8.69	0.14
10000	8.01	0.65	—	—
10300	8.71	0.69	—	—

荷重	撓度(吋)	差	撓度(吋)	差
0	0	0	0.251	0.251
1000	0.14	0.14	0.33	0.10
2000	0.26	0.12	0.53	0.20
3000	0.39	0.13	0.70	0.17
4000	0.56	0.17	0.93	0.23
5000	0.69	0.13	1.16	0.23
6000	0.85	0.16	1.39	0.23
7000	0.99	0.14	1.55	0.16
8000	1.16	0.17	1.69	0.14
9000	1.32	0.16	1.90	0.21
10000	1.48	0.14	2.11	0.21
11000	1.60	0.14	2.24	0.12
12000	1.76	0.16	2.49	0.25
13000	1.90	0.14	2.61	0.12
14000	2.04	0.14	2.74	0.13
15000	2.15	0.11	2.97	0.25
16000	2.25	0.10	3.09	0.12
17000	2.39	0.14	3.29	0.20
18000	2.56	0.17	3.39	0.10
19000	2.75	0.19	3.49	0.10
20000	2.94	0.19	3.54	0.05
21000	3.15	0.21	3.58	0.04
22000	3.40	0.25	3.60	0.02
23000	3.65	0.25	3.63	0.03

No. 5 炭 鋼

荷重	撓度(吋)	差	撓度(吋)	差
0	0	0	0.20	0.20
1000	0.11	0.11	0.32	0.12
2000	0.24	0.13	0.41	0.09
3000	0.35	0.11	0.59	0.18
4000	0.50	0.15	0.76	0.17
5000	0.63	0.13	0.92	0.16
6000	0.76	0.13	1.07	0.15
7000	0.87	0.11	1.22	0.15
8000	0.99	0.12	1.36	0.14
9000	1.13	0.14	1.53	0.17
10000	1.26	0.13	1.68	0.15
11000	1.38	0.11	1.83	0.15
12000	1.48	0.10	1.96	0.13
13000	1.59	0.11	2.01	0.15
14000	1.69	0.10	2.22	0.11
15000	1.81	0.12	2.35	0.13
16000	1.93	0.12	2.49	0.14
17000	2.05	0.11	2.61	0.12
18000	2.05	0.10	2.75	0.12
19000	2.27	0.12	2.84	0.11
20000	2.39	0.12	2.96	0.12
21000	2.50	0.11	3.08	0.12
22000	2.61	0.11	3.17	0.09
23000	2.72	0.11	3.24	0.07
24000	2.85	0.13	3.29	0.05
25000	3.00	0.15	3.31	0.02
26000	3.19	0.19	3.32	0.01
28500	3.34	0.15	3.33	0.01

(ロ)東京鋼材株式会社

車輛用スプリング

本社ハ明治三十九年創立セラレタル東京スプリング製作所ノ繼承者ニシテ大正二年以來鐵道車輛各種スプリングノ製作ヲ請負フニ至リ爾來數回ノ擴張ヲ經テ今日ノ大サニ達シタルモノナリ、大正三年歐洲戰亂突發ノ際ハ同社ガ車輛用スプリングノ製作ヲ開始シテ幾何ナキ時代ナリシガ既ニ同社ニ於テ着々其ノ事業ヲ進捗セシメツ、アリタル時代ナリシヲ以テ良ク需要ノ大半ヲ供給スルコトヲ得テ國家ニ貢獻スルコト大ナリキ

鐵道事業發達スルニ伴ヒ車輛用スプリングハ益々其ノ需要ヲ増加セシガ會社ハ常ニ設備ヲ改善シテ製作能力ノ増加ヲ計リタルヲ以テ其ノ設備ニ於テ又其ノ製作能力ニ於テ依然トシテ本邦第一ニシテ全國ニ於ケルスプリング需要額ノ約八割ハ本工場ニ於テ製作セララル、狀況ナルヲ以テ本工場ガスプリング供給者トシテ工業界ニ貢獻シツツアルコト大ナルモノアルノミナラズ其ノ發達ノ歴史ヨリ考案シテ本社ガスプリング工業ヲ本邦内地産業トナスニ至リタル功績ハ没スベカラザルモノナリ

本工場ノ成品ハ其ノ品質ニ於テモ亦本邦第一ナリ
其他検査設備ノ完全ナル點ニ於テ又スプリング製作技術ノ研究ニ於テモ他ノ工場ニ比シテ進歩セルモノアルヲ認ム價格ニ於テハ各社間ニ別段ノ差異ヲ認メズ蓋シスプリングノ最大注文主ハ鐵道省ニシテ同省ニ於テハ注文ニ際シ各社ニ對シ價格ニ別段ノ等級ヲ設ケザルヲ以テナリ、故ニ其ノ工場ノ設備繰業上ノ巧拙ヲ考ヘテ多量生産ニ適スル方法ヲ講ジタル本社ノ如キハ價格ニ於テモ他ト競争シテ有利ナ

ル位置ニ在ルモノト認ムベキモノタルナリ

之レヲ要スルニ本工場ハスプリングノ技術上ノ立場ヨリ見ルモ又工業界ニ貢獻セル經濟上ノ見地ヨリスルモ本邦第一位トスルモノニシテ名譽賞牌ヲ授與スベキ價值アルモノト認定ス

(ハ)帝國發條製作所

本工場ノ創業ハ大正四年ニシテ東京鋼材株式会社ニ比スレバ新シキモノナリト雖モ製作技術ニ於テ大ニ見ルベキモノアリテスプリングノ實用上ノ價值ニ至リテハ東京鋼材會社製ニ差異ナシト云ヒ得ベシ製造能力ニ於テハ東京鋼材會社ニ及バザル遠シト雖モ本邦第二ノスプリング工場トシテ鐵道省其他ヨリ年々多數ノ注文ヲ受ケツ、アルヲ以テ本邦工業界ニ貢獻スルコト相等大ナリト云ヒ得ベシ

本工場ハ又海軍用各種スプリングニ相等意ヲ用ヒツ、アリ其ノ成品ニ於テモ又設備ニ於テモ之ヲ見ルコトヲ得ベシ、之ヲ要スルニ本工場ハ東京鋼材會社ニ比シテハ凡テノ點ニ於テ及バズト雖本邦第二ノスプリング工場タルモノニシテ本工場ト本邦第三ノスプリング工場ノ間ニハ相當大ナル懸隔アルヲ認ムルモノニシテ本工場ハ銀牌ヲ授與スルノ價值アリト認ム

(四)電車其他車輛用鑄鋼品

(イ)總 說

電車其他車輛用鑄鋼品ノ出品ハ次ノ三工場ヨリアリタリ

株式會社神戸製鋼所

神戸棧橋株式會社王子電爐工場

竹内鐵業株式會社小松電氣製鋼所

以上ノ内神戸製鋼所ハ此ノ種成品ノ製造所トシテ本邦ニ於ケル代表的

工場ノ一ナリト雖他ノ二者ニ至リテハ未ダテ代表的工場ト爲ス能ハザルナリ、外ニ株式會社住友製鋼所ノ成品ノ住友館ニ出品セラレタルモノアリ同工場ノ成品ノ如キハ本邦斯界ニ於ケル最モ代表的ノモノナリト雖審査ヲ辭退セルヲ以テ審査ヲ要スルモノハ上記ノ三社ニ過ギザルナリ

神戸製鋼所ノ成品ニ就テハ別ニ記載スルガ如キ理由ニ依リ金牌ヲ授與スルヲ適當ト認メタリ、其他二工場ハ共ニ電氣製鋼ニ依ル鑄鋼工場ニシテ歐洲大戰ニ際シ勃興シタル製鋼業ノ遺物ニシテ平和恢復ノ今日此ノ種事業ハ經營困難ナルベキモノナレ共此等ノ工場ハ良ク成品本位ニ研究ヲ續ケ電用電動機枠及齒車ノ製造等ヲナシ相等成績ヲ擧ゲツ、アリ、思フニ電氣製鋼事業タル從來ハ製産費ノ多大ナル爲メ一般ニ平爐法ニ依ル鑄鋼品ニ對抗スル能ハザルモノト認メラレシガ電氣爐ノ操縦ハ平爐等ノ操縦ニ比シテ容易ニシテ不純分ヲ脱出スルコトノ容易ナルノミナラズ温度ヲ十分ニ高メ得ルコトノ容易ナル爲メ薄肉鑄鋼其他特種ノ主要ナル部分品ヲ製作スルニ適スルヲ以テ今ヤ是等ノ工場ハ戰後經濟界ノ不況ニ際シテモ尙漸次發展シツツアルハ當局者ノ努力ノ大ナルニ依ルモノト認ムベキナリ、兩工場共創業日尙淺キノミナラズ其ノ製造能力未ダ小ナルヲ以テ産額ノ大ヲ以テ世ニ貢獻シタルコトハ未ダ特筆スル程ニ達セズ、小松電氣製鋼所ハ神戸橋橋株式會社ノ王子工場ニ比シ一層小ナリ

(ロ)株式會社神戸製鋼所

本工場ノ出品ハ鑄鋼製ホキールセンター及ギヤールホキール各一個ニシテ共ニ各工場ニ於ケル平和工業成品中ノ代表的ノモノナリ
同社ノ成品ガ質ニ於テ優良ノモノナルハ既ニ定評ノアル所ニシテ其

機械工場設備及化學試驗設備ノ如キモ相當ニ整ヘリ、工作方法ニ關シテハ尙研究改良ヲ要スルモノアルヲ認メタリ、而シテ二噸爐三臺ヲ有スルコトハ本邦ニ於ケル電氣爐工場トシテハ大ナルモノナルヲ以テ特ニ電氣爐ニ適スル成品ヲ選定シテ其ノ設備ヲ十分ニ利用スルコトニ努メ本邦工業界ニ裨益スルコト大ナルモノアラシ、設備生産高、工作方法等ヲ考ヘテ本工場ハ鋼牌ニ値スルモノト認メタリ

(二)小松電氣製鋼所

本工場ハ大正七年ノ創立ニ係リ半噸電氣爐二臺ヲ有シテ鑄鋼製生品ヲ製作シツツアリ目下二噸爐ヲ建造シツツアリト雖モ其ノ設備ニ至リテハ神戸橋橋株式會社王子電爐工場ニ比シテ小ナリ、成品ノ種類ハ同社ト同様ナリ、工場ノ所在遠隔ナルヲ以テ工場ノ隨檢ヲ行ハザリシト雖モ代表者ノ答辯ニ依ルニ操業ノ方法ハ相等化學的ニ爲シツツアルヲ認メタリ、又成品ニ就テモ車輛用自動連結器ノ試作等ヲ爲セルアリテ常ニ研究ニ意ヲ用ヒツツアルヲ認メ得ベシ然レドモ自動連結器ノ如キ尙研究ノ餘地アルモノナリトス之ヲ要スルニ本工場ハ神戸橋橋株式會社ト略同様ノ地位ニ在ルモノニシテ唯其ノ規模ニ於テハ大ニ劣ル所アルヲ以テ囊狀ニ値スルモノト爲セリ

(五)エゼクター、インゼクター、リユブリケーター、計器

其他、機關車用附屬品

(イ)總 說

此ノ種ノ出品ハ唯株式會社東京計器製作所ノミナリ本邦ニ於ケル此ノ種成品ノ代表的工場ハ他ニモアリト雖、東京計器製作所モ亦代表工場ノ一ナリトス

一ヶ年ノ製造能力ノ如キホキールセンター一萬個、ギヤールホキール二千個ニ達シ年々ノ實際製産量ヲ見ルモ次ノ如クナルヲ以テ

大正八年 大正九年 大正十年
ホキールセンター 四、七二六 三、五六一 三、〇四八
ギヤールホキール 二五〇 一三〇 一六〇

住友製鋼所及日本製鋼所等ト共ニ本邦鐵道車輛用鑄鋼品ノ供給者トシテ世ニ大ニ貢獻シツ、アルハ明ナリ又其ノ製法ニ於テモ成ルベク押湯ヲ廢シ冷金ヲ使用シテ技術上並經濟上ヨリ大ニ研究ヲ積ミツ、アリ齒車ノ齒切ノ如キモ亦大ニ研究ヲ重ネツ、アルヲ認ムベキナリ現來鐵道車輛用鑄鋼品ノ研究並製造能力ニ於テハ審査ヲ辭退セル住友製鋼所ヲ以テ本邦第一ニ推スベキモノナルベシ、歐洲大戰ノ際各工場ガ競ツテ船舶工業ニ走リタルニ際シ住友製鋼所ガ依然トシテ其ノ主力ヲ鐵道車輛用成品ノ製作ニ置キ着々トシテ研究ヲ進メ設備ヲ改良擴張シ以テ輪軸製造ニ要スル凡テノ設備ヲ完成シテ本邦鐵道工業界ニ貢獻セルノ偉大ナルハ正ニ名譽ノ賞賛ヲナスベキモノト認メラル、モノニシテ神戸製鋼所ハ鑄鋼製鐵道車輛用鑄鋼品ノ製作ニ於テ住友製鋼所ニ次グトスルモ上記ノ如キ生産ヲ爲シツ、アリテ金牌ヲ授與スルヲ適當ナリト認ム

(ハ)神戸橋橋株式會社王子電工場

本工場ハ大正八年ノ創立ニ係リ二噸電氣爐三臺ヲ有ス電氣爐ハ精鍊容易ニシテ、不純物ノ少キ成品ヲ得易キヲ利用シテ特殊鋼ヲ製作シタルコトアルモ現今ニ於テハ殆ド鑄鋼ノミヲ製作シ居レリ、而シテ前述ノ如ク電氣爐ノ特長ヲ利用シテ電用電動機枠、同齒車覆等薄肉物ノ製作ヲ良クス

(ロ)株式會社東京計器製作所

機關車用附屬品

本工場ノ多數ノ出品中當係ニ於テ審査シタルモノハ機關車用真空計エゼクター、インゼクター、リユブリケーター、(オイルポンプ)ウオーターゲージ、及ホキーツスルナリ

本工場ハ機關車部分品ノ製作工場トシテハ大正二三年ノ頃ヨリ壓力計、真空計等ノ計器類ヲ供給スルニ過ギザリシガ歐洲大戰勃發シテ本邦機關車製作工場ガ從來歐洲ヨリ輸入シ來リタルエゼクター、インゼクター、リユブリケーター、ウオーターゲージ、パイロメーター等輸入ノ杜絶スルヤ本工場ハ機關車工場ヨリ見本ノ供給ヲ受ケ又ハ鐵道院ノ設計圖ニ基キテ直ニ之ガ製作ニ着手シ機關車製造工場ヲシテ此等部分品ノ供給ヲ受ケ機關車ノ完成ヲ告ゲシメ以テ國有鐵道ニ於ケル運輸ノ遂行ニ裨益シタルコト鮮少ニアラズ其ノ後競爭會社ノ起ルアリテ此等部分品ハ他ノ工場ニ於テモ供給ヲ爲スニ至リシガ爲メ今ヤ本工場ハ此等部分品ニ對スル唯一ノ供給工場ニハアラザルモ需要ノ一半ハ本工場ヨリ供給シツツアルモノナリ

設計ニ關シテハ計器類ハ獨特ノ注意ヲ以テ設計セラレタルモノニシテ舶來品ト比較試驗ヲ爲シ遜色ナキコトヲ主眼トナシ來リシモ、プロトンチューブノ製法ニ於テ未ダ往々ニシテ意ニ滿タザルモノアリ即チ使用開始後往々ニシテ狂ヲ生ズルモノアルヲ免レザリシガ近來之ニ壓力ヲ加ヘタル儘長時間ノ熱處理ヲ加フルコトニ依リテ完全ナルモノヲ造ルニ至リタリト云フ

其他ノ部分品ニ至リテハ何レモ鐵道省ノ設計圖ニ依リ作製シタルモノニシテ其ノ設計ニ關シテハ何等述ブベキコトナシ

砲金鑄物ハ特定ノ下請工場ニ注文シ部分品ニ依リ十一種ニ區別シ適
當ナル配台ヲ採用シ居レリ

工作程度ハ良好ナリ、検査用模範モ相當程度ニ具備シ仕上ノ成形
及物ノ如キモ可ナリノ程度ニ整ヘラレ居ルヲ以テ成品ノ均一ニ就テ
モ可成ノ保證ヲ與フルコトヲ得ベシ

製造能力ニ至リテハ前述ノ如キ有様ナルヲ以テ本邦ニ於ケル現時ノ
需要ヲ充スニ十分ナルモノアリ

(六) 鐵道車輛用各種燈

(イ) 總 說

鐵道車輛用燈トシテハ現今ニ於テハ一般ニ電氣ヲ採用シ之ニ次グモ
ノヲ油瓦斯トス、アセチリンヲ使用スルハ極メテ少數ニシテ而モア
セチリン發生器ヲ具フルモノハ主要鐵道ノ車輛用トシテハ殆ンド其
ノ例ヲ見ザルナリ

以上ノ如キ出品ニシテ本類ノ審査ヲ受クベキモノハ皆無ニシテ唯
木啓正氏ノアセチリン裝置ノミアリタルハ此ノ種ノモノノ代表の出
品ト見做スコト能ハザルナリ

(ロ) 鈴木啓正

本出品ノ主タル眼目ハ啓正式アセチリン燈ニアリ其ノ特色トスル所
ハアセチリン瓦斯發生器ノ自動給水機ノ作用ニ在リ此ノ種裝置ハ實
驗所ニ於ケル試驗成績ノ優良ナルト共ニ常時ノ使用ニ際シ不具合ヲ
來スコトナキ必要アルヲ以テ日常使用上ノ成績ニ重キヲ置クコト必
要ナリ、然ルニ本式ノ燈ハ鐵道車輛用ニ供セラレタルコト少シ、客車
内ノ燈火ハ本器ガ實ハ完全ナリトスルモ統一ノ必要上之ヲ採用スル

テ其ノ工作程度等ニ於テ能ク一流工場タル資格アルモノナリ、銀牌
以下ノ工場ニ於テハ出品ノ品質ニ於テハ相當良好ナルモノナルモ生
産高等ノ關係ニ於テ高位ノ擬賞ヲ爲ス能ハザルハ遺憾ナリ、然レ共
電氣製鋼事業ノ如キ必ズ世ノ進運ニ伴ヒ益々發達スベキ將來ヲ有
スルモノナルベシ。設計ノ審査ヲ爲スベキモノニ在リテハ設計上ノ
注意ノ不足セルモノ多キハ遺憾トスル所ナリ、由來本邦ニ於ケル鐵
道車輛及其ノ用具類ノ工場ニ於テハ鐵道省ノ設計圖ニ依リテ製作ス
ルモノ大部分ヲ占ムル爲其ノ設計上ノ注意技能ニ至リテハ第一流工
場ト雖未ダ以テ十分ナリト云フコト能ハザルナリ、況ヤ第三流以下
ノ工場ニ於テ優秀ナル設計ヲ得難キハ止ヲ得ザル所ニシテ今回ノ出
品ニ徵スルモ設計上改良ノ餘地ノ存スルモノ多キヲ認ム、而シテ設
計ノ審査ヲ爲サザリシ出品ノ如キハ何レモ鐵道省ノ圖面ニ依リタル
モノニシテ此ノ種成品ニ對シ自己ノ設計ニ依リテ一層優秀ナル成品
ヲ得ントスルモノ殆ンドナキカノ觀ヲ呈セルハ誠ニ遺憾ナリトス此
ノ故ニ本邦工業界殊ニ本類ノ成品ヲ目的トセル諸工場ニ於テハ其ノ
一流工場タルト否ト問ハズ今後設計改良ノ方面ニ大ニ努力ヲ要ス
ルモノアルヲ認ムルモノナリ

第五 自動車類(第九十七類ノ第四項)

報告員 永田直武

自 動 車

世界ニ於ケル自動車ノ發達ハ歐洲大戰勃發以來特ニ著シク其ノ使用ノ
範圍ハ實ニ廣大トナリ人員、荷物ノ輸送ノミナラズ衛生用、消防用、

カ否カハ遽ニ決定シ難キモノアレ共機關車前燈ノ如キハ之ヲ試驗ス
ルニ好箇ノモノタルヲ信ズ、鐵道省ニ於テ從來少シク之ヲ試驗セシ
ニ其ノ成績ノ良カラザルモノアリテ之ヲ廣ク使用スルコトヲ爲サザ
ルナリ、既ニ購入セシモノト雖破損ノ結果使用セザルモノ多シト云
フ、此ノ如キ狀態ナルヲ以テ一般鐵道車輛用トシテハ擬賞ノ價值少
キモノト認ム

(七) 鐵道省出品

審査ヲ要セザル官廳出品ヲ調査スルニ本類ニ對シテハ鐵道省ノ出品
アリタリ、鐵道省ノ出品ハ貨物發送並到着噸數旅客貨物通過數量、
國有鐵道發達汽車旅行五時間ニテ到着シ得ベキ地點ノ表、旅客公衆
過失、死傷防止繪畫、本邦ヲ中心トスル交通繪圖等一般鐵道交通ニ
關スル圖表ヲ主要ナルモノトシ本類ニ於テ調査スベキモノハ明治ト
現代トノ代表的機關車ノ比較圖同旅客機關車比較圖ボギー客車ノ大
サノ發達ヲ示スベキ斷面圖ノ外、横川輕井澤間ニ使用セル内地製ア
プト式電氣機關車模型及山手線用電氣機車模型ノ出品アリタリ

(八) 結 論

鐵道車輛及其ノ用具類ノ工業ハ本邦ニ於ケル工業中、相當ノ地位ヲ
占ムルモノナレ共今回ノ出品ハ此種工業ノ代表のモノトシテハ貧
弱ナリ、代表的工場カ或ハ出品セズ或ハ審査ヲ辭退セルハ經濟界不
振ノ際ナルガ爲巨額ノ出費ヲ要スル出品ヲ躊躇シタルガ一原因ナル
ベシト雖此ノ種成品ノ主要ナル華客ハ國有鐵道ニシテ其ノ成品ノ品
質如何等ハ平常知悉セル所ナルヲ以テ敢テ博覽會ノ審査ヲ請フノ必
要ヲ認メザルコト其ノ一原因ヲ爲スモノナランカ、而シテ名譽賞牌
ヲ擬賞シタル三工場ハ夫々斯界ノ代表的工場ニシテ其ノ生産高ニ於

撒水用、道路構築用、農作用等殆ンド利用セラレザル方面ナリ本年初
ニ於ケル全世界ノ自動車數ハ實ニ千二百萬輛ヲ超ヘタリト云フ我國ニ
於テモ最近數年間急速ノ進歩ヲナシ當初ノ贅澤物トセラレタル自動車
ハ今ヤ必須缺ク可カラザル運輸機關トシテ各方面ニ實用ニ使用セラ
ルニ至リタリ然レドモ其ノ數ニ於テハ未ダ僅カニ一萬數千輛ニ過ギズ
世界列國ノ第二十六位ニ位スルノ貧弱ナル狀態ニアリ
我國自動車進歩ノ列國ニ比シ遅々タル所以ハ道路ノ不良、燃料其他雜
持費ノ不廉、一般自動車知識ノ不足、良好ナル運轉手ノ不足、自動車ニ
關スル諸機關ノ不備等多々理由アルベキモ我國情ニ適合スル自動車ノ
不足モ亦其ノ主要ナル原因ノ一ニ算フルヲ得ベク現在ニ於テ我國内ニ
使用セララル自動車ノ殆ンド全部ハ歐米各國ヨリノ輸入品ニシテ從
テ我國ノ各種狀況ニ適スルモノ尠キハ當然ナリ國內ノ一般要求ニ應ズ
ル自動車ハ勿論其ノ用途ニ依リ差異アルモ概ネ次ノ諸項ヲ満足スルコ
ト必要ナリ

- 一、各部構造簡單ニシテ取扱容易ナルコト
 - 二、各部構造堅牢ニシテ不良ナル取扱ニモ耐フルコト
 - 三、不良ナル道路上ノ運行容易ナルコト
 - 四、氣候ノ變化ニ會フモ常ニ機能完全ナルコト
 - 五、燃料脂油ノ消費量少ク經濟的ナルコト
 - 六、價格低廉ナルコト
- 今回各會社ヨリ出品セラレタル自動車ハ大正博覽會ニ出品セラレタル
モノニ比シ其ノ進歩著シク十分ニ實用ニ耐ヘ外國製品ニ劣ラザルモノ
アルハ誠ニ喜ブベキ所ナルモ未ダ體型機關トモ多クハ外國製品ノ模倣
ヲ脱セザルハ遺憾ナリ然レドモ各會社ノ犧牲的努力熱心ナル研究ハ漸

次前述諸要求ニ適スル我國理想的製品ヲ見ルノ近キニアルヲ思ハシムルモノアリ

貨物運搬用自動車ニ在リテハ大正七年三月軍用自動車補助法發布セラレ製造者並ニ使用者ニ多大ノ便宜ヲ與ヘ極力獎勵ニ勉メラレタル結果最近著シキ進歩ヲ見タルモ未ダ十分ナラザルハ甚ダ遺憾ナリ

以下出品各製造所及自動車ノ概要ヲ記ス

第一、日本製「ウーズレー」乗用自動車(附圖第一)

株式会社東京石川島造船所深川分工場

本社出品ノ自動車ハ英國製ノモノニ劣ラザルノ成績ヲ示シ甚ダ優秀ナリ

一、深川分工場ノ概況

本工場ハ株式会社東京石川島造船所ノ經營ニ係リ、英國「ウーズレー」自動車會社ヨリ三種ノ自動車製作ニ關スル「ライセンス」及東洋一手販賣權ヲ獲得シ専ラ之レガ製作及販賣ニ從事ス大正八年末工場建築ニ着手シ自動車製作用「ジグ」及「ゲージ」類ノ工作ニ力メ同時ニ「ウーズレー」社ヨリ粗材部分品ノ供給ヲ受テ大正十一年一月最初ノ製品三輛ヲ完成シタリ工場ハ機械工場、車體工場、燦入工場、銅工場、試験室、分析室、修理工場及倉庫等ニ區分シ其設備ハ年額約三百輛ノ自動車ヲ製作スルノ能力ヲ有ス(附圖第二―第四)

自動車用材料ノ内鋼及特殊鋼ノ「ドロップ、フォージンク」類ハ粗材ノ儘ニテ「ビツカース」製品ノ供給ヲ受テ鑄造類ハ英國ノ「ビツグ、アイオン」ヲ使用シ當所ニ於テ鑄造ス「アルミニウム」ハ加奈太又ハ英國ノ「インゴット」ヲ使用シ當所ニ於テ鑄造ス

鋼管及砲金類ハ全部當工場ニ於テ鑄造ス可鍛鐵及鑄鋼類ハ當分ノ内直

シ何レモ頭上歪輪軸ニヨリ開閉セラレ面シテ歪輪軸ノ迴轉ハ「ウーズレー」社ノ特許ニ係ル圓形齒輪ノ作用ニヨリ曲軸ヨリ傳ヘラル歪輪軸ハ「ニツケル、ケース、ハドニンク」鋼ヲ使用ス
活塞ハ「アルミニウム」合金製ニシテ「タイカス、チンク」ナリ
弁ノ材料ハ「ニツケルクロム」鋼ヲ用ヒ曲軸ハ「カーボンスチール」ニシテ五十五噸毎平方吋ノ坑張力ヲ有シ何レモ「ドロップフォード」材ナリ

冷却装置ニハ離心噴筒ヲ使用シ放熱函ハ「ホニウム」型ナリ
揮發器ハ「フローチンク、ウエイト、ターバー、ニードル」式ニシテ徐行及高速度ニ要スル補助「ヂエクト」ヲ有スル「ウーズレー」社ノ特許型ナリ

電氣裝置ハ B. L. I. C. 會社製「ダイナモ、イグナイター」ヲ使用ス
聯動機ハ復葉「ディスク、タイプ」ニシテ「クラツチ」油中ニ迴轉スル密閉型ナリ

變速機ハ「スライディング、スパーギヤ」式ニシテ「セレクダ―グート」ヲ有シ速度ハ前進三後退一ヨリナル
機關ノ標準迴轉ニ於ケル各種速度左ノ如シ

第一速度	一時間	一〇哩
第二速度	一時間	二〇哩
第三速度	同	三四哩
後退速度	同	一二哩

齒輪ノ材料ハ凡テ五パーセント「ニツケルケース、ハードニンク」鋼ノ「ドロップフォード」材ヲ用フ
齒輪軸ノ軸受ニハ全部「チムケンベヤリニンク」ヲ使用シ「スラス

接「ウーズレー」社製粗材ノ供給ヲ受ク

電氣品例ヘバ「スターチンク、モーター」「ダイナモ」「マグネット」電燈類「ブラダ」及之レニ要スル「ケーブル」又ハ「コード」等ハ直

接ニ「ウーズレー」社ヨリ供給セラル
工作方法ハ「ウーズレー」自動車會社ノ設計ニ由ル「ジグ」及「ゲ―ジ」ヲ使用シ交換式部品ノ製作ヲナス爲メ「リミット、システム」ヲ採用ス其ノ最高「リミット」トシテ十萬分ノ五時マデヲ使用ス

之レニ要スル圖面ハ凡テ一品一葉式ニシテ各作業毎ニ検査ヲ勵行シ檢査済ニアラザレバ次ノ加工ニ移ラザルノ規定ヲ設ケ全然分業的ニ工作ス

二、「ウーズレー」五自動車構造ノ大要(附圖第五―第八)

各部ノ寸度左ノ如シ

車臺ノ全長	一三呎二吋
車臺ノ最大幅	五呎三吋
轍間距離	四呎二吋
車軸間距離	九呎一〇吋
固有重量	二〇〇貫
車輛最低部地上高七吋半	
回轉中徑	三六呎
塔乘人員	六人

機關ハ四氣筒「モノプロツク」型ニシテ氣筒ノ直徑三吋八分ノ一(八〇耗)衝程五吋八分ノ一(二二〇耗)ナリ機關ノ標準回轉ハ一分間千七百回轉ニシテ制動馬力三十四餘ヲ出シ得

氣筒頭ハ容易ニ取り外シ得ル構造ニシテ之レニ吸入及排氣ノ辨ヲ有

ト」ヨリ生ズル狂ヒヲ絕對ニナカラシム

「フアイナル、ドライブ」ハ「ウオーム、ギヤリニンク」式ナリ「ウオーム」及「ウオーム、ホイールギヤ」ノ比例ハ二十五分ノ四ニシテ「ウオーム」ハ「カーボンケース、ハードニンク」鋼「ホイール」ハ含燐青銅ヲ使用ス

制動機ハ「ウーズレー」社特許ノ内面抗張「ダブルアリチンク、シユータイプ」ニシテ之レヲ後部車輪ニ裝置シ手動及足踏ミノ兩様ニヨリ作用シ得

車體發條ハ前後共「カンチレバー」式ニシテ「ビツカース」材ヲ使用ス
「スプリンク、アクシヨン」ノ微妙ナルハ本設計ノ最モ特徴ナリトス

車輪ハ「サンキー」特許ノ「プレス、スチール」型ニシテ取り外シ最モ容易ナル構造ナリ輪帶ノ大キサハ八一五耗×二二〇耗ナリ、燃料槽ハ「二」ガロン」ヲ收容シ消費量ハ道路ノ狀態ニヨリ一英「ガロン」二十五哩ヲ算ス

第二、T. G. E. 自動貨車(附圖第九)

出品人

東京瓦斯電氣工業株式會社

本社ハ大正八年以來保護自動車ヲ製造販賣シ現ニ乙種(一噸積)及丙種(二噸半積)ヲ製造シ其ノ成績ハ良好ナリ

一、製造所ノ概況

本社自動車部ハ大正七年三月設立セラレ主トシテ自動貨車及各種自動車車體ノ製作ヲナス

設立以來本年四月迄ニ生産シタル自動車左ノ如シ

陸軍制式四噸自動貨車 一五
 陸軍々用保護自動貨車 一〇〇
 陸軍々用患者用自動車々體 三〇
 各種自動貨車 二〇六
 東京市街自動車用客車 一〇〇
 小型自動車用客車 二二
 其他ノ各種自動車用客車(荷櫃) 三〇二

工場ハ機械工場、組立工場、車室工場、調質工場、鍛工場、鑄工場、木型工場及材料試驗場等ニ区分シ現在ニ於ケル作業能力ハ小型自動車用客車約一五軍用保護自動貨車二〇ノ外飛行機發動機(ローン八〇馬力)一二乃至一五ナリ

二、T G E (二噸積) 自動貨車構造ノ大要(附圖第十一第十二) 各部ノ寸度左ノ如シ

積載量一佛噸(但シ實際ノ有効積載量ハ一噸半)
 車臺重量 四〇〇〇封度
 全長 一六呎九吋(五米一一五)
 最大幅 五呎一〇吋(一米七八六)
 轍間距離 四呎一一吋(一米五〇)
 車軸間距離 一一呎六五吋(三米五〇)
 車軸最低部地上高一呎

機關ハ四氣筒L頭複體鑄物ニシテ氣筒直徑一〇〇耗(四吋弱) 衝程一四〇耗(五吋二分ノ一強) 實馬力二五、五〇

至輪軸ハ一體ノ鍛造製ニシテ炭素燒ヲ施ス

曲軸ハ「ニツケルクローム」鋼製ニシテ三個ノ軸承ヲ有シ完全ナル手衝ヲ保持ス

給油装置ハ飛散式及壓送式ナリ

冷却装置ハ遠心唧筒式ニシテ放熱ハ蜂巢型ナリ

揮發装置ハ「ストロンベルグ」會社製トス

點火装置ハ「ボツシユ」會社製發電機ヲ使用ス

聯動機ハ「コーンクラツチ」トス

變速機ハ前進四、後退一速度ニシテ齒輪ハ總テ「ニツケルクローム」鋼製ナリ

最後傳動ハ内方齒輪式ナリ

制動機ハ手働及足働ノ二種ヲ備ヘ手働ハ變速機ノ後部主軸上ニ又足働ハ後車輪ニ取付ケラレ摩擦面極メテ大ニシテ制動力頗ル強大ナリ

車體發條ハ前後共半階圓式ニシテ其ノ材料ハ發條用特殊鋼ヲ用フ「フレーム」ハ凹型切斷面ヲ有シ其ノ大サ約五吋二吋一六分ノ七吋トス車輪ハ木製砲車式ニシテ「タイヤ」ハ「ソリツド、タイヤ」ヲ使用シ前輪八八〇耗×一二〇耗(三十四吋×四吋半)後輪複式九一〇耗×一〇〇耗(三十六吋×三吋半)ナリ

第三、「ダット」四分ノ三噸自動貨車(附圖第十三)

出品人 株式會社 快進社

「ダット」四分ノ三噸自動貨車ハ同社ガ多年研究ノ結果製作セラレタルモノニシテ實用自動貨車トシテ成績良好ナリ

一、工場ノ概況

本社ハ明治四十四年七月創立ニ係リ大正七年十月株式會社ニ組織ヲ

變更シ主トシテ兼用自動車及四分ノ三噸自動貨車ノ製作ニ從事ス

工場ハ機械工場、仕上工場、組立工場、試驗室、鍛冶場、鑄物場、熱作業室、木工場及車體工場等ニ区分シ其ノ設備ハ年額約二十輛ノ自動車ヲ製作シ得ルノ能力アリ

二、四分ノ三噸自動車構造ノ大要(附圖第十四第十五) 各分ノ寸度ハ左ノ如シ

車體ノ全長 一一呎三吋
 車臺ノ最大幅 五七吋
 轍間距離 四八吋
 車軸間距離 一〇〇吋

機關ハ四氣筒一體鑄物ナリ氣筒ハL型ニシテ其ノ直徑三吋八分ノ一衝程四吋半ナリ 馬力一五、六

冷却装置ハ溫差式ニシテ放熱ハ「チユーブ」型ナリ

揮發器ハ「ダット」式ニシテ電氣裝置ハ「デルコ」二重式ヲ使用ス

聯動機ハ「コーン」式ナリ

變速機ハ「スライ、デンクキアー」式ニシテ前進三、及後退一速度トシ速度ハ機關ノ一三五〇回轉ノトキ一時間一八哩ナリ

最後傳動ハ「ウオーム」式トス

車輪ハ木製ニシテ「タイヤ」ハ前輪ハ空氣入ニシテ三〇吋×三吋半後輪ハ實體ニシテ三二吋×三吋半ナリ

第四、「ゴルハム」實用自動車(附圖第十六、第十七)

出品人 實用自動車製造株式會社

本車ハ設計製作概ネ良好ニシテ使用簡易ナルヲ以テ人力車代用車ト

シテ頗ル適當セル車ナリ但シ機關部ノ位置運轉臺下ニ在ルハ手入取扱上不便ヲ感ズルヲ以テ研究ヲ望ム

一、工場ノ概況

實用自動車製造株式會社ハ大正八年十二月創設シ米人技師ゴルハム氏ノ發明ニ係ル三輪自動車ノ專賣特許權ヲ譲リ受ケ同氏ヲ技師長ニ米人「リツツル」氏ヲ製作主任トシテ主トシテ三輪小型自動車ノ製作ニ從事ス

工場ハ機械工場、燒入工場、車體工場、發動機組立工場、車體工場、鐵鍛工場、靱工場、塗料工場、發動機試驗室、工具工場、及製品試驗室ニ分チ年額七五〇輪ヲ製造スルノ設備ヲ有ス各寸法ノ精確ハ本社ノ最モ意ヲ用フル所ニシテ何レノ部分モ總テ「リミットゲージ」ヲ使用シ千分ノ一吋ノ公差ヲ許容シ又完全ナル「ヂグ」ヲ使用セルヲ以テ同一品物ハ何レノ各部ニモ適合ス

二、「ゴルハム」實用自動車構造ノ大要(附圖第十八二十) 各部ノ寸度左ノ如シ

搭乗人員 三名(運轉手共)

積載重量 五〇乃至八〇貫(貨物運搬用)

全重量 一〇五貫

全長 八尺五寸

最大幅 三尺五寸

最大高 六尺(乘用車輦高)

機關ハ空氣冷却式二氣筒ニシテ氣筒ノ直徑三吋衝程四吋ニシテ馬力ハ七二ナリ

點火ハ「エリクソン」式發電機ヲ揮發器ハ「セブラー」式ヲ使用ス

傳動裝置ハ「フリクション、ディスク」式ニシテ變速裝置ハ一本ノ桿
棒ヲ以テ前進、後退、齒止及變速ノ作用ヲ兼テ且ツ補助機トシ低速
裝置ヲ具備スルハ本車ノ特長トス

速度ハ前進六及後退一ニシテ速力ハ三哩乃至三十五哩ナリ附圖第十
九ノ第三十一ハ之レ等ノ構造ヲ示セルモノニシテA 槓桿ヲ前後左右
ニ動スニ依リ總テノ作用ヲナスモノナリ而シテ附圖第十九A 槓桿ノ
前後ノ働キ即チD↑↓Eノ矢ノ方向ノ動クトキハ前進後退及齒止
ニ働キ附圖第二十C↑↓Dノ矢ノ方向ノ働キハ速度變換ニ使用ス
附圖第二十一Q 軸上ノ一端鍵鎖齒輪ハQ 軸ヨリ傳ハル動力ヲ二段ニ
廻轉セシムル爲メ低速裝置ヲ備フ此ノ裝置ハ平坦地並ニ傾斜百分ノ
七迄ノ坂路ヲ昇ルニハ必要ナリ此レヲ使用スルトキハ百分ノ一五迄
ノ急坂路ヲ容易ニ登攀シ得ベク山間僻地ニ於テ至極便利ナリ
本車ハ小型ナルモ後車軸上ニ正齒輪式ノ差動裝置ヲ備フ制動機ハ足
踏及手働ノ二種ヲ有ス

最後傳動ハ鏈傳動ナリ鏈ハ幅三吋ビツチ三吋ナリ
車輪ハ針金式ニシテ「タイヤ」ハ二八吋ノ三吋ナリ

第五、「アレス」兼用自動車

出品人 白楊社 豊川 順 彌

「アレス」兼用自動車ハ我國狀ニ適合スル自動車ヲ製作スルノ目的ヲ
以テ設計セラレ且ツ可及的本邦産ノ材料ヲ利用スルノ方針ニ依リ製
作セラレタル者ニシテ中型及小型ノ二種アリ中型ハ一般乗用車トシ
テ小型ハ自動二輪車又ハ人力車ニ換フルモノトシテ相當ノ成績ヲ認
メラルモ共ニ實用ニ供シテ試験研究ノ上一層改善セラレンコトヲ

構造ノ大要左ノ如シ(附圖第二十四第二十五)

座席	二人
全長	六九吋
最大幅	三六吋

機關ハ四氣筒四衝程式ニシテ氣筒ノ直徑二吋四分ノ一衝程三吋ナリ
馬力(警視廳)ハ六、七五ナリ
冷却裝置ハ空氣冷却式ナリ
揮發器ハ「ゼニス」ニシテ點火裝置ハ「パーリング」高壓「マグネツ
ト」ヲ使用ス

聯動機ハ二種ニシテ手働ハ變速齒輪室主軸ニ足働ハ後車輪ニ作用ス
最後傳動ハ「ウォーム」及「ウォームギヤ」ナリ
車輪ハ「ワイヤーホイール」ニシテ其ノ大サハ二六吋ノ二吋四分ノ一ナ
リ

第六、「テルコ」電氣自動車
出品人 東京市日本橋區通二丁目六、七番地 野澤組

本電氣自動車ハ設計者ガ各種ノ實驗ヲ經テ得タル成績ヲ基礎トシ我
國內ノ不良道路ニ於テ有效ニ電氣自動車ヲ利用シ得ル如ク各部ノ設
計ニ意ヲ用ヒタルハ其ノ最大ノ特長トシテ揮發油ノ不足ナル我國ニ
於テ將來十分發達ノ見込アル此種自動車ノ研究セラレタルハ誠ニ喜
ブベキ所ナリ

一、工場ノ概況

本社工場ハ府下立川村ニ在リテ大正十年九月起工シ平家鐵筋「コン
クリート」造リ六棟ニシテ現ニ建設中ニシテ大正十一年九月落成ノ

希望ス

一、「アレス」中型兼用自動車構造ノ大要(附圖第二十二第二十三)

搭乗人員	四名
全長	一一〇吋
最大幅	五〇吋

機關ハ四氣筒四衝程式單體鑄物ニシテ氣筒直徑ハ二吋八分ノ五衝程
ハ四吋二分ノ一ナリ
馬力(警視廳)ハ九、二ナリ

冷却裝置ハ「サーモサイホン」式トス
揮發器ハ「ストロンバード」ニシテ點火裝置ハ「アイズマン」高壓「マ
グネツト」ヲ使用ス聯動機ハ乾燥單板式ナリ
變速機ハ選擇式ニシテ前進三後退一ナリ制動機ハ二種ニシテ手働ハ
變速齒輪室主軸ニ足働ハ後車輪ニ作用ス
最後傳動ハ「ウォーム」及「ウォームギヤ」ナリ

差動裝置ハ正齒輪式トス車輪ハ「ワイヤーホイール」ニシテ其ノ大サ二
八吋ノ三吋ナリ
二、「アレス」小型兼用自動車

本車ハ設計者ニ於テ左ノ各項ヲ満足シ得ベキモノトシテ設計セラレ
タリ

- 一、使用經費ガ自動自轉車ノ夫レヲ超ヘザル程度ノモノ
- 二、狹隘ナル道路ヲモ走行シ得ルモノ
- 三、雨天ト雖モ愉快ニ走行シ得ルモノ
- 四、運轉自在ニシテ顛覆ノ懼ナキモノ
- 五、「アーナードライア」ニ適スルモノ

豫定ナリ工場ハ研究試驗場、工作部、鐵工部、木工部及動力部ノ五

部ニ區チ小數ノ部分品蓄電池、車輪、車體發條等ノ外ハ凡テ本工場ニ
於テ製作スル豫定ニシテ最大ノ一箇年製作高ハ百五十幅ノ計畫ナリ

荷重(七百五十封度)	五人
最大速度	十八哩
走行距離(平地)	六〇哩
登り得ル最大傾斜	十五分ノ一
蓄電池充電時間	六時

蓄電池ハ道路ノ變化振動ニ依ル破損ノ憂ナキ米國「エヂソン」式ヲ採
用シ「エヂソンアルカリ」電池五〇個電壓六〇「ボルト」直列連結電量
二二五「アンペア」時ノA型六ヲ使用ス電動機ハ「エヂソン」電池
使用ノ爲メ鉛電池ノ如ク容易ニ電壓ヲ增加スル能ハザル故低壓ノ良
好ナルモノ(直流直列式六〇「ボルト」四極電動機)ヲ使用ス然シ
テ低壓電動機ノ爲メ電池ヲ多ク要スルヲ以テ「コンミニユテーター」

「アーメチユア」「フイールドコイル」ニハ特別ナル注意ヲナシテ製
作ス

電池ノ位置ハ完全ナル安定ヲ得ル爲メ車構下ニシテ出來得ル限り低
下セシメアリ
「コントローラー」ハ凡テ足踏式トシテ兩手ヲシテ轉把ニ亦手働制動
機ヲ使用スルニ自由ナラシム

第七、自動人力車
出品人 東京市芝區三田豐岡町十三番地 矢田金三郎

本車ハ人力車形ノ車ヲ米國製「スミスモーター」ヲ利用シテ動カス
モノニシテ其レガ爲メ必要ナル「フレーム」及「クラッチ」等ノ主
要部ニハ特ニ注意シテ研究製作セラレタリ

一、工場ノ概況

工場ノ創立ハ明治四十五年ニシテ大正七年一月以來主トシテ自動人
力車ノ研究製作ニ従事シ大正九年十月株式會社常盤工業所ヲ設立シ
製作部ヲ獨立セシメ爾來經營中ニシテ一箇月二十五輛ヲ製作ス
二、B型自動人力車構造ノ大要

乗車人員

二人(運轉手共)

重量

二百八十磅

車幅

三十八吋

軸心距離

五十八吋

車輪ノ大サ

前輪二十六吋 後輪三十六吋

發動機

二馬力四分ノ一 スミスモーター

速度

「ギヤー」及「クラッチ」ニヨリ前進二

最高力

最高二十哩

制動機

手働及足踏ノ二種アリ

第八、「エスビー」電氣自轉車

出品人

日獨電氣自轉車商會

本車ハ獨逸「エスビー」電氣自轉車ヲ模倣シテ製作セラレタルモノ
ニシテ操縱簡單ニシテ取扱輕便ナリ

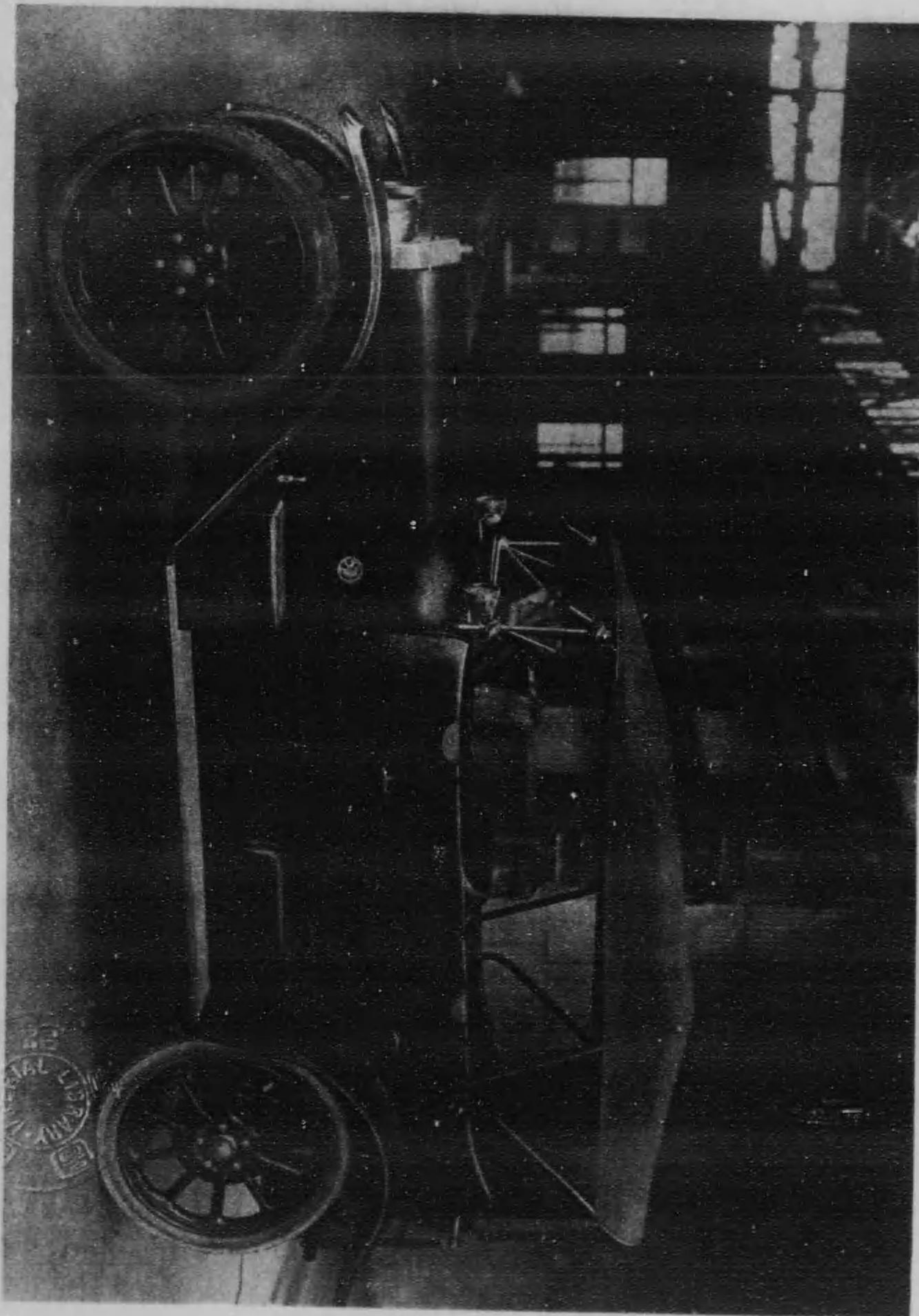
本車構造ノ大要左ノ如シ

乗車人員

一人(運轉手ヲ兼ス)

重量

五〇貫



車動自用乗一レズ一ウ製本日

全長 六尺九寸
最大幅 三尺六寸
轆間距離 二尺八寸
登り得ル傾斜 百分ノ二十

速度ハ前進及後退共ニニシテ速力ハ一時間六哩乃至十六哩制動機
ハ足踏、手止及電氣トス

車輪ハ空氣入「ワイヤ」式ニシテ大サハ二六吋ノ二吋四分ノ一

電池ハ獨逸「チュードル」會社製ニテ十八槽八〇「アンペリア」時ナリ

電働機ハ直流「スレービー」式ニシテ二分ノ一馬力ナリ

第九、以上述べタル第一乃至第八ノ外長谷川一十六ノ「エバンス」自動

自轉車五十嵐竹次郎ノ「ブレイキライニング」東京鋼球製作所ノ「ス

チールボール」及堀川賢ノ自動車用信號燈用閉閉器ノ出品アリテ共

ニ參考トスルニ足ル

三菱内燃機株式會社出品ノ三菱式自動車ハ審査辭退セラレタルハ遠

憾トスル所ナリ

第九十七類ノ第六項、人力車自轉車

乳母車類

主任 審査官 根岸政一

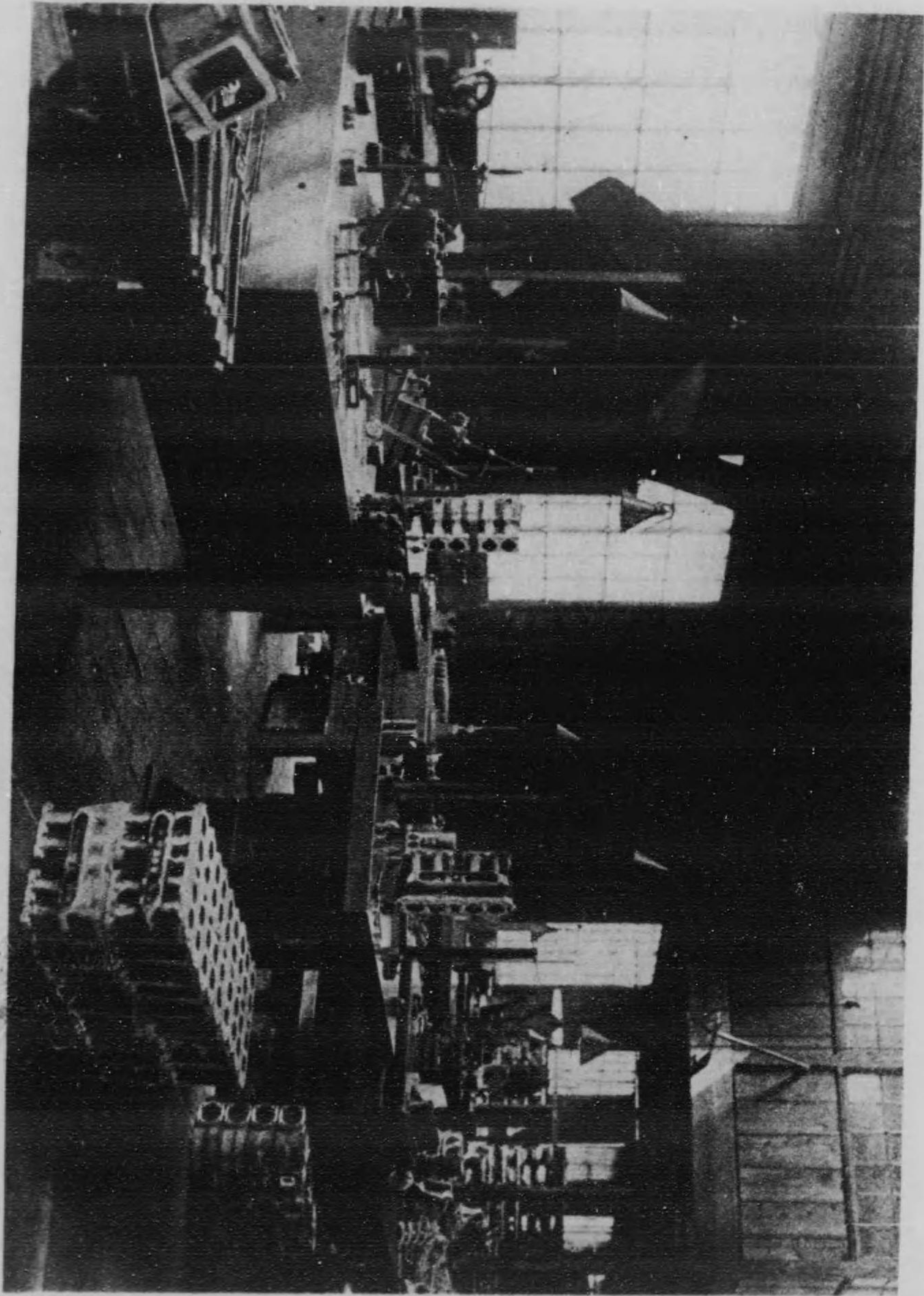
報告員 松浦和平

此部類ニ屬スルモノハ人力車、荷車、自轉車、乳母車、傷病者運搬車

及轆ノ六種ナリ。本會ニ於テ見タル出品ハ人力車、自轉車及乳母車ノ

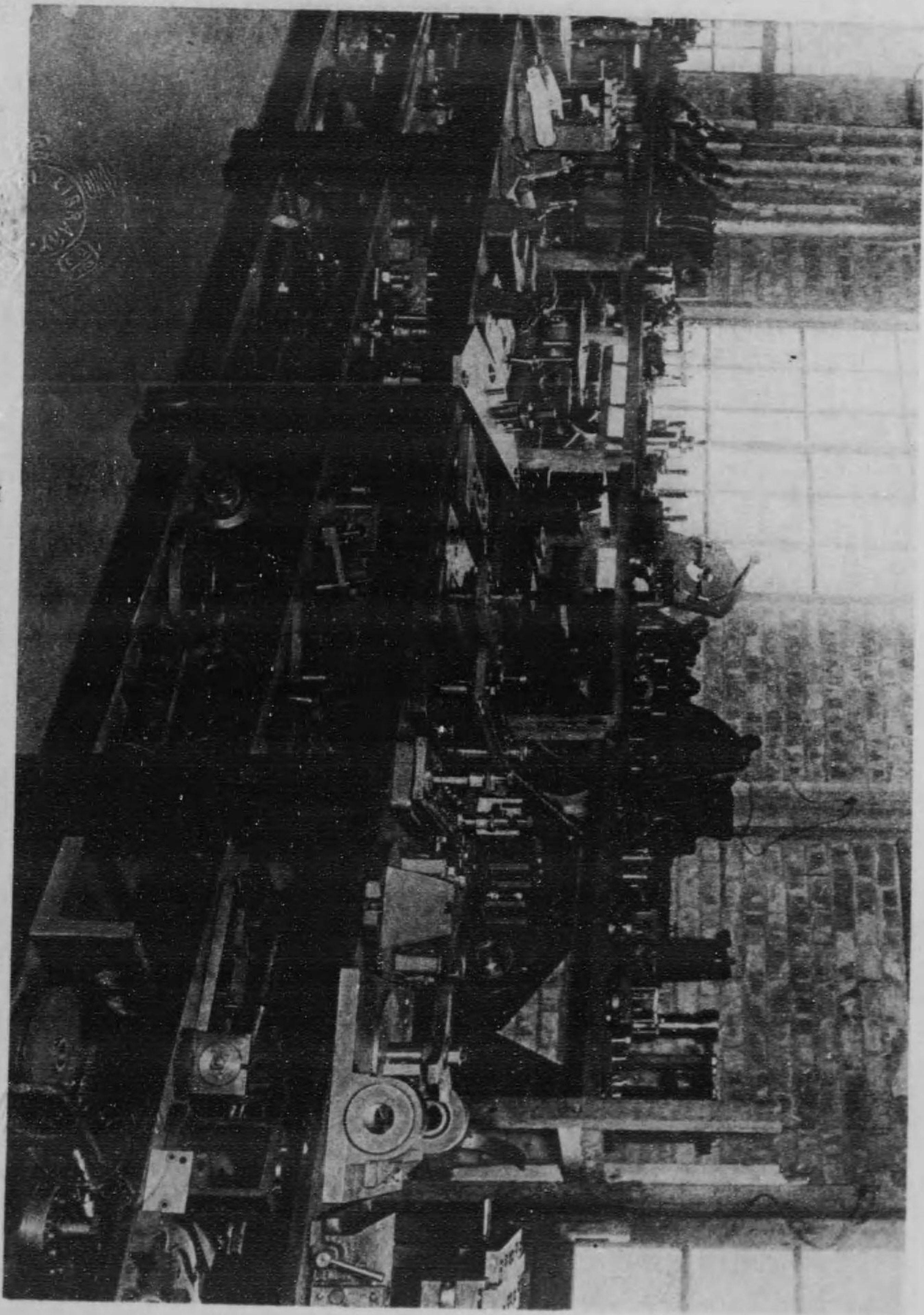
三種ノミニシテ自轉車ノ出品最モ多數ヲ占メ乳母車之ニ亞ギ人力車ハ

僅カニ一點ニ過ギズ、



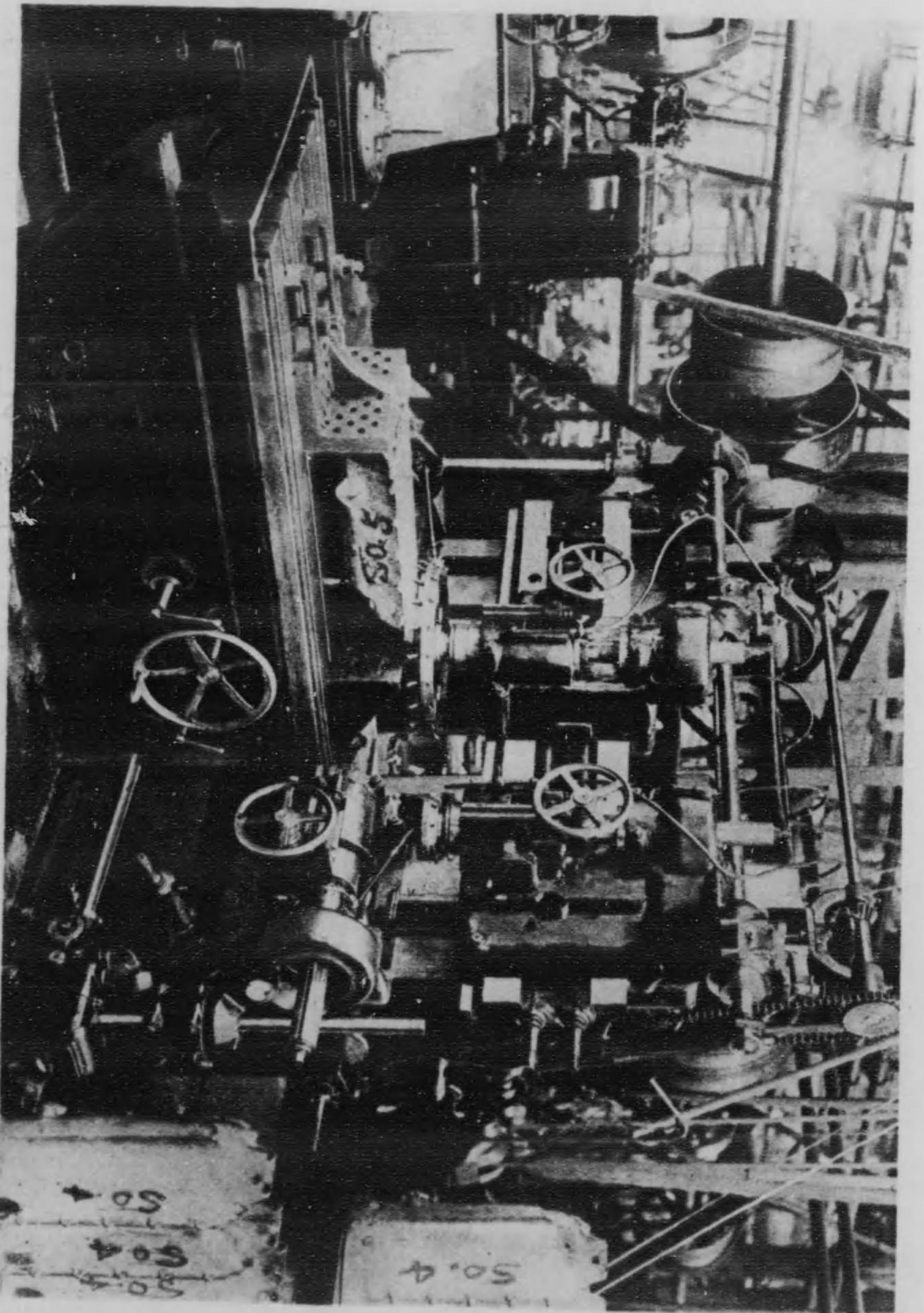
深川分工場一





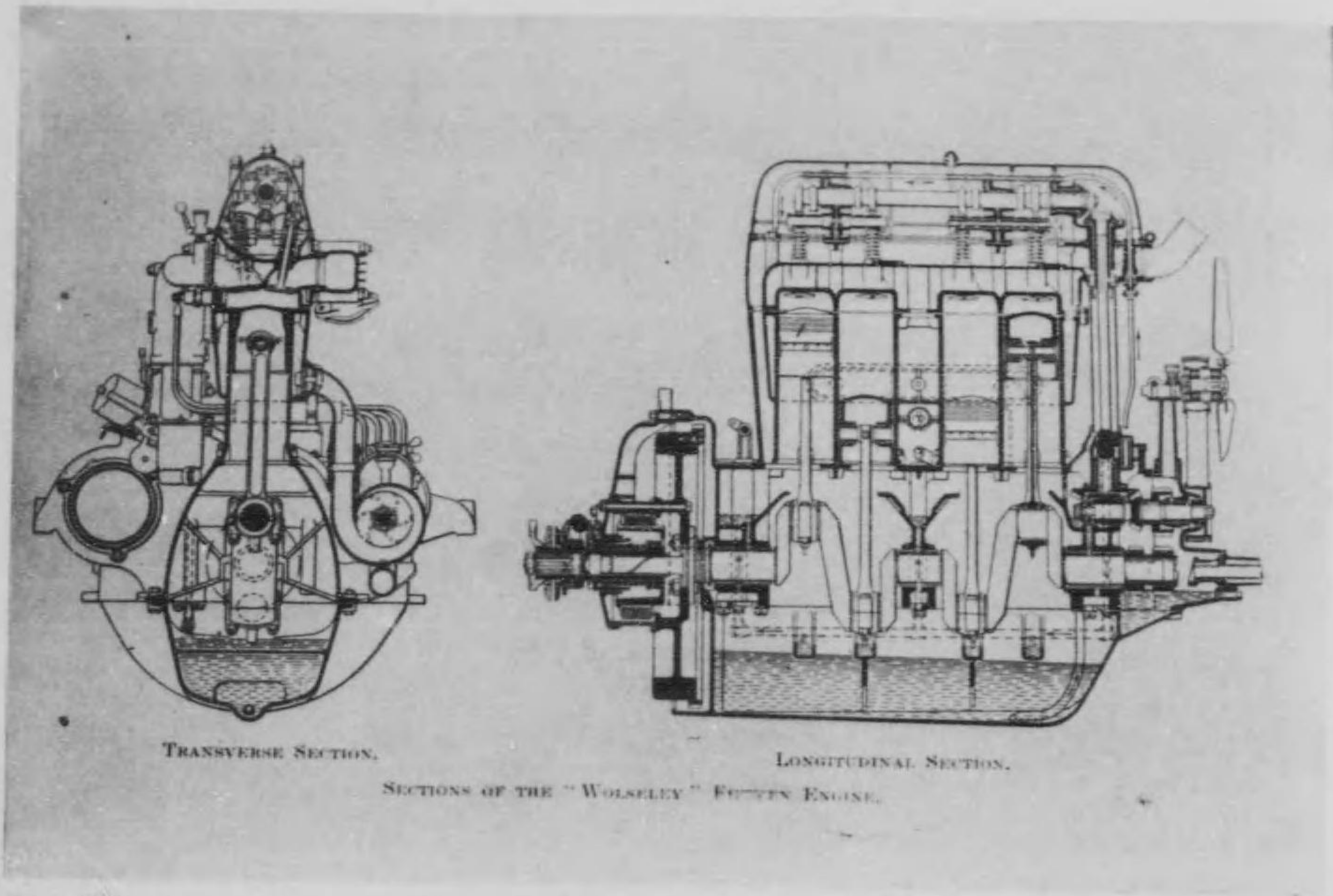
深川分工場一



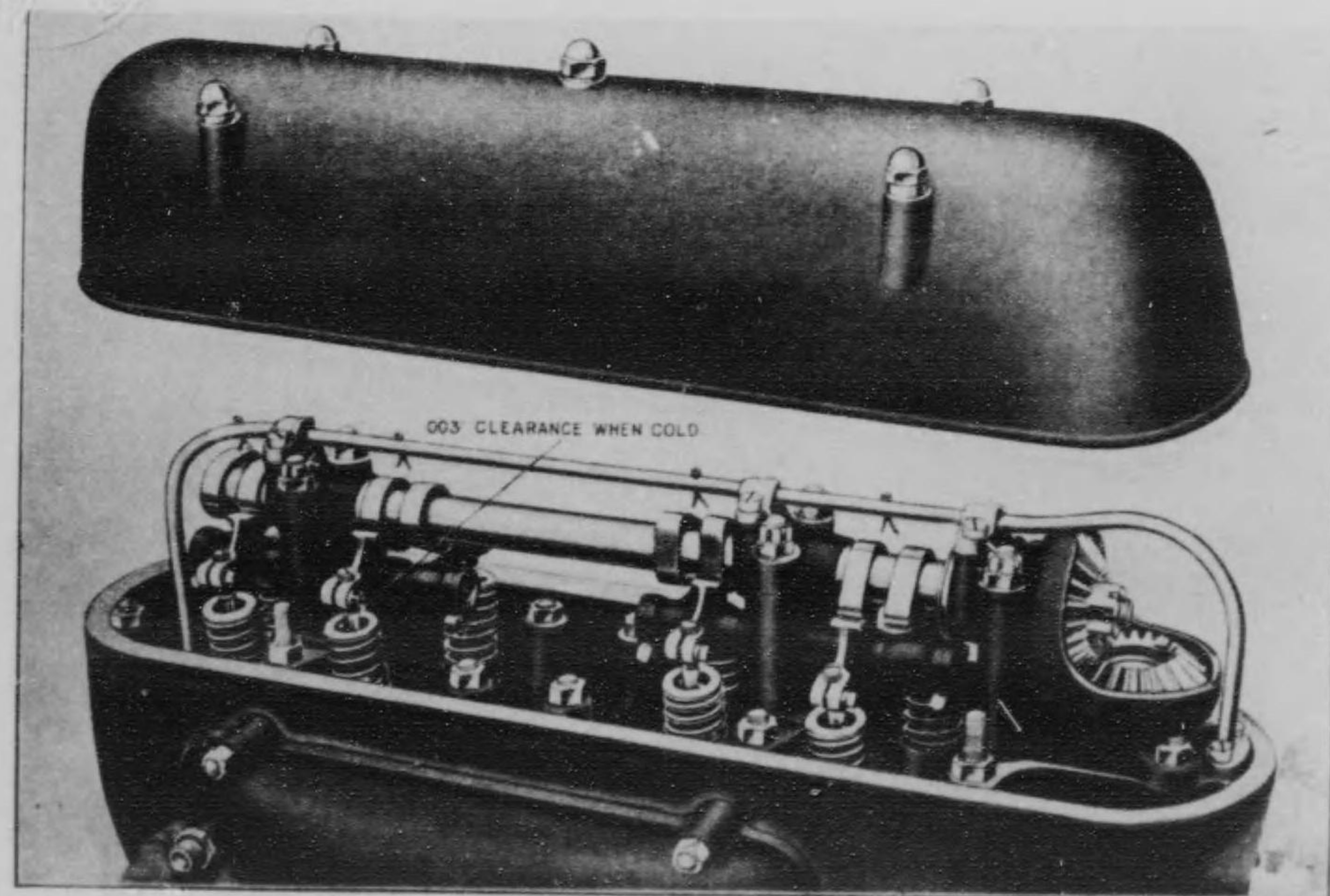


第一ノ掘工分川深





部 關 機 - レ ズ - ウ



頭 箱 氣 - レ ズ - ウ